



GeoLink® スプレーシステム仕上げキット

シリアル番号 314999999 以前の Multi Pro® 5800 ターフスプレーヤ用

モデル番号 131-7262

取り付け要領

この GeoLink™ スプレーシステムキットは、芝生に液剤を散布する専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用する芝生に対して液剤を散布することを主たる目的として製造されております。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com。

安全について

▲ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシート SDS など取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守ること。たとえば、保護めがね、ゴーグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることで適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。
- 散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず洗浄を行う。その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ3回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	—	プロコントロール XP 散布システムオプションを取り外します。
3	必要なパーツはありません。	—	オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外します。
4	スイッチのプラグ電動ホースリールキット Toro P/N 99-7420 スイッチのプラグ収納式ホースリールキット Toro P/N 99-7420	2 1	オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外します。
5	スイッチのプラグ収納式ホースリールキット Toro P/N 99-7420	1	収納式ホースリールキットオプションの接続を外します。
6	チューブアセンブリ Toro P/N 114-9553 ケーブルタイ	2 8	フォームマーカーキットオプションの接続を外します。
7	必要なパーツはありません。	—	ウルトラソニックブームキットの接続を外します。
8	必要なパーツはありません。	—	薬剤プレミックスキットオプションの接続を外します。
9	必要なパーツはありません。	—	EU適合キットオプションを外します。
10	必要なパーツはありません。	—	カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー 11ノズルを外します。
11	必要なパーツはありません。	—	ダッシュボードのゲージ用の水圧検知チューブを外すオプションのホースリールキットを搭載していない車両
12	必要なパーツはありません。	—	キャリッジ下シュラウドを取り外します。
13	後方ワイヤハーネス	1	後ワイヤハーネスを機体から外します。
14	ケーブルタイ スイッチのプラグ	1 1	散布レートスイッチを外す。
15	必要なパーツはありません。	—	ブームバルブと攪拌バルブを取り外します。
16	ケーブルタイ	1	ブームを取り外します。
17	後方ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 5	後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。
18	必要なパーツはありません。	—	3ブーム用のマニホールドマウントを取り外します。

手順	内容	数量	用途
19	マニホールドマウント10バルブ構成	1	10バルブ構成用のマニホールドマウントを取り付けます。
20	ホース1 x 104cm	1	マニホールドマウントの左側のホースを取り付けます。
	給液ホース1 x 59cm	1	
	攪拌バイパスホース1 x 25cmとバーブ付き90° フィッティング	1	
21	必要なパーツはありません。	—	後方ワイヤハーネスを取り付けます。
22	外側ブームのトラススレーム左側ブーム長いブーム	1	新しいセンターブームを準備します。
	中央ブームのトラススレーム中央ブーム短いブーム	1	
	外側ブームのトラススレーム右側ブーム長いブーム	1	
	フランジヘッドねじ $\frac{3}{8}$ x 1"	4	
	フランジロックナット3/8"	1	
23	必要なパーツはありません。	—	新しいセンターブームを取り付けます。
24	フローメータ	1	フローメータと水圧トランスデューサを取り付けます。
	フランジクランプ 76mm3"	2	
	ガスケット外径 2- $\frac{1}{4}$ "	2	
	縮径アダプタ	2	
	フランジクランプ 51mm2"	1	
	ガスケット外径 1-5/16"	1	
	バーブ付きフランジフィッティング1"	1	
	ホース1 x 7- $\frac{1}{4}$ "	1	
	ホースクランプ	4	
	水圧トランスデューサとマニホールド	1	
	ホース1 x 8- $\frac{1}{2}$ "	1	
	R クランプ	1	
	フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "	1	
	フランジロックナット5/16"	1	
25	油圧ホース $\frac{1}{4}$ x 24 $\frac{3}{4}$ "	4	ブーム昇降シリンダを取り付けます。
26	ナイロン製フランジブッシュ	4	左右の外側ブームを取り付けます。
27	給液ホースアセンブリ279cm	2	散布ノズル用ホースを取り付けます。
	給液ホースアセンブリ234cm	2	
	給液ホースアセンブリ188cm	4	
	給液ホースアセンブリ81cm	2	
28	必要なパーツはありません。	—	ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。

手順	内容	数量	用途
29	ナビゲーション受信機ジオリンク高精度 散布システムキットモデル 41623	1	ナビゲーション受信機を取り付けます。
	受信機用マウント	1	
	ボルト	2	
	RTK アンテナ用ブラケットIMUオプション の CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	フランジロックナット ^{3/8} "	4	
	六角ヘッドボルト5 x 16mm	3	
	ワッシャ5mm	3	
	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1	
	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修 正モデムキット	1	
	シリアル番号ラベル X25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げ キット付属品)	1	
30	スプレーヤのモニタジオリンク高精度散 布システムキット 41623	1	スプレーヤのモニタを取り付けます。
	ディスプレイ用フード	1	
	ボールマウントジオリンク高精度散布シ ステムキット 41623	1	
	モニタ用アームジオリンク高精度散布シ ステムキット 41623	1	
	補強プレート	1	
	フランジヘッドボルト 1/4 x 1 1/2"	4	
	フランジロックナット1/4"	4	
31	散布コントローラジオリンク高精度散布シ ステムキット 41623	1	散布コントローラを取りつけて後方ハーネ スに接続します。
	ボルト4 x 10mm	4	
	フランジロックナット4mm	4	
32	データ用ハーネスナビゲーションシステ ムジオリンク高精度散布システムキット モデル 41623	1	ナビゲーション関係のワイヤハーネスを 取り付けます。
	電装用ハーネスナビゲーションシステ ムジオリンク高精度散布システムキット モデル 41623	1	
	ケーブルタイ	5	
33	必要なパーツはありません。	—	キャリッジ下シュラウドを取り付けます。
34	サイドポート付き 90° エルボ Toro P/N 131-3726	1	オプションのハndsプレーキット、電動 ホースリールキット、収納式ホールリー ルキットの接続を行います。
	フランジ付きクランプとガスケット Toro P/N 127-9829	1	
	シャットオフバルブ Toro P/N 130-7321	1	

手順	内容	数量	用途
35	ワイヤハーネスオプションのフォームマー カー仕上げキット130-8292 ケーブルタイオプションのフォームマー カー仕上げキット130-8292 リレーオプションのフォームマーカー仕上 げキット130-8292 フランジヘッドボルト#10-24 x 1/2"フォーム マーカー仕上げキット130-8292 ロックナット#10-24オプションのフォーム マーカー仕上げキット130-8292 補助ヒューズブロックToro P/N 92-2641 ヒューズ15Aオプションのフォームマー カー仕上げキット130-8292 フランジヘッドボルト6 x 12mm オプ ションのフォームマーカー仕上げキット 130-8292 取り付けブラケット泡制御スイッチオプ ションのフォームマーカー仕上げキット 130-8292) 3 ポジションパドルスイッチ泡制御スイッ チオプションのフォームマーカー仕上げ キット130-8292 2 ポジションロッカースイッチコンプレッサ ON/OFFスイッチオプションのフォーム マーカー仕上げキット130-8292	1 5 1 1 1 1 1 4 1 1 1	オプションのフォームマーカーキットの 接続を行います。
36	液剤シャットオフバルブ Toro P/N 130-7324 リテーナToro P/N 131-0235 マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03 フランジロックナットステンレス製 1/4"Toro P/N 119-6897 圧力解放ホースアセンブリ25 x 273 mm Toro P/N 131-9647 給液ホースアセンブリ25 x 470 mmToro P/N 131-9648 攪拌バイパスホースアセンブリ25 x 305 mm Toro P/N 131-9649 バープ付き 90° フィッティング25 mmToro P/N 131-3727 ドレンホース25 x 1587 mmToro P/N 117-7957)	1 2 1 2 1 1 1 1 1	薬剤プレミックスキットオプションを取り 付けます。
37	必要なパーツはありません。	—	EU 適合キットオプションを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
38	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621	1	オプションのブームカバーキットの取り付けを行います。
	ポップリベット Toro P/N 114439	22	
	サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03	4	
	クリップナット Toro P/N 94-2413	4	
	フランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/4" Toro P/N 110-5050	16	
	フランジロックナット 3/8" Toro P/N 104-8301	16	
	カバーストラップ Toro P/N 120-0629	2	
39	フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4" Toro P/N 323-36	4	オプションのタンクすずぎキットの接続を行います。
	必要なパーツはありません。	—	
40	ベルト張りブラケット	1	オルタネータを交換します。
	オルタネータ 60A	1	
	ナット (10mm)	1	
	オルタネータのアダプタ用ハーネス	1	
41	必要なパーツはありません。	—	ジオリンクスプレーシステム仕上げキットの最終作業を行います。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

液剤タンクとオプションのすずぎタンクの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. 左右のブームを散布位置に降下させる。
4. スプレーヤを洗浄するオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗浄」を参照。

重要 このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にしてください。

5. オプションのタンクすずぎキットを搭載している場合には、以下の作業を行う

- A. すずぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすずぎキットの取り付け要領書の「すずぎキットの使用法」を参照。
- B. 液剤タンクを空にする散布車のオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗浄」を参照。

- C. すずぎタンクをマニホルドマウントに固定しているボルト 3/8 x 2-3/4" 2本、フランジロックナット 3/8" 2個、ワッシャ 3/8" 4枚を取り外す 図 1。

注 外したボルト、ナット、ワッシャは 19 10 バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43) の取り付けに使用します。

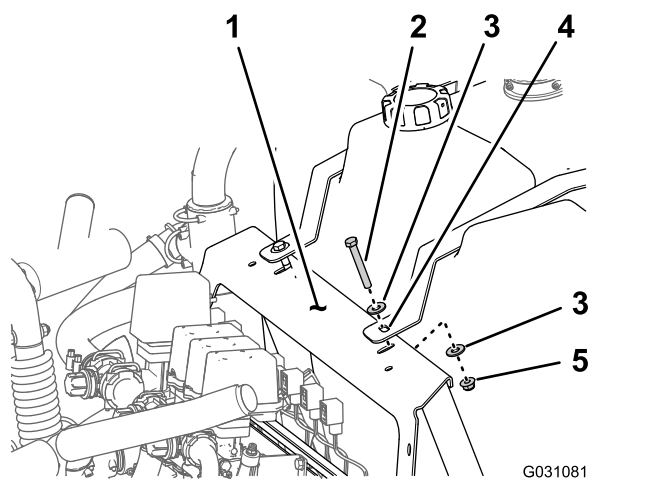


図 1

1. マニホルドマウント
2. フランジロックナット 3/8"
3. ワッシャ 3/8"
4. すずぎタンク固定ベルト
5. ボルト 3/8 x 2-3/4"

- D. ロープを使って、すずぎタンクをメインタンクに固定する。

E. エンジンを止め、キーを抜き取る。

バッテリーの接続を外す

⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。
- バッテリー押さえは必ず取り付ける。

1. バッテリーについているカバーを外し、バッテリーのマイナス黒端子からケーブルを外す 図2と図3。

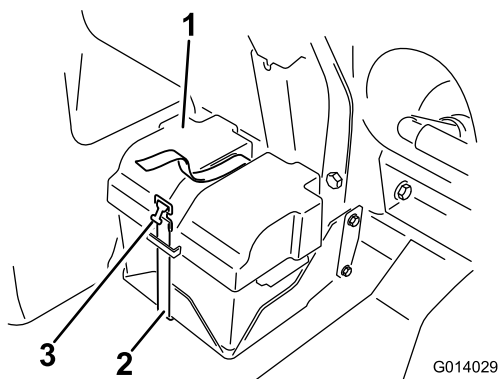


図2

1. バッテリーカバー
2. ストラップ
3. バックル

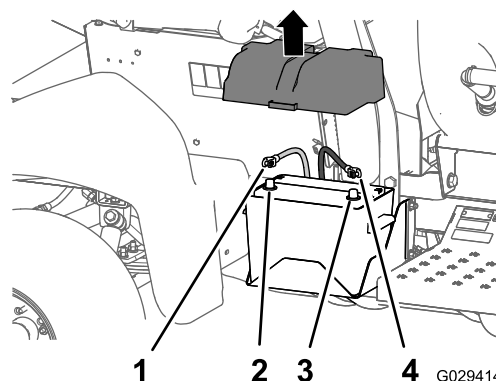


図3

1. プラス+ケーブル
2. プラス端子
3. マイナス端子
4. マイナス-ケーブル

2. バッテリー端子からプラス赤ケーブルを外す 図3。
3. 座席をふたつとも前に倒し、中央コンソールのベース部のスロットの端にあるへこみ部分に支え棒を移動させて座席を支える。
4. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

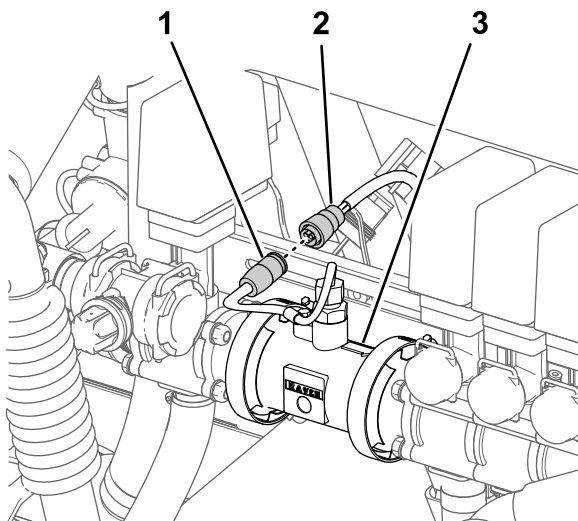
2

プロコントロール XP 散布システムオプションを取り外す

必要なパーツはありません。

フローメータのハーネスを外す

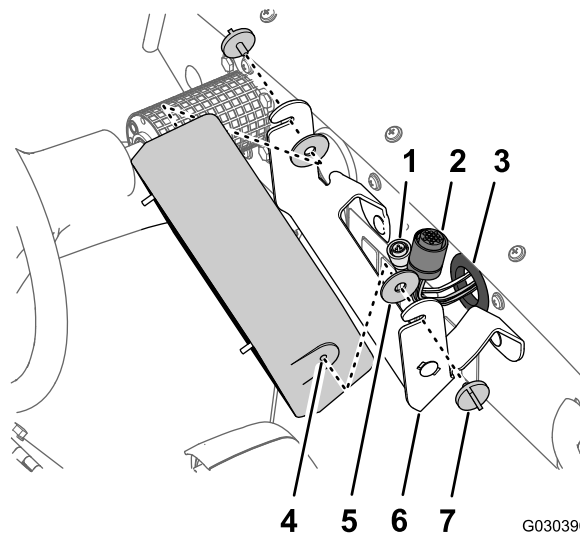
車体後部で、フローメータ用ハーネスの3ピンコネクタから、車両用ハーネスの3ソケットコネクタを外す 図4。



g200196

図 4

1. 3ピンコネクタフローメータのハーネス
2. 3口コネクタ車両用ハーネス
3. フローメータ



G030390

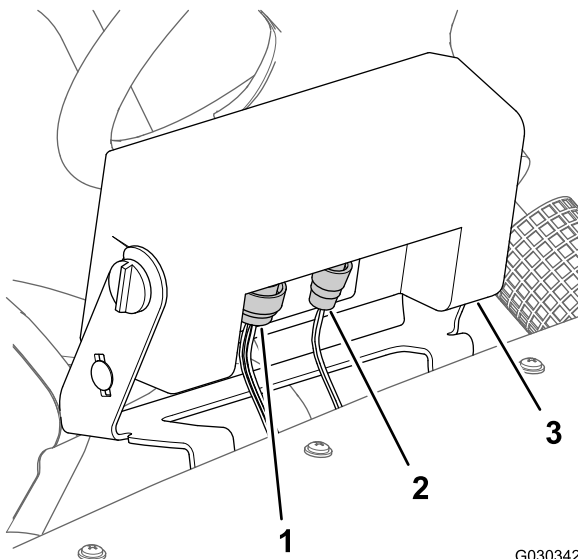
g030390

図 6

1. 3口コネクタ
2. 16口コネクタ
3. ハトメダッシュパネル
4. コントロールコンソール
5. ゴム製ワッシャ
6. サポートブラケット
7. ノブ

プロコントロール用コンソールを外す

1. プロコントロール用コンソール前面で、コントロールコンソールの3ソケットコネクタから、車両のワイヤハーネスの3ピンコネクタを外す 図 5。



G030342

g030342

図 5

1. 16ピンコネクタ車両のワイヤハーネス
2. 2ピンコネクタ車両のワイヤハーネス
3. プロコントロール用のコンソール

4. コントロールコンソールとゴム製ワッシャ2枚を、サポートブラケットから取り外す 図 6。
5. ハーネス、3ソケットコネクタ、16ソケットコネクタをダッシュパネルのハトメから入れる 図 6。
6. サポートブラケットをダッシュパネルに固定しているキャリッジボルト5/16 x 3/4"2本とフランジロックナット5/16"2個を外して、サポートブラケットを取り外す 図 7。

注 機体から外したコントロールコンソール、ゴム製ワッシャ、サポートブラケット、キャリッジボルト、ロックナットは廃棄して構いません。

2. コントロールのコンソールの16ソケットコネクタから、16ソケットコネクタを外す 図 5。
3. コンソールの両側のノブを外す 図 6。

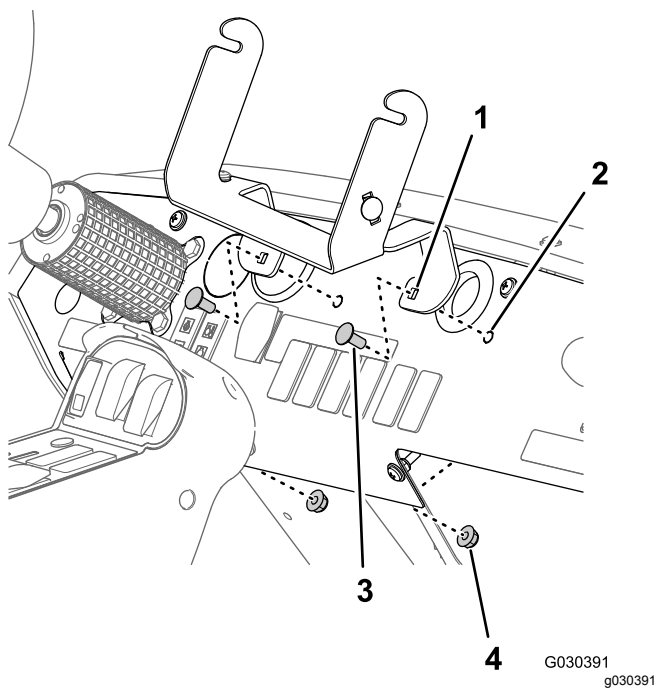


図 7

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. サポートブラケット | 3. キャリッジボルト5/16 x ¾" |
| 2. ダッシュパネル | 4. フランジロックナット5/16" |

3

オプション機器についている 後ワイヤハーネスのコネクタ 接続を外す

必要なパーツはありません。

ハンドスプレーキットや電動ホース リールキットの接続を外す

ハンドスプレーキットや電動ホースリールのコントロールボックスで、コントロールボックスのハーネスの6ピンコネクタを、車両用の後メインハーネスの6ソケットコネクタから外す 図 8 と 図 9。

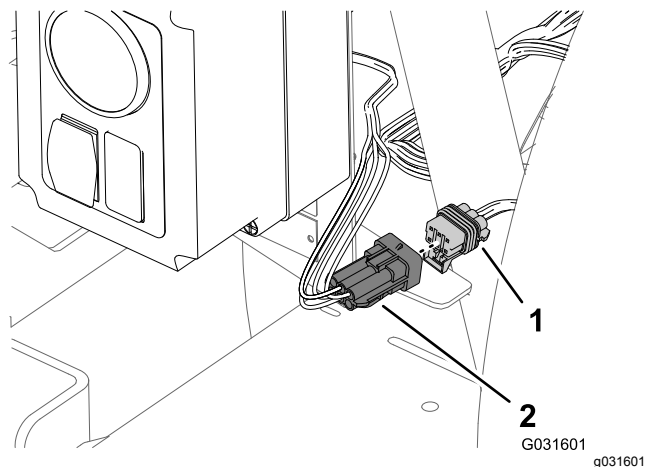


図 8

コントロールボックスハンドスプレー用

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 6ソケットコネクタ車両の後
メインハーネス) | 2. 6ピンコネクタコントロール
ボックスのハーネス |
|------------------------------|-------------------------------|

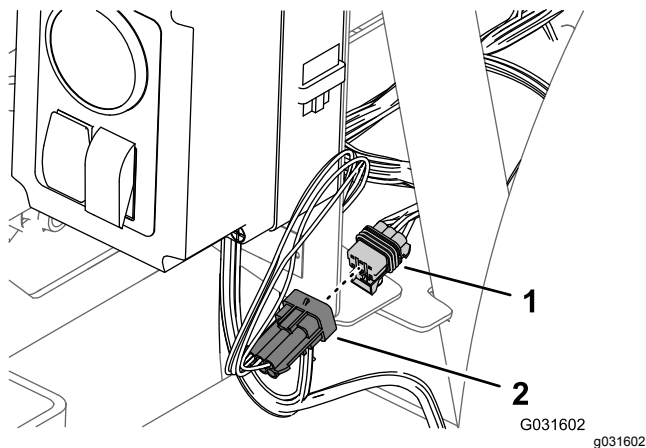


図 9

コントロールボックス電動ホースリールキット

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 6ソケットコネクタ車両の後
メインハーネス) | 2. 6ピンコネクタコントロール
ボックスのハーネス |
|------------------------------|-------------------------------|

ピボット式ホースリールキットを取り外す

1. 機体後部で、液剤タンクの後部にある収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを探し出す [図 10](#)。

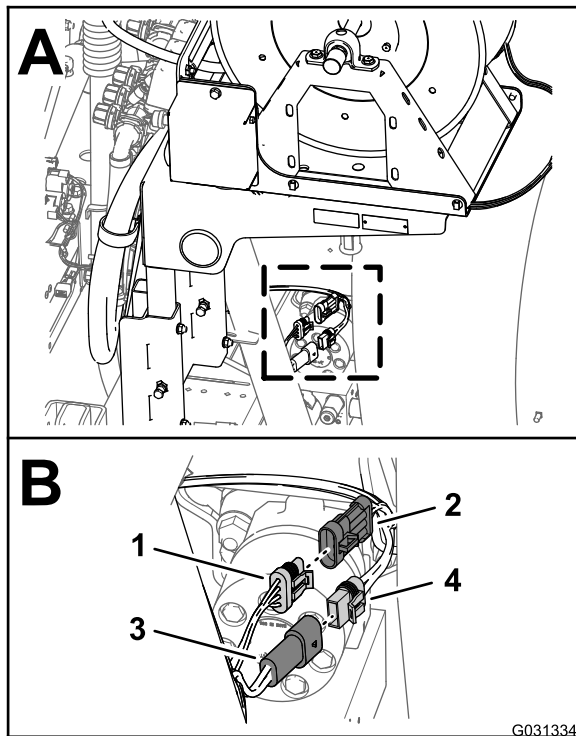


図 10

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
 2. 2ソケットピン後メインハーネス
 3. 3ピンコネクタ電動ホースリールのハーネス
 4. 2ソケットコネクタ電動ホースリールのハーネス
2. 後メインハーネスの2ピンコネクタから、電動ホースリール用ハーネスの2ソケットコネクタを外す [図 10](#)。
 3. 後メインハーネスの3ソケットコネクタから、電動ホースリール用ハーネスの3ピンコネクタを外す [図 10](#)。

フォームマーカークット用のコンプレッサを取り外す

1. フォームマーカのタンクの後部にあるコンプレッサ用ハーネスを探し出す ([図 11](#))。

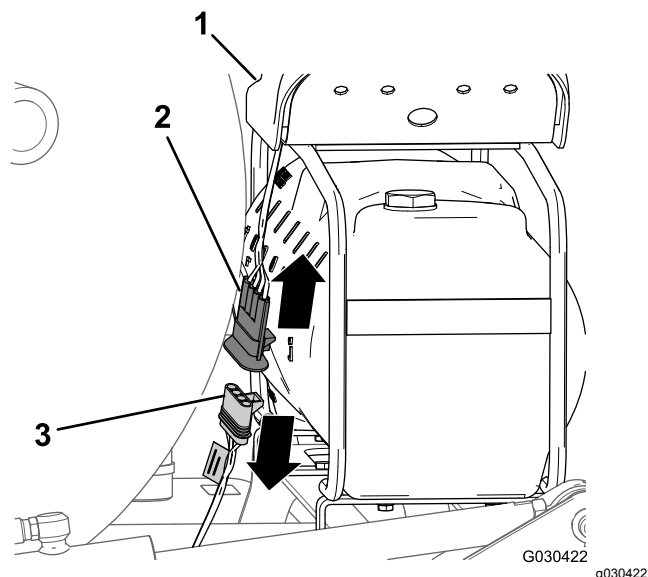


図 11

1. コンプレッサ
 2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
 3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス
2. 車両用の後ワイヤハーネスの4ソケットコネクタから、コンプレッサ用の4ピンコネクタを外す [図 11](#)。

薬剤プレミックスキットのコントロールバルブの接続を外す

1. 車両後部で、車両の後後メインハーネスの 3 ソケットピンコネクタEDUCTORというラベルが付いているを外す [図 12](#)。

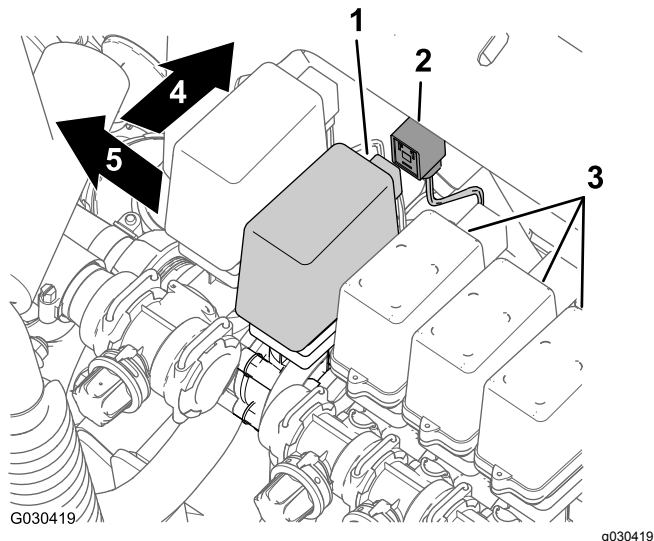


図 12

1. 3ソケットコネクタエダクタ
2. エダクタバルブ
3. 個別ブームバルブ
4. 機体正面用バルブ
5. 左

- エダクタ用バルブの3枚刃コネクタから、メインハーネスのエダクタ用のコネクタを外す 図 12。

すすぎキットのポンプを取り外す

- 機体後部で、すすぎ用ポンプのカバーを両側から押し、カバーについているタブがサドルプレートのスロットをかわすまでカバーを上を持ち上げて、カバーを取り外す 図 13。

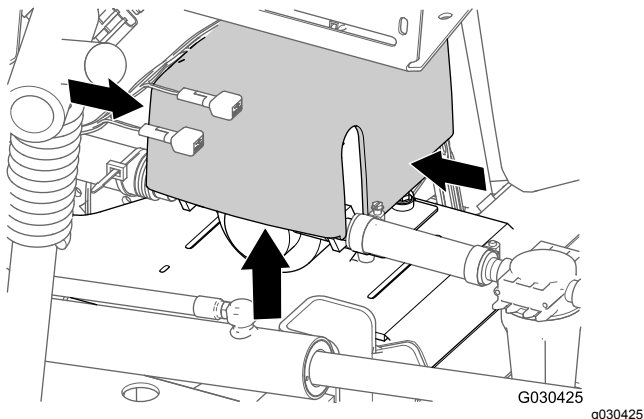


図 13

- 後メインハーネスの6ソケットコネクタから、すすぎポンプハーネスの6ピンコネクタを外す 図 14。

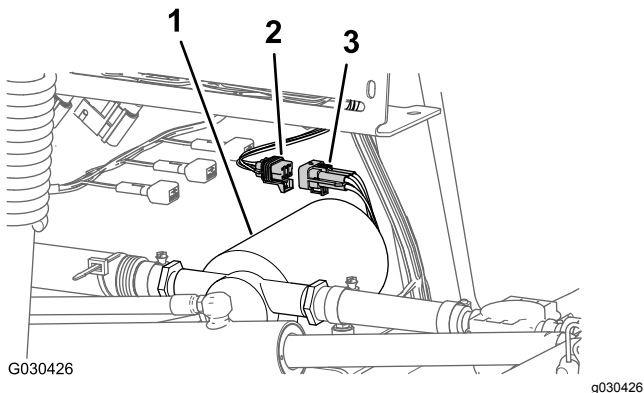


図 14

- すすぎポンプ
- 6ソケットコネクタ後メインハーネス
- 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

4

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す

この作業に必要なパーツ

2	スイッチのプラグ 電動ホースリールキット Toro P/N 99-7420
1	スイッチのプラグ 収納式ホースリールキット Toro P/N 99-7420

水圧コントロールとON/OFF スイッチを外す

- 電動ホースリールのコントロールボックスで、カバーをコントロールボックスに固定しているねじ4本を完全にゆるめて、注意深くカバーを取り外す 図 15。

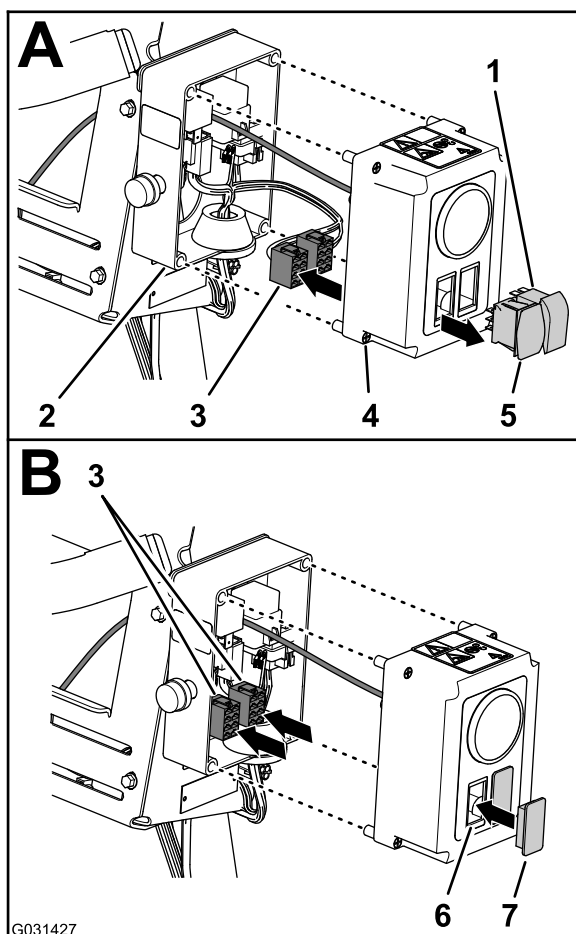


図 15

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. On/Off スイッチ | 5. 水圧制御スイッチ |
| 2. コントロールボックス | 6. 開口部コントロールボックスのカバー |
| 3. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス | 7. スイッチのプラグ |
| 4. カバーのねじコントロールボックス | |

2. 以下の手順で、コントロールボックスからスイッチを取り外す

• 電動ホースリールキット

- A. 圧力制御スイッチとOn-Off スイッチから、コントロールボックス用の8ソケットコネクタ2個を外す 図 15。
- B. これら2つの8ソケットコネクタを、コントロールボックス内部に引き込む 図 15。
- C. 2つのスイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスのカバーの外に押し出す 図 15。

注 外したスイッチは不要ですの廃棄して構いません。

• ハンドプレースティックキット

- A. 圧力制御スイッチから、コントロールボックスのハーネスの8ソケットコネクタを外す 図 16。

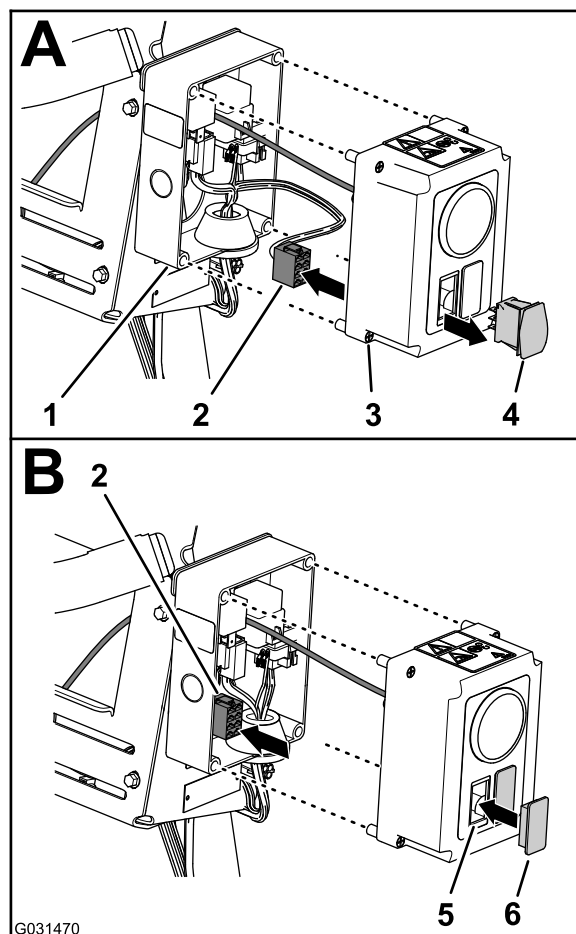


図 16

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. コントロールボックス | 4. 水圧制御スイッチ |
| 2. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス | 5. 開口部コントロールボックスのカバー |
| 3. カバーのねじコントロールボックス | 6. スイッチのプラグ |

- B. 8ソケットコネクタをコントロールボックス内部に引き込む 図 16。

- C. スイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスのカバーの外に押し出す 図 16。

注 このスイッチは、もう使用しません。

3. スイッチを外したところコントロールボックスの開口に、スイッチプラグを合わせる 図 15と図 16。
4. カバーにスイッチプラグをはめ込み、プラグがカバーにパチンと音を立ててはまるまで押し込む 図 15と図 16。
5. カバーをコントロールボックスに取り付けてカバー用ねじ4本で固定する 図 15。

ホースとチューブを取り外す

1. ホースリール用の圧力制御バルブの右側にある 90° エルボのところに、チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、ホースリール用

の水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す
図 17。

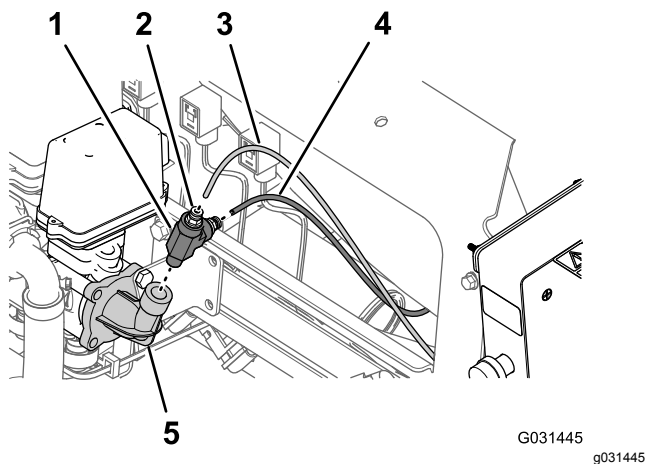


図 17

図は電動ホースリールキットハndsプレスティックもほぼ同じ

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. T 字フィッティング | 4. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用 |
| 2. ロッキングカラーチューブカップラ | 5. 90° エルボ水圧制御バルブ |
| 3. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用 | |

- チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、車両のダッシュボードにある水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 17。
- 90° エルボ水圧制御バルブからT字フィッティングを外す 図 17。

注 T字フィッティングは **ホースと検知チューブを取り付ける (ページ 81)** で使用するので廃棄しないでください。

- ホースリール用の給水ホースを水圧制御バルブのバーブ付きフィッティングに固定しているホースクランプを外す 図 18。

注 ホースクランプは **ホースとフィッティングの組み付けを行う (ページ 80)** で使用します。

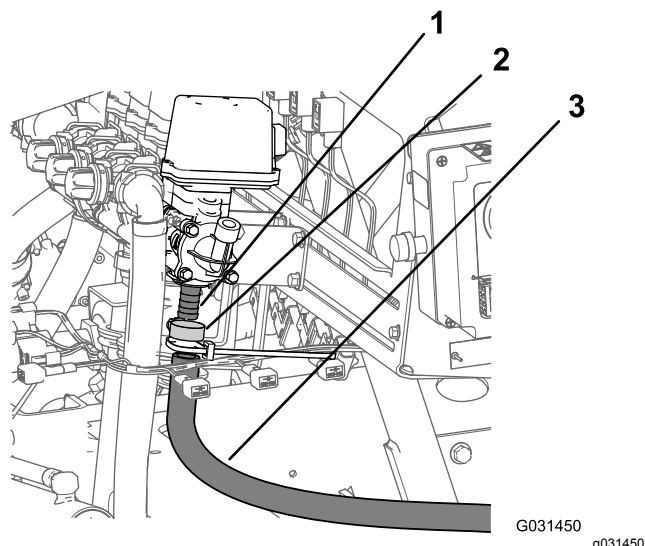


図 18

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. バーブ付きフィッティング水圧制御バルブ | 3. インレットホース電動ホースリール |
| 2. ホースクランプ | |
- ホースリールのバルブから給水ホースを外す 図 18。

マニホルドマウントからコントロールボックスを外す

- コントロールボックスの取り付けプレートをスプレーヤのバルブ用のマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{5}{8}$ " 3本と鋸歯付きフランジナット $\frac{1}{4}$ " 3個を取り外す 図 19。

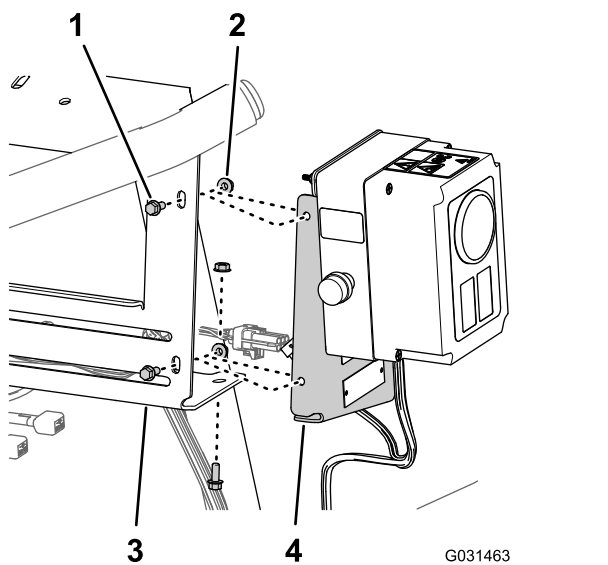


図 19

図は電動ホースリールキットhandsprayerスティックもほぼ同じ

1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{5}{8}$ "
2. 鋸歯付きフランジナット $\frac{1}{4}$ "
3. マニホールドマウントスプレーヤのバルブ
4. 取り付けプレートコントロールボックス

2. マニホールドマウントから取り付けプレートを外す [図 19](#)。
3. 車両からコントロールボックスを外して脇に置く。

注 取り外したものは **マニホールドマウントにコントロールボックスを取り付ける (ページ 79)** で再取り付けするので廃棄しないでください。

5

収納式ホースリールキットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

1	スイッチのプラグ収納式ホースリールキットToro P/N 99-7420
---	--------------------------------------

水圧制御スイッチを外す

1. コントロールボックスをリール取り付けプレートに固定しているボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ " 2本とロックナット $\frac{5}{16}$ " 2個を取り外す [図 20](#)。

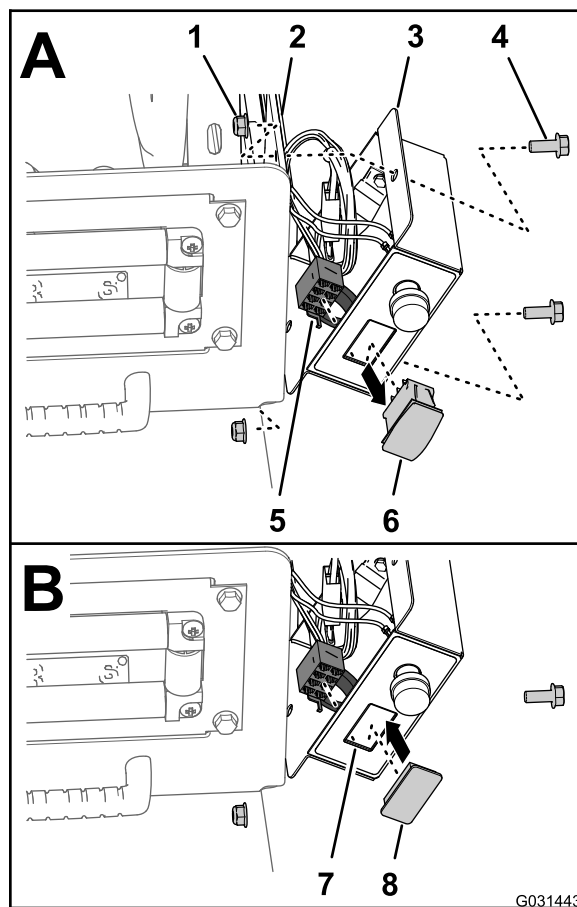


図 20

1. ロックナット $\frac{5}{16}$ "
2. リール取り付けプレート
3. コントロールボックス
4. ボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ "
5. 8ソケットコネクタコントロールボックスのハーネス
6. 水圧制御スイッチ
7. 開口部コントロールボックスのカバー
8. スwitchのプラグ

2. 水圧制御スイッチから、コントロールボックス用の8ソケットコネクタを外す [図 20](#)。
3. 8ソケットコネクタをコントロールボックス内部に引き込む [図 20](#)。
4. 水圧制御スイッチのロックタブをつまんで、スイッチをコントロールボックスの外に押し出す [図 20](#)。

注 このスイッチは、もう使用しません。

5. スwitchを外したところコントロールボックス開口に、スイッチプラグを合わせる [図 20](#)。
6. コントロールボックス内部にスイッチプラグを入れ、プラグがカバーにパチンと音を立ててはまるまで押し込む [図 20](#)。
7. コントロールボックスをリール取り付けプレート [図 20](#)に固定するボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ " 2本と、ロックナット $\frac{5}{16}$ " 2個を使用。
8. ボルトとナットを $1978.2542 \text{ N} \cdot \text{cm}$ $2.02.6 \text{ kg} \cdot \text{m}$ $= 175.225 \text{ in} \cdot \text{lb}$ にトルク締める。

ホースとチューブを取り外す

1. 水圧制御バルブの右端で、インレットホースを制御バルブのバーブ付きフィッティングに固定しているホースクランプを外してフィッティングからホースを取り外す 図 21。

注 クランプは **ホースと検知チューブを取り付ける (ページ 81)** で使用します。

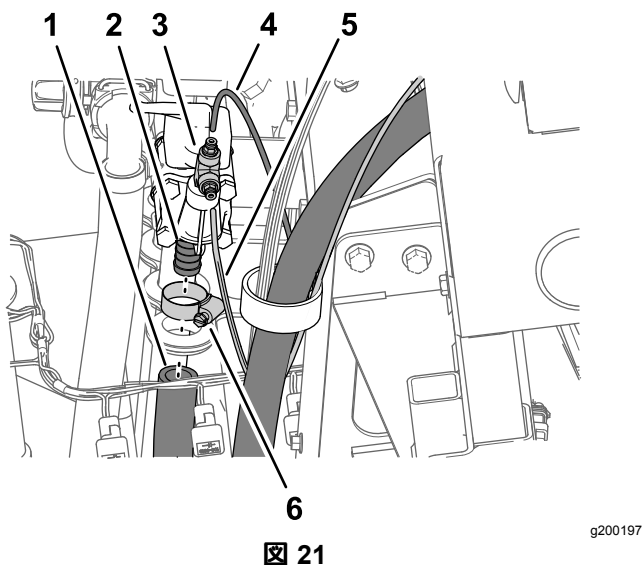


図 21

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. インレットホース収納式ホースリール | 4. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用 |
| 2. バーブ付きフィッティング水圧制御バルブ | 5. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用 |
| 3. チューブカップラT字フィッティング | 6. ホースクランプ |

2. チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、車両のダッシュボードにある水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 21。
3. チューブカップラ用のロッキングカラーを押し入れて、ホースリール用の水圧ゲージ用の水圧検知チューブを取り外す 図 21。
4. 水圧制御バルブの 90° エルボからT字フィッティングとチューブカップラを取り外す 図 21。

注 T字フィッティングとチューブカップラは **ホースと検知チューブを取り付ける (ページ 81)** で使用します。

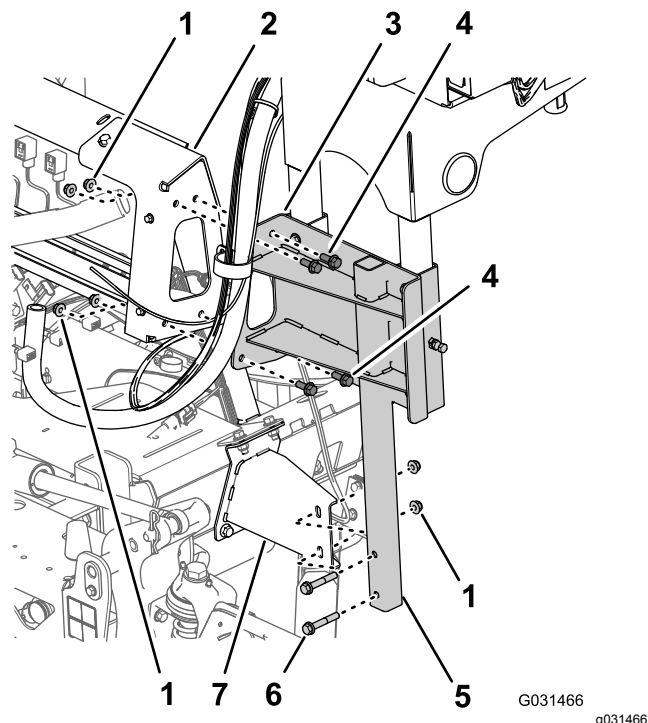


図 22

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. フランジロックナット3/8" | 5. 下側チューブフレーム収納式ホースリール |
| 2. マニホルドマウントスプレーヤのバルブ | 6. フランジヘッドボルト 3/8 x 2 1/4" |
| 3. サポートチャネル収納式ホースリール | 7. 取り付けブラケット車両の右側フレームチャネル |
| 4. フランジヘッドボルト3/8 x 1/1" | |

3. 収納式ホースリールのサポートチャネルをスプレーヤバルブ用のマニホルドマウントに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 3" 4本とフランジナット1 1/2"4個を取り外す 図 22。
4. 収納式ホースリールを車両から外して脇に置く。

注 取り外したものは **マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)** で再取り付けするので廃棄しないでください。

マニホルドマウントから収納式ホースリールを外す

吊り上げ装置に必要な能力: 57kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、ホースリールを支える。
2. 車両の右側フレームチャネル部で収納式ホースリールの下部チューブフレームを取り付けブラケットに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 2-1/2"2本とフランジロックナット3/2"4個とを外す 図 22。

6

フォームマーカークットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

2	チューブアセンブリToro P/N 114-9553
8	ケーブルタイ

機体から液体チューブと空気チューブを取り外す

1. フォームマーカークット用のコンプレッサの接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 23。

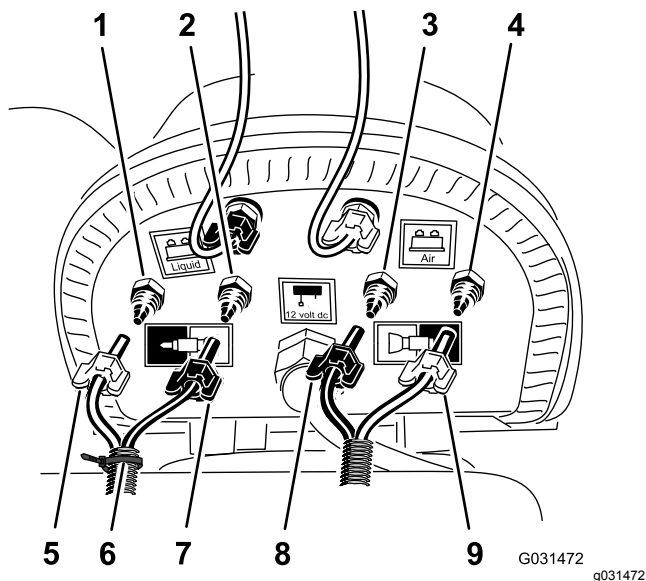


図 23

1. コンプレッションフィッティングー水 右ブームー青チューブ
2. コンプレッションフィッティングー空気右ブームー透明チューブ
3. コンプレッションフィッティングー水左ブームー青チューブ
4. コンプレッションフィッティングー空気左ブームー透明チューブ
5. コンプレッションナットー空気右ブームー青チューブ
6. ケーブルタイ
7. コンプレッションナットー水 右ブームー透明チューブ
8. コンプレッションナットー左ブームー青チューブ
9. コンプレッションナットー左ブームー透明チューブ

2. 左および右ブーム部で、泡ノズル用の透明チューブ2本と青色チューブ2本のコンプレッションナットをゆるめる 図 23。

3. 左右のブーム用のコンプレッションフィッティングからチューブ4本を外す 図 23。
4. 左ブーム用の泡液剤チューブと空気チューブ、および右ブーム用の液剤チューブと空気チューブを区別できるようにテープなどでマーキングする。
5. 左右のブームで、泡ノズルからチューブを外し、ブームの支点近くにある R クランプから抜き出す 図 24。

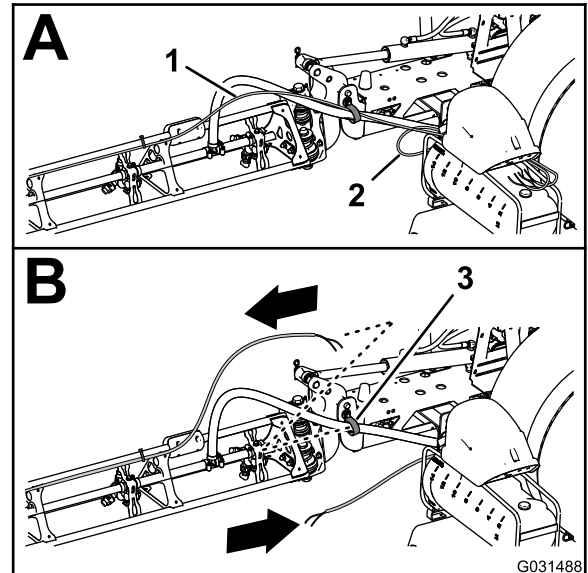


図 24

1. チューブフォームマーカークットのノズル用右ブーム
2. チューブフォームマーカークットのノズル用左ブーム
3. R クランプ

6. センターブーム延長キットが装着されているマシンでは、外したチューブの端部をセンターブームに仮止めし、フォームマーカークットのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う (ページ 16) と新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 17)のための作業は飛ばす。

フォームマーカークットのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う

センターブーム延長キットを搭載していない車両

1. フォームマーカークットの透明チューブと青色チューブをブームに固定しているケーブルタイを外す 図 25。

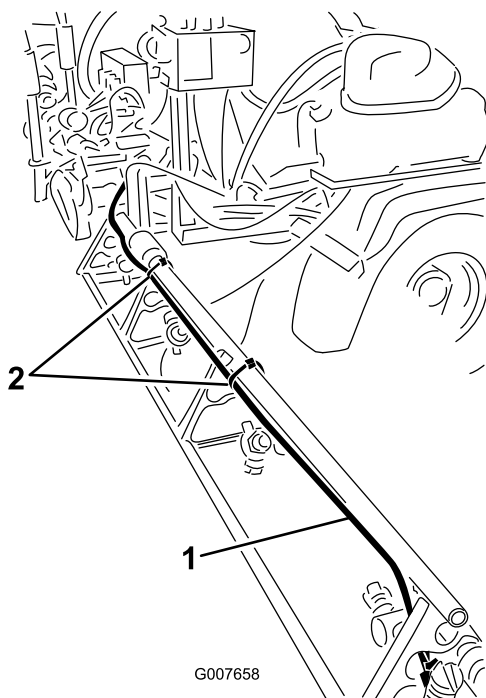


図 25

1. 泡液チューブと空気チューブ図は右ブーム
2. ケーブルタイ

2. フォームマーカのノズル部で、ノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブ水を固定している圧縮ナットをゆるめる 図 26。

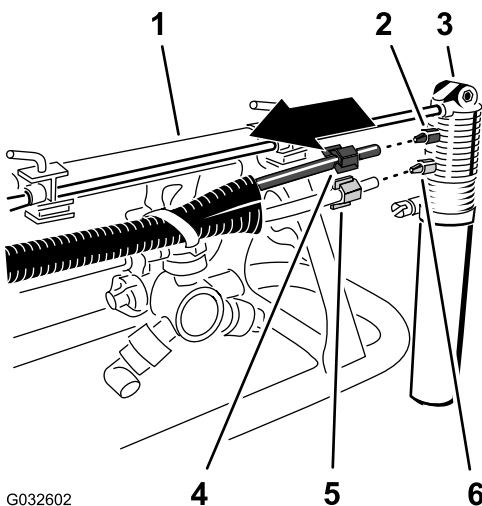


図 26

1. 左右ブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

3. フォームマーカのノズルの白色コンプレッションフィッティングに透明チューブ空気を固定しているコンプレッションナットをゆるめる 図 26。
4. 機体から原液チューブと空気チューブを取り外す。

5. チューブの両端にある圧縮ナットを取り外す 図 26。

注 外した圧縮ナットは、ステップ 1 新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 17) で使用します。

6. 古い原液チューブと空気チューブ 図 27 を新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553 に合わせて並べる。

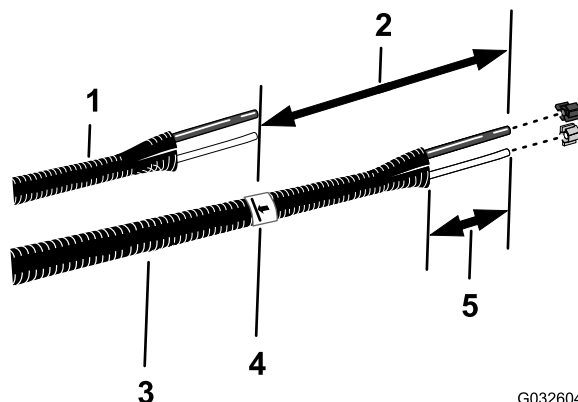


図 27

1. 古い原液チューブと空気チューブ
2. 26 cm
3. 新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553
4. テープとマーク
5. 77-102 mm

7. 古い原液チューブと空気チューブに合わせて新しいチューブアセンブリにテープで印をつける。
8. ステップ 7 で新しいチューブアセンブリに付けたマークから 26cm の所にマーキングを施し、この位置長さを増やした方のマークでチューブアセンブリを切断する 図 27。
9. 古い原液チューブと空気チューブにケーブルタイでマーキングが施されている場合には、新しいチューブアセンブリにも同じようにマーキングするが、マーキングされていない場合には、ステップ 10 へ進む。

注 古い原液チューブと空気チューブは、これで不要になりました。

10. チューブアセンブリの各チューブの端部から、外被覆を 77-102 mm はぎ取る 図 27。
11. 機体の反対側のチューブについても 1 から 10 の作業を行う。

新しいチューブアセンブリを取りつける センターブーム延長キットを搭載していない車両

1. 青色チューブに青色圧縮ナットを取り付け、透明チューブに白色圧縮ナットを取り付ける (図 28)。

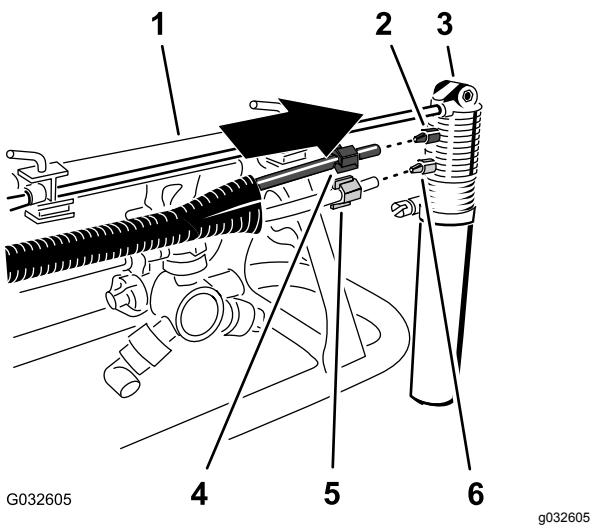


図 28

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 左右ブーム | 4. 圧縮ナット青水用青色チューブ |
| 2. 圧縮フィッティング青 | 5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ |
| 3. フォームマーカーのノズル | 6. 圧縮フィッティング白 |

2. フォームマーカーのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブの白色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする 図 28。
3. フォームマーカーのノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブの青色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする 図 28。
4. 図 29に示すように、ブームの上側サポートポールの後ろ側に沿ってチューブアセンブリを配設する。

重要間違えてブームの上側サポートポールの前側に沿ってチューブアセンブリを配設してしまうと、ブームを折りたたんだ時にブームとクレードルとの間にチューブが挟まれてしまいます。

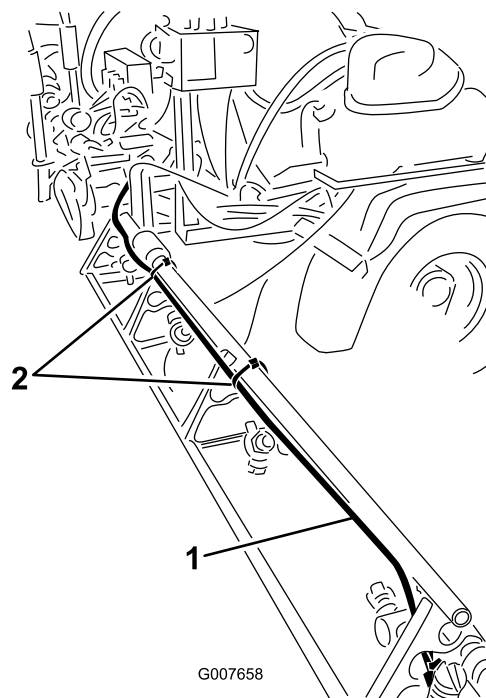


図 29

1. チューブアセンブリ図は右
2. ケーブルタイ

5. 図 30に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをノズルサポートの穴に固定する。

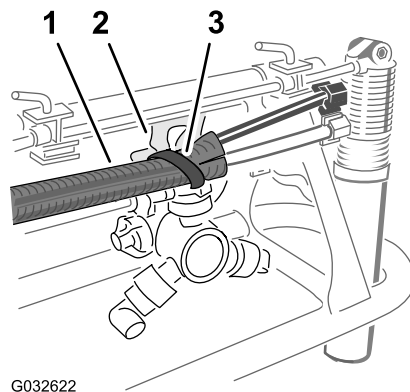


図 30

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. チューブアセンブリ | 3. ケーブルタイ |
| 2. ノズルサポート | |

6. 図 29に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをブームに固定する。
7. チューブアセンブリの自由端を、ブームに仮止める。
8. マシンの反対側でも、ステップ 16 の作業を行う。

7

ウルトラソニックブームキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

昇降シリンダのマニホルドからワイヤハーネスを外す

オプションのウルトラソニックブームキット

1. 昇降シリンダマニホルドの右側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを外す [図 31](#)。

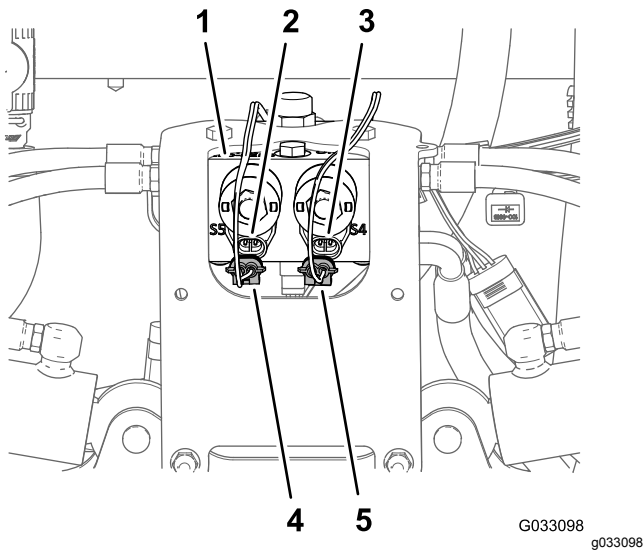


図 31

1. 昇降シリンダのマニホルド
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左シリンダ動作
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右シリンダ動作
4. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左シリンダ動作
5. 2ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右シリンダ動作

2. 昇降シリンダマニホルドの左側シリンダ動作ソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの2ピンコネクタを外す [図 31](#)。
3. 昇降シリンダのマニホルドのソレノイドの2ピンコネクタから、ソニックブーム仕上りキットのワイヤハーネスの2ソケットコネクタを外す [図 32](#)。

重要ソニックブームのワイヤハーネスは機体から外さないでください。

- 左ブーム上昇

- 右ブーム上昇
- 左ブーム下降
- 右ブーム下降

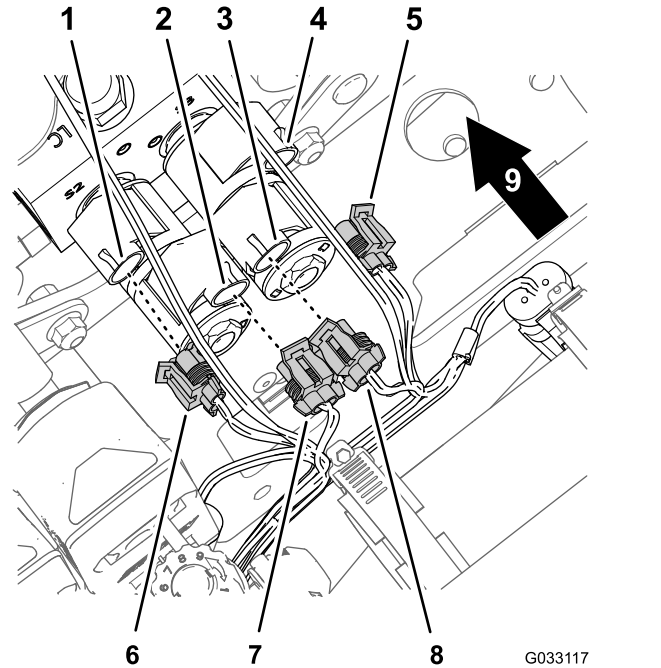


図 32

1. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム下降
2. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド左ブーム上昇
3. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム上昇
4. 2ピンコネクタ昇降シリンダのマニホルド右ブーム下降
5. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上りキットのワイヤハーネス右ブーム下降
6. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上りキットのワイヤハーネス左ブーム下降
7. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上りキットのワイヤハーネス左ブーム上昇
8. 2ソケットコネクタソニックブーム仕上りキットのワイヤハーネス右ブーム上昇
9. 機体背面

ワイヤハーネスからウルトラソニックセンサーのケーブルを外す。

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを外す [図 33](#)。

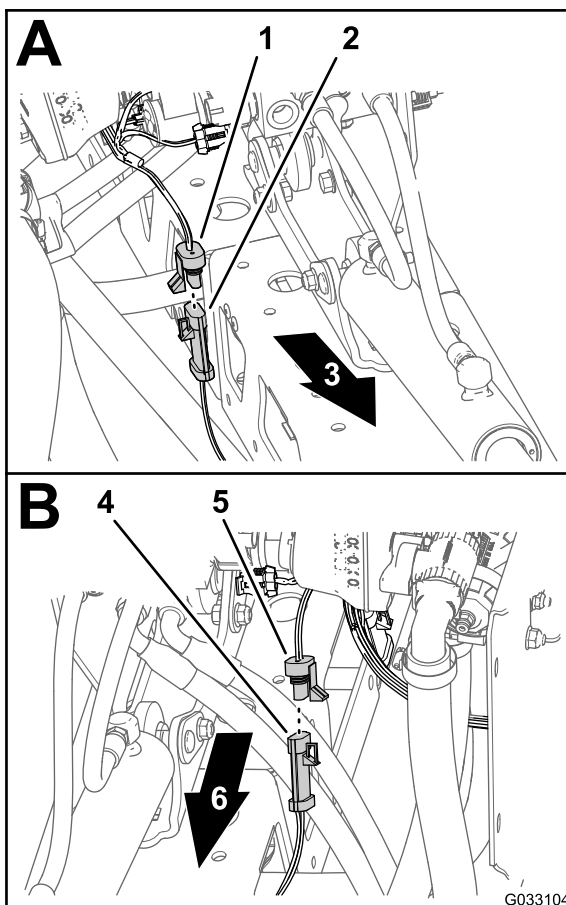


図 33

g033104

- | | |
|--|--|
| 1. 3ソケットコネクタソニック
ブームのワイヤハーネス右
センサー | 4. 3ピンコネクタ左側ウルトラ
ソニックセンサー: ケーブル |
| 2. 3ピンコネクタ右側ウルトラ
ソニックセンサー: ケーブル | 5. 3ソケットコネクタソニック
ブームのワイヤハーネス左
センサー |
| 3. 車両の右側 | 6. 機体の左側 |

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタから、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを外す 図 33。
3. ウルトラソニックセンサー用のケーブルを、左右それぞれのブームに固定する。

注 ソニックブームのワイヤハーネスは機体から外さないでください。

8

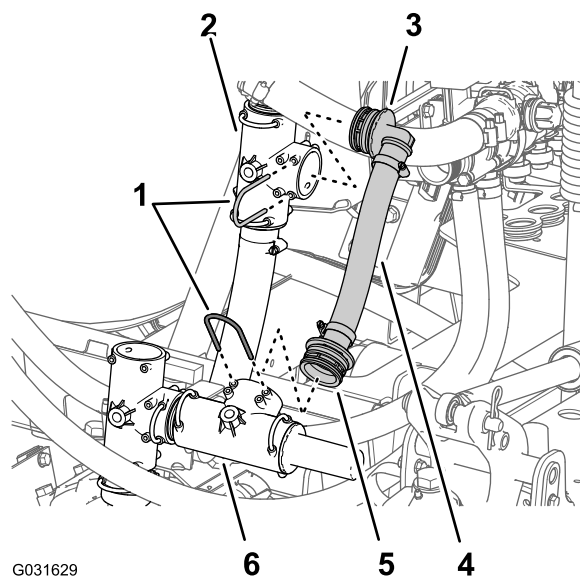
薬剤プレミックスキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 圧力解放ホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤの水圧解放バルブに固定しているリテーナを取り外す 図 34。

注 外したリテーナは、ステップ 2 圧力解放ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96) で使用します。



G031629

g031629

図 34

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. リテーナ | 4. 圧力解放ホース |
| 2. T字フィッティング 給液回路液剤ポンプ | 5. バーブ付きストレートフィッティング |
| 3. 90°鋸歯フィッティング | 6. 圧力解放バルブ |

2. 圧力解放ホースのバーブ付き 90° フィッティングを液剤ポンプの給液回路のT字フィッティングに固定しているリテーナを取り外す 図 34。

注 外したリテーナは、ステップ 4 圧力解放ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96) で使用しますが、90° フィッティング、圧力解放ホース、ストレートフランジフィッティングは廃棄して構いません。

3. 機体から、圧力解放ホースとフィッティングを外す 図 34。

注 機体から外したホースとフィッティングは廃棄して構いません。

4. バイパスホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを取り外す 図 35。

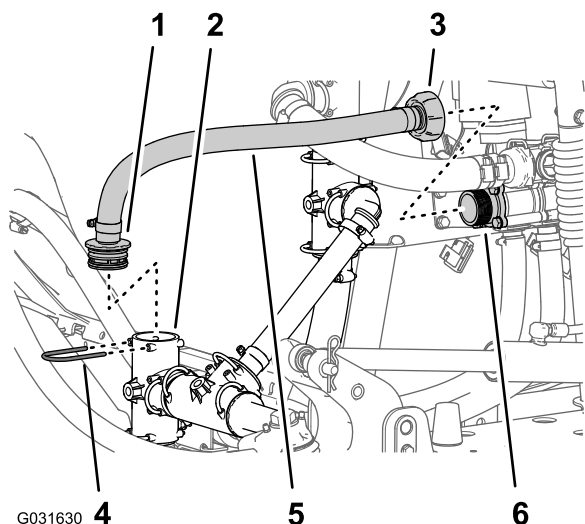


図 35

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. バーブ付きストレートフィッティング | 4. リテーナ |
| 2. T字フィッティング液剤ポンプ | 5. バイパスホース |
| 3. アダプタナット | 6. アダプタフィッティングバイパスバルブ |

5. バイパスホースの機体中央よりの端部をバイパスバルブのアダプタフィッティングに止めているアダプタナットをゆるめる 図 35。

6. 機体からホースを取り外す 図 35。

注 外したリテーナは、エダクタの給水ホースを接続する (ページ 97) で使用しますが、ホースとフィッティングは廃棄して構いません。

7. エダクタの給水ホースをエダクタ制御バルブのバーブ付きフィッティングに固定しているホースクランプを外す 図 36。

注 外したフランジロックナットは、ステップ 2 エダクタの給水ホースを接続する (ページ 97) でエダクタの給水ホースの取り付けに使用します。

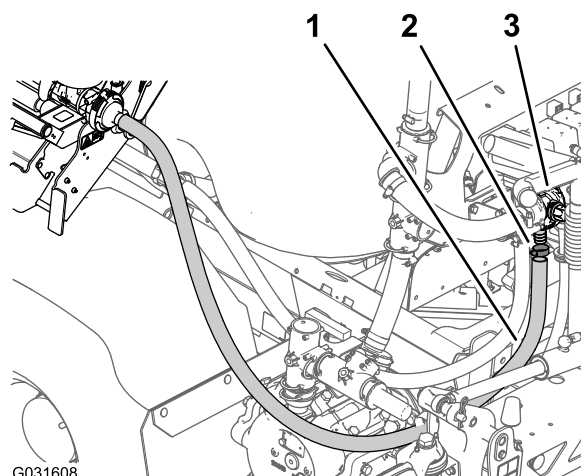


図 36

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. ホースエダクタの給水用 | 3. エダクタ制御バルブ |
| 2. ホースクランプ | |

8. エダクタ制御バルブからホースを外す 図 36。

注 エダクタのバーブ付きフィッティングからはホースエダクタ給水用を外さないでください。

9

EU適合キットオプションを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. すすぎタンクを空にする 5A と 5B 液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う (ページ 6) を参照。
2. すすぎタンクの固定ベルト2本を外すステップ 5C 液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う (ページ 6) を参照。
3. ボールバルブをボールバルブ用ブラケットに固定しているフランジヘッドボルト 5/16 x 5/8" を取り外す 図 37。

注 外したボルトはステップ 5 ボールバルブとブラケットを取り付ける (ページ 98) で使用します。

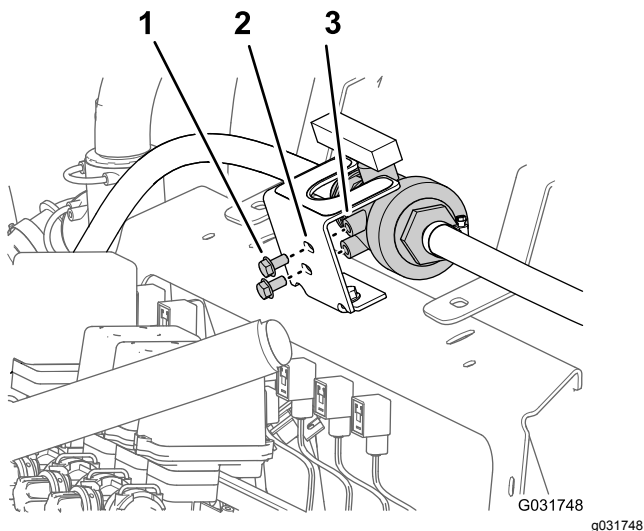


図 37

1. フランジヘッドボルト5/16 x 5/8"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. ねじ溝付きボールバルブ

4. ボールバルブ用の取り付けブラケットをマニホールドマウントに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 3/4" 2本、フランジロックナット3/8"2個を取り外し、ブラケットをマウントを分離する図 38。

注 外したボルトとナットはステップ 2 ボールバルブとブラケットを取り付ける (ページ 98) で使用します。

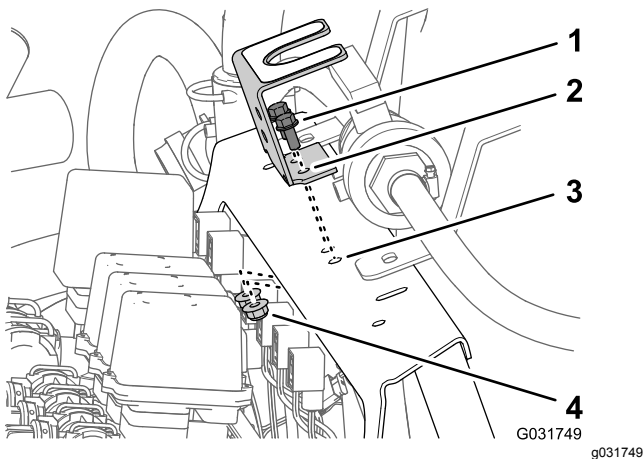


図 38

1. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. マニホールドマウント
4. フランジロックナット5/16"

10

カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. センターセクションカバー11ノズルを支えておいて、このカバーをカバーサポートブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1-1/4"4本とカバーストラップ2本を外す図 39。

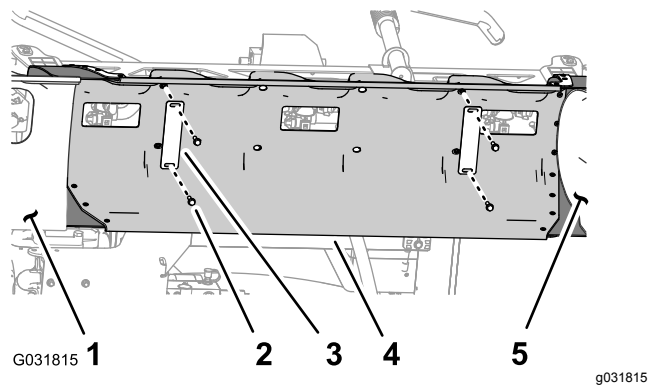


図 39

1. ブームカバー左
2. フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4"
3. カバーストラップ
4. 中央ブームのカバー
5. ブームカバー右

2. 機体から中央ブームのカバーを外す図 40。

注 外したカバーは38 オプションのブームカバーキットの取り付けを行う (ページ 99) で使用します。カバーストラップとフランジヘッドボルトは、ステップ 2と1 センターブーム用カバーを取り付ける (ページ 101) で使用します。

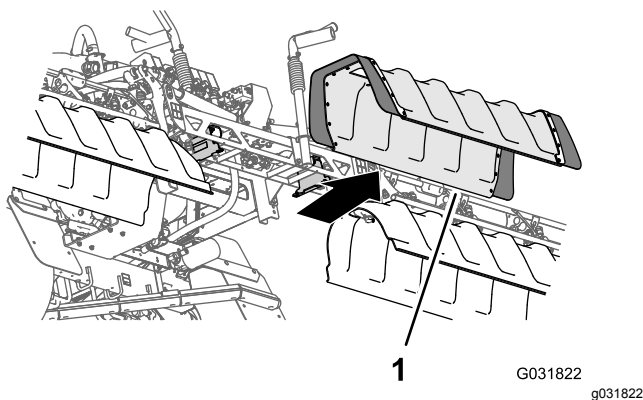


図 40

1. 中央ブームのカバー

3. 左側カバーサポートブラケットをセンターブームの左側サポートブラケットに固定しているフランジロックナット3/8"2個を外し、カバーサポートブラケットを取り外す 図 41。

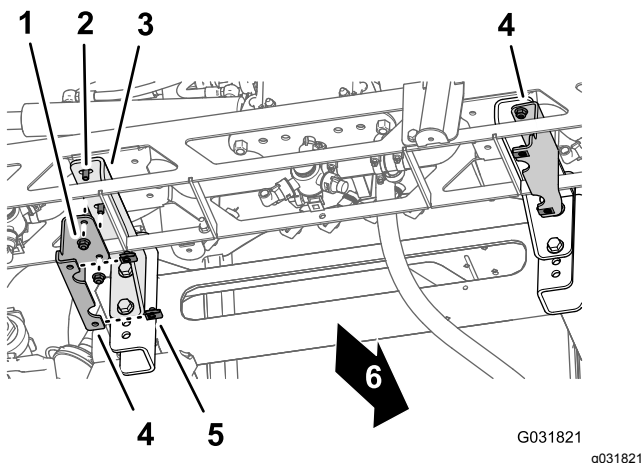


図 41

1. フランジロックナット3/8" 4. カバーサポートブラケット
2. フランジヘッドボルト3/8 x 1" 5. クリップナット
3. 左側サポートブラケット 6. 機体正面

4. センターブームの左側サポートブラケットのフランジヘッドボルト3/8 x 1"2本に、フランジロックナット3/8"を取り付けて 図 41、3745N・m3.74.6kg.m = 2733ft-lbにトルク締めする。
5. センターブームの右側にあるカバーサポートブラケットとサポートブラケットについてもステップ 34 の作業を行う 図 41。
6. 左右のカバーサポートブラケットから、クリップナットを取り外す 図 41。

注 外したクリップナットは、ステップ 1 センターブーム用カバーのサポートブラケットを取り付ける (ページ 100) で使用します。カバーサポートブラケットは2つとも廃棄して構いません。

11

ダッシュボードのゲージ用の水圧検知チューブを外すオプションのホースリールキットを搭載していない車両

必要なパーツはありません。

手順

注 オプション機器であるハndsプレーキット、電動ホースリールキット、収納式ホールリールキットが搭載されている場合は、4 オプションのハndsプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す (ページ 11) または 5 収納式ホースリールキットオプションの接続を外す (ページ 14) を参照。

1. 右側ブーム用バルブの右側にある圧力ポートのチューブカップラにあるカラーを押し込む 図 42。

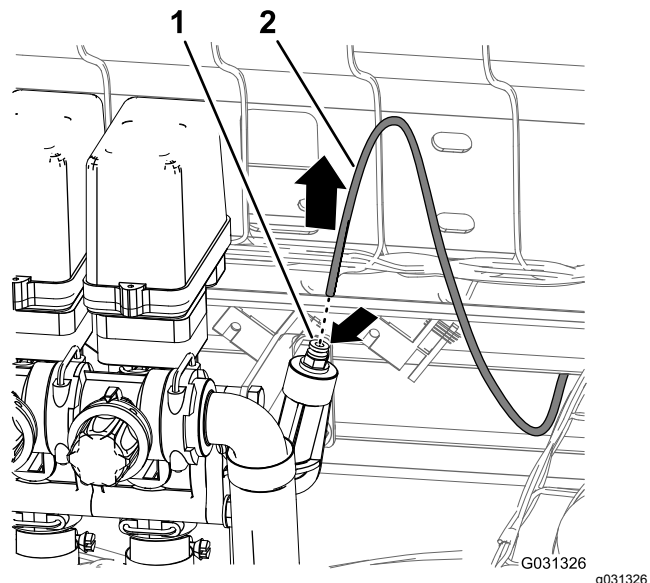


図 42

1. ロッキングカラーチューブ 2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す 図 42。

12

キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

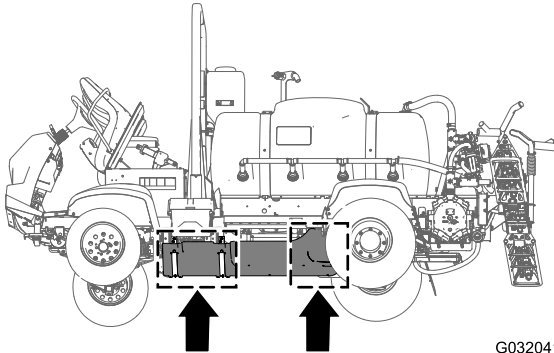


図 43

G032041

g032041

1. キャリッジ下シュラウドをシャーシに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 7/8" 7本とワッシャ5/16"7枚を取り外す 図 44。

注 外したフランジヘッドボルトとワッシャは、ステップ 533 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り付ける (ページ 77) で使用します。

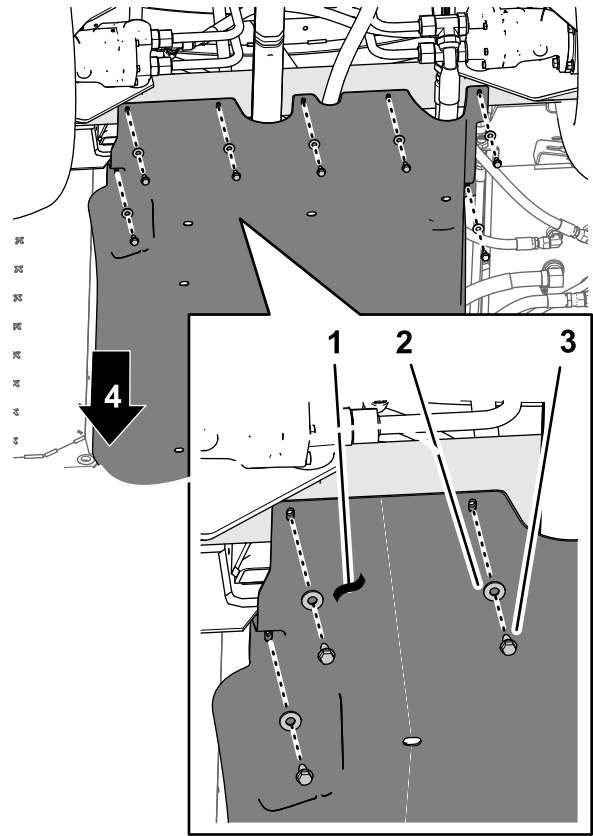


図 44

g208653

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. キャリッジ下シュラウド | 3. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8" |
| 2. ワッシャ5/16" | 4. 車体前方 |

2. キャリッジ下シュラウドのサポートストラップをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトおよびキャリッジボルトのフランジロックナット5/16"4個を取り外す 図 45。

注 ボルトは機体から外さないでください。外したフランジロックナットは、ステップ 333 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り付ける (ページ 77) で使用します。

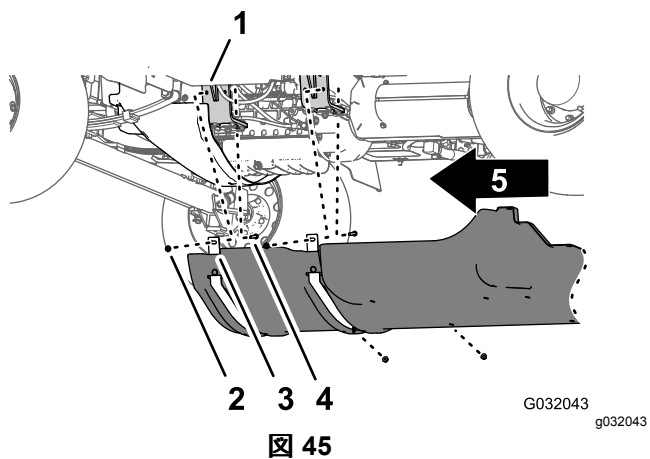


図 45

1. エンジンマウント
 2. ボルト外さないこと。
 3. サポートストラップキャリア
ジ下シュラウド
 4. フランジロックナット5/16"
 5. 機体前方
-
3. キャリッジ下シュラウドをエンジン搭載ブラケットに固定しているボルトに沿ってサポートストラップを持ち上げる。
 4. キャリッジ下シュラウドを機体から取り外す 図 44 と 図 45。

13

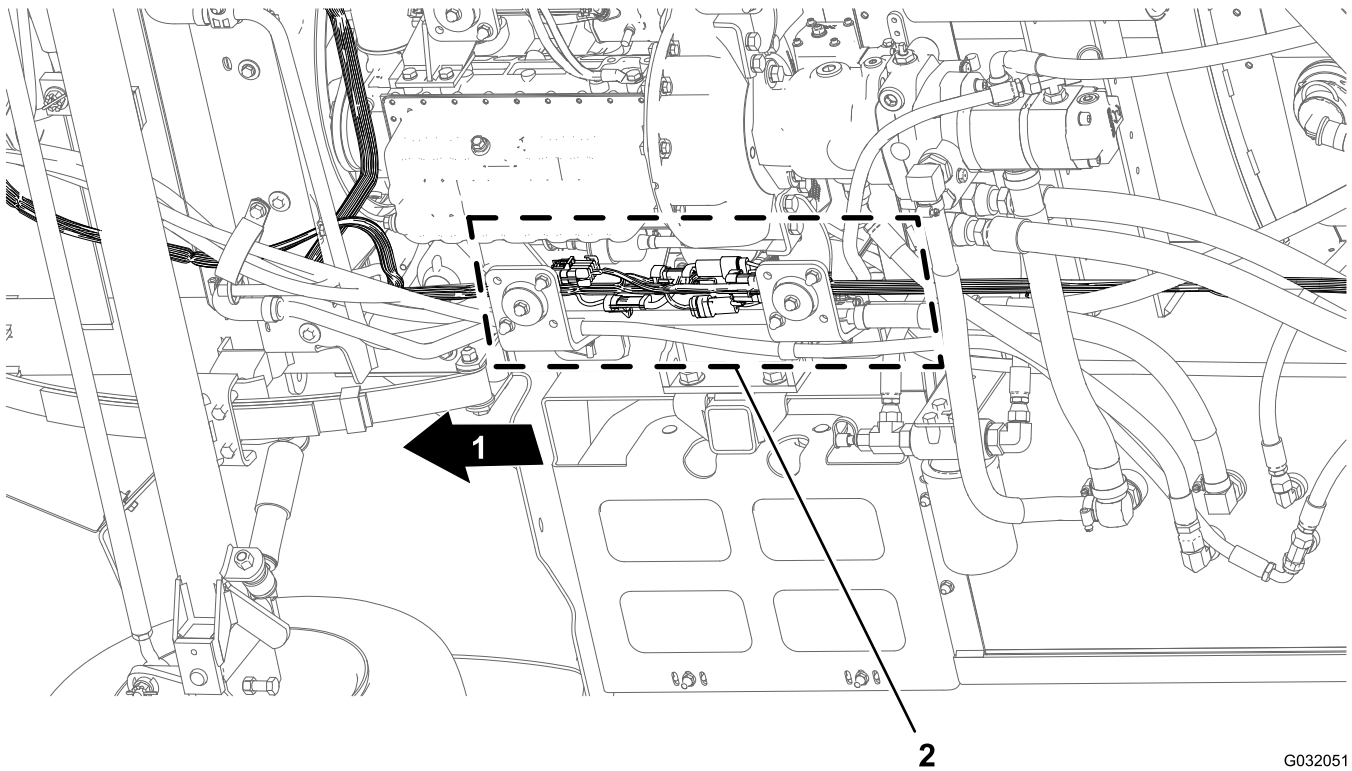
後ワイヤハーネスを機体から外す

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
---	-----------

前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す

注 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す時は、ホイストで機体を持ち上げてください。



G032051
g032051

図 46

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す 図 46。
2. 図 47 図 51 に示すように、前後のワイヤハーネスを接続している5組のコネクタの接続を外す。

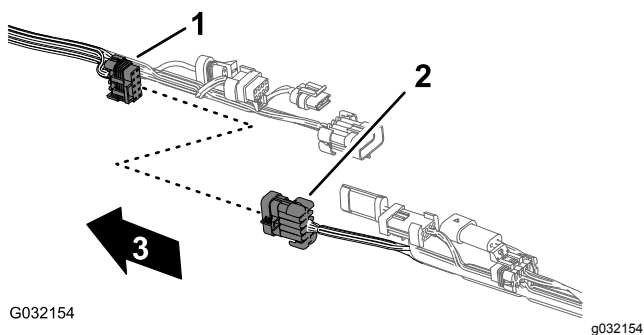


図 47

1. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

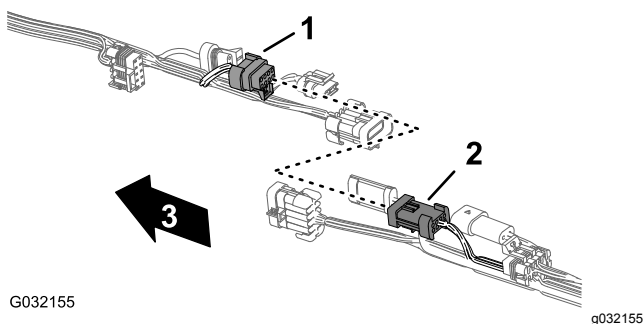


図 48

1. 8ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

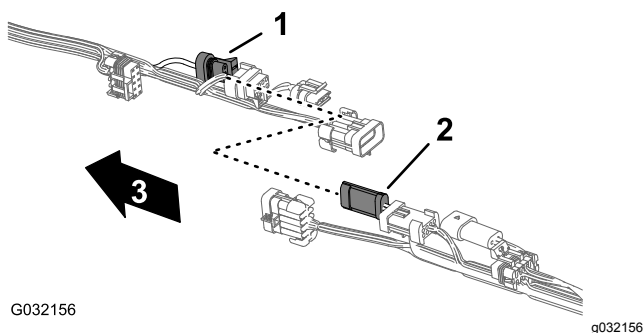


図 49

1. 3ソケットコネクタフローメータ前ハーネス
2. 3ピンコネクタフローメータ後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

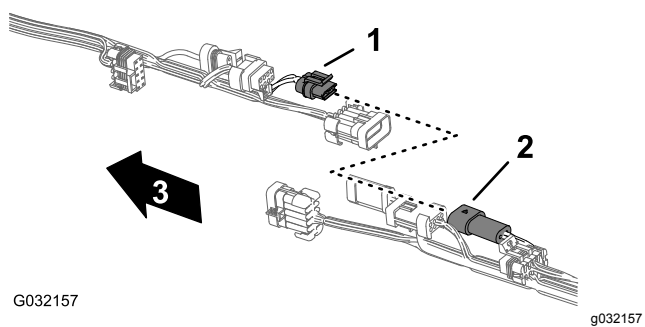


図 50

1. 2ソケットコネクタスポンプ前ハーネス
2. 2ピンコネクタスポンプ後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

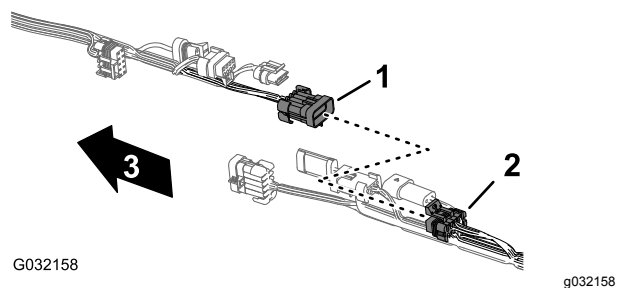


図 51

1. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方前ハーネス

3. 後ワイヤハーネスを機体の右側フレームチューブに固定しているプッシュファスナー3個を外す [図 52](#)。

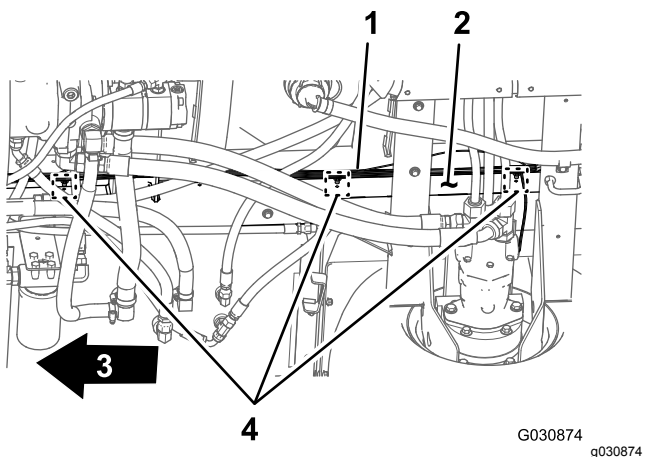


図 52

1. 後方ワイヤハーネス
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. 押し込みファスナー

4. 車両の後部ワイヤハーネスから、ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを抜き出す [図 53](#)。

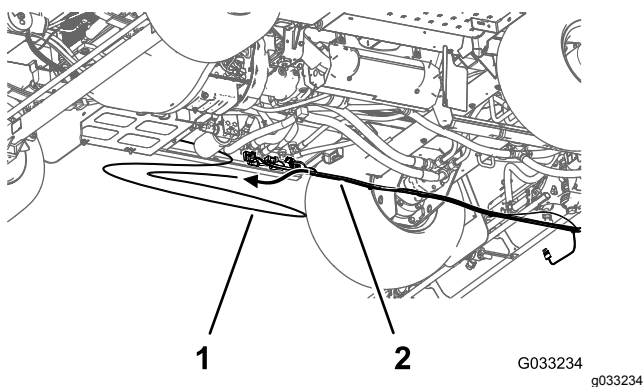


図 53

1. 水圧検知チューブダッシュ 2. 後方ワイヤハーネスボードの水圧計用

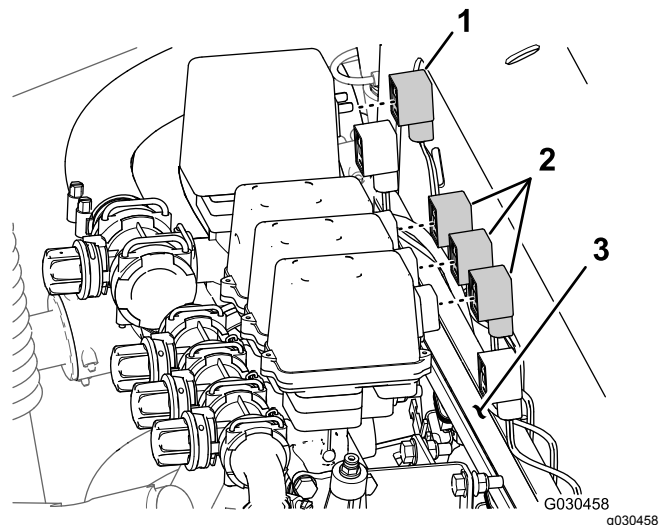


図 55

1. 3ソケットコネクタ攪拌バルブ 3. マニホルドマウント
2. 3ソケットコネクタブームバルブ

各機器のコネクタを外す

1. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、後メインハーネスの3ソケットコネクタから、速度センサーハーネス右側油圧走行モータにあるの3ピンコネクタを外す [図 54](#)。

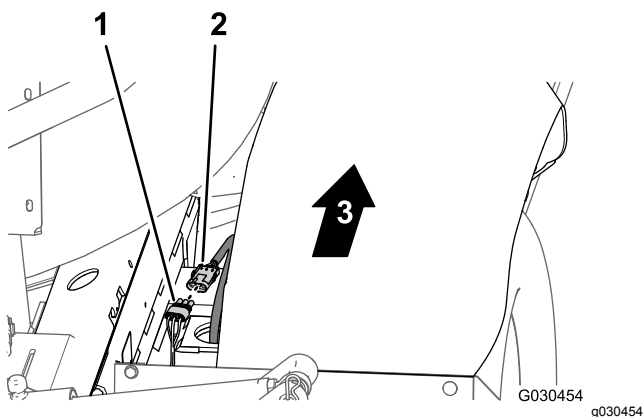


図 54

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス 3. 機体前方
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス

2. マニホルドマウント後部で、攪拌バルブから3ソケットコネクタを外し、ブームバルブ全部で3つから、それぞれ3ソケットコネクタを外す [図 55](#)。

3. 後ワイヤハーネスをマニホルドマウントの前側および下部プレートに固定しているお押し込み型ファスナーを外す [図 56](#)。

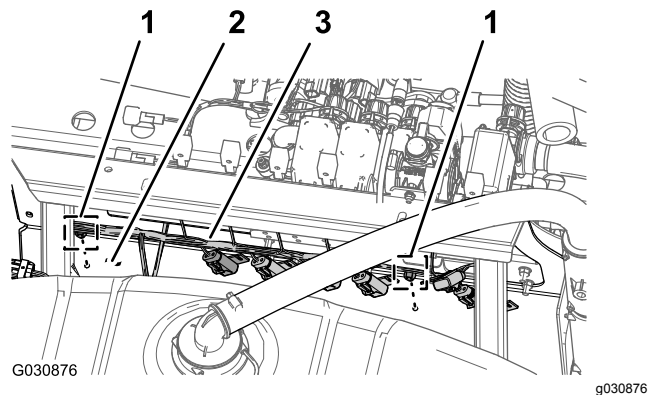


図 56

1. 押し込みファスナー 3. 後方ワイヤハーネス
2. マニホルドマウント前側

4. 機体後部で、昇降シリンダマニホルド用の2ソケットコネクタ [図 57](#)を、以下のように外す

注 ウルトラソニックブームキット搭載車両 昇降シリンダのマニホルドからワイヤハーネスを外す (ページ 19)を参照。

- ・ 右—上昇ソレノイド
- ・ 左—上昇ソレノイド
- ・ 作動許可ソレノイド
- ・ 右—下降ソレノイド
- ・ 左—下降ソレノイド

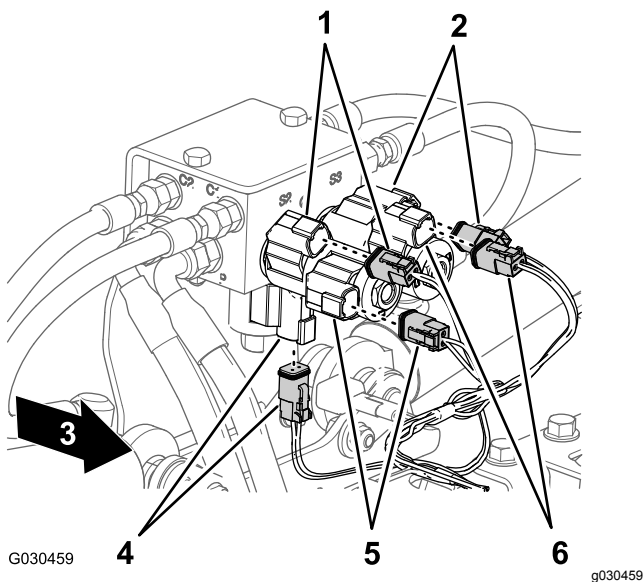


図 57

1. 右一上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
2. 左一上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
3. 機体前方
4. 作動許可 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
5. 右一下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
6. 左一下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)

5. 機体後部、スプレーヤポンプの車体中心線側で、ポンプ用リレーの2ピンコネクタから、メインハーネスの2ソケットコネクタを外す 図 58。

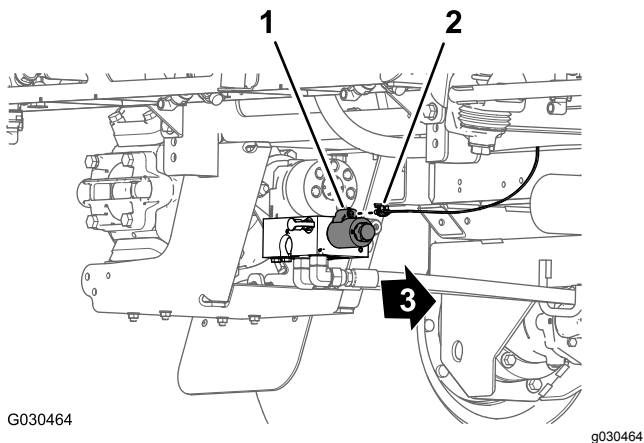


図 58

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 機体前方

6. 後ワイヤハーネスを後クロスチューブ油圧走行モータの後方に固定している押し込み型ファスナを外す。 図 59

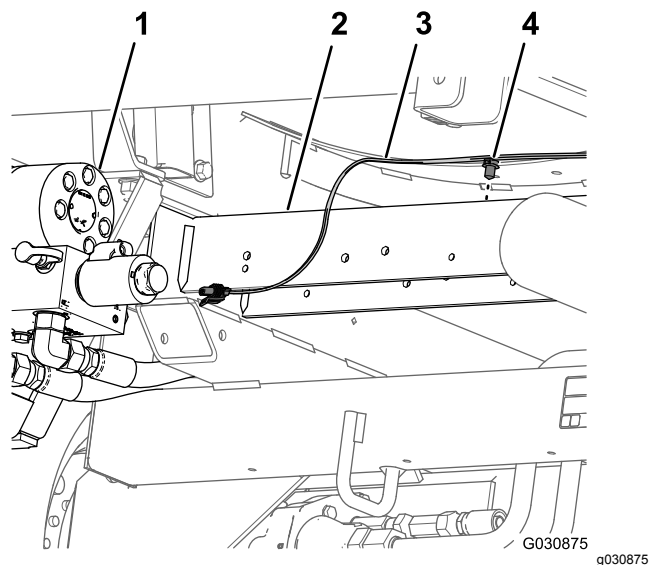


図 59

1. スプレーヤのポンプ
2. 後部のクロスチューブ
3. 後方ワイヤハーネス
4. 押し込みファスナー

7. 後ワイヤハーネスを機体から外す。

注 機体から外した後メインハーネスは廃棄して構いません。

14

散布レートスイッチを外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
1	スイッチのプラグ

手順

1. 機体のダッシュパネルの下で、散布レートスイッチをロックしているタブをつまんで、スイッチをダッシュパネルから押し出す 図 60。

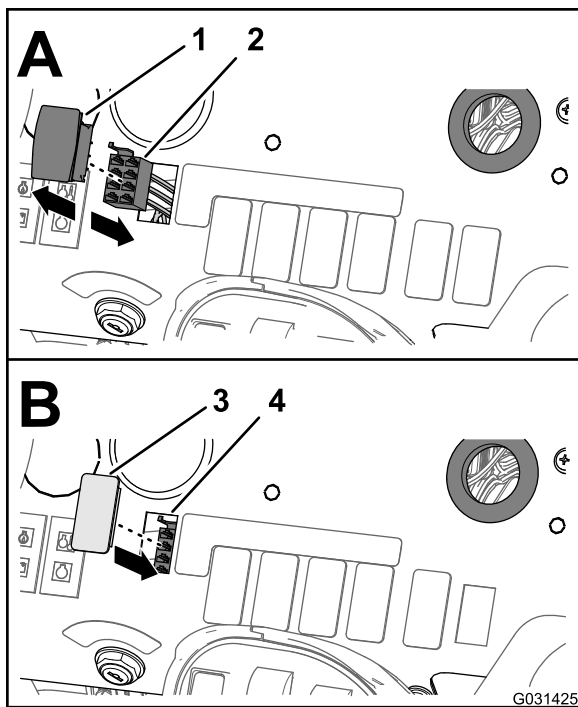


図 60

1. レート制御スイッチ
2. 8ソケットコネクタ前ハーネス
3. スwitchのプラグ
4. 穴ダッシュパネル

2. 機体の前ハーネスの8ソケットコネクタRATE SWITCHというラベルがついているを、スイッチの8ピンコネクタから外す 図 60。

注 機体から外したレートスイッチは、もう使用しません。

3. 前ハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、ダッシュボードの穴から出して、ケーブルタイで前ハーネスに縛り付ける。
4. ダッシュパネルの穴レートスイッチを外したところに、スイッチプラグを合わせる 図 60。
5. ダッシュパネルにスイッチプラグを押し込む。プラグがパチンと音を立ててはまるまで押し込む 図 60。

15

ブームバルブと攪拌バルブを取り外す

必要なパーツはありません。

ブームバルブとホースを取り外す

1. 散布ブームの前側で、ブームホースをセンターブーム用フレームに固定しているRクランプ、ショ

ルダボルト5/16"、ワッシャ5/16"、フランジロックナット5/16"を外す 図 61。

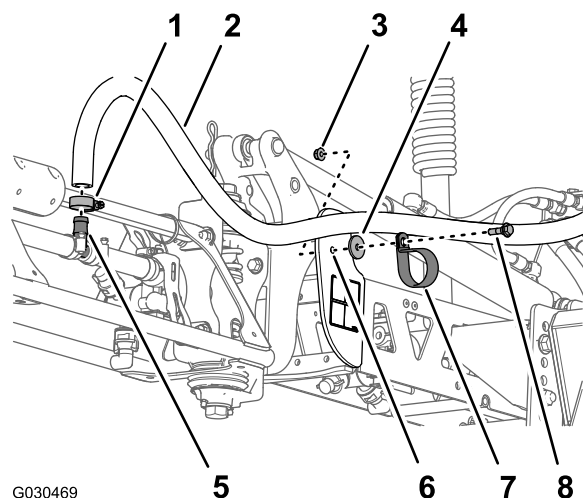


図 61

1. ホースクランプ
2. ブームホース
3. フランジロックナット5/16"
4. ワッシャ5/16"
5. バーブ付き字フィッティング
6. センターブームのフレーム
7. R クランプ
8. ショルダボルト5/16"

2. バーブ付き字フィッティングからホースクランプとブームホースを取り外す 図 61。
3. 車体の反対側でも、ステップ 12の作業ブームのクランプをホースを外すを行う。
4. 中央の散布ノズルの近くにあるバーブ付き字フィッティングから、ホースクランプとブームホースを取り外す 図 62。

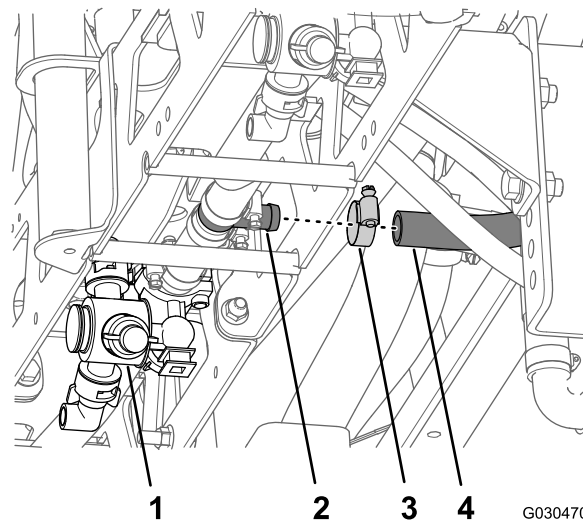


図 62

1. 中央の散布ノズル
2. バーブ付き字フィッティング
3. ホースクランプ
4. ブームホース

5. ブームバルブ3個の両側で取り付けブラケットをマニホールドマウントに固定しているフランジヘッド

ボルト5/16 x 1" 4本とフランジナット5/16" 4個を取り外す 図 63。

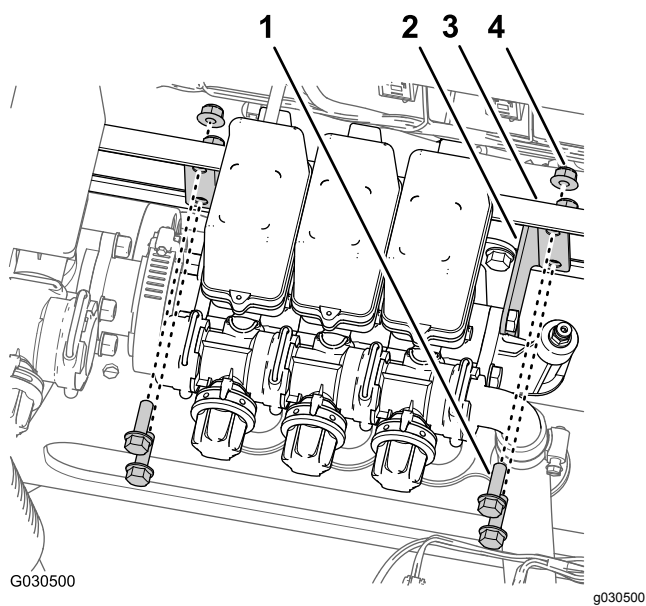


図 63

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. フランジヘッドボルト5/16 x 1" | 3. マニホールドマウント |
| 2. 取り付けブラケット | 4. フランジロックナット5/16" |

6. ホース内径 25mmをバーブ付きエルボフィッティングに固定しているホースクランプを外してフィッティングからホースを外す 図 64。

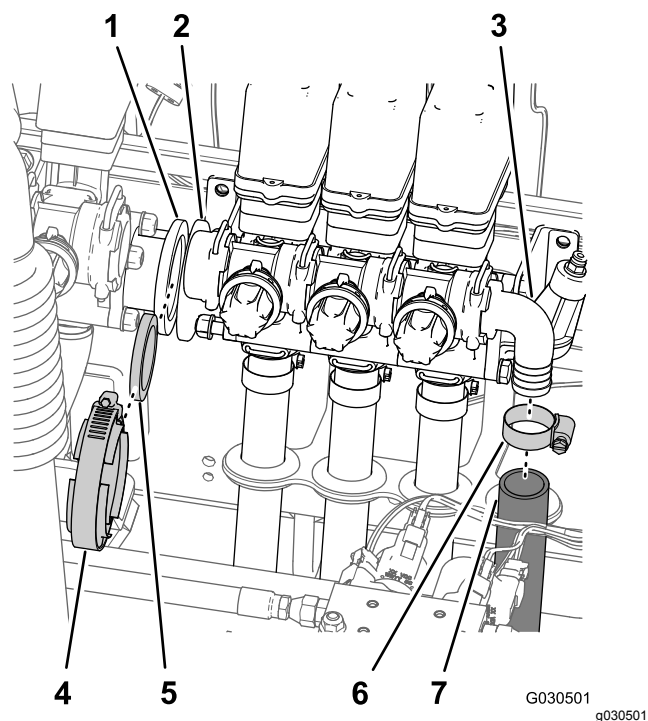


図 64

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. フランジ攪拌バルブ | 5. ガasket |
| 2. フランジアダプタ ブームバルブ | 6. ホースクランプ |
| 3. バーブ付きエルボフィッティング | 7. ホース内径 25mm |
| 4. フランジクランプ | |

7. フランジアダプタを攪拌バルブへ、また、フランジアダプタを左boomバルブに固定しているフランジクランプとガスケットを外す 図 64。

8. boomホース 3 本を対応する3つのboomバルブに取り付けた状態で、注意深く、バルブをホース保持ループから抜き取り、バルブとホースを車体から外す 図 65。

注 ホース保持ループゴム製からホースが抜けにくい時は、ホースに石油系のオイルを塗ると楽に抜けるようになります。

注 機体から外したホース、クランプ、ボルト、ロックナット、スパーサバルブは廃棄して構いません。

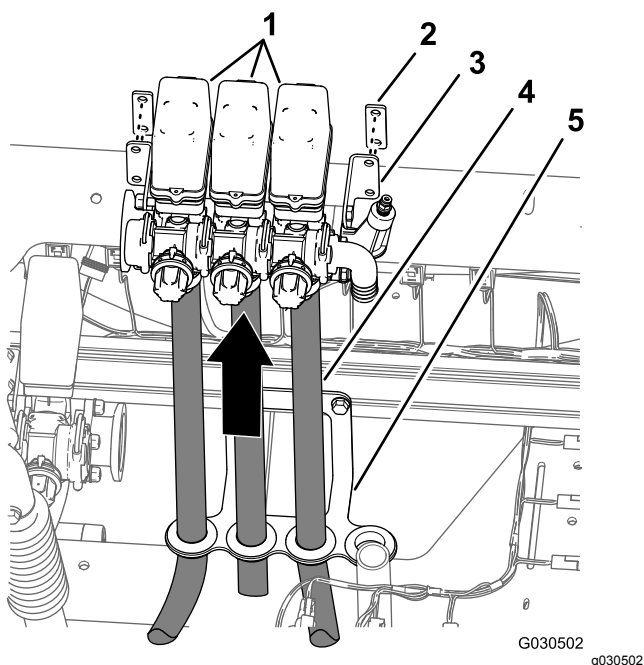


図 65

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 個別boomバルブ | 4. boomホース |
| 2. スペーサ | 5. ホース保持ループ |
| 3. 取り付けブラケット | |

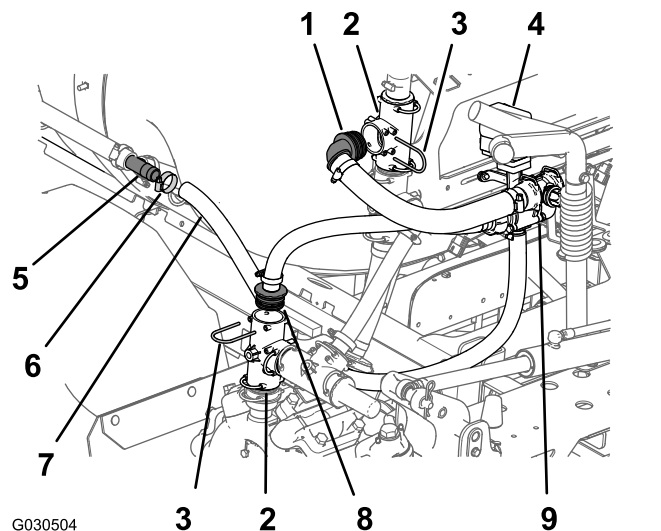


図 66

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 90° ハブフィッティング | 6. ホースクランプ |
| 2. T 字フィッティング | 7. ホース内径 25mm |
| 3. リテーナ | 8. ストレートハブフィッティング |
| 4. 攪拌バルブ | 9. バイパスバルブ |
| 5. バーブ付き字フィッティング | |

攪拌バルブ、ボールバルブ、ホースを取り外す

⚠ 危険

ホースなどに残っている薬液が皮膚に付いたり目に入ったりすると危険である。

- 薬液散布システムを分解する時には、必ず安全ゴーグルと薬品に対して耐性のあるゴム製手袋などを着用すること。
- 車体が吊り上げられた状態のときや、車体の下に潜り込んで作業をする時は、ホースや機器の取り外しは特に慎重に行うこと。

1. 液剤散布システムのドレンが開いていて内部に薬液がないことを確認する。
2. 薬液タンクの左側で後フェンダの近くで、一番後ろの攪拌ノズルのT字フィッティングのところでホース内径 25mmを保持しているクランプを外す 図 66。

注 ホースクランプはステップ 2 攪拌ノズル用の給液ホースを取り付ける (ページ 45) で使用します。

3. 液剤散布ポンプの出口ポート部分で、図 66 のように縦に取り付けられているT字フィッティングから、リテーナを外してストレートハブフィッティングを外す。

注 T字フィッティングから取り外したリテーナは給液ホースとバイパスホースを取り付ける (ページ 45) で使用します。

4. マニホールドブラケットの左側で、図 66 のように縦に取り付けられている上側のT字フィッティングから、リテーナと 90° ハブフィッティングを外す。

注 T字フィッティングから取り外したリテーナは給液ホースとバイパスホースを取り付ける (ページ 45) で使用します。

5. 液剤散布ポンプの上部で、ボールバルブをバルブブラケットに固定しているフランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" 2本を取り外す 図 67。

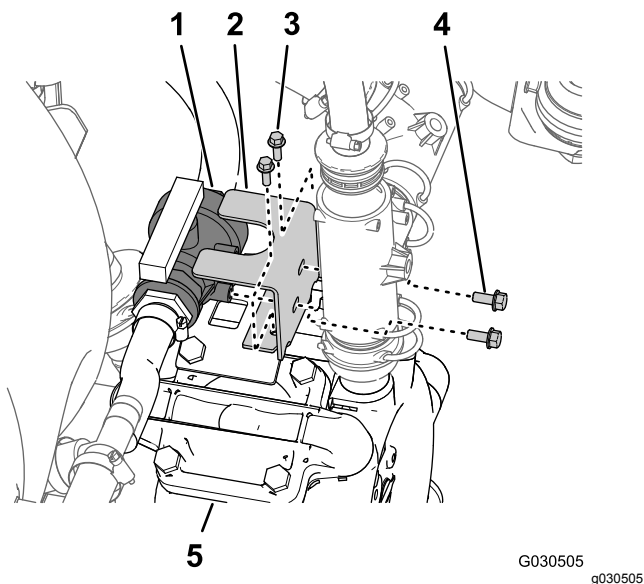


図 67

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. ボールバルブ | 4. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" |
| 2. バルブブラケット | 5. スプレーヤのポンプ |
| 3. フランジヘッドボルト1/4 x 3/4" | |

6. バルブブラケットをポンプ上部の取り付けブラケットに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4"2本を取り外す 図 67。
7. 攪拌用のサポートブラケットをマニホールドマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外す 図 68。

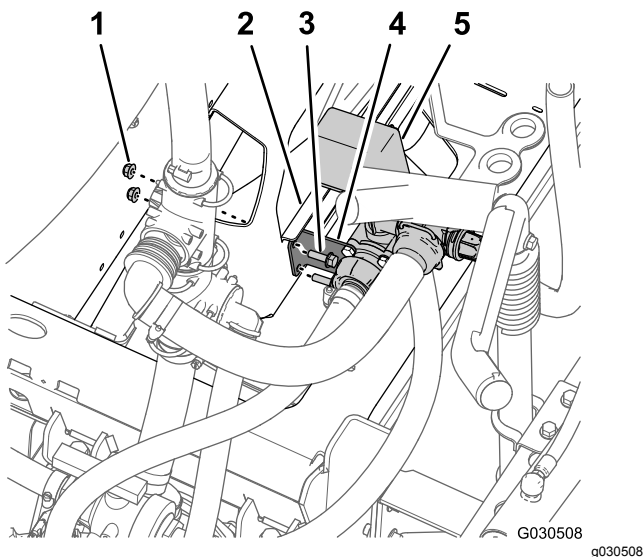


図 68

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. フランジロックナット5/16" | 4. サポートブラケット攪拌バルブ |
| 2. マニホールドブラケット | 5. 攪拌バルブ |
| 3. フランジヘッドボルト5/16 x 1" | |

8. 車体からのバルブに取り付けられている攪拌バルブとバイパスバルブ、ボールバルブ、ホースを外す 図 69。

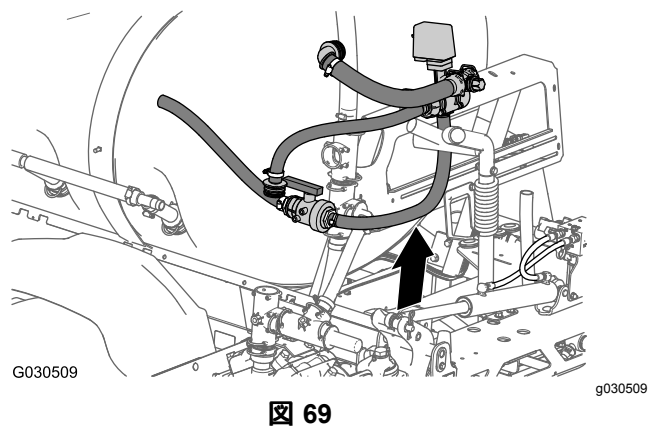


図 69

攪拌バルブとバイパスバルブを分解する

1. ボールバルブを攪拌バルブの底部に接続しているホースのクランプを外す 図 70。

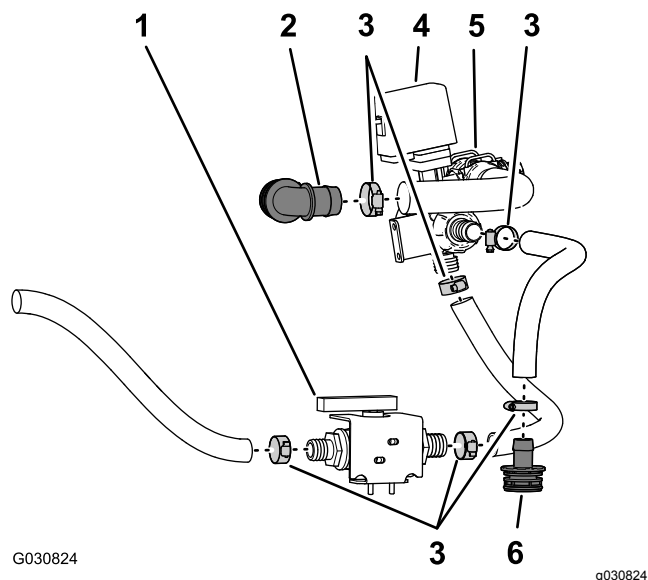


図 70

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. ボールバルブ | 4. 攪拌バルブ |
| 2. 90°鋸歯フィッティング | 5. バイパスバルブ |
| 3. ホースクランプ | 6. バーブ付きストレートフィッティング |

2. ホースをボールバルブのもう一方の端に固定しているクランプを外す 図 70。
3. バイパスバルブからのホースにバーブ付き 90°フィッティングを固定しているクランプを外す 図 70。

注 バーブ付きフィッティングはホースに付けたままにしておいてください。

4. バーブ付きストレートフィッティングと攪拌バルブをつないでいるホースのクランプを外す 図 70。

注 バーブ付きフィッティングはホースに付けたままにしておいてください。

注 ホースクランプは 攪拌ノズル用の給液ホースを取り付ける (ページ 45) と給液ホースとパイパスホースを取り付ける (ページ 45) で使用します。

注 機体から外した攪拌バルブ、ボールバルブ、バーブ付き90° フィッティング、バーブ付きストレートフィッティング、ホースは廃棄して構いません。

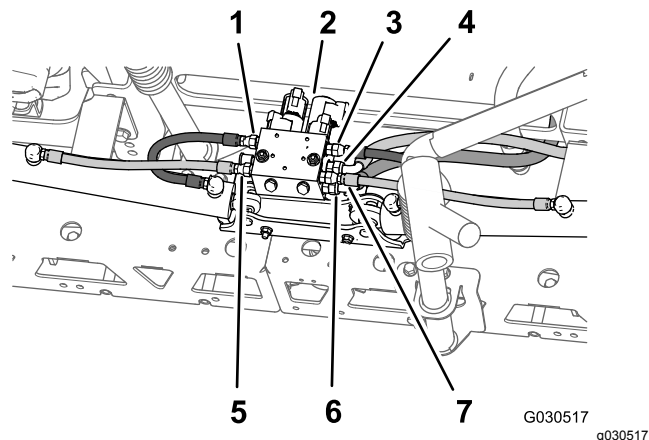


図 71

1. 左側伸長動作用ホース
ポート C3—ブーム昇降マニホルド
2. ブーム昇降マニホルド
3. 右側伸長動作用ホース
ポート C1—ブーム昇降マニホルド
4. 高圧側油圧ホースポート
P—ブーム昇降マニホルド
5. 左側収縮動作用ホース
ポート C3—ブーム昇降マニホルド
6. 戻り側油圧ホースポート
T—ブーム昇降マニホルド
7. 右側収縮動作用ホース
ポート C2—ブーム昇降マニホルド

16

ブームを取り外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
---	--------

昇降シリンダを取り外す

注 以下、特に記述がない場合は、外した金具類をすべて保管してください。

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを支える。
2. 機体後方で、ブーム昇降マニホルドと油圧シリンダから油圧ホースを外す 図 71。

注 ブーム昇降マニホルドと油圧シリンダに異物が侵入しないように、接続部にプラグなどをはめて保護してください。

注 油圧ホースは廃棄してください。

3. 昇降シリンダをピボットブラケットに固定しているヘアピンとクレビスピンを取り外す 図 72。

注 ヘアピンとクレビスピン 左右のブームを機体に取り付ける (ページ 59) で取り付けに使用します。

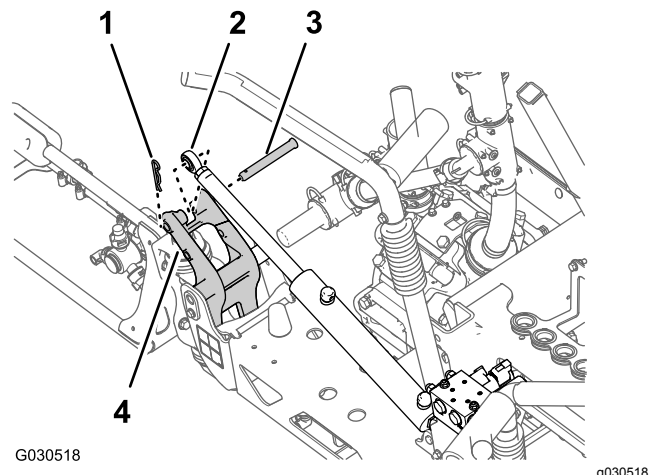


図 72

1. ヘアピン
2. ロッドのフィッティング昇降シリンダ
3. クレビスピン
4. ピボットブラケット

4. ピボットピンをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"とフランジヘッドボルト5/16 x 3/4"を取り外す 図 73。

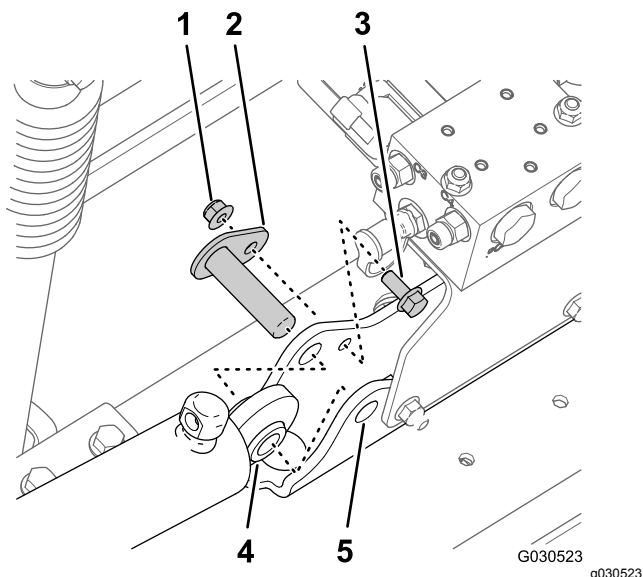


図 73

1. フランジロックナット5/16"
2. ピボットピン
3. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
4. 昇降シリンダ
5. シリンダマウント

5. 機体から、ピボットピンと昇降シリンダを外す [図 73](#)。
6. マシンの反対側の昇降シリンダにも、ステップ [3](#) と [4](#) の作業を行う。

左右のブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 飛散防止カバーがを搭載している車両では、左右のブームから飛散防止カバーを取り外す必要はありません。

▲ 警告

重量物の吊り上げは危険を伴う作業であり、最悪の場合は死亡事故を招く。

重量のある装置やアタッチメントを吊り上げる持ち上げる場合には、必ずそれに適した装置を用い、チェーンなどで確実に吊ること。

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. ピボットピンをピボットブラケットに固定しているフランジボルト5/16 x 1" とフランジロックナット5/16"を取り外す [図 74](#)。

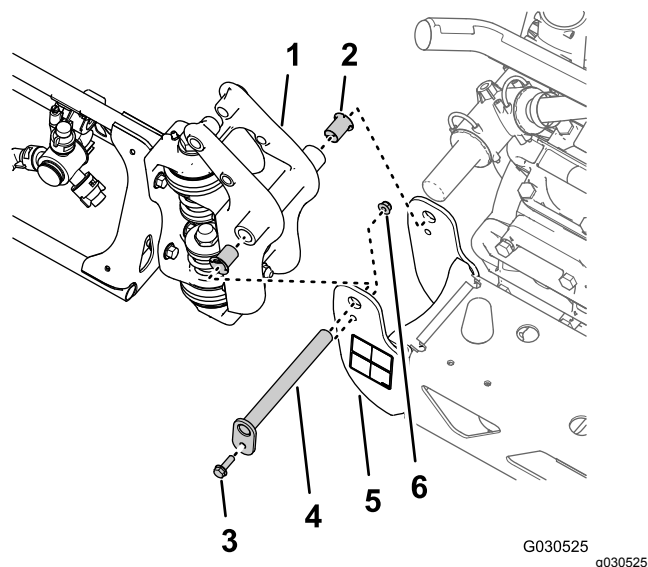


図 74

1. ピボットフィッティング左右ブーム
2. ナイロン製フランジブッシュ
3. フランジボルト5/16 x 1"
4. ピボットピン
5. ピボットブラケットセンターブーム
6. フランジロックナット5/16"

2. センターブーム用のピボットブラケット、および、外側ブーム用のピボットフィッティングからピボットピンを抜き取る [図 74](#)。

注 フランジボルト、フランジナット、ピボットピンは [左右のブームを機体に取り付ける \(ページ 59\)](#) で使用します。

3. センターブームと外側ブームを切り離し、外側ブームを機体から外す [図 74](#)。
4. 外側ブームのピボットフィッティングからナイロン製フランジブッシュ2個を外す [図 74](#)。

注 ブッシュは廃棄してください。

5. マシンの反対側の外側ブームにも、ステップ [14 昇降シリンダを取り外す \(ページ 34\)](#) の作業を行う。
6. マシンの反対側の外側ブームにも、この項のステップ [14](#) の作業を行う。

昇降シリンダマニホールドとサポートブラケットを外す

1. ブーム昇降マニホールドのポートPに接続されている高圧側ホースに、ケーブルタイでマーキングする 図 75。

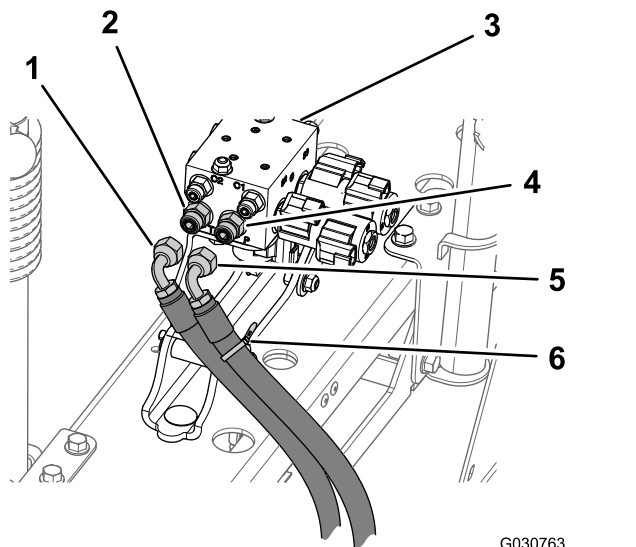


図 75

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 戻り側油圧ホース | 4. ストレートフィッティングポートP |
| 2. ストレートフィッティングポートT | 5. 高圧側油圧ホース |
| 3. ブーム昇降マニホールド | 6. ケーブルタイ |

2. ブーム昇降マニホールドから、高圧側と戻り側のホースを外す 図 75。

重要 油圧タンクのオイルが排出されないように、リターン側および押圧側油圧ホースのそれぞれの自由端を高い位置にもちあげておく。

3. ブーム昇降マニホールド用サポートブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外して、機体からマニホールドとブラケットを取り外す 図 76。

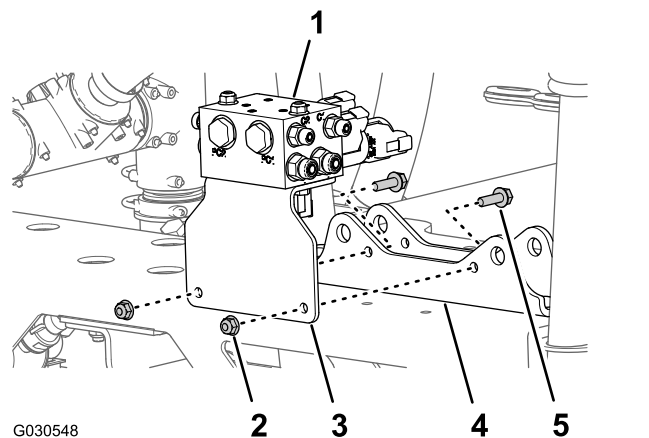


図 76

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. ブーム昇降マニホールド | 4. シリンダマウント |
| 2. フランジロックナット5/16" | 5. フランジヘッドボルト5/16 x 1" |
| 3. サポートブラケットブーム昇降マニホールド | |

ブームクレードルを取り外す

1. 左側ブームクレードルで、左上クレードルアセンブリを下部クレードルアセンブリに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 2"とフランジロックナット3/8"を取り外す 図 77。

注 外した上部クレードル、ボルト、ナットは **センターブームにクレードルを取り付ける (ページ 53)** で使用します。

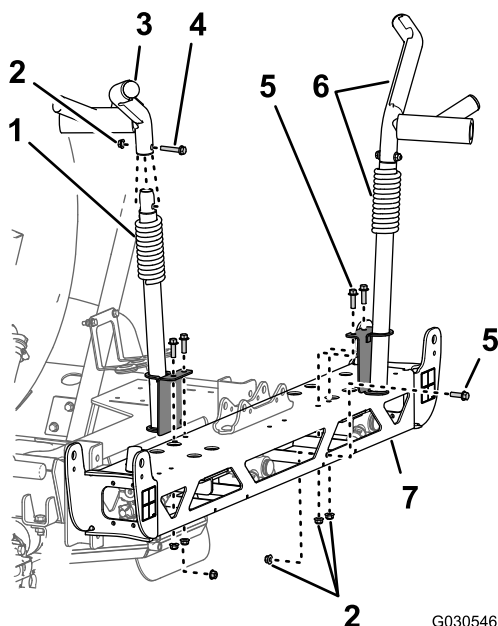


図 77

1. 下部クレードルアセンブリ
2. フランジロックナット3/8"
3. 上部クレードルアセンブリ
4. フランジヘッドボルト3/8 x 2"
5. フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4")
6. 上部および下部クレードルアセンブリ
7. フレームセンターブーム

2. 左下部ブームクレードルをセンターブームのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1"3本とフランジロックナット3/8"3個を外してクレードルを取り外す 図 77。

注 外したフランジヘッドボルト3/8 x 2"3本とフランジロックナット3/8"3個は、**センターブームにクレードルを取り付ける (ページ 53)**で新しいセンターブームに新しい左下部ブームクレードルを取り付ける時に使用します。

注 左下部ブームクレードルは廃棄して構いません。

3. 右クレードルで、右側ブームクレードルアセンブリをセンターブームのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4"水平ボルト1本と垂直ボルト2本とフランジロックナット3/8"3個を外す 図 77。

注 外した右側クレードルアセンブリ、フランジヘッドボルト、フランジロックナットは**センターブームにクレードルを取り付ける (ページ 53)**で使用します。

4. 左右のバンパーをセンターブームのフレーム端部に固定しているフランジロックナット5/16"を外す 図 78。

注 バンパーとロックナットは再利用します。

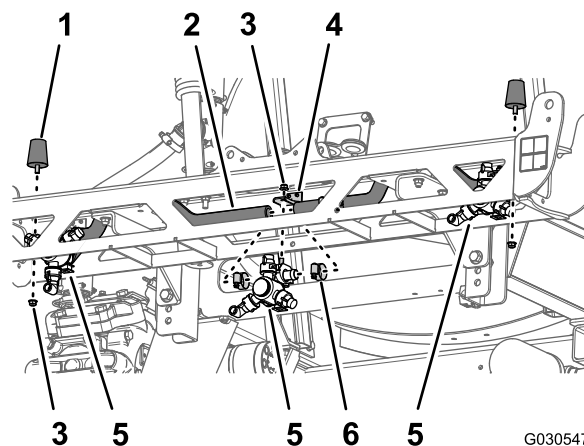


図 78

1. バンパー
2. ホース内径 3/4"
3. フランジロックナット5/16"
4. ノズルマウント
5. スプレーノズル
6. ホースクランプ

スプレーヤのノズルを取り外す

1. 薬剤散布ノズル3個をホース内径18mmに固定している4個のホースクランプを外す 図 78。
2. 薬剤散布ノズル3個をセンターブームのノズルマウントに固定しているフランジロックナット5/16"を外してノズルを取り外す 図 78。

注 ノズルとフランジロックナットは**新しいセンターブームにノズルを取り付ける (ページ 52)**で使用します。

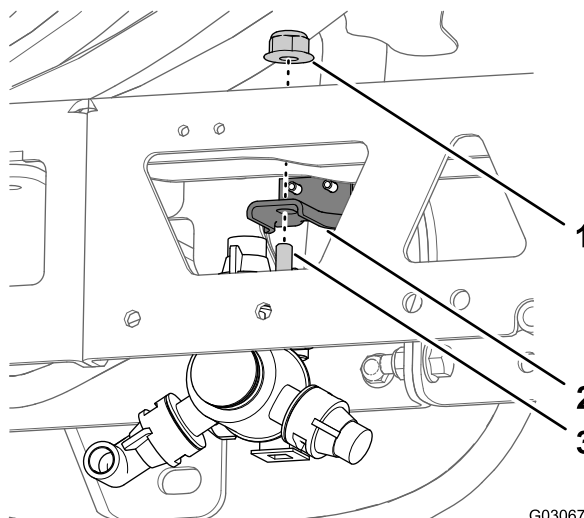


図 79

1. フランジロックナット5/16"
2. ノズルマウント
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"スプレーノズル

3. シリンダマウントをセンターブームに固定しているキャリッジボルト1/2 x 1-1/4"2本とフランジロックナット1/2"を外して、マウントを取り外す 図 80。

注 機体から外したシリンダマウントは廃棄して構いません。

注 フランジボルト、フランジロックナット、クランプは **センターブームのトラスを取り付ける (ページ 51)** で取り付けに使用します。

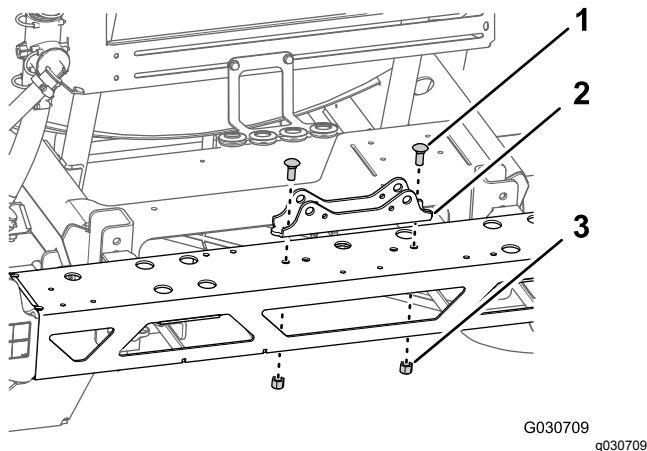


図 80

1. キャリッジボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ "
2. シリンダマウント
3. ロックナット $\frac{1}{2}$ "

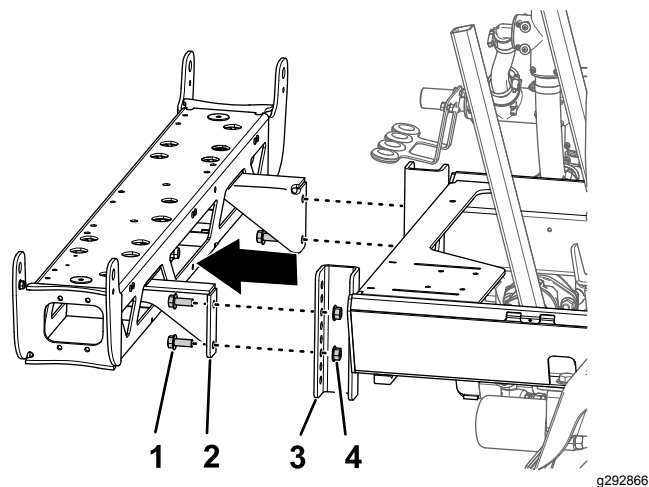


図 81

1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ "
2. サポートブラケットセンター
3. 取り付け用チャンネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット $\frac{1}{2}$ "

4. サポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 1\frac{1}{2}$ " 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " 2個を外して、ブラケットを取り外す **図 82**。

センターブームを取り外す

1. 飛散防止カバーを搭載している車両では、センターブームから飛散防止カバーを取り外してください。
2. ホイストなどを使ってセンターブームを支える。
3. センターブーム用サポートブラケットを機体フレームの取り付け用チャンネル部材に固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ " とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ " 4個とを外して、センターブームを機体から外す **図 81**。

注 ボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ " とロックナット $\frac{1}{2}$ " は、新しいセンターブームの取り付けに再使用します。

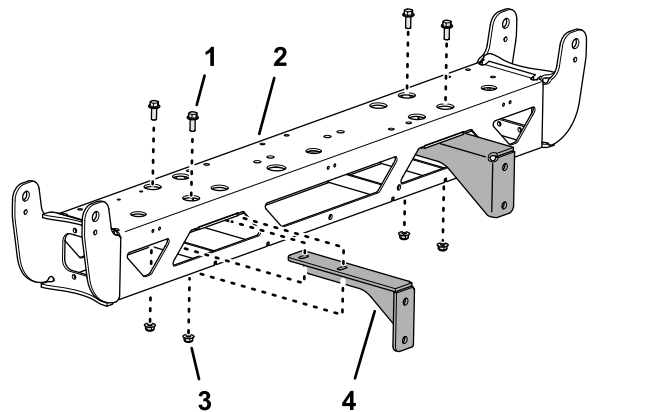


図 82

1. フランジヘッドねじ $\frac{3}{8} \times 1$ "
2. センターブーム
3. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "
4. サポートブラケット

5. 反対側のサポートブラケットにもステップ4の作業を行う **図 82**。

注 フランジヘッドキャップスクリュー $\frac{3}{8} \times 1$ " とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " は **センターブームのトラスを取り付ける (ページ 51)** で使用します。センターブームとサポートブラケットは廃棄して構いません。

17

後方ワイヤハーネスを車体に取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
5	ケーブルタイ

フレームチューブに沿ってワイヤハーネスを敷設する

1. 新しい電気ハーネスから、165cm の枝線と 203cm の枝線を探し出す 図 83。

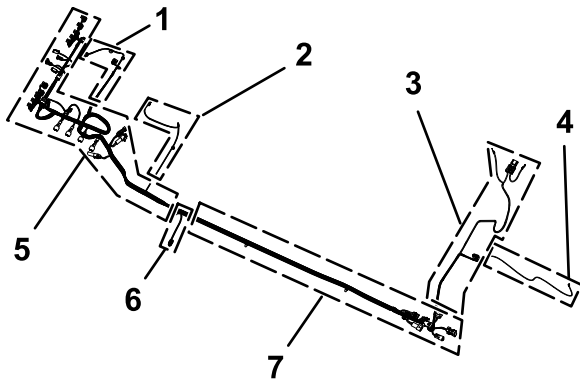
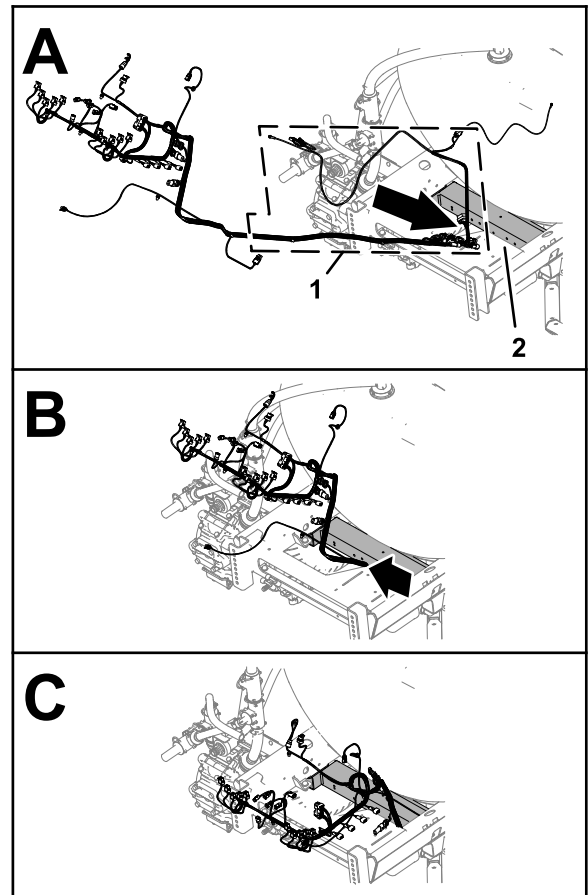


図 83

g307609

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 75.5cm のハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ | 5. 218.4cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10 |
| 2. 86.6cm のハーネス枝線—スプレーポンプのソレノイド | 6. 30.5cm のハーネス枝線—速度センサー |
| 3. 108cm のハーネス枝線—リング端子とヒューズ表記なし | 7. 127cm のハーネス枝線—前方ハーネスのインタフェースコネクタ |
| 4. 180 cm のハーネス枝線—スプレーポンプのスイッチ | |

2. 新しいハーネスの180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線を、フレームチャンネルの下に通す 図 84。

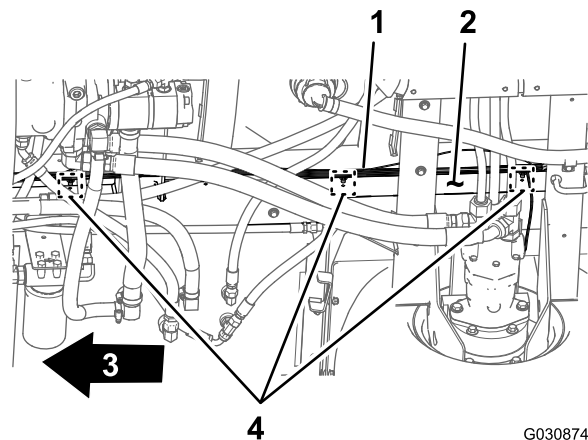


g307575

図 84

1. 180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線を、フレームのチャンネル鋼の枝線、127 cm の枝線電気ハーネス

3. ハーネスの180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線を、右側フレームチューブに沿って前方へ延ばす 図 85。



G030874

g030874

図 85

- | | |
|--|--------------|
| 1. 後方ワイヤハーネス180 cm の枝線、108 cm の枝線、127 cm の枝線 | 3. 機体前方 |
| 2. 右側フレームチューブ | 4. 押し込みファスナー |

4. 後方ワイヤハーネスの 127cm の枝線の押し込みアンカーを、右側フレームチューブの穴に差し込む 図 85 この穴は、古いモミの木形アンカーが入っていた穴 ステップ 3 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す (ページ 26) を参照。

前方ハーネスと後方ハーネスを相互に接続する

注 前方ハーネスと後方ハーネスの接続を行う時は、ホイストで機体を持ち上げて行ってください。

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す 図 86。

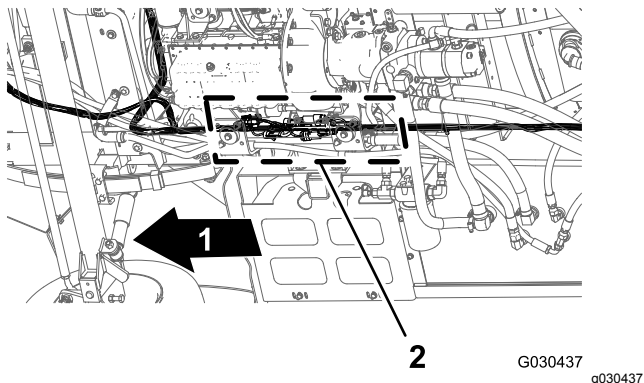


図 86

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

注 前ハーネスの3ソケットコネクタと後ハーネスの2ソケットコネクタは使用しません 図 87。

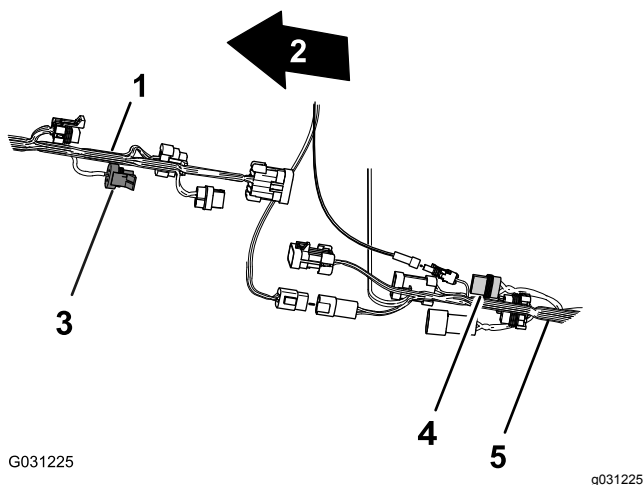


図 87

1. 車両の前方ワイヤハーネス
2. 機体前方
3. 3ソケットコネクタ—使用しないフローメータ前方ハーネス
4. 2ソケットコネクタ—使用しないホースリール電源後方ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

2. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクタの10ソケットコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクタの10ピンコネクタに接続する 図 88。

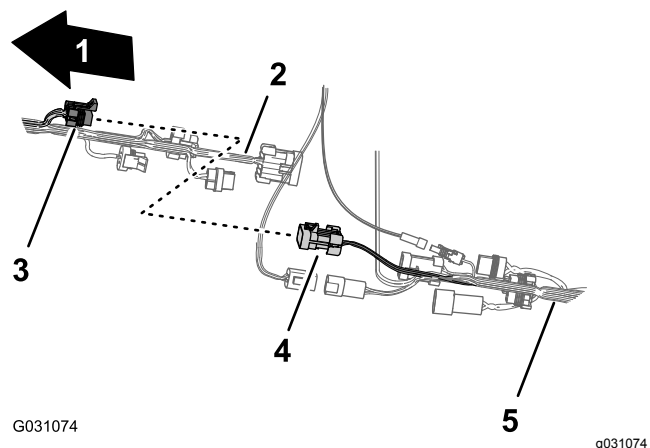


図 88

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
4. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

3. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクタの8ピンコネクタを、後方ハーネスのレートスイッチ用8ソケットコネクタに接続する 図 89。

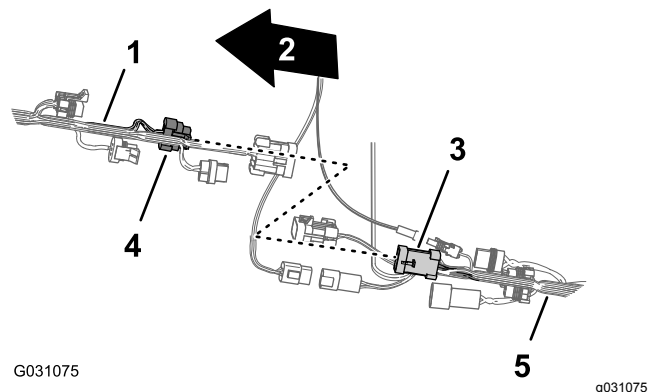


図 89

1. 車両の前方ワイヤハーネス
2. 機体前方
3. 8ソケットコネクタレートスイッチ後ハーネス
4. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

4. 前方ハーネスのすすぎポンプ用2ピンコネクタを、後方ハーネスのすすぎポンプ用2ソケットコネクタに接続する 図 90。

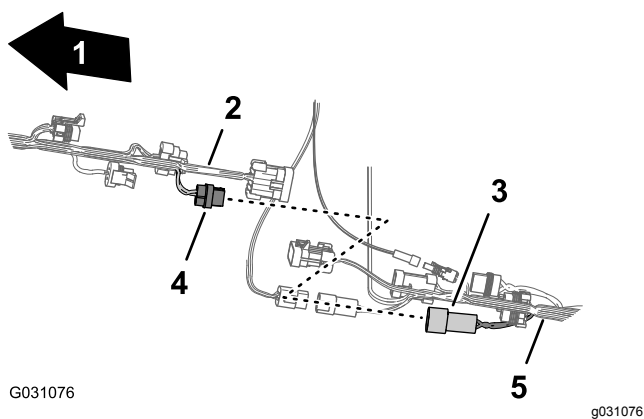


図 90

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 2ソケットコネクタすぎポンプ後ハーネス
4. 2ピンコネクタすぎポンプ前ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

5. 前方ハーネスのスプレー用ハーネスインターコネクタの10ピンコネクタを、後方ハーネスのスプレー用ハーネスインターコネクタの10ソケットコネクタに接続する図 91。

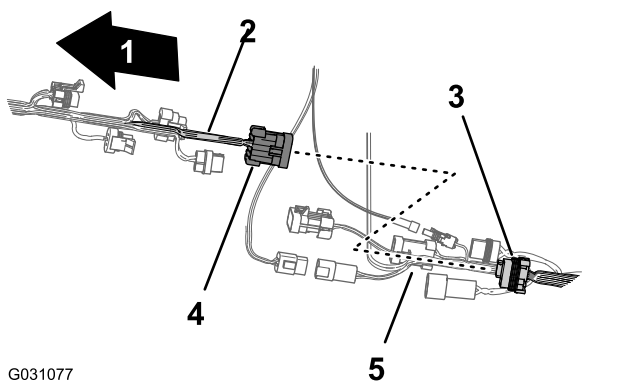


図 91

1. 機体前方
2. 車両の前方ワイヤハーネス
3. 10ソケットコネクタスプレー用ワイヤハーネス後ハーネス
4. 10ピンコネクタスプレー用ワイヤハーネス前ハーネス
5. 車両の後方ワイヤハーネス

6. ナビゲーション用とデータ用ハーネスの接続を容易にするために、後方ワイヤハーネスの1ソケットコネクタと、後方ワイヤハーネスの4ソケットコネクタをハーネスの先端部にそろえておく図 92。

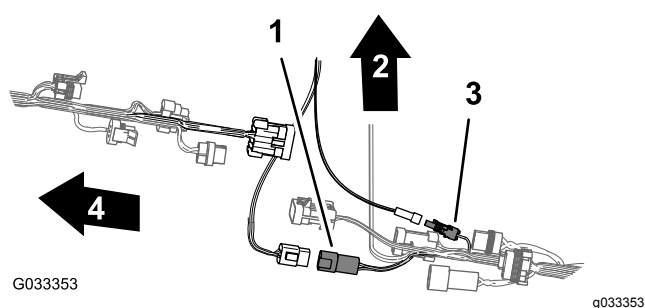


図 92

1. 4ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
2. マシンの上方
3. 1ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
4. 車体前方

水圧検知チューブを配設する

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを後方ワイヤハーネスに沿って配設する(図 93)。

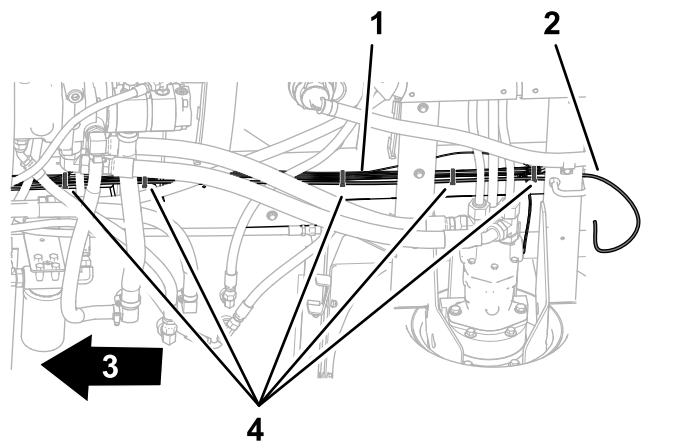


図 93

1. 後方ワイヤハーネス
2. 水圧検知チューブ
3. 車体前方
4. ケーブルタイ

2. ケーブルタイ 5 本でチューブをハーネスに固定する。

スプレーポンプ用のワイヤハーネスを敷設する

1. スプレーポンプのソレノイド用の 86.6cm の枝線を、機体のフレームチャネル部材の上を横断させ、そこから下ってポンプソレノイドへ配設する図 94。

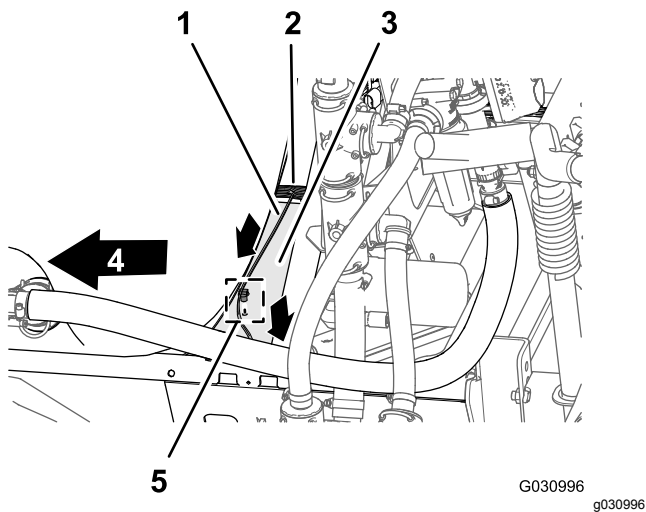


図 94

1. 86.6cm のハーネス枝線—スプレーポンプのソレノイド
2. 218.4cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10
3. チャンネル部材スプレーヤのフレーム
4. 機体前方
5. 押し込みファスナー

2. 86.6 cm の枝線の押し込み型のファスナを、機体フレームのチャンネル部材の穴に差し込む 図 94。

ワイヤハーネスをスプレーヤポンプと速度センサーに接続する

1. 機体後部、スプレーヤポンプの車体中心線側で、86.6cm の枝線にある **Spray Pump Solenoid** というラベルのついた2ソケットコネクタを、ポンプのリレーの2ピンコネクタに接続する 図 95。

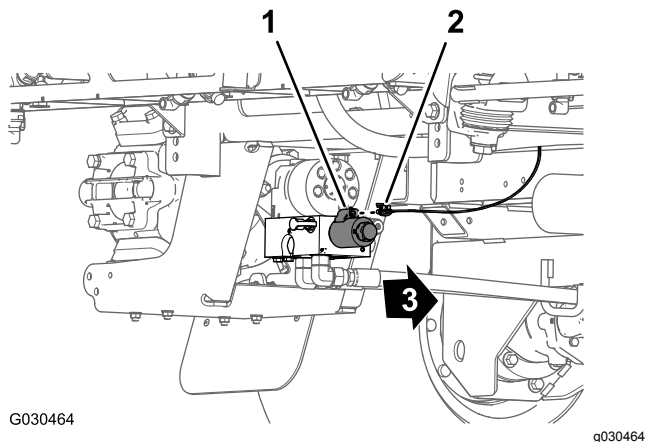


図 95

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタワイヤハーネスの 86.6cm 枝線
3. 車体前方

2. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、後方ワイヤハーネスの 30.5 cm の枝線

に付いている 3 ピンコネクタラベルなしを、右側走行モータの速度センサーのハーネスの 3 ソケットコネクタに接続する 図 96。

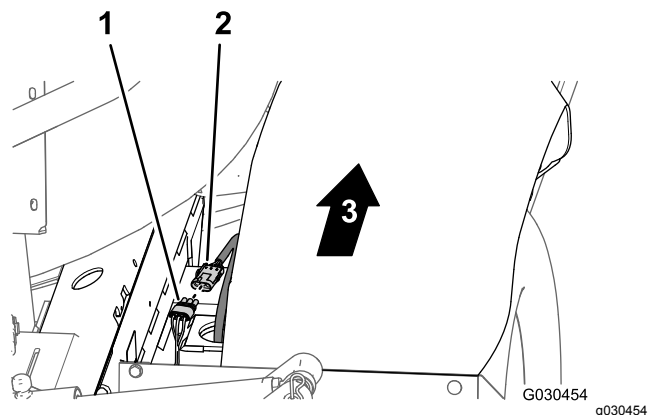


図 96

1. 3 ソケットコネクタ 30.5 cm の枝後方ワイヤハーネス
2. 3 ピンコネクタ右側走行モータの速度センサーのハーネス
3. 車体前方

18

3ブーム用のマニホルドマウントを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. マニホルドマウントの左側にT字フィッティングを固定しているパンヘッドスクリュ#10 x 5/8" 2本とワッシャ#102枚を取り外す 図 97。

注 ねじとワッシャは 19 10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43) で使用します。

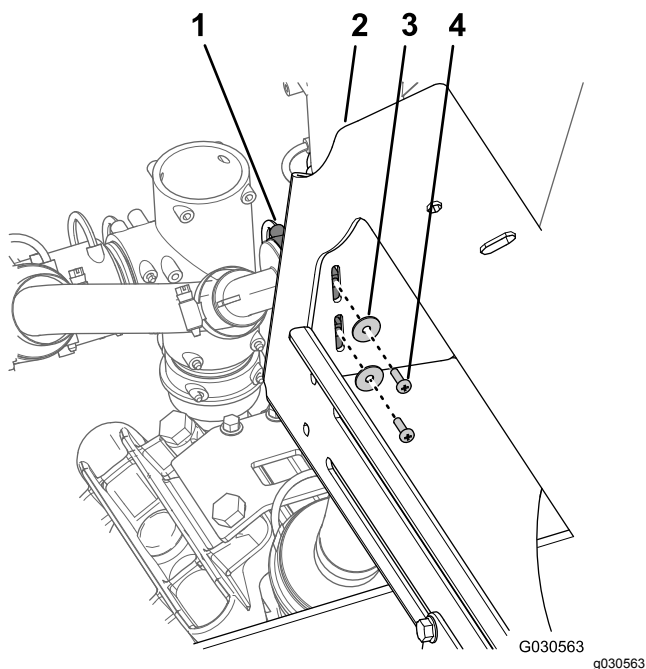


図 97

1. T 字フィッティング
2. マニホルドマウント3ブーム
3. ワッシャ#10
4. 平頭ねじ#10 x 5/8" 構成

2. オプションのタンクすすぎキットを搭載している場合には、以下の作業を行う

- A. すすぎタンクの固定ベルトをマニホルドマウントに固定しているボルト3/8 x 2-3/4"、フランジロックナット3/8"、ワッシャ3/8"を取り外す 図 98。

注 外したボルト、ナット、ワッシャは 19 10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43)の取り付けに使用します。

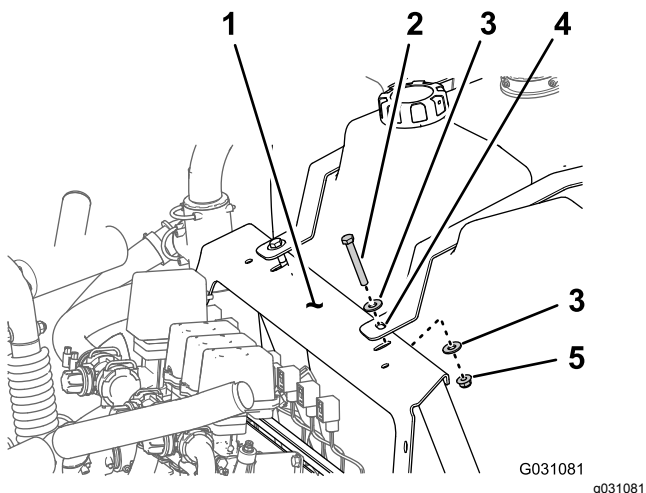


図 98

1. ワッシャ3/8"
2. フランジロックナット3/8"
3. マニホルドマウント
4. ボルト3/8 x 2-3/4"
5. すすぎタンク固定ベルト

- B. ロープを使って、すすぎタンクをメインタンクに固定する。

3. マニホルドマウントのフランジを車体のシャーシのフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1"4本とフランジロックナット3/8"4個を外してマニホルドマウントを取り外す 図 99。

注 ボルトとロックナットは19 10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける (ページ 43)で使用します。

注 機体から外したマニホルドマウントは廃棄して構いません。

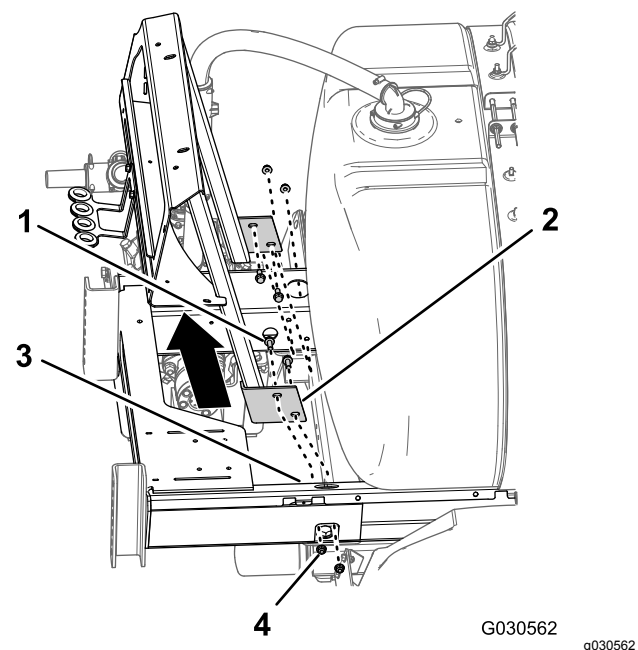


図 99

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1"
2. フランジマニホルドマウント3ブーム構成
3. フレーム車体のシャーシ
4. フランジロックナット3/8"

19

10バルブ構成用のマニホルドマウントを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	マニホルドマウント10バルブ構成
---	------------------

手順

1. 10バルブ構成用のマニホルドマウントのフランジの穴を、車体のシャーシのフレームの穴に合わせる 図 100。

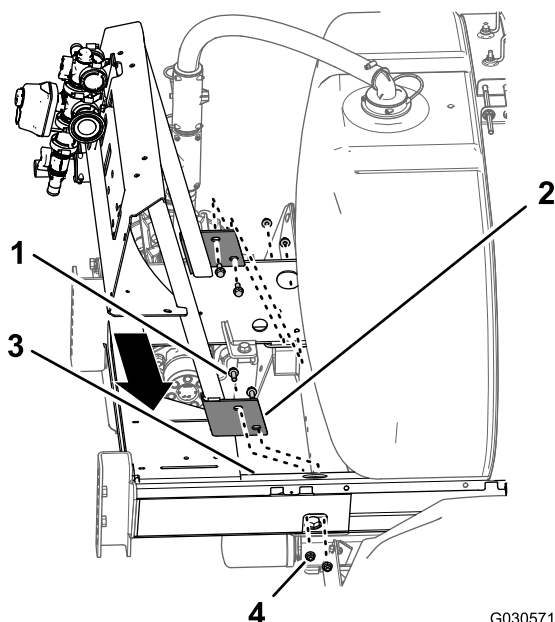


図 100

G030571
g030571

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1" 3. フレーム車体のシャーシ
2. フランジマニホルドマウン ト10バルブ構成 4. フランジロックナット3/8"

2. マニホルドマウント車体のチャージに組み付ける
図 100 ステップ 318 3ブーム用のマニホルドマウ
ントを取り外す (ページ 42) で取り外したフラン
ジヘッドボルト3/8 x 1"4本とフランジロックナット
3/8"4個を使用する。
3. ボルトとナットを 37 45N・m3.7 4.6kg.m =
27 33ft-lbにトルク締めする。
4. マニホルドマウントの左側で、T字フィッティング
の穴をマニホルドマウントのスロットに合わせる
図 101。

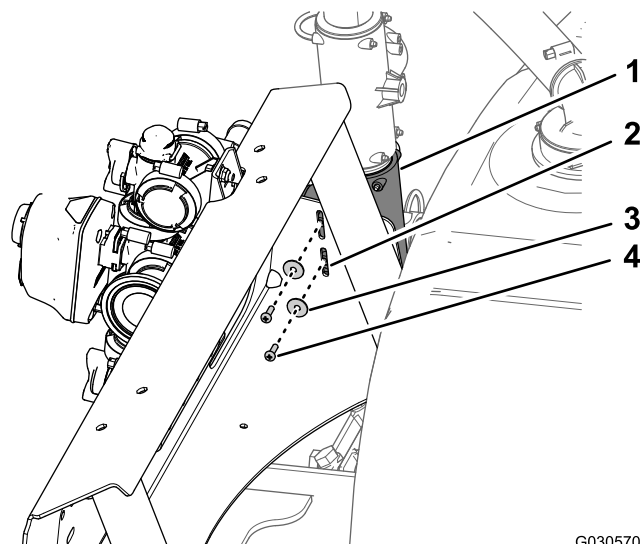


図 101

G030570
g030570

1. T 字フィッティング 3. ワッシャ#10
2. マニホルドマウント10バル ブ構成 4. 平頭ねじ#10 x 5/8"

5. T字フィッティングをマニホルドマウントに固定す
る図 101 ステップ 118 3ブーム用のマニホルドマ
ウントを取り外す (ページ 42) で取り外したパン
ヘッドスクリュー#10 x 5/8"2本とワッシャ#102枚
を使用する。

6. オプションのタンクすずぎキットを搭載している場
合には、以下の作業を行う

- A. すずぎタンクの固定ベルトの穴を、マニホル
ドマウントの穴に合わせる図 102。

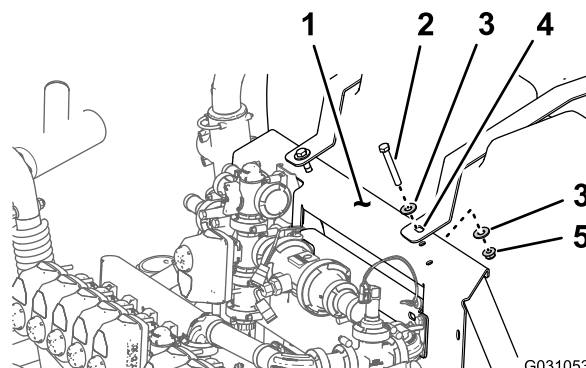


図 102

G031053
g031053

1. マニホルドマウント 4. すずぎタンク固定ベルト
2. ボルト3/8 x 2-3/4" 5. フランジロックナット3/8"
3. ワッシャ3/8"

- B. 固定ベルトをマウントに取り付ける図 102 ス
テップ 5C 液剤タンクとオプションのすずぎタ
ンクの準備を行う (ページ 6) で取り外したボ
ルト3/8 x 2-3/4"2本、ワッシャ3/8"4枚と、フラ
ンジロックナット3/8"2本を使用する。

- C. ボルトとロックナットを手締めする図 102。

注 すすぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

- D. 車両の反対側のすすぎタンク固定ベルトについてもステップ AC の作業を行う。

20

マニホールドマウントの左側のホースの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	ホース 1 x 104cm
1	給液ホース 1 x 59cm
1	攪拌バイパスホース 1 x 25cm と バープ付き 90° フィッティング

攪拌ノズル用の給液ホースを取り付ける

1. 液剤タンクの後ろ側の攪拌ノズルのバープ付き T 字フィッティングに、ホース 1 x 104cm を組み付ける 図 103。

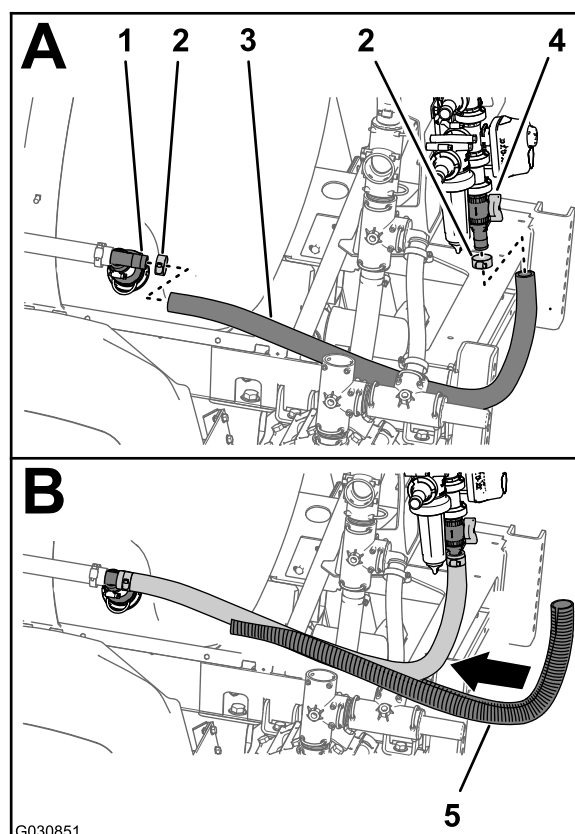


図 103

1. T字フィッティング攪拌ノズル
2. ホースクランプ
3. ホース 1 x 104cm
4. バイパスバルブ
5. 渦巻きチューブ

2. ホースを T 字フィッティングに固定する 図 103 ステップ 2 攪拌バルブ、ボールバルブ、ホースを取り外す (ページ 32) で外したクランプを使用する。
3. ホース 1 x 104cm のもう一方の端を、バイパスバルブの底部にあるバープ付きストレートフィッティングに取り付ける 図 103。
4. ホースをストレートフィッティングに固定する 図 103 攪拌バルブとバイパスバルブを分解する (ページ 33) で外したクランプを使用する。
5. ホース 1 x 104cm の上から渦巻きチューブ 図 103 を取り付ける。

給液ホースとバイパスホースを取り付ける

注 薬剤プレミックスキットを搭載している場合には、この作業を飛ばして 給液ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96) と 攪拌バルブ用のバイパスホースを交換する (ページ 94) の作業を行ってください。

1. バープ付きストレートフィッティングに接続した給液ホース 1 x 59cm の先端部のハブを、液剤散布ポンプの出口ポートにある T 字フィッティング 図 104 に取り付ける ステップ 3 攪拌バルブ、ボール

バルブ、ホースを取り外す (ページ 32) で取り外したリテーナを使用する。

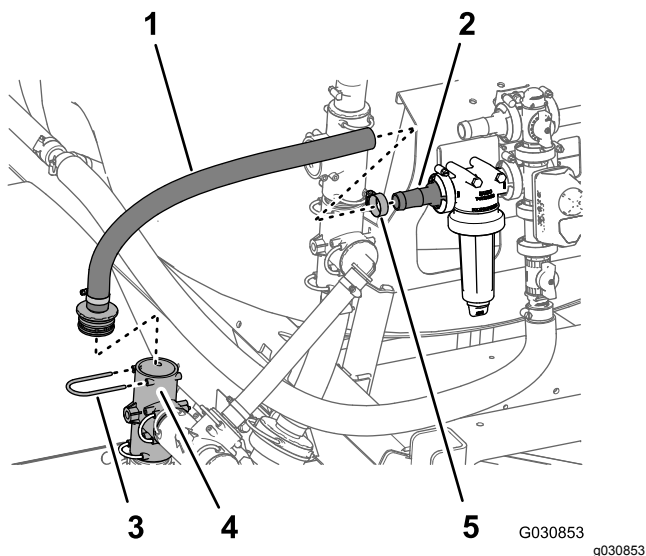


図 104

1. 給液ホース1 x 59cm
 2. バープ付きストレートフィッティング フィルタヘッド
 3. リテーナ
 4. T字フィッティングポンプの出口ポート
 5. ホースクランプ
-
2. 給液ホース1 x 59cmの反対側の先端部を、フィルタヘッドのバープ付きストレートフィッティングに取り付ける 図 104。
 3. 攪拌バルブとバイパスバルブを分解する (ページ 33) で外したクランプを使ってホースをフィッティングに固定する。
 4. 図 105のように、マニホルドブラケットの左ある上側の字フィッティングを左に90°回転させる。

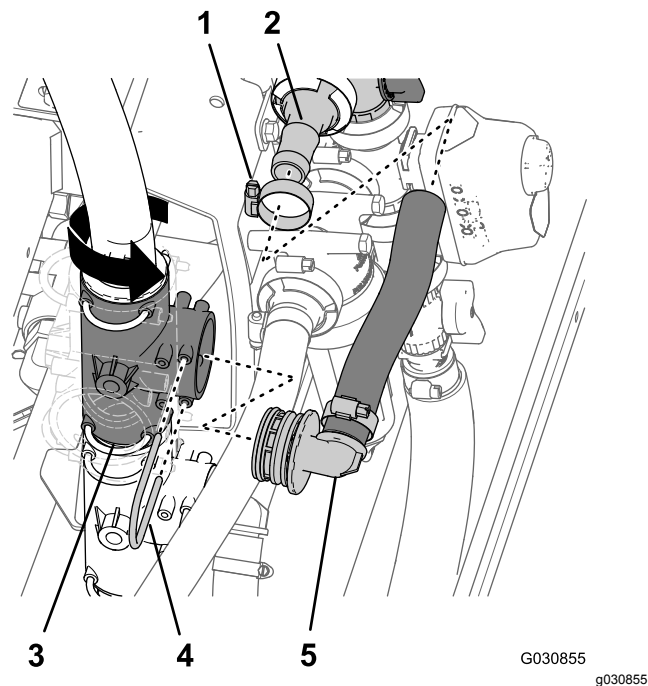


図 105

1. ホースクランプ
 2. バープ付きストレートフィッティング 攪拌バイパスバルブ
 3. T字フィッティング縦に取り付けてある上側
 4. リテーナ
 5. 攪拌バイパスホース1 x 25cmとバープ付き90°フィッティング
-
5. 攪拌バイパスホース1 x 25cmを、攪拌バイパスバルブのバープ付きストレートフィッティングに取り付ける 図 105。
 6. バープ付き90°フィッティングに接続した給液ホース1 x 25cmの先端部のハブを、マニホルドブラケットの左の上側のT字フィッティング 図 105に取り付けるステップ 4 攪拌バルブ、ボールバルブ、ホースを取り外す (ページ 32) で取り外したリテーナを使用する。
 7. 攪拌バイパスホース1 x 25cmを、攪拌バイパスバルブのバープ付きストレートフィッティングに取り付ける 攪拌バルブとバイパスバルブを分解する (ページ 33) で取り外したクランプを使う。

21

後方ワイヤハーネスを取り付ける

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントへ敷設する

1. 図 106 に示すように、ワイヤハーネスの 218.4cm の枝線を、バルブマウントのサポートストラットよりも車体内側を通し、車体後方のバルブマウント 10バルブ用まで導く。

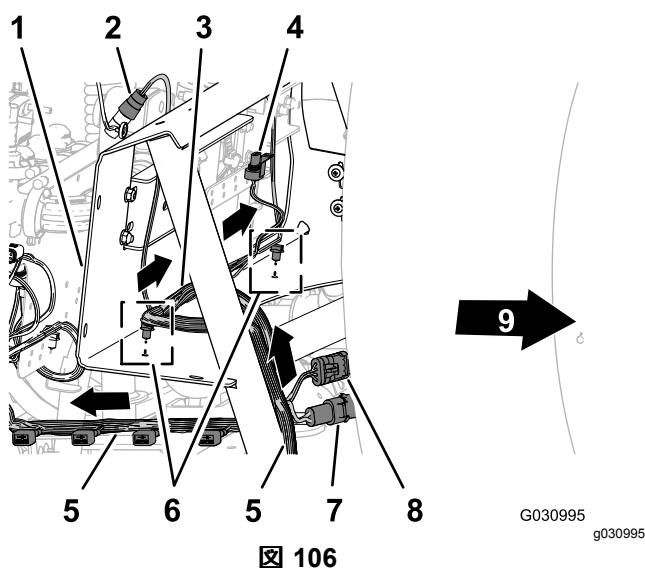


図 106

- | | |
|---|---------------------|
| 1. マニホルドマウント | 6. 押し込みファスナー |
| 2. 3ソケットコネクタフローメータ | 7. 2ピンコネクタホースリールの電源 |
| 3. 75.5 cm のハーネス枝線—フローメータと攪拌バルブ | 8. 3ソケットコネクタホースリール |
| 4. コネクタ攪拌バルブ | 9. 機体前方 |
| 5. 218.4cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10 | |

2. フローメータと攪拌バルブ用のワイヤハーネスの 75.5cm の枝線を、マニホルドマウントの正面を横断するように配設する 図 106。
3. ワイヤハーネスの 75.5cm の枝線の押し込み型ファスナを、マニホルドマウントの下側フランジに差し込む 図 106。

ワイヤハーネスを10バルブマウントへ敷設する

1. 218.4 cm の枝線を、10バルブマウントの裏面を横断するように配設するノズルバルブ用の10個のコネクタが後方へ向き、バルブの下に来るようにすること 図 107。

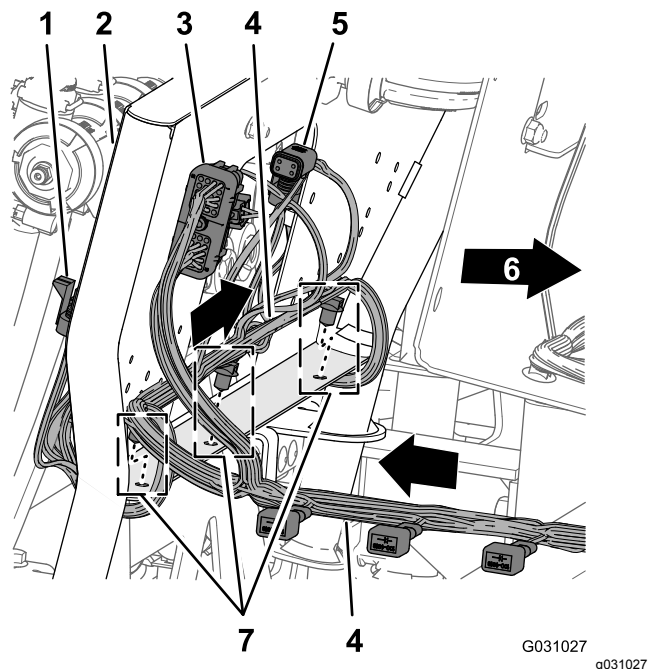


図 107

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 3ソケットコネクタノズルバルブの10番位置 | 5. 4ソケットコネクタASC 10へ |
| 2. バルブ10本用マウント | 6. 機体前方 |
| 3. 40ソケットコネクタASC 10 | 7. 押し込みファスナー |
| 4. 218.4cm のハーネス枝線—ASC10, 昇降シリンダのソレノイド, ノズルバルブ 1-10 | |

2. ワイヤハーネスの 218.4cm の枝線の押し込み型ファスナを、10 バルブマウントの下側フランジに差し込む 図 107。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントの各機器に接続する

1. 218.4cm の枝線と 75.5cm の枝線の、Flow Meter というラベルと Pressure Transducer というラベルの付いたコネクタを、マニホルドマウントの後方へ導く 図 108。

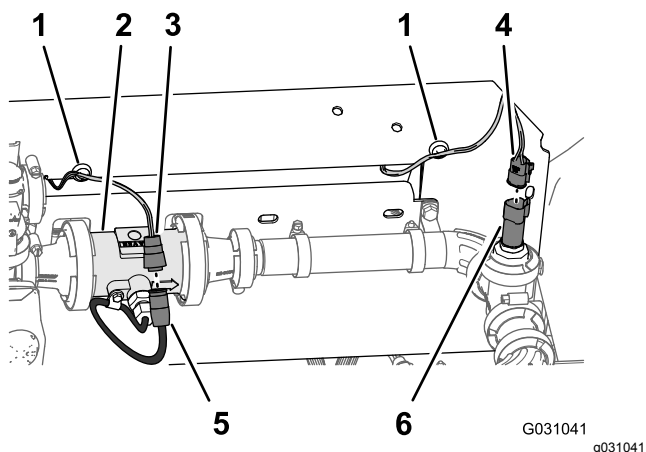


図 108

1. 磁石式のハーネスアンカー
 2. フローメータ
 3. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Flow Meter
 4. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Pressure Transducer
 5. 3ピンコネクタFlow Meter
 6. 3ピンコネクタPressure Transducer
-
2. 75.5cm の枝線のフローメータ用の3ソケットコネクタラベルなしを、フローメータ用ハーネスの3ピンコネクタに接続する 図 108。
 3. 218.4cm の枝線のフローメータ用の**Pressure Transducer** ラベル付きの3ソケットコネクタを、水圧トランスデューササテライトの3ピンコネクタに接続する 図 108。
 4. フローメータと水圧トランスデューサ用のワイヤハーネスの磁石式アンカーを、マニホルドマウントの表面に取り付ける 図 108。
 5. 攪拌バルブ用ハーネスの3ピンコネクタを、マニホルドマウントの前方に配設する 図 109。

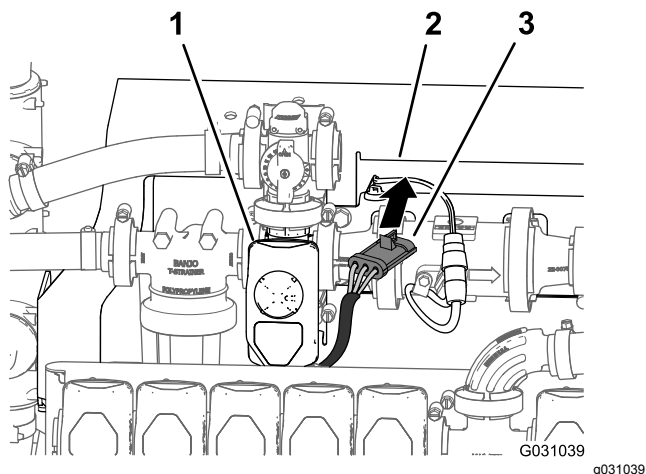


図 109

1. 攪拌バルブ
2. マニホルドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

6. 攪拌バルブ用ハーネスの3ピンコネクタを、203cm の枝線の**Agitation Valve**というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する 図 110。

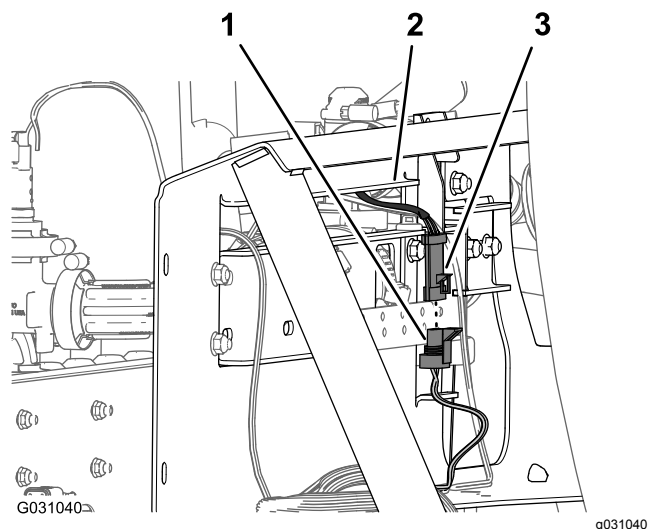
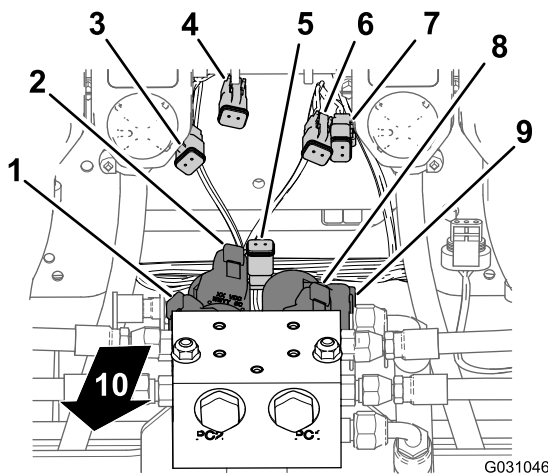


図 110

1. 3ピンコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Agitation Valve
2. マニホルドマウント
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブのハーネス

ワイヤハーネスを昇降シリンダのマニホルドの各ソレノイドに接続する

1. 昇降シリンダ用マニホルドの下部で、後方ワイヤハーネスの**Enable Solenoid**というラベルのついた2ソケットコネクタを、「イネーブル」ソレノイドの2ピンコネクタに接続する 図 111と図 112。

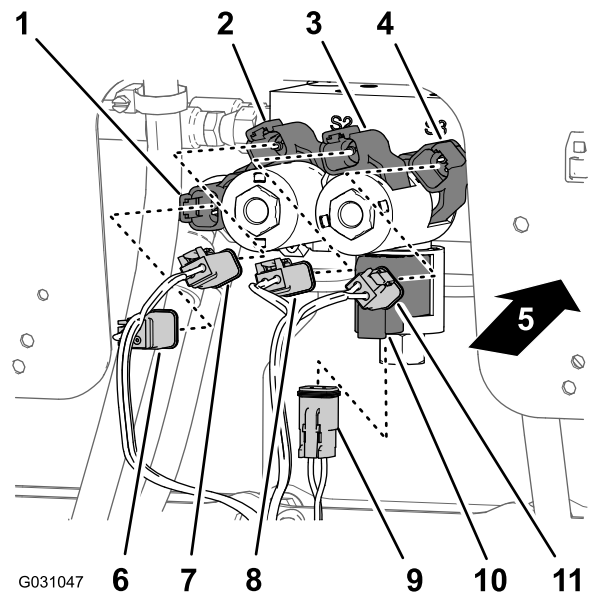


G031046

g031046

図 111

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 6. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ |
| 2. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ |
| 3. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ | 8. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド |
| 4. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ | 9. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド |
| 5. 2ソケットコネクタ「イネーブル」ソレノイド(メインハーネスのコネクタ) | 10. 機体後方 |



G031047

g031047

図 112

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 7. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ |
| 2. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 8. 2ソケットコネクタ左上昇メインハーネスのコネクタ |
| 3. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 9. 2ソケットコネクタ「イネーブル」ソレノイドメインハーネスのコネクタ |
| 4. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド | 10. 2ピンコネクタ「イネーブル」ソレノイド昇降シリンダマニホルド |
| 5. 機体後方 | 11. 2ソケットコネクタ左降下メインハーネスのコネクタ |
| 6. 2ソケットコネクタ右上昇メインハーネスのコネクタ | |

2. 右下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Right Down**というラベルのついた2ソケットコネクタを、右下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111 と図 112。
3. 右上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Right Up**というラベルのついた2ソケットコネクタを、右上ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111 と図 112。
4. 左下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Left Down**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 111 と図 112。
5. 左上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの**Left Up**というラベルのついた2ソケットコネクタを、左上ソレノイドの2ピンコネクタに接続する。

ワイヤハーネスをスプレーバルブに接続する

1. 218.4cm の枝線の、**Nozzle Valve 1-Nozzle Valve 5**というラベルの付いた3ソケットコネクタ

を、10バルブマウントの後方からノズルバルブ 1-5の下へ導く図 113。

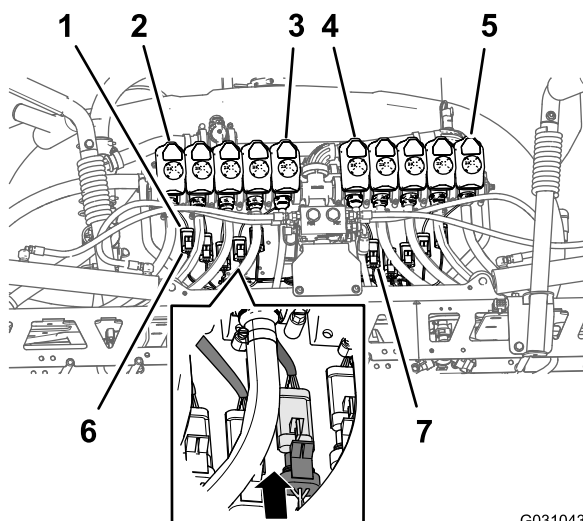


図 113

1. 3ピンコネクタノズルバルブ 5 のハーネス
2. ノズルバルブ 1番
3. ノズルバルブ 5番
4. ノズルバルブ 6番
5. ノズルバルブ 10番のハーネス
6. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Nozzle 1
7. 3ピンソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは Nozzle 6

2. 218.4cm の枝線の、**Nozzle Valve 6-Nozzle Valve 10**というラベルの付いた3ソケットコネクタを、10バルブマウントの後方からノズルバルブ 6-10の下へ導く図 113。
3. 後方ワイヤハーネスの **Nozzle 1**というラベルの付いている3ピンソケットコネクタを、ノズルバルブ 1番用の3ピンコネクタに接続する図 113。

重要 後方ワイヤハーネスのそれぞれの3ピンソケットコネクタについているラベルのバルブ番号と、実際に接続されるノズルバルブの番号を必ず一致させてください。

4. ノズルバルブ 2番 10番についても、ステップ 3 を行う図 113。

ワイヤハーネスをエンジンルームを通して敷設する

1. ワイヤハーネスの 108cm の枝を、エンジンルームの上から内部へ入れ、エンジンシュラウドの右側サポートに沿って前方へ進め、エアフィルタとエンジンをつないでいるダクトまで導く図 114。

注 この 108cm の枝線の最終的な固定は **ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く** (ページ 74)で行います。

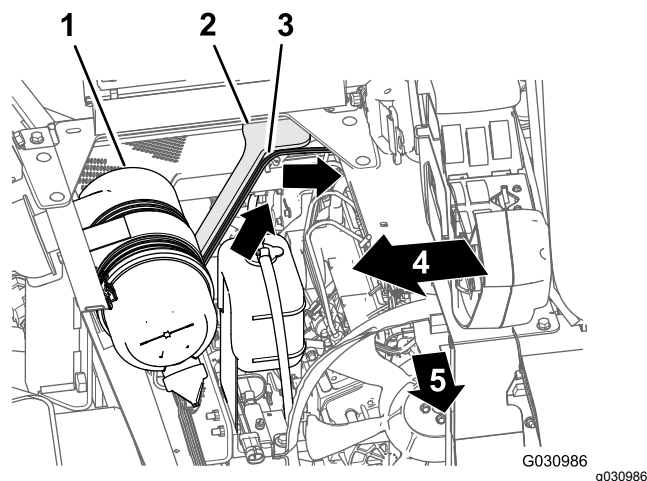


図 114

1. エアフィルタ エンジン
2. エンジンシュラウドのサポート右側
3. 108 cm の枝線後方ワイヤハーネス
4. 機体右側
5. 機体前方

2. ワイヤハーネスの 108cm の枝線を、シートボックスのアングル部材を横断して下へ、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って導く図 115。

注 この 108cm の枝線の最終的な固定は **ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く** (ページ 74)で行います。

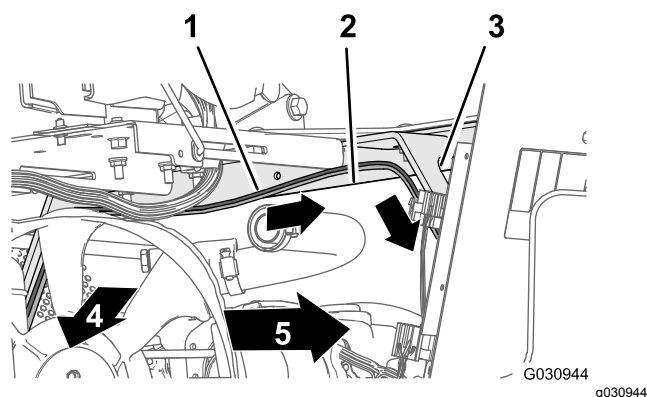


図 115

1. 108 cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. シートボックスのアングル部材
3. エンジンシュラウドのサポート左側
4. 機体前方
5. 機体の左側

3. ワイヤハーネスの 108 cm の枝線を、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って下へ進め、左側フレームチューブの下まで導く図 116。

注 この 108cm の枝線の最終的な固定は **ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く** (ページ 74)で行います。

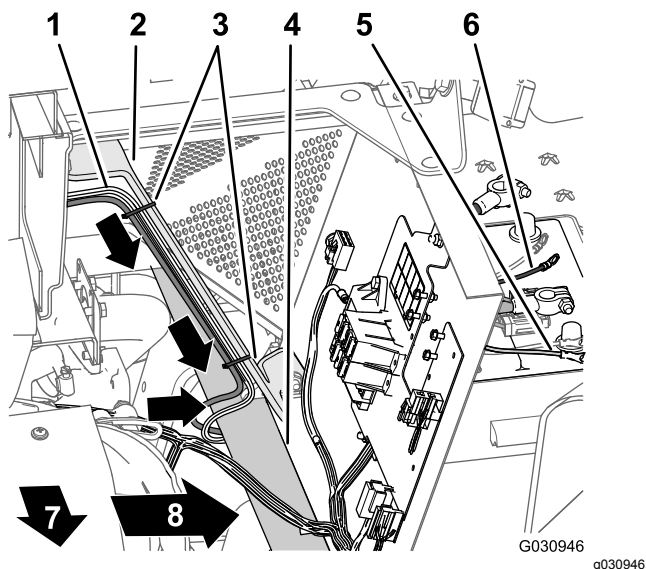


図 116

1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
2. エンジンシュラウドのサポート左側
3. ケーブルタイ
4. 左側フレームチューブ
5. マイナス端子黒ワイヤ108cm の枝線後方ワイヤハーネス
6. プラス端子赤ワイヤ108cm の枝線後方ワイヤハーネス
7. 機体の左側
8. 車体前方

4. ワイヤハーネスの 108cm の枝線についている 50 A ヒューズ、プラス端子、マイナス端子を、バッテリー上部まで導く図 116。

注 リング端子の最終的な接続は 後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する (ページ 77)で行います。

22

新しいセンターブームを準備する

この作業に必要なパーツ

1	外側ブームのトラススレーム左側ブーム長いブーム
1	中央ブームのトラススレーム中央ブーム短いブーム
1	外側ブームのトラススレーム右側ブーム長いブーム
4	フランジヘッドねじ $\frac{3}{8}$ x 1"
	フランジロックナット 3/8"
1	下部クレードルアセンブリ

センターブームのトラスを取り付ける

1. センターブームのトラスフレームの垂直フランジについている穴を、左または右のブームのトラスフレームの穴に合わせる図 117。

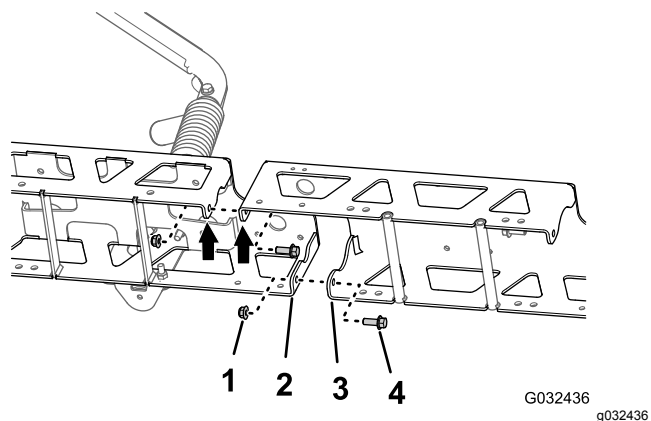


図 117

1. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "
2. 垂直フランジ右または左ブームのトラスフレーム
3. 垂直フランジ中央ブームのトラスフレーム
4. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1"

2. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする図 117 フランジヘッドボルト ($\frac{3}{8}$ x 1") 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ "を使用する。
3. センターブームのトラスフレームの垂直フランジについている穴を、右または左ブームのトラスフレームの穴に合わせる図 117。
4. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする図 117 フランジヘッドボルト ($\frac{3}{8}$ x 1") 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ "を使用する。
5. シリンダマウントの穴を、中央ブーム用トラスフレームのセンターラインの穴に合わせる図 118。

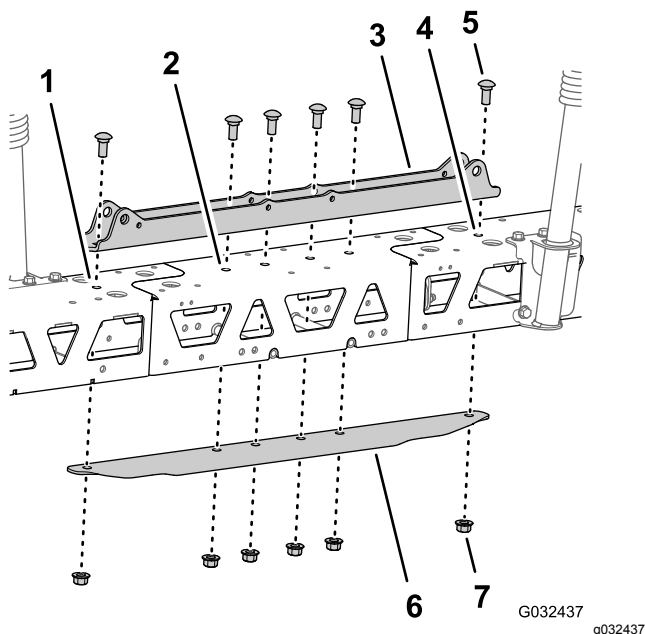


図 118

- | | |
|---------------|--|
| 1. 左側トラスフレーム | 5. キャリッジボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ " |
| 2. 中央トラスフレーム | 6. スティフナチャンネル幅広 |
| 3. シリンダマウント幅広 | 7. フランジロックナット $\frac{1}{2}$ " |
| 4. 右側トラスフレーム | |

- スティフナチャンネルを、中央および右または左トラスフレームの中に入れ、スティフナチャンネルの穴を、中央トラスフレームセンターラインの穴に合わせる 図 118。
- シリンダマウント、トラス、中央ブームエクステンション、スティフナチャンネルの組み付けを行うステップ3 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 37) で外したキャリッジボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ " 2本とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ " 2個と、ジオリンクスプレースシステム仕上りキットに入っているキャリッジボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ " 4本とフランジロックナット ($\frac{1}{2}$ ") 4個を使用する 図 118。
- フランジヘッドボルトとフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft·lb にトルク締めする。
- フランジロックナット $\frac{1}{2}$ " を、91-113 N·m 9.3-11.5 kg·m = 67-83 ft·lb にトルク締めする。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ " ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

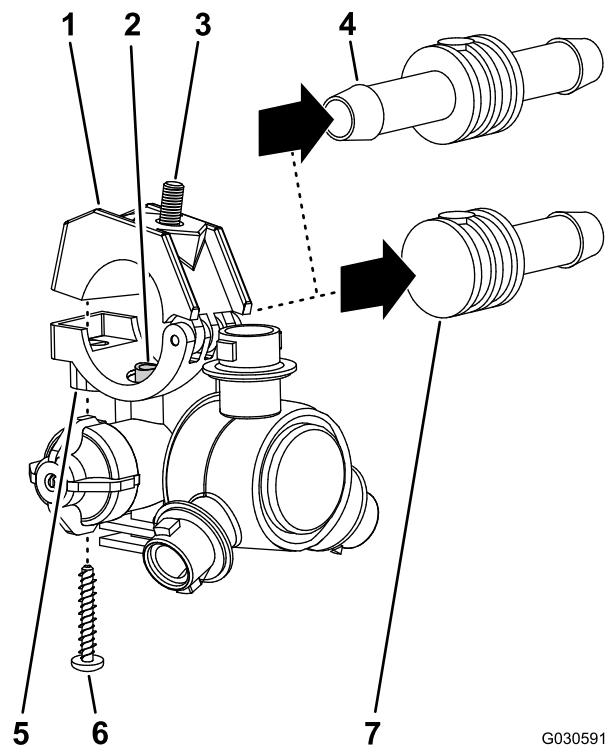


図 119

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. クランプの上半分 | 5. サドルスプレーノズルのボディ |
| 2. トランスファチューブ | 6. ステンレスねじ#12 x $1\frac{1}{4}$ " |
| 3. 六角ヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ " ステンレス | 7. 片側バーブ付きホースシャंक $\frac{1}{2}$ " |
| 4. 両側バーブ付きホースシャंक $\frac{3}{4}$ " | |

- センターブームで、ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ 図 120 と 図 121 を、片側バーブ付きホースシャंक $\frac{1}{2}$ " の側面の穴に合わせる。

新しいセンターブームにノズルを取り付ける

- 適当な吊り上げ装置を使って、新しいセンターブームを作業しやすい高さまで吊り上げる。
- ステップ1 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 37) で取り外した3個のノズル全部について片側または両側バーブ付きホースシャंक $\frac{3}{4}$ " とそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x $1\frac{1}{4}$ " を外してバーブ付きホースシャंकをから外す 図 119。

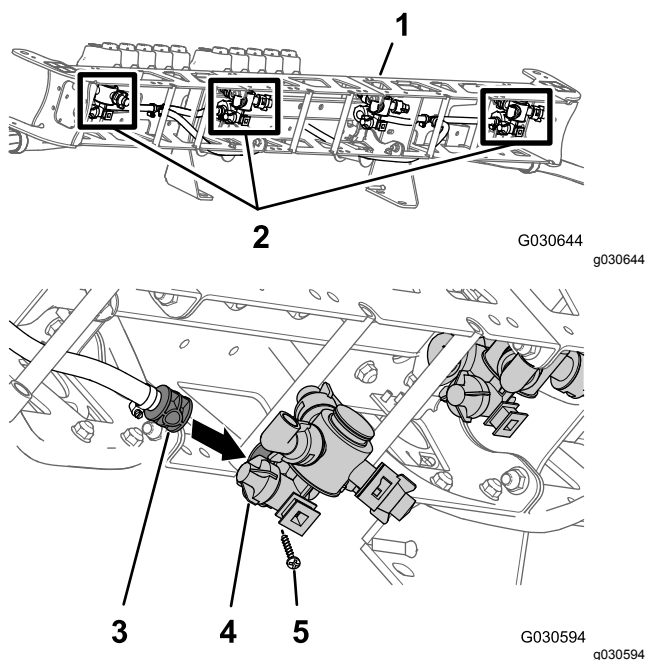


図 120

1. センターブーム新しいもの
2. ノズル古いセンターブームから取り外したもの
3. 片側バーブ付きホースシャック½"
4. スプレーノズルのボディ
5. ステンレスねじ#12 x 1¼"

4. バーブ付きホースシャックにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ図 121を、ステンレスねじ#12 x 1-¼"で固定する。

注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x ¾"がきちんとはまっていることを確認してください。

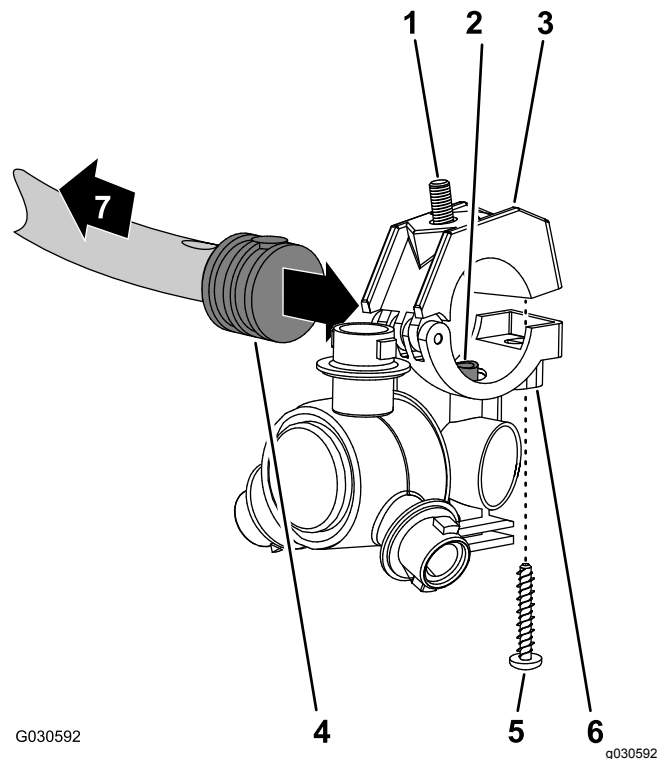


図 121

1. 六角ヘッドボルト5/16 x ¾"ステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャック½"
5. ステンレスねじ#12 x 1¼"
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

5. ノズルマウントにノズルを組み付ける図 79ステップ2 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 37)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。
6. フランジロックナットを、1978 2542N·cm 2.02.6kg.m = 175225in·lbにトルク締めする。
7. マシンの反対側の2つのノズルと2つの片側バーブ付きホースシャック½"についても 3-6 の作業を行う。

センターブームにクレードルを取り付ける

1. ステップ 3 ブームクレードルを取り外す (ページ 36)で取り外した右側ブームクレードル用取り付けブラケットの穴を、新しいセンターブームの表裏両側シリンダマウントの右側の穴に合わせる図 122。

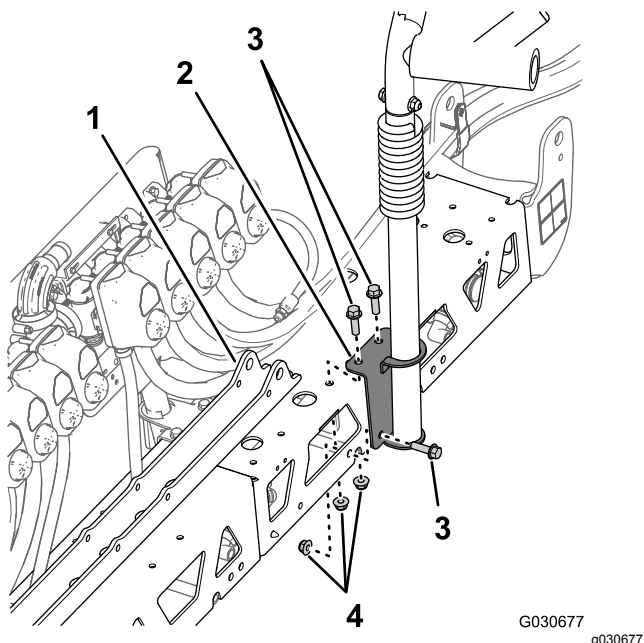


図 122

1. シリンダマウント
 2. 取り付けブラケット右側クレードルアセンブリ
 3. フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4"
 4. フランジロックナット
-
2. 右側boom用クレードルアセンブリをセンターboomに取り付けるステップ 3 boomクレードルを取り外す (ページ 36) で取り外したフランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/4" 3本とフランジロックナットを使用する。
 3. ボルトとナットを 37 45N・m 3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lb にトルク締めする。
 4. 新しい左下部boomクレードルの取り付けブラケットの穴を、新しいセンターboomの上と前側マニホールドマウントの左側の穴に合わせる 図 123。

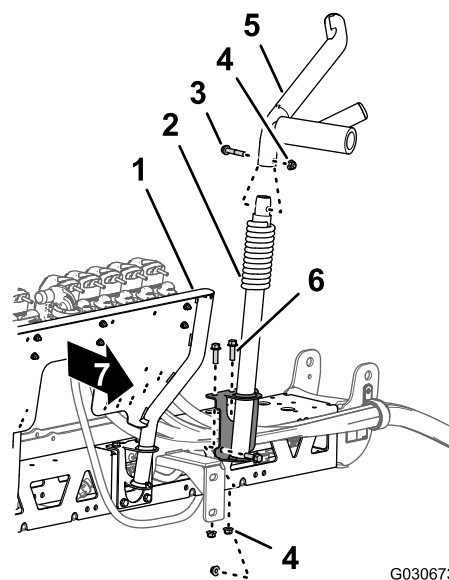


図 123

1. マニホールドマウントバルブ
 2. 下部クレードルアセンブリ
 3. フランジヘッドボルト3/8 x 2"
 4. フランジロックナット3/8"
 5. 上部クレードルアセンブリ 10個の構成
 6. フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4"
 7. 新しいセンターboomの前面
-
5. boomクレードルをセンターboomに取り付けるステップ 2 boomクレードルを取り外す (ページ 36) で取り外したフランジヘッドボルト3本とフランジロックナット3個を使用する。
 6. 左下部クレードルで、ステップ 1 boomクレードルを取り外す (ページ 36) で取り外した上部クレードルを、下部クレードル 図 123 に取り付けフランジヘッドボルト3/8 x 2"とフランジロックナット 3/8"を使用する。
 7. ステップ 1 boomクレードルを取り外す (ページ 36) で取り外した左上部クレードルを、下部クレードルに取り付けるフランジヘッドボルト3/8 x 1-1/4" 3本とフランジロックナット3/8"を使用する。
 8. ボルトとナットを 37 45N・m 3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lb にトルク締めする。

23

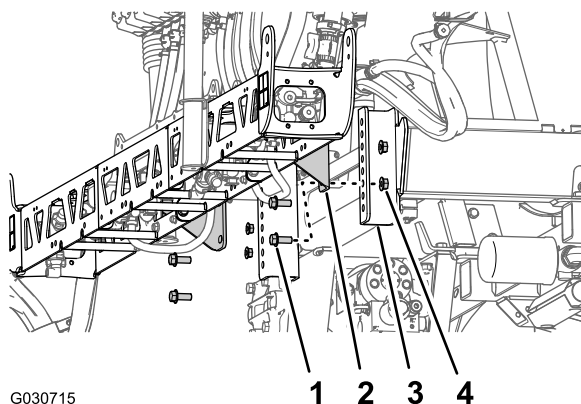
新しいセンターブームを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

吊り上げ装置に必要な能力: 102kg

1. 所定の能力のある吊り上げ装置を使ってセンターブームを吊り上げ、サポートブラケットについているブーム用の穴を、車両のフレームの取り付けチャネル部材の3番目と6番目の穴に合わせる [図 104](#)。



G030715

図 124

g030715

1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ "
2. サポートブラケット 10バルブ構成用のセンターブーム
3. 取り付け用チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット $\frac{1}{2}$ "

2. センターブームを取り付け用チャネル部材に組み付けるステップ [3 センターブームを取り外す \(ページ 38\)](#) で取り外したフランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ " 4本とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ " 4個を使用する。
3. ボルトとナットを $91\,113\text{N}\cdot\text{m}$ $9.3\,11.5\text{kg}\cdot\text{m}$ = $67\,83\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

24

フローメータと水圧トランスデューサを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フローメータ
2	フランジクランプ 76mm 3"
2	ガスケット 外径 2- $\frac{1}{4}$ "
2	縮径アダプタ
1	フランジクランプ 51mm 2"
1	ガスケット 外径 1- $\frac{5}{16}$ "
1	バープ付きフランジフィッティング 1"
1	ホース 1 x 7- $\frac{1}{4}$ "
4	ホースクランプ
1	水圧トランスデューサとマニホールド
1	ホース 1 x 8- $\frac{1}{2}$ "
1	R クランプ
1	フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ "
1	フランジロックナット $\frac{5}{16}$ "

フローメータと水圧トランスデューサを組み立てる

1. ガスケット 2- $\frac{1}{4}$ " と縮径アダプタを、フローメータの矢印の先端側に取り付ける [図 125](#)。

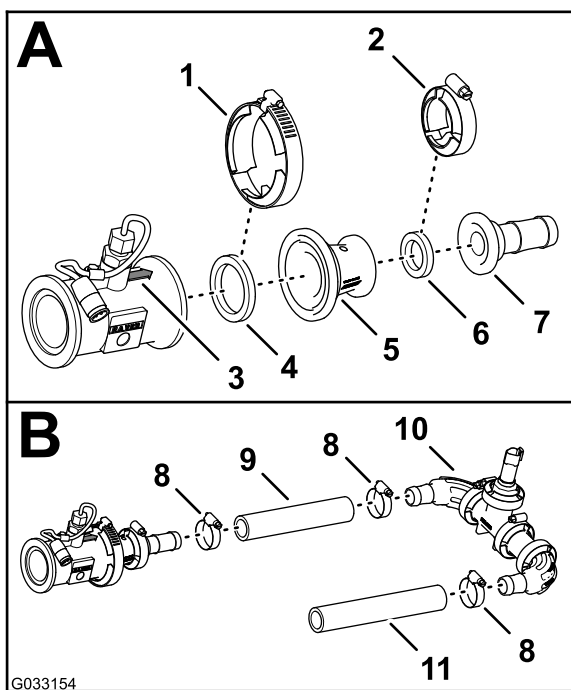


図 125

1. フランジクランプ 76mm3"
 2. フランジクランプ 51mm2"
 3. 方向矢印
 4. ガasket 外径 2-1/4"
 5. 縮径アダプタ
 6. ガasket 外径 1-5/16"
 7. バープ付きフランジフィッティング 1"
 8. ホースクランプ
 9. ホース 1 x 7-1/4"
 10. 水圧トランスデューサとマニホルド
 11. ホース 1 x 8-1/2"
2. フランジクランプ 76mmを使って、フローメータ、ガasket、縮径アダプタ図 125を固定する。
 3. ガasket 2-1/4"とバープ付きのホースフィッティングを、縮径アダプタにセットする図 125。
 4. フランジクランプ 51mm = 2"を使って、バープ付きフランジフィッティング、ガasket、縮径アダプタ図 125を固定する。
 5. 図 125に示すように、水圧トランスデューサとマニホルドのバープ付きエルボフィッティングに組み付ける。
 6. ホースクランプ2個を使って、ホースとバープ付きフィッティングを固定する図 125。
 7. 図 125に示すように、水圧トランスデューサとマニホルドのもう一方のバープ付きエルボフィッティングに、ホース 1 x 8-1/2"を組み付ける。
 8. ホースとバープ付きフィッティングをホースクランプで固定する図 125。

フローメータと水圧トランスデューサを機体に取り付ける

1. フローメータと縮径アダプタマスターコントロールバルブの右側に取り付けられているの間にガasket 2-1/4"を合わせる図 126。

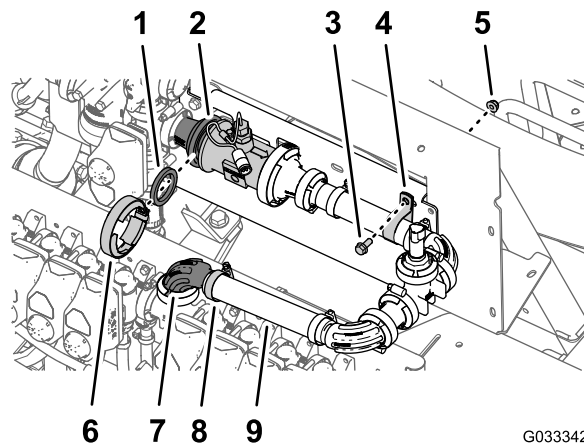


図 126

1. ガasket 外径 2-1/4"
 2. 縮径アダプタとフローメータのフランジ
 3. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"
 4. R クランプ
 5. フランジロックナット 5/16"
 6. フランジクランプ 76mm3"
 7. 90°フランジ付きフィッティング 1"
 8. ホースクランプ
 9. ホース 1 x 8-1/2"
2. ガasket、フローメータ、縮径アダプタ図 126を、フランジクランプ 76mmで仮組みする。
 3. ホースクランプを使って、ホース 1 x 22cmの端部を、を 90°フランジフィッティングに仮組み付ける図 126。
 4. 水圧トランスデューサとマニホルドを固定するRクランプ、フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"とフランジロックナット 5/16"を使用して図 126のように取り付ける。
 5. ステップ 2と4で仮組みしたフランジクランプとホースクランプを本締めする。

ブーム昇降シリンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4 油圧ホース 1/4 x 24 3/4"

ブーム昇降マニホルドを取り付ける

1. ステップ 3 昇降シリンダマニホルドとサポートブラケットを外す (ページ 36) で取り外したブーム昇降マニホルド用サポートブラケットの穴を、新しいセンターブームのシリンダマウントに合わせる 図 127。

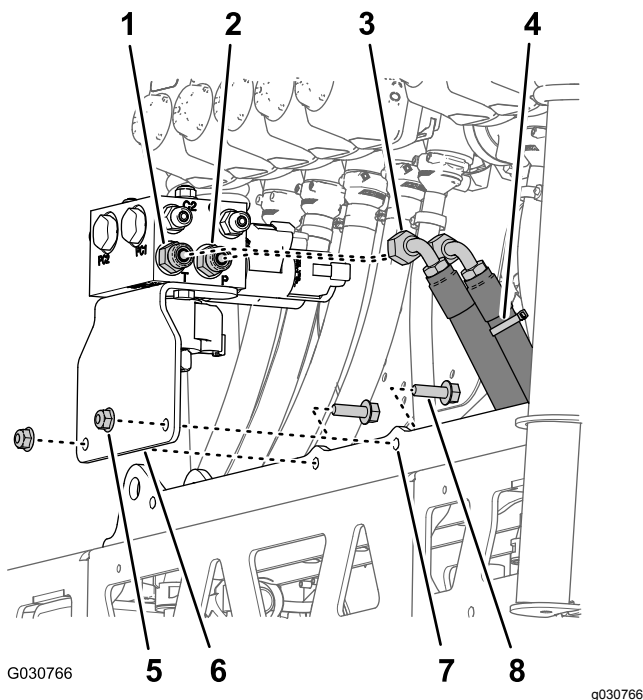


図 127

1. ストレートフィッティングポート T
2. ストレートフィッティングポート P
3. 戻り側油圧ホース
4. 高圧側油圧ホースケーブルタイでマーキングしたもの
5. フランジロックナット 5/16"
6. サポートブラケットとブーム昇降マニホルド
7. シリンダマウント
8. フランジヘッドボルト 5/16 x 1"

2. サポートブラケットをシリンダマウントに取り付ける 図 127 ステップ 昇降シリンダマニホルドとサポートブラケットを外す (ページ 36) で取り外したフランジヘッドボルト 5/16 x 1" 2本とフランジロックナット 5/16" を使用する。

3. ボルトとナットを 1978 2542 N·cm 2.0-2.6 kg·m = 175 225 in·lb にトルク締めする。
4. 高圧側油圧ホースケーブルタイでマーキングしたものを、ブーム昇降マニホルドのポート P に接続する 図 127。
5. 戻り側油圧ホースを、ブーム昇降マニホルドのポート T に接続する 図 127。
6. 各ホースのスイベルナットを 3745 N·m 3.74.6 kg·m = 27 33 ft·lb にトルク締めする。

昇降シリンダを組み立てる

1. ステップ 4 昇降シリンダを取り外す (ページ 34) で取り外した昇降シリンダの固定側端部を、シリンダマウントの 16mm の穴にセットする 図 128。

注 延びる側のポートと縮む側のポートを間違えないように整理させてください。

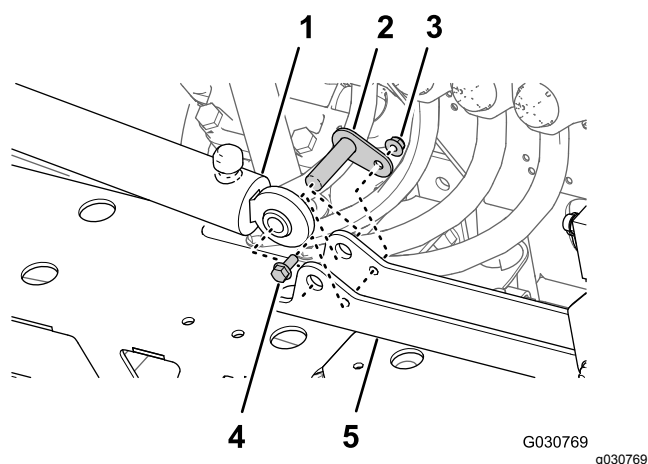


図 128

1. 昇降シリンダ固定側
2. ピボットピン
3. フランジロックナット 5/16"
4. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"
5. シリンダマウント

2. シリンダをマウントに組み付けるピボットピン、フランジヘッドボルト、フランジナットを使用する 図 128。

3. ボルトとナットを 1978-2542 N·cm 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。
4. 機体の反対側の昇降シリンダについても 1-3 の作業を行う。

昇降シリンダホースを取り付ける

1. 左側ブーム昇降シリンダの延長動作ポートとブーム昇降マニホルドのポート C3 との間に、新しい油圧ホース 1/4 x 24 3/4" を仮止めする 図 129。

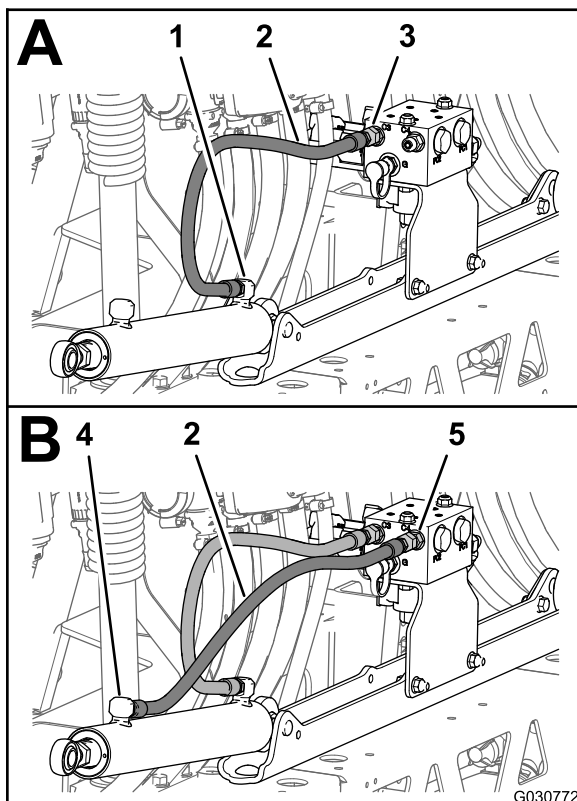
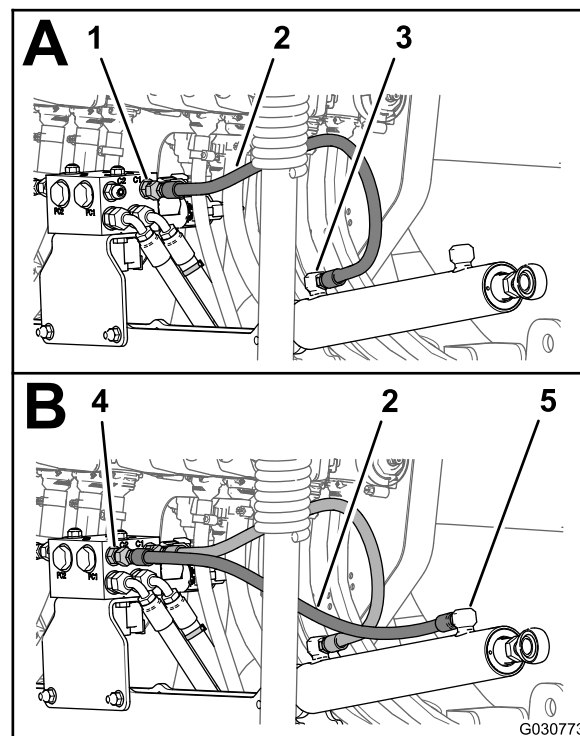


図 129

g030772

1. 延長動作用ポート左側ブーム昇降シリンダ
 2. 油圧ホース 1/4 x 24 3/4"
 3. ポート C3ブーム昇降マニホルド
 4. 引き込み側ポート左側ブーム昇降シリンダ
 5. ポート C4ブーム昇降マニホルド
2. 左側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C4 との間に、新しい油圧ホース 1/4 x 24 3/4" を仮止めする (図 129)。
 3. 右側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C1 との間に、新しい油圧ホース 1/4 x 24 3/4" を仮止めする (図 130)。



g030773

図 130

1. ポート C1ブーム昇降マニホルド
 2. 油圧ホース 1/4 x 24 3/4"
 3. 延長動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
 4. ポート C2ブーム昇降マニホルド
 5. 収縮動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. 右側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホルドのポート C2 との間に、新しい油圧ホース 1/4 x 24-3/4" を仮止めする (図 130)。
 5. 昇降シリンダの延長動作用および収縮動作用のポートのホースフィッティング (図 129 と 図 130) を 2126N·m2.12.6kg.m = 1519ft·lb にトルク締めする。
 6. 昇降マニホルドのホースのスイベルナット (図 129 と 図 130) を 2430N·m2.43.0kg.m = 1722ft·lb にトルク締めする。

26

左右のブームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

- | | |
|---|---------------|
| 4 | ナイロン製フランジブッシュ |
|---|---------------|

バンパーを取り付ける

1. ステップ4 ブームクレードルを取り外す (ページ 36) で取り外したバンパー用のねじ山付きスタッ

ドを、センターブームの上部プレートの端部にある真ん中の穴に通す 図 131。

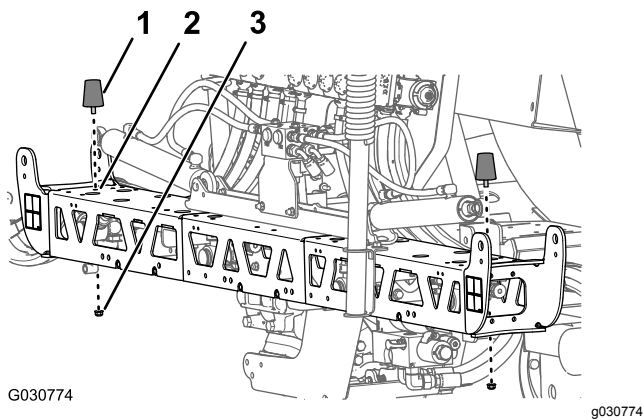


図 131

1. バンパー
2. 真ん中の縦穴前から後ろセンターブームの端部の上部プレートのところ
3. フランジロックナット5/16"

2. センターブームにバンパーを固定する4 ブームクレードルを取り外す (ページ 36) で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

左右のブームからスプレーノズルを外す

1. ふたつのノズルの間でホースを切断する 図 132。

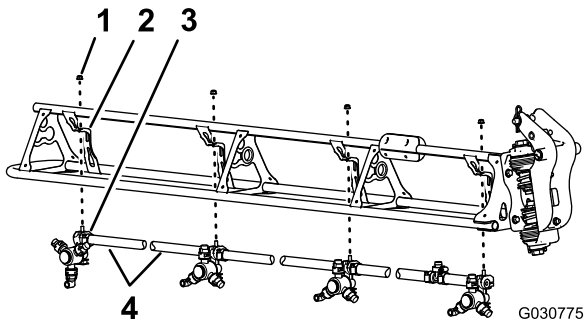


図 132

1. フランジロックナット5/16"
2. ノズルサポート
3. スプレーノズル
4. ホース内径 3/4"

2. ノズルをノズルサポートに固定しているフランジロックナット5/16"を外す 図 132。
3. 他の3個のノズルについても、上記の手順2と1を行う。

注 外したフランジロックナットとノズルは 左右ブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 64) で使用しますので捨てないでください。

注 機体から外したホース、クランプ、T字フィッティングは廃棄してください。

4. 反対側のブームについても、23の作業を行う。
5. ステップ1で取り外した8個のノズル全部について片側または両側バーブ付きホースシャंक 3/4"とそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1-1/4"を外してバーブ付きホースシャंकをから外す 図 133。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"ーステンレスは再利用しますから捨てないでください。

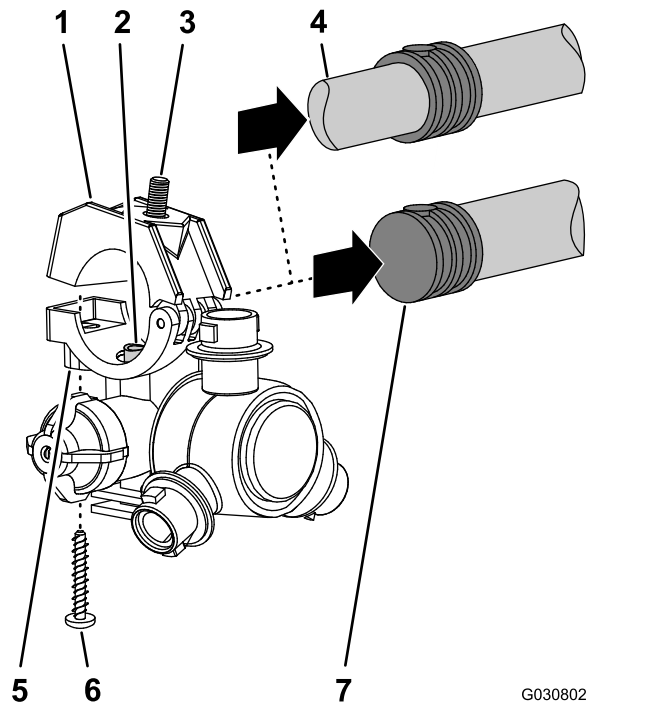


図 133

1. クランプの上半分
2. トランスファチューブ
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"ステンレス
4. 両側バーブ付きホースシャंक3/4" ホース
5. スプレーノズルのボディ
6. ステンレスねじ#12 x 1 1/4"
7. 片側バーブ付きホースシャंक3/4" ホース

左右のブームを機体に取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを吊り上げる。
2. ピボットフィッティングの両側にある 31.8mm の穴に、ナイロン製のフランジブッシュを入れる 図 134。

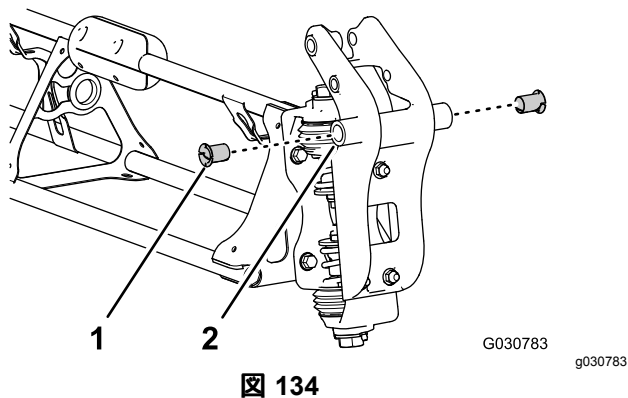


図 134

1. ナイロン製フランジブッシュ 2. ピボットフィッティング左右ブーム

3. ブッシュを、センターブームの端部にあるピボットブラケットのフランジについている穴に合わせる 図 135。

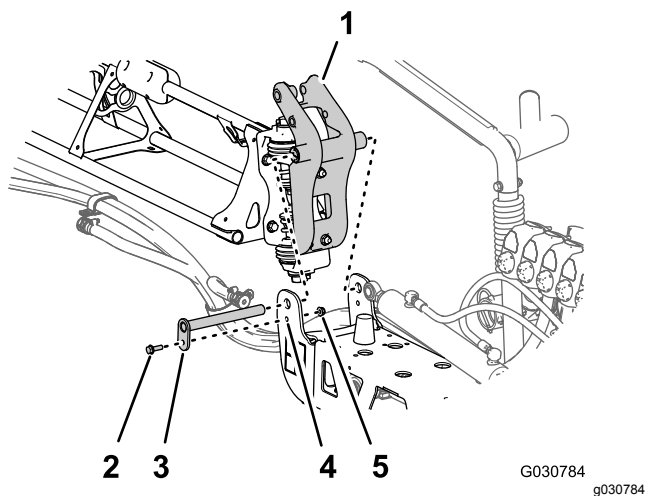


図 135

1. ピボットフィッティング左右ブーム 4. ピボットブラケットセンターブーム
2. フランジボルト5/16 x 1" 5. フランジロックナット5/16"
3. ピボットピン

4. ピボットフィッティングをピボットブラケットに取り付けるステップ 1と216 ブームを取り外す (ページ 34)で取り外したピボットピン、フランジボルト5/16 x 1"とフランジロックナット5/16"を使用する。
5. ボルトとナットを 19.78-25.42 N・m2.0-2.6 kg・m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
6. 昇降シリンダのロッドの先端を、ピボットフィッティングのホーンツノの穴25mmに合わせる 図 136。

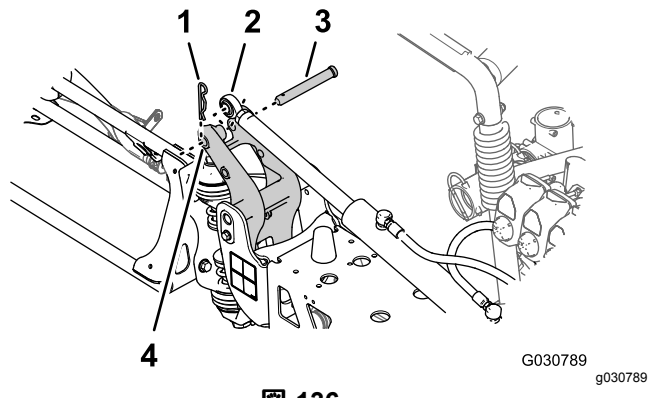


図 136

1. ヘアピン 3. クレビスピン
2. ロッドの先端昇降シリンダ 4. 25mm の穴 — ピボットフィッティングのホーン

7. 昇降シリンダをピボットフィッティングに固定するクレビスピンとヘアピン 図 136ステップ3 昇降シリンダを取り外す (ページ 34)で外したものを使用する。
8. 機体の反対側の外側ブームにも、ステップ 17 の作業を行う。

27

散布ノズル用ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	給液ホースアセンブリ279cm
2	給液ホースアセンブリ234cm
4	給液ホースアセンブリ188cm
2	給液ホースアセンブリ81cm

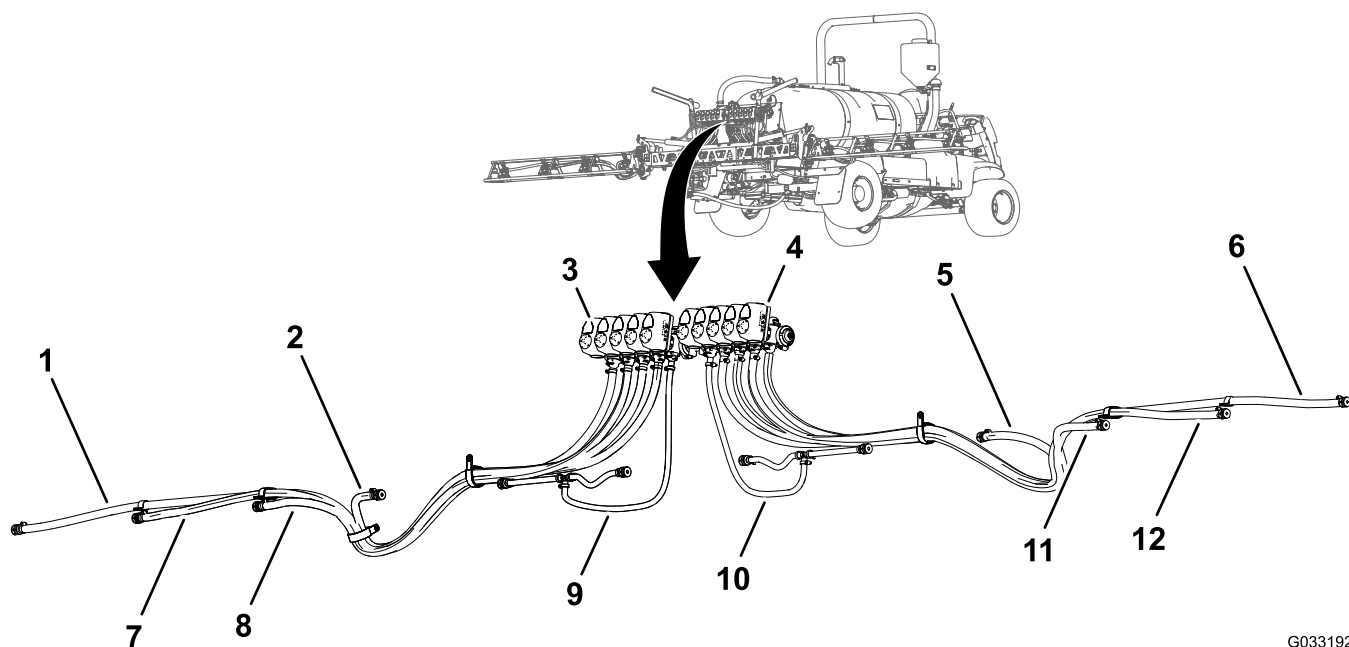
各散布ノズル用ホースの取り付け位置を確認する

各ホースの取り付け位置をホースの長さで確認する 図 137

ホース取り付け位置確認表

ノズルの位置左ブーム	ノズルの位置センターブーム	ノズルの位置右ブーム
散布ノズル 1ノズルバルブ 1 給液ホース 279cm	散布ノズル と6ノズルバルブ 5 給液ホース 81cm 枝ホース本付き	散布ノズル 9ノズルバルブ 7 給液ホース 188cm
散布ノズル 2ノズルバルブ 2 給液ホース 234cm	散布ノズル 7と8ノズルバルブ 6 給液ホース 81cm 枝ホース本付き	散布ノズル 10ノズルバルブ 8 給液ホース 188cm
散布ノズル 3ノズルバルブ 3 給液ホース 188cm		散布ノズル 11ノズルバルブ 9 給液ホース 234cm
散布ノズル 4ノズルバルブ 4 給液ホース 188cm		散布ノズル 12ノズルバルブ 10 給液ホース 279cm

注 ノズルバルブの位置については 図 138 各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。(ページ 62)、図 139 ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。(ページ 62)、および図 140 各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。(ページ 63) を参照してください。



G033192
g033192

図 137

- | | | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 給液ホース279cm 散布ノズル | 5. 給液ホース188cm 散布ノズル9 | 9. 給液ホース81cm 散布ノズルと6 |
| 2. 給液ホース188cm 散布ノズル4 | 6. 給液ホース279cm 散布ノズル12 | 10. 給液ホース81cm 散布ノズル7と8 |
| 3. ノズルバルブ 1番 | 7. 給液ホース234cm 散布ノズル2 | 11. 給液ホース188cm 散布ノズル10 |
| 4. ノズルバルブ 10番 | 8. 給液ホース188cm 散布ノズル3 | 12. 給液ホース234cm 散布ノズル11 |

各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。

1. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ1番のカップラに組み付ける図 138。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

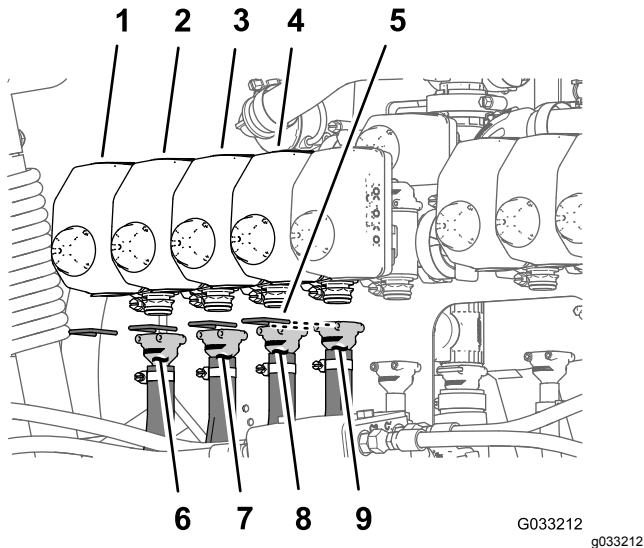


図 138

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. ノズルバルブ 1番 | 6. 給液ホースアセンブリ279cm |
| 2. ノズルバルブ 2番 | 7. 給液ホースアセンブリ234cm |
| 3. ノズルバルブ 3番 | 8. 給液ホースアセンブリ188cm |
| 4. ノズルバルブ 4番 | 9. 給液ホースアセンブリ188cm |
| 5. リテーナ | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。
3. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ2番のカップラに組み付ける図 138。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。
5. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ3番のカップラに組み付ける図 138。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。

7. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ4番のカップラに組み付ける図 138。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 138。

ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。

注 給液ホースアセンブリ81cmには T字フィッティング、枝ホース本、バーブ付きホースシャंक本が付きます。

1. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ5番のカップラに組み付ける図 139。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

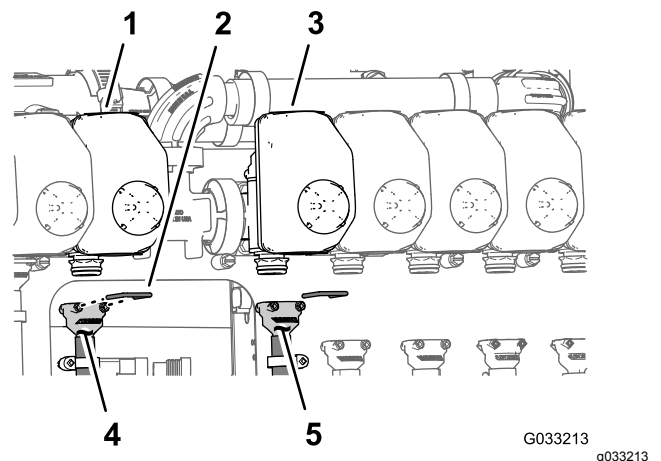


図 139

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. ノズルバルブ 5番 | 4. 給液ホースアセンブリ81cm |
| 2. リテーナ | 5. 給液ホースアセンブリ81cm |
| 3. ノズルバルブ 6番 | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 139。
3. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ6番のカップラに組み付ける図 139。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する図 139。

各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。

1. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ7番のカップラに組み付ける [図 140](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

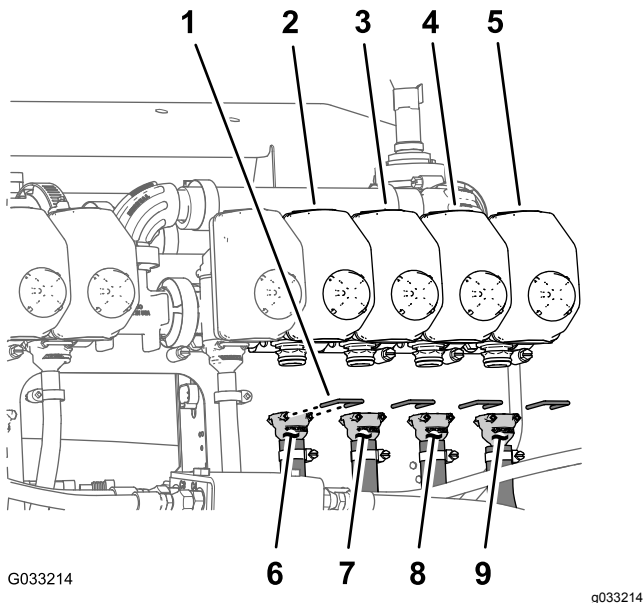


図 140

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. リテーナ | 6. 給液ホースアセンブリ188cm |
| 2. ノズルバルブ 7番 | 7. 給液ホースアセンブリ188cm |
| 3. ノズルバルブ 8番 | 8. 給液ホースアセンブリ234cm |
| 4. ノズルバルブ 9番 | 9. 給液ホースアセンブリ279cm |
| 5. ノズルバルブ 10番 | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 140](#)。
3. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ8番のカップラに組み付ける [図 140](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 140](#)。
5. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ9番のカップラに組み付ける [図 140](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 140](#)。

7. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ10番のカップラに組み付ける [図 140](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 140](#)。

給液ホースを散布ノズルへ配設する

1. 散布ノズル1、2、3、4番用のホースを、センターブームの左端にあるR クランプに通す [図 141](#) と [図 142](#)。

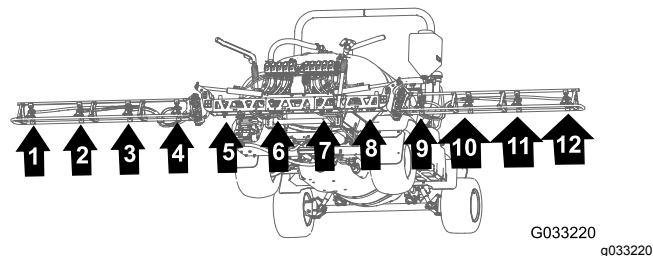


図 141

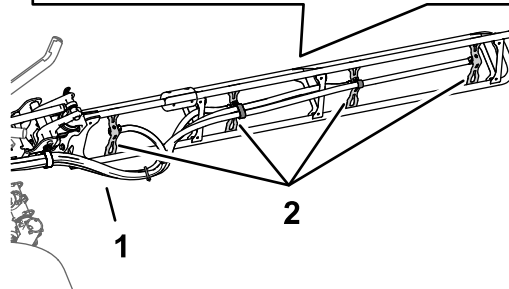
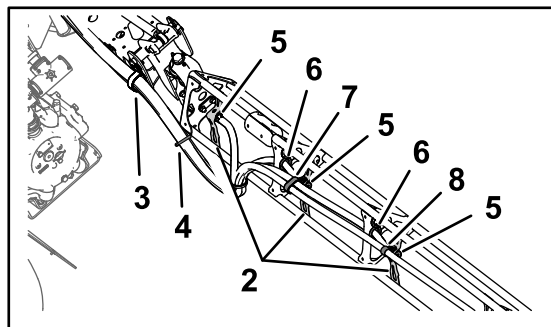


図 142

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. ホース | 5. 片側バーブ付きホースシャック½" |
| 2. ノズルサポート | 6. グロメット |
| 3. R クランプ | 7. ダブル R クランプ |
| 4. ケーブルタイ | 8. シングル R クランプ |

2. 散布ノズル7、8、9、10番用のホースを、センターブームの右端にあるR クランプに通す [図 141](#) と [図 142](#)。

3. 図 141と図 142のように、給液ホース279cmとバーブ付きホースシャंक3/4"をブームに沿って散布ノズル-10番へ配設する。
4. 図 141と図 142のように、給液ホース234cmとバーブ付きホースシャंक3/4"をブームに沿って散布ノズル29番へ配設する。
5. 図 141と図 142のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャंक3/4"をブームに沿って散布ノズル3番と8番へ配設する。

注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

6. 図 141と図 142のように、給液ホース188cmとバーブ付きホースシャंक3/4"をブームに沿って散布ノズル4番と7番へ配設する。

注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

7. 散布ノズル用のホース4本をケーブルタイで 図 142のようにまとめる。

2. バーブ付きホースシャंकにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ 図 143を、ステンレスねじ#12 x 1-1/4"で固定し、14-18N・m 0.25-0.3kg・m = 20-25in-lbにトルク締めする。

注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"がきちんとはまっていることを確認してください。

3. 以下の要領で、左右のブームにスプレーノズルを取り付ける

- ・ ノズル位置1番と4番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 144のAステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 59)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。
- ・ ノズル位置2番と3番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 144のAとBステップ2 左右ブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 64)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

左右ブームの散布ノズルを取り付ける

1. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ 図 143を、片側バーブ付きホースシャंक1/2"の穴に合わせる。

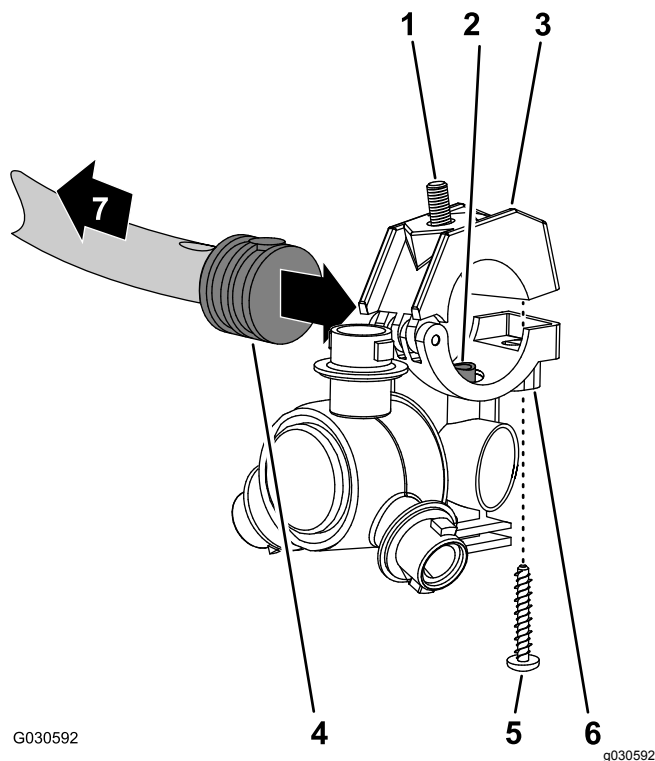


図 143

1. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"ステンレス
2. トランスファチューブ
3. クランプの上半分
4. 片側バーブ付きホースシャंक1/2"
5. ステンレスねじ#12 x 1 1/4"
6. スプレーノズルのボディ
7. ブームへ

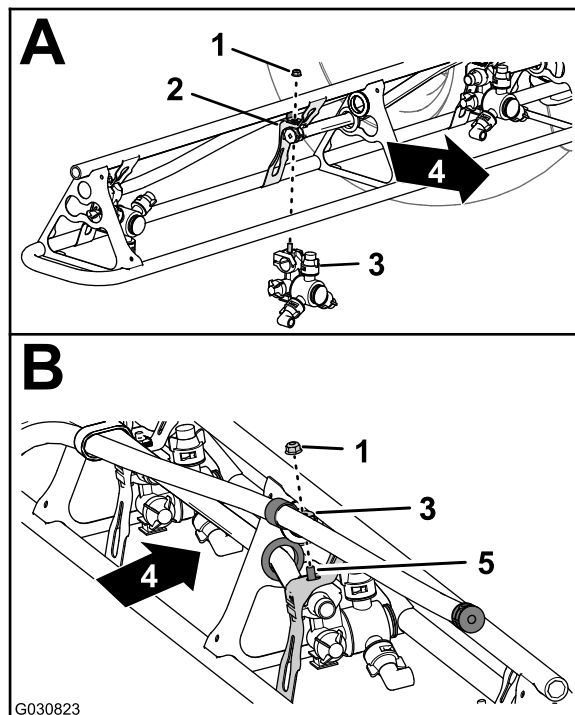


図 144

1. フランジロックナット5/16"
2. ノズルマウント
3. スプレーノズル
4. 機体後方
5. 六角ヘッドボルトステンレス5/16 x 3/4"

4. フランジロックナットを、19.78-25.42 N・m 2.0-2.6 kg・m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
5. 他のノズルについても、14の手順を行う。
6. 機体の反対側の外側ブームについても、15の作業を行う。

ダッシュボードの水圧計用の 水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知 チューブを接続する

オプションのホースリールキットを搭載していない
車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロックカラーに合わせる 図 145。

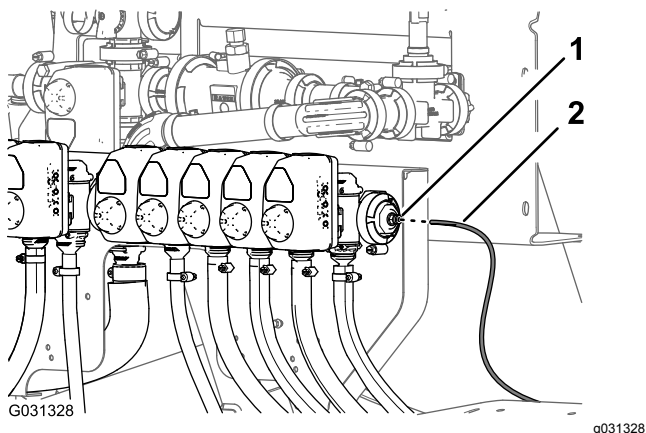


図 145

1. ロッキングカラーチューブ 2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. 検知チューブをロックカラーに挿入して一番奥まで押し込む 図 145。

水圧検知チューブを取り付ける

オプションのスプレーガンキットまたはオプションの
収納式ホースリールキット

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロックカラーに合わせる 図 146と図 147。

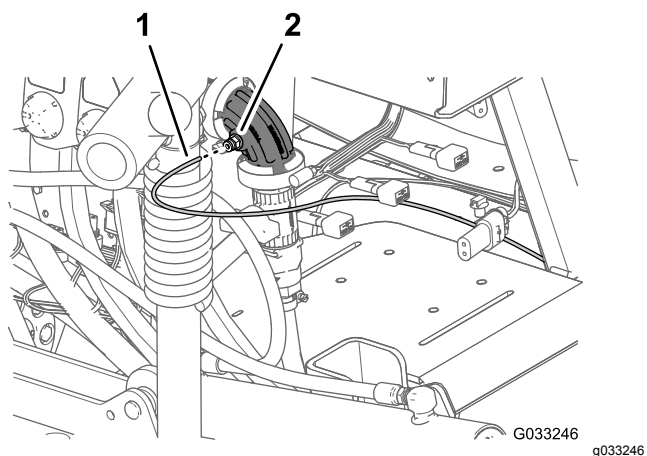


図 146

オプションのスプレーガンキット

1. 水圧検知チューブダッシュ 2. チューブカップラ90° エルボードの水圧計用
ボノズルバルブ 10

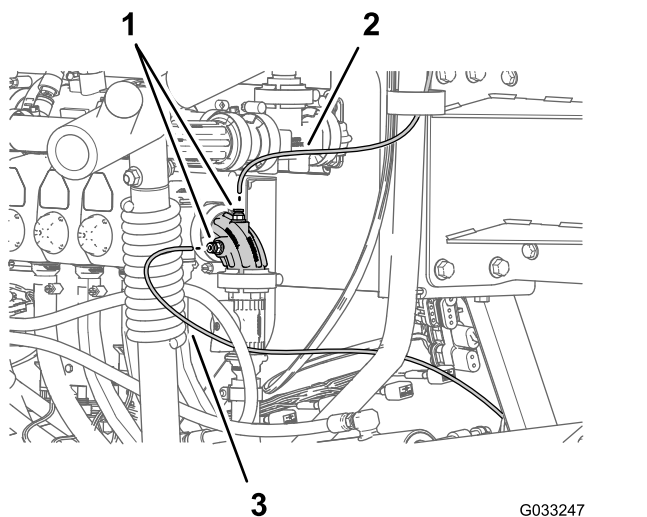


図 147

収納式ホースリールキットオプション

1. 水圧検知チューブ収納式 3. 水圧検知チューブダッシュ
リールの水圧計用 ボードの水圧計用
2. チューブカップラ90° エル
ボノズルバルブ 10

2. 検知チューブをロックカラーに挿入して一番奥まで押し込む 図 146と図 147。

29

ナビゲーション受信機を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ナビゲーション受信機ジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	受信機用マウント
2	ボルト
1	RTK アンテナ用ブラケットIMUオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
4	フランジロックナット3/8"
3	六角ヘッドボルト5 x 16mm
3	ワッシャ5mm
1	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	シリアル番号ラベルX25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品)

ナビゲーション受信機を車体に組み付ける

1. 受信機用マウントの中央部にあるスロットを、ROPSのセンターライン溶接跡に合わせる図 148。

注 穴が2つあいている大きいフランジを ROPS の後方に向け、穴が1つの小さいフランジを前方に向けてください。

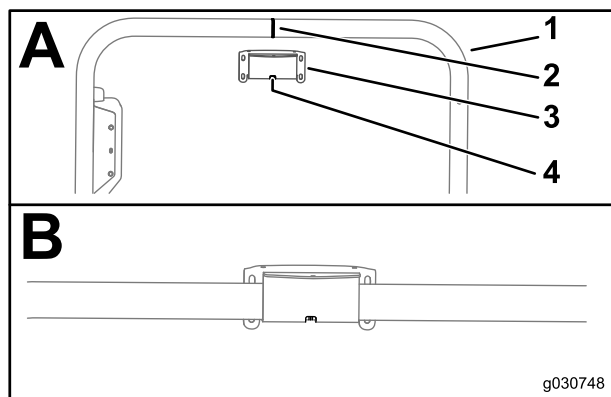


図 148

1. ROPSチューブ
2. 溶接跡ROPS
3. 受信機用マウント
4. スロット

2. 以下の要領で、受信機用マウントをROPSに取り付ける

- WAASwide area augmentation system付き GNSS を搭載している機体では、U ボルト2本とフランジロックナット4個3/8 inchを使用する図 149。

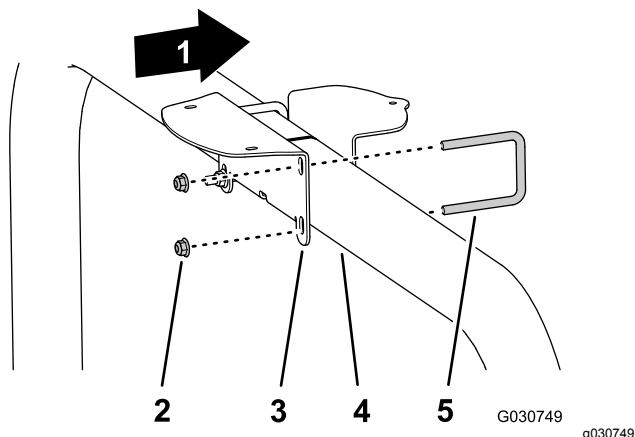


図 149

1. 機体前方
2. フランジロックナット3/8"
3. 受信機用マウント
4. ROPSチューブ
5. ボルト

- GNSS と CDMA または GSM RTK 修正モデムキットを搭載している機体では、U ボルト2本とフランジロックナット4個3/8 inchを使用して、受信機用マウントと共に RTK 用のアンテナブラケットを取り付ける図 150。

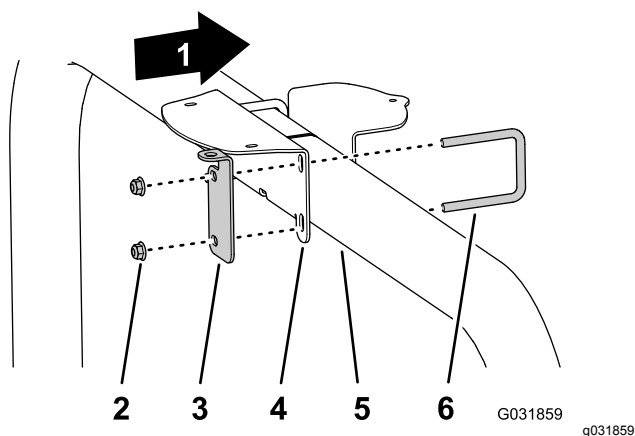


図 150

1. 機体前方
2. フランジロックナット3/8"
3. RTK 用のアンテナブラケット
4. 受信機用マウント
5. ROPSチューブ
6. ボルト

3. ナットを3745N・m3.74.6kg.m=2733ft-lbにトルク締めする。
4. 受信機底部の3本のねじ部を、マウントの3つの穴に合わせる図 151。

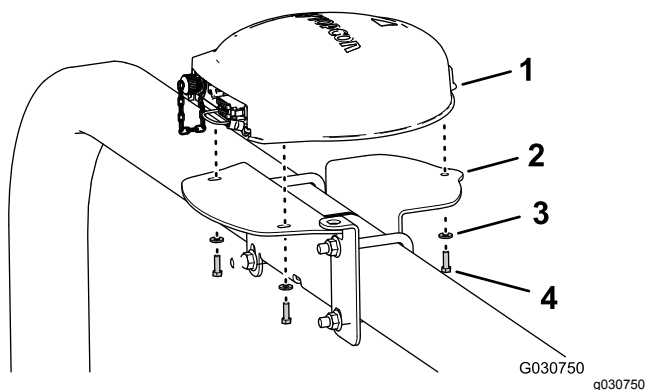


図 151

図は RTK アンテナ用ブラケットも表示。GNSS のみの場合もほぼ同様である。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. ナビゲーション受信機 | 3. ワッシャ5mm |
| 2. 受信機用マウント | 4. 六角ヘッドボルト5 x 16mm |

5. 受信機をマウント荷台に固定する図 151 六角ヘッドボルト5 x 16mm3本と、ワッシャ5 x 16mm3枚を使用する。
6. ボルト3本を 576-712 N·cm 0.6-0.7 kg.m = 51-63 in-lb にトルク締めする。
7. 受信機のマウントにシリアル番号ラベルを貼り付ける図 152。

注 ラベルは、X25 および X30 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット付属品です。

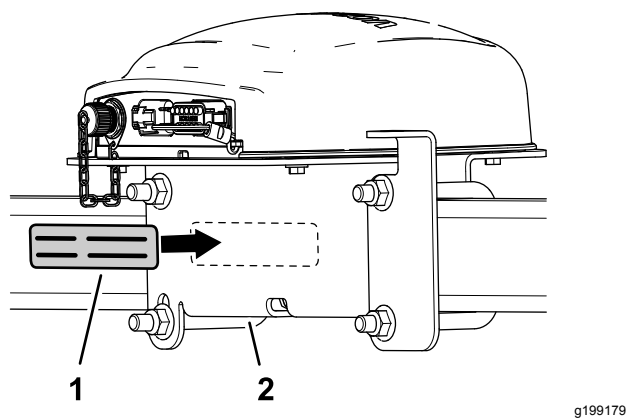


図 152

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. シリアル番号ラベル | 2. 受信機用マウント |
|--------------|-------------|

ナビゲーション受信機に RTK アンテナを取り付ける

注 CDMA RTK または GSM RTK 修正モデムを搭載している車両では、RTKを取り付けます。

1. 同軸カップラのねじ部分を下に向けて RTK アンテナ用ブラケットの開口部に通す図 153。

注 同軸ケーブルコネクタのねじの平たい部分をブラケットの開口部の平たい部分に合わせて入れてください。

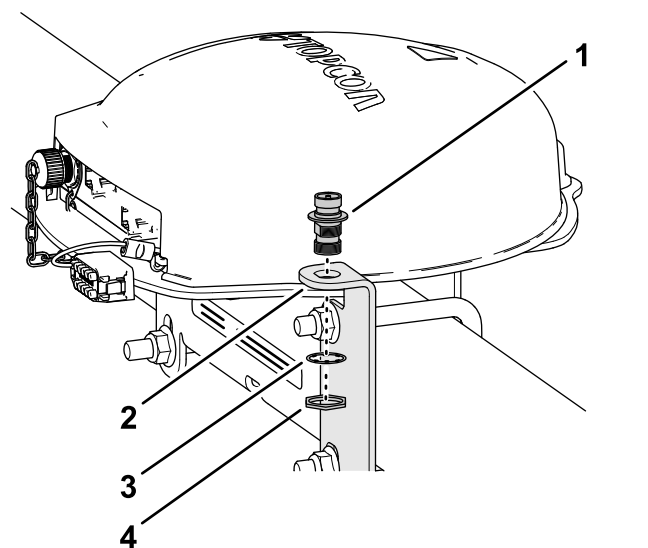


図 153

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 同軸カップラ | 3. ロックワッシャ |
| 2. RTK 用のアンテナブラケット | 4. ジャムナット |

2. ロックワッシャとジャムナットで同軸カップラをアンテナブラケットに組み付け、ジャムナットを手締めする図 153。
3. 同軸カップラの上側フィッティングに RTK アンテナを組み付け、アンテナに付いているナットを手締めする図 154。

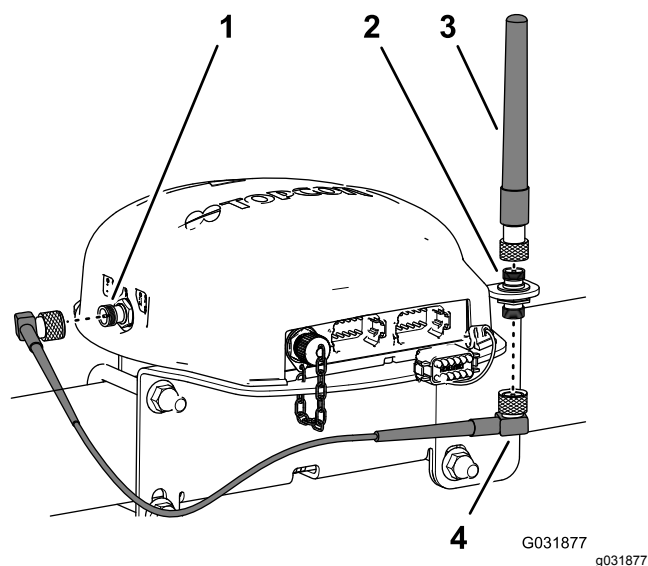


図 154

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデム | 3. RTK アンテナ |
| 2. 同軸カップラ | 4. アンテナケーブル |

4. 同軸カップラの下側フィッティングにアンテナ線を仮留めする図 154。
5. ケーブルを、ナビゲーション受信機の後ろを通して、CDMA または GSM 携帯電話用モデムの同軸コネクタまで導く図 154。

6. アンテナ線を、同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデムに接続する [図 154](#)。
7. アンテナ線のナットを手締めする。

30

スプレーヤのモニタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	スプレーヤのモニタジオリンク高精度散布システムキット 41623
1	ディスプレイ用フード
1	ボールマウントジオリンク高精度散布システムキット 41623
1	モニタ用アームジオリンク高精度散布システムキット 41623
1	補強プレート
4	フランジヘッドボルト ¼ x 1½"
4	フランジロックナット¼"

ディスプレイ用フードをスプレーヤのモニタに組み付ける

1. スプレーヤ用モニタの裏側で、2つのコネクタ26ピンを下側に向けた時に上側になる 5mm のロックナットボールピボットフィッティング用のスタッドについているを外す [図 155](#)。

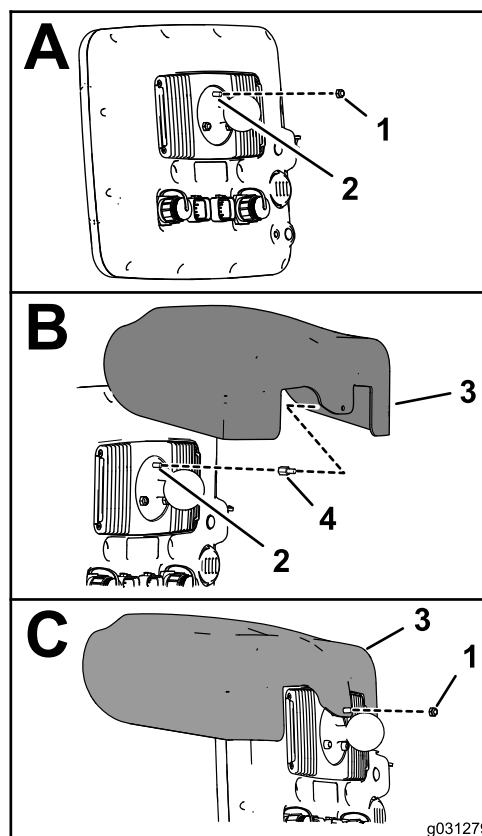


図 155

1. ロックナット 5 mm
2. 5mm のスタッドスプレーヤ用モニタのボールピボットフィッティング用
3. ディスプレイ用フード
4. ねじ山付きスタンドオフ

2. ねじ山付きスタンドオフのナットのねじ溝部分にロッキングコンパウンド浸潤性ウィッキングタイプ、保持力は中強を塗る [図 156](#)。

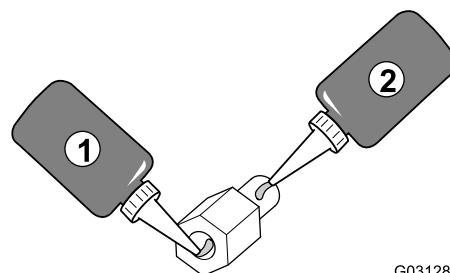


図 156

1. ナットのねじ溝にロッキングコンパウンド浸潤タイプ、保持力は中強 ねじ山付きスタンドオフ
2. スタッドのねじ山にロッキングコンパウンド浸潤タイプ、保持力は中強

3. ボールピボットのフィッティングにスタンドオフを取り付け [図 155](#)、スタンドオフを 250N·cm0.25kg.m = 22in-lb にトルク締めする。
4. ねじ山付きスタンドオフのスタッドのねじ山部分にロッキングコンパウンド浸潤性ウィッキングタイプ、保持力は中強を塗る [図 156](#)。

- ねじ山付きスタンドオフのスタッド部分に、フードの穴を合わせる [図 155](#)。
- フードを固定するステップ 1 で外したロックナット 5mm を使用する。
- ナットを $250\text{N}\cdot\text{cm}$ $0.25\text{kg}\cdot\text{m} = 22\text{in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

ダッシュパネルに穴あけを行う

- 機体のダッシュボード部の、ハトメ穴の右側にあるダッシュパネル固定ねじを探し出す [図 157](#)。

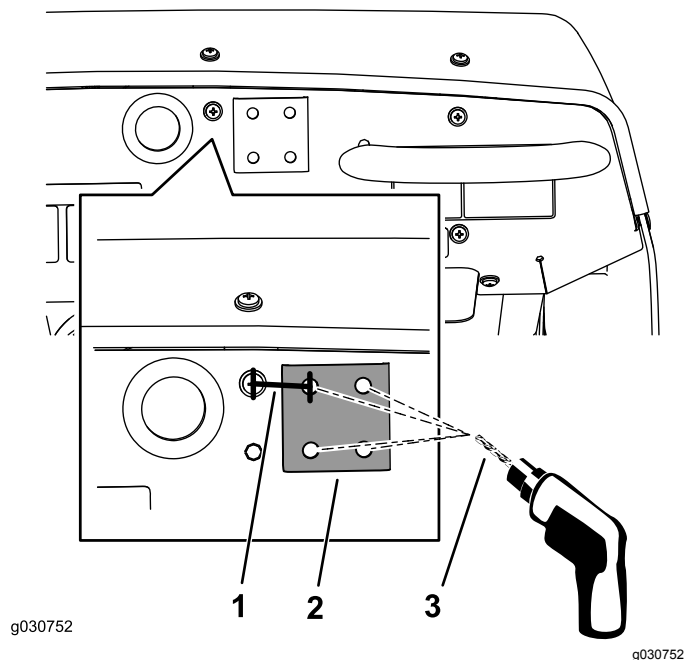


図 157

- 33.3mm
- スティフナプレート
- 8mm のドリルビット

- ねじの中心から右に 33.3mm の位置に、鉛筆で縦線を引く [図 157](#)。
- ダッシュパネルの上端から下へ 21mm の位置に、鉛筆で横線を引く。
- 縦線と横線の交点にポンチを打つ。
- ポンチマークに、ドリルで直径 8mm の穴を開ける [図 157](#)。
- スティフナプレートの平らな側を、ダッシュパネルに仮止めするフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ " を使用する。
- ダッシュパネルの上側エッジにスティフナプレートを水平に合わせ、スティフナプレートを型紙にして、残り 3 つの穴を開ける [図 157](#)。
- ダッシュパネルからスティフナプレートを外す。

ダッシュボードにスプレーヤのモニターを取り付ける

- [図 158](#) のように、ダッシュボードにボールピボット用マウントを取り付けるボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ " 4 本、スティフナプレート、フランジロックナット $\frac{1}{4}$ " を使用する。

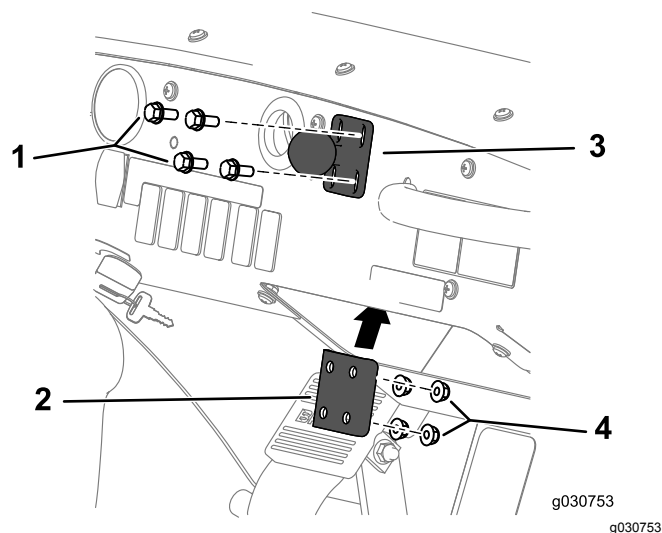


図 158

- ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$ "
- ボールピボット用マウント
- スティフナプレート
- フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "

- ボルトとナットを $1017\ 1243\text{N}\cdot\text{cm}$ $2.02\ 6\text{kg}\cdot\text{m} = 90\ 110\text{in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。
- モニターアームのノブをゆるめて、モニター裏側のフィッティング用のボールピボットとダッシュボード側のボールピボットの両方をモニターアームのソケットに入れる [図 159](#)。

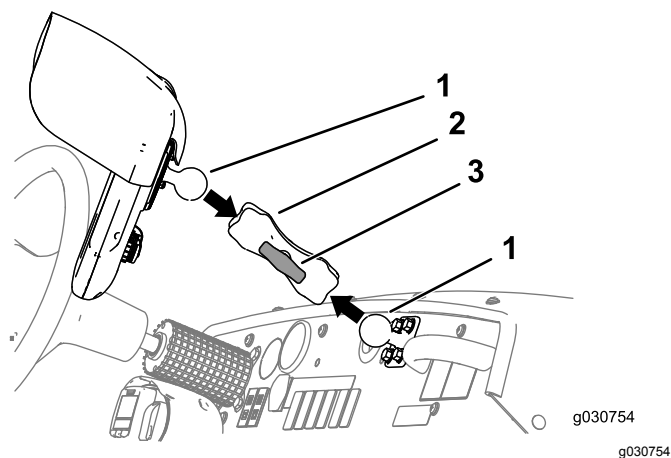


図 159

- ボールピボット
- モニターアーム
- ノブ
- 運転席左側座席に座り、モニターが見やすいようにモニターの位置と向きを調整する [図 159](#)。
- モニターアームのノブを手で締めつける [図 159](#)。

31

散布コントローラを取りつけて 後方ハーネスに接続する

この作業に必要なパーツ

1	散布コントローラジョリンク高精度散布システムキット 41623
4	ボルト4 x 10mm
4	フランジロックナット4mm

散布コントローラを取り付ける

1. バルブマウントの前側に散布コントローラを取り付ける。40ピンコネクタが外側を向くように取り付けること [図 160](#)。

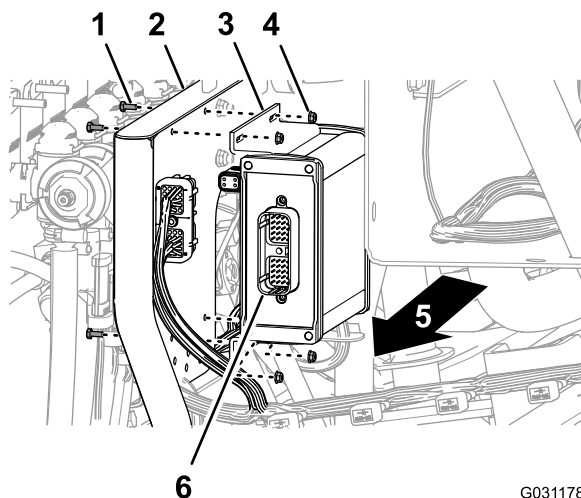


図 160

1. ボルト4 x 10mm
2. バルブ10本用マウント
3. 散布コントローラ
4. フランジロックナット4mm
5. 車両の右側
6. 40ピンコネクタ

2. 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける [図 160](#); ボルト4 x 10mm4本とフランジロックナット4mm4個を使用する。
3. ボルトとナットを234286N・cm0.240.29kg.m = 2125in-lbにトルク締めする。

後方ワイヤハーネスをコントローラに 接続する

1. ワイヤハーネスの 203cm の枝線についている **ASC 10** というラベルの付いた40ソケットコネクタを、散布コントローラの40ピンコネクタに合わせる [図 161](#)。

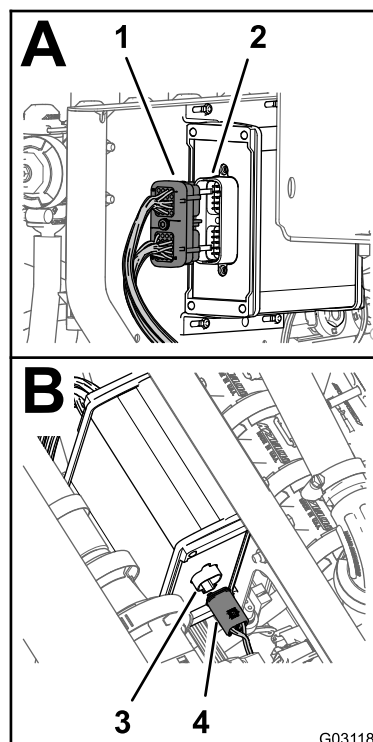


図 161

1. 40ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは **ASC 10**
 2. 40ピンコネクタ散布コントローラ
 3. 4ピンコネクタ後方ワイヤハーネスラベルは **To ASC 10**
 4. 4ソケットコネクタ散布コントローラ
2. 40ソケットコネクタと40ピンコネクタを相互に接続する。完全に奥まで押し込むこと。
 3. ワイヤハーネスの 203cm の枝線についている **To ASC 10** というラベルの付いた4ソケットコネクタを、散布コントローラの4ピンコネクタに合わせる [図 161](#)。
 4. 4ソケットコネクタと4ピンコネクタを相互に接続する。完全に奥まで押し込むこと。

32

ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
1	電装用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41623
5	ケーブルタイ

ナビデータ用ハーネスと電装用ハーネスを相互に接続する

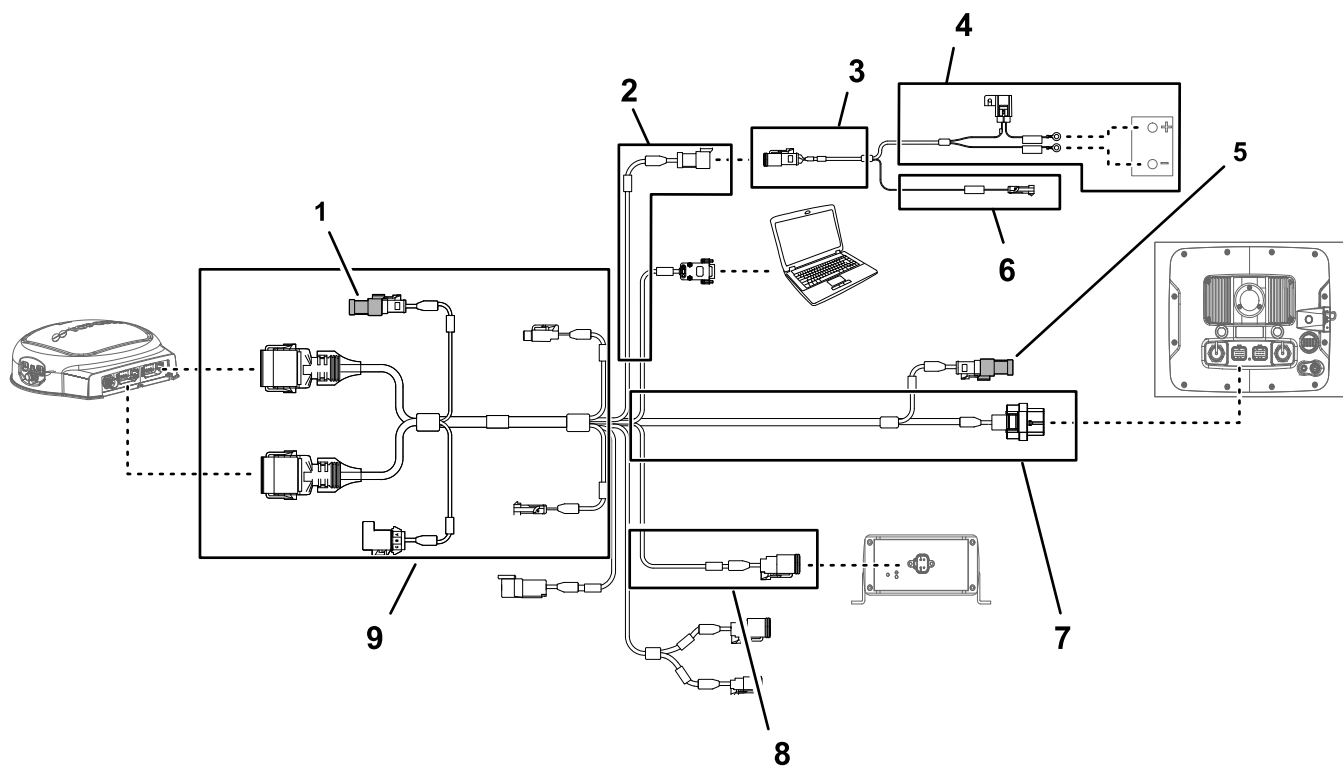


図 162

g292898

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------|--|
| 1. 終端抵抗器ガイダンス | 4. 220cm のバッテリーハーネス枝線 | 7. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ |
| 2. データ用ハーネスの 100cm の枝線電源 | 5. 終端抵抗器 CAN 2 | 8. データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインタフェース用 |
| 3. 100cm のバッテリーハーネス枝線 | 6. 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源 | 9. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機 |

- | | |
|---|--|
| 1. ナビゲーション受信機のデータハーネス用枝線 390 cm のコネクタに終端抵抗器が付いていない場合は取り付ける 図 162。 | 2. スプレーヤのモニタのデータハーネス用枝線 220 cm のコネクタに終端抵抗器が付いていない場合は取り付ける 図 162。 |
|---|--|

3. ナビ用電装ハーネスの3ソケットコネクタ電源インタフェースを、データ用ハーネスの3ピンコネクタ電源インタフェースに接続する 図 162と図 163。

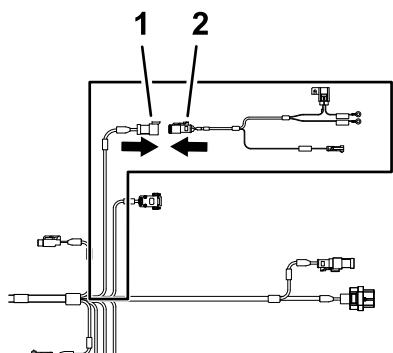


図 163

1. 3ピンコネクタデータ用ハーネス SYSTEM POWER SEPARATION
2. 3ソケットコネクタバッテリー用ハーネス電源インタフェース

データ用ケーブルをナビゲーション受信機に接続する

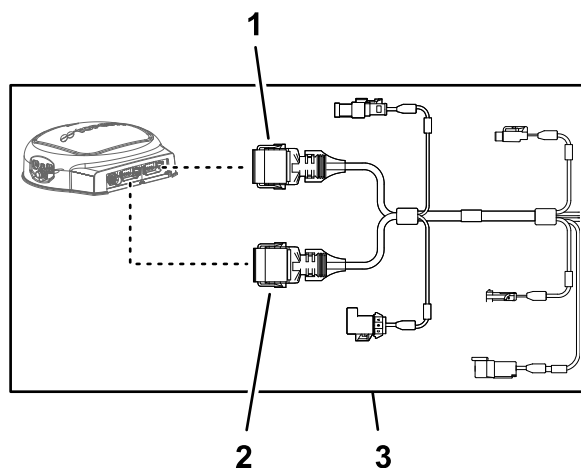


図 164

1. 12ソケットコネクタ 灰色 データ用ハーネス ナビゲーション受信機
2. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネスナビゲーション受信機
3. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、エンジンルームの右側から内部エンジン用のエアフィルタの隣へ入れ、エンジン後部シュラウドの右下エリアの下側に沿って後方へ進める 図 165。

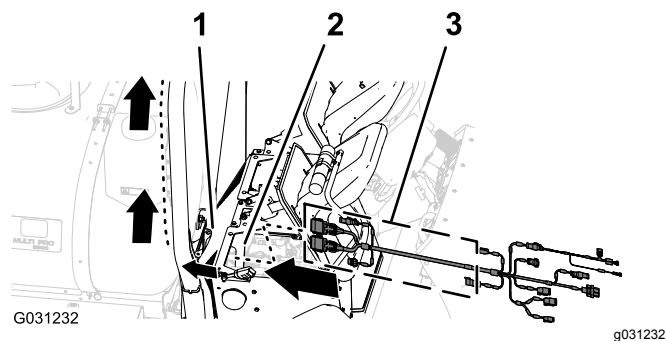


図 165

1. エンジン後方シュラウド
2. エンジンルーム
3. 390cm の枝線データ用ハーネス

2. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、ROPS 右側に沿って配設し、12 ソケットコネクタ 灰色 と 12 ソケットコネクタ 黒色 をナビゲーション受信機まで導く 図 166。

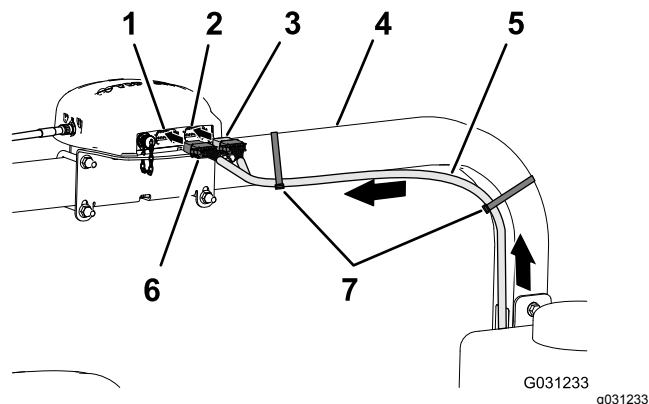


図 166

1. 12ピンコネクタ 左側灰色ナビゲーション受信機
2. 12ピンコネクタ 右側黒色ナビゲーション受信機
3. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネス
4. 右側 ROPS チューブ
5. 390cm の枝線データ用ハーネス
6. 12ソケットコネクタ 灰/黒 データ用ハーネス
7. ケーブルタイ

3. 灰色と黒色の 12 ソケットコネクタの長い方の側にある2本のキーを、ナビゲーション受信機の左側灰色 12 ピンコネクタの底部の水平面にある2本のスロットに合わせて接続する 図 167。

注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

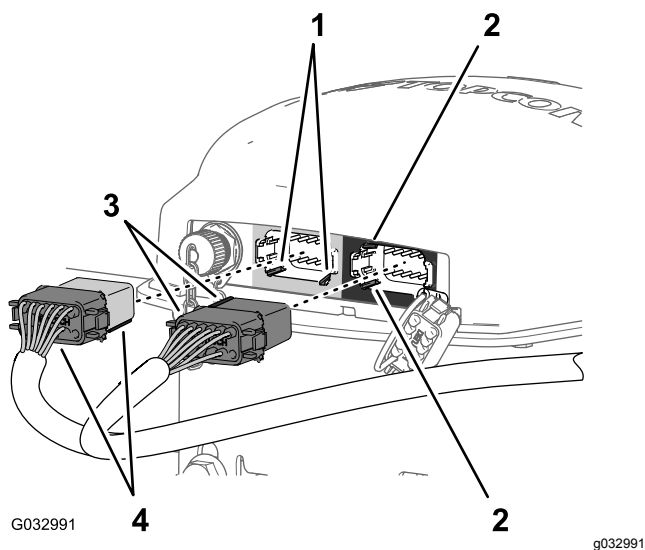


図 167

- | | |
|---|---|
| 1. キースロット底部水平壁左
灰色 12 ピンコネクター ナ
ビゲーション受信機 | 3. 整列キー短い側黒 12 ソ
ケットコネクター データ用
ハーネス |
| 2. キースロット左側垂直壁右
黒色 12 ピンコネクター ナ
ビゲーション受信機 | 4. 整列キー長い側灰/黒の
12 ソケットコネクター デー
タ用ハーネス |

- データ用ハーネスの灰色と黒色の 12 ソケットコネクターを、ナビゲーション受信機の左側灰色 12 ピンコネクターに接続する。カチッと音がしてロックするまで押し込むこと 図 167。
- データ用ハーネスの黒色の 12 ソケットコネクターの短い方にある 2 本の整列キーを、ナビゲーション受信機の右側黒色 12 ピンコネクターにある 2 本のスロットに合わせて接続する 図 167。

注 ワイヤハーネスのコネクターに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクター以外には形状が一致しませんから、注意してください。

- データ用ハーネスの灰色と黒色の 12 ソケットコネクターを、ナビゲーション受信機の左側灰色 12 ピンコネクターに接続する。カチッと音がしてロックするまで確実に押し込むこと 図 167。
- 図 166 のように、ケーブルタイ 2 本を使って、データ用ハーネスの 390cm 枝線を右側 ROPS チューブに固定する。

注 12 ソケットとケーブルタイとの間のケーブルに少したるみを持たせてください。

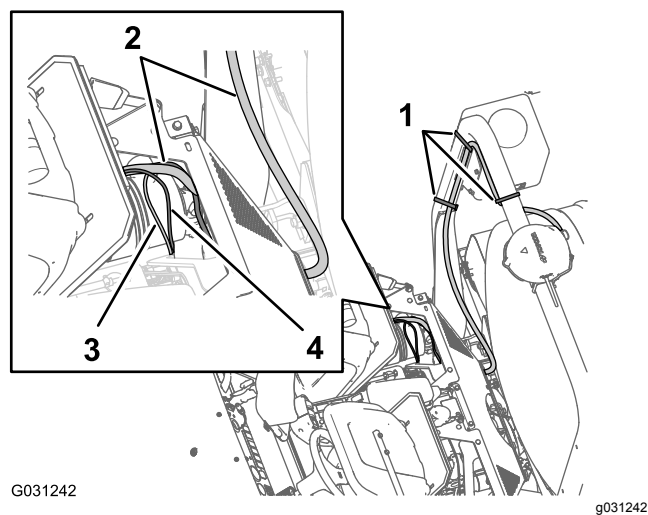


図 168

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ケーブルタイ | 3. 100cm の電装ハーネス枝線 |
| 2. 390cm の枝線データ用ハーネス | 4. 100cm の枝線データ用ハーネス |

- データ用ハーネスの 100cm の枝線 図 168 についている 4 ピンコネクター CAN 2 / スプレーヤコントローラ用を、車両本体の前方ハーネスと後方ハーネスが相互接続しているところへ導く 図 86 前方ハーネスと後方ハーネスを相互に接続する (ページ 40) を参照。
- 4 ピンコネクター CAN 2 / スプレーヤコントローラ用を、後方ハーネスの 4 ピンコネクター CAN 2 / スプレーヤコントローラ回路用 4 ソケットコネクターに接続する 図 169。

ナビゲーション電装用およびデータ用のハーネスを車両本体の後方ワイヤハーネスに接続する

- 電装ハーネスの 100cm の枝線 図 168 についている 1 ピンコネクターを、車両本体の前方ハーネスと後方ハーネスが相互接続しているところへ導く 図 86 前方ハーネスと後方ハーネスを相互に接続する (ページ 40) を参照

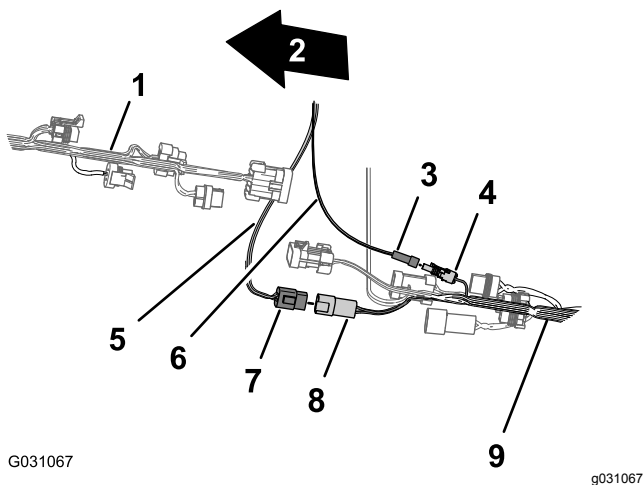


図 169

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 機体前方 | 6. 電装ハーネススイッチ付き電源 |
| 2. 車両の前方ワイヤハーネス | 7. 4ピンコネクタデータ用ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ |
| 3. 1ピンコネクタ電装用ハーネスの枝線スイッチ付き電源 | 8. 4ソケットコネクタ後方ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ |
| 4. 1ソケットコネクタ後方ワイヤハーネススイッチ付き電源 | 9. 車両の後方ワイヤハーネス |
| 5. データ用ハーネスCAN 2 / スプレーヤコントローラ | |

4. 電装用ハーネスの1ピンコネクタを、後方ハーネスの1ソケットコネクタに接続する図 169。

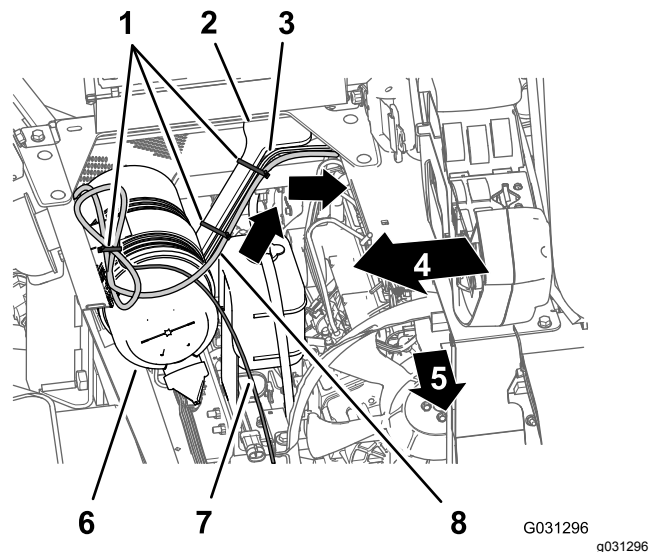


図 170

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. ケーブルタイ | 5. 機体前方 |
| 2. エンジンシュラウドのサポート | 6. エアフィルタ エンジン |
| 3. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス | 7. 220cm の枝線データ用ハーネス |
| 4. 機体右側 | 8. 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス |

2. ワイヤハーネスをエンジンシュラウドのサポートにケーブルタイで固定する図 170。
3. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線を、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って下へ進め、左側フレームチューブの下に導く図 171。

ナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーへ導く

1. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの220cm の枝線を、シートボックスのアングル部材を横断して下へ、エンジンシュラウドの左側サポートに沿って導く図 170。

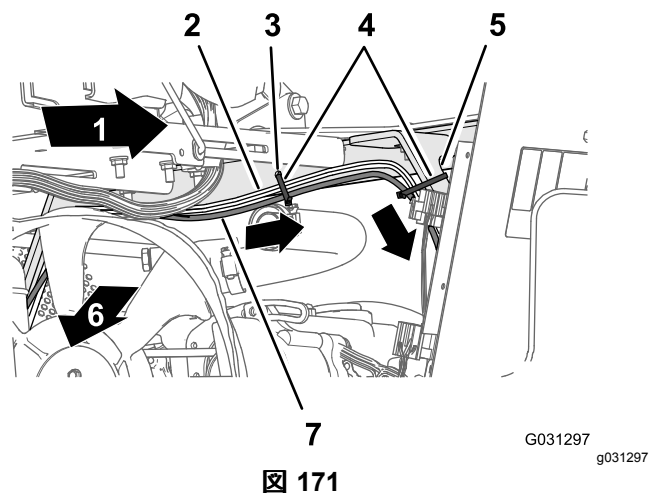


図 171

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 機体の左側 | 5. エンジンシュラウドのサポート |
| 2. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス | 6. 機体前方 |
| 3. シートボックス用アングル部材の穴 | 7. 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス |
| 4. ケーブルタイ | |

4. ケーブルタイ3本を使用して、ハーネスをシートボックス用アングル部材の穴とエンジンシュラウドのサポートに固定する 図 171と 図 172。

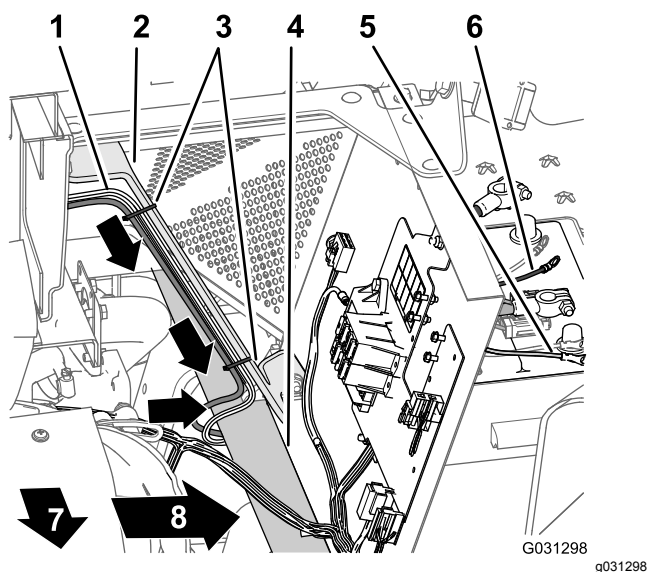


図 172

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1. 165cm の枝線後方ワイヤハーネス | 5. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ165cm の枝線後方ワイヤハーネス |
| 2. エンジンシュラウドのサポート | 6. プラス極用リング端子赤ワイヤ)165cm の枝線後方ワイヤハーネス |
| 3. ケーブルタイ | 7. 機体前方 |
| 4. 左側フレームチューブ | 8. 機体の左側 |

5. ナビゲーションシステム用の電装ハーネスの 220cm の枝線についている 10 A ヒューズ、プラス端子、マイナス端子を、バッテリー上部まで導く 図 172。

注 リング端子の最終的な接続は 後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する (ページ 77)で行います。

データ用ケーブルをスプレーヤのモニタに接続する

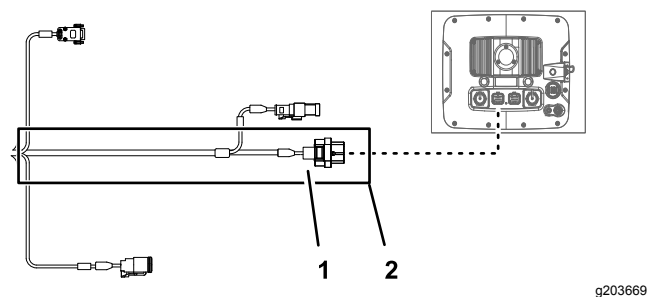


図 173

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 26ソケットコネクタデータ用 | 2. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ |
|-------------------|--------------------------------|

1. エンジンルームの右側で、データ用ハーネスの 220cm の枝線を、エンジン用エアフィルタの前方へ導き、ラジエターの右下コーナーまで導く 図 174。

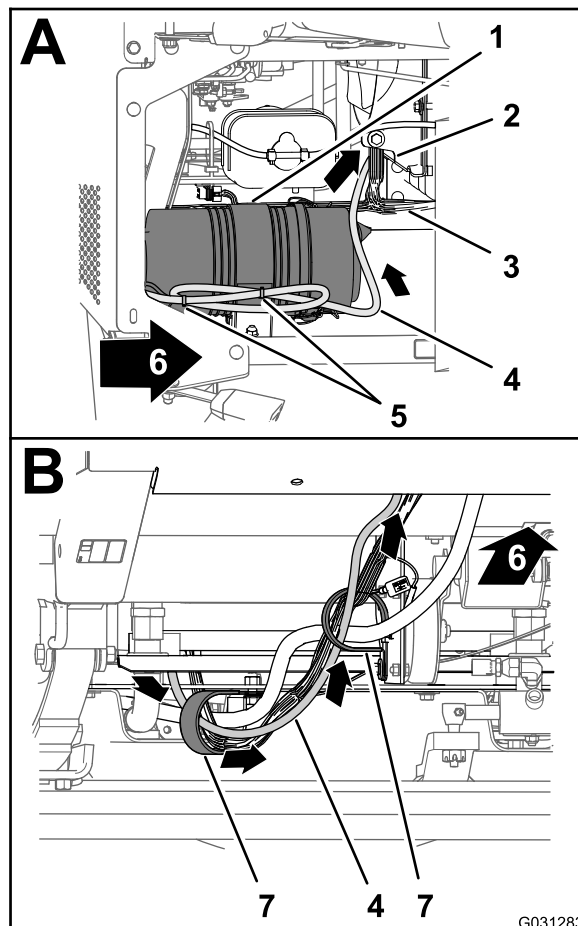


図 174

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. エアフィルタ エンジン | 5. ケーブルタイ |
| 2. ラジエター | 6. 機体前方 |
| 3. 車両の前方ワイヤハーネス | 7. R クランプ |
| 4. 220cm の枝線 データ用ハーネス | |

2. データ用ハーネスの 220cm の枝線を前方へ延ばして、機体下部にある2つのRクランプに通す 図 174。
3. データ用ハーネスの 220cm の枝線を前方上方向へ延ばして、フロアパネルの穴についているハトメに通す 図 175。

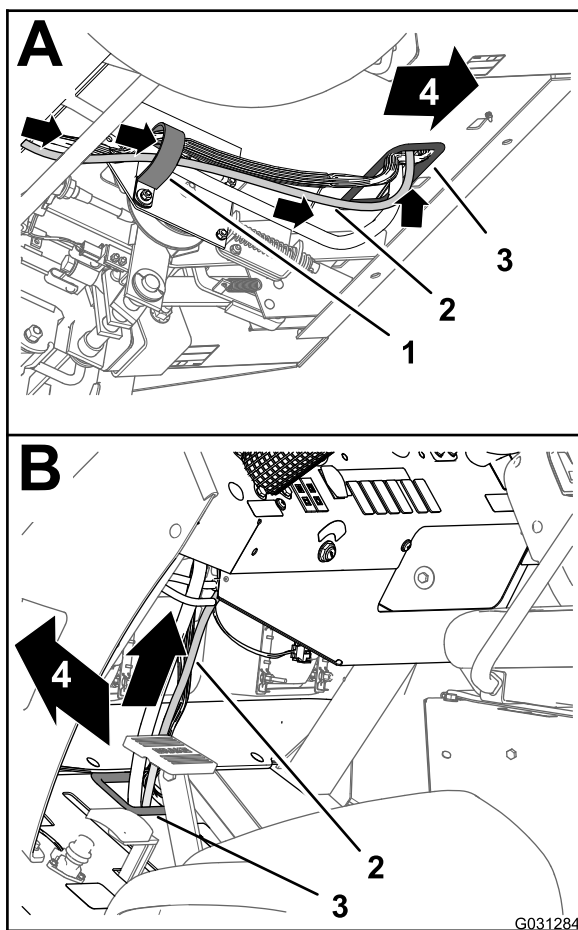


図 175

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1. R クランプ | 3. ハトメフロアパン |
| 2. 220 cm の枝線データ用
ハーネス | 4. 機体前方 |

- データ用ハーネスの 220cm の枝線を上方へ、機体の前方ワイヤハーネスに沿って延ばす 図 175。
- データ用ハーネスの 220cm の枝線をダッシュパネルの穴のハトメに通す 図 176。

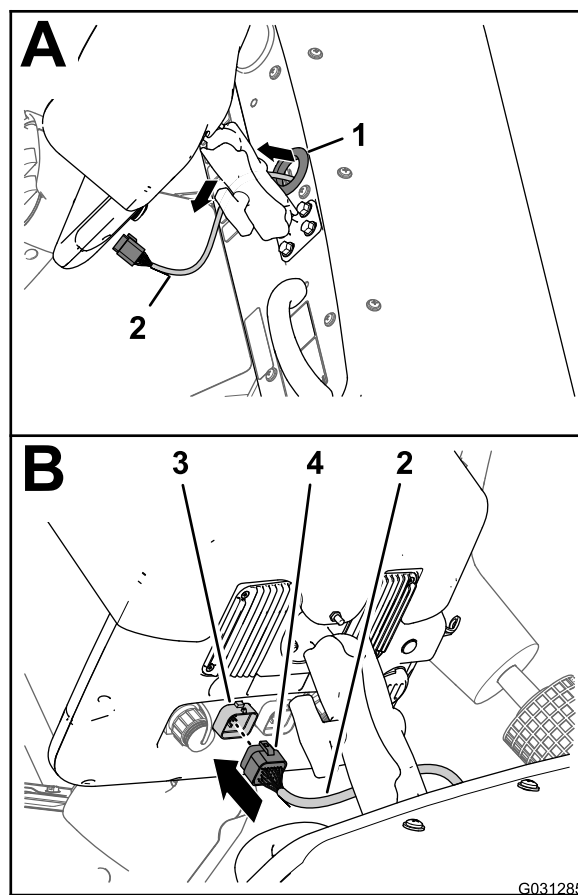


図 176

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. ハトメダッシュパネル | 3. 26ピンコネクタスプレーヤ
のディスプレイ |
| 2. 220cm の枝線データ用
ハーネス | 4. 26ソケットコネクタデータ用
ハーネススプレーヤモニタ |

- データ用ハーネスの 26 ソケットコネクタを、スプレーヤのディスプレイの 26 ピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかりと押し込んで確実にロックさせること 図 176。

後方ハーネスとナビゲーション用電装ハーネスをバッテリーケーブルに接続する

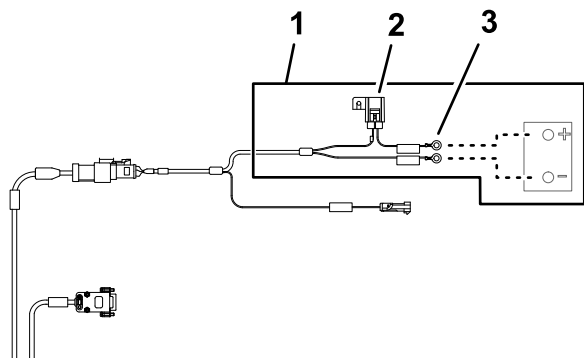


図 177

g203667

1. 220cm のバッテリーハーネ 3. リング端子バッテリー
ス枝線
2. 10A ヒューズバッテリー

1. 後方ハーネスのプラス端子赤ワイヤ、マイナス
端子黒ワイヤ、50A ヒューズブロックを、バッ
テリーボックスと車両のシャーシとの間から上へ
出す 図 178。

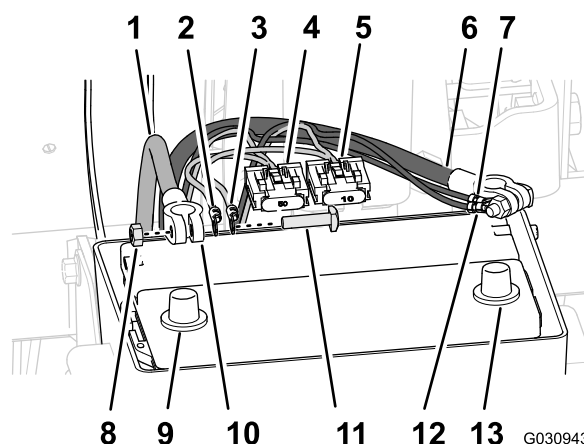


図 178

G030943
g030943

1. プラス+ケーブル
2. プラス極用リング端子赤ワイヤ)165cm の枝線後方ワイヤハーネス
3. プラス極用リング端子赤ワイヤ 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス
4. 50A ヒューズブロック後方ワイヤハーネス
5. 10A ヒューズブロックナビゲーション用電装ハーネス
6. マイナス-ケーブル
7. 六角ナット
8. バッテリー端子プラス
9. 端子バッテリーケーブル)
10. Tボルト
11. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ 165cm の枝線後方ワイヤハーネス
12. ナビゲート用リング端子黒ワイヤ 220cm の枝線ナビゲーション用電装ハーネス
13. バッテリー端子マイナス

2. ナビゲーション用電装ハーネスのプラス端子赤ワイヤ、マイナス端子黒ワイヤ、10A ヒューズブロックを、バッテリーボックスと車両のシャーシとの間から上へ出す。
3. バッテリーの両端子に固定されているTボルトと六角ナットを外す 図 178。
4. Tボルトを、後方ワイヤハーネスのプラス端子赤ワイヤ、ナビゲーション用電装ハーネスのプラス端子、バッテリーのプラスケーブルの端子に通す 図 178。
5. 端子とTボルトを、六角ナットで仮止めする 図 178。
6. Tボルトを、後方ワイヤハーネスのマイナス端子黒ワイヤ、ナビゲーション用電装ハーネスのマイナス端子、バッテリーのマイナスケーブルの端子に通す 図 178。
7. 端子とTボルトを、六角ナットで仮止めする 図 178。

注 ケーブルとバッテリーとの接続は、まだ行わないでください。

注 ケーブルとバッテリーとの接続は、まだ行わないでください。

33

キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. キャリッジ下シュラウドを車体の下シャーシに合わせる 図 179。

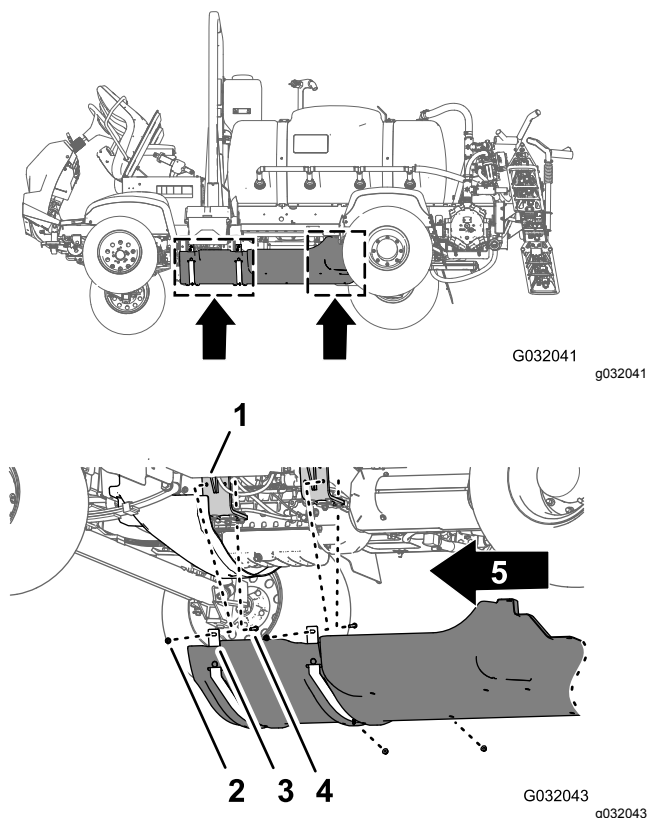


図 179

1. キャリッジ下シュラウド 3. ワッシャ5/16"
 2. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8" 4. 機体前方
-
2. エンジン搭載ブラケットのところで、ボルトとキャリッジボルトの上からキャリッジ下シュラウドのサポートストラップを入れる 図 179。
 3. キャリッジ下シュラウドを、エンジン搭載ブラケットとボルトに組み付ける 図 179 ステップ 212 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り外す (ページ 23) で外したフランジロックナット (5/16") 4個を使用する。
 4. キャリッジ下シュラウドの後部にある穴を、シャーシの穴に合わせる 図 180。

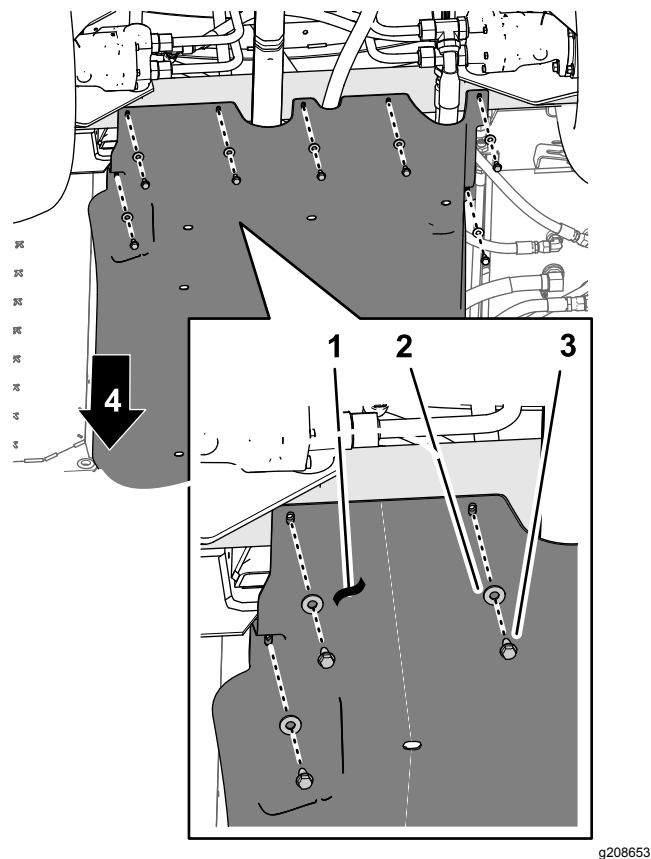


図 180

1. キャリッジ下シュラウド 3. フランジヘッドボルト5/16 x 7/8"
 2. ワッシャ5/16" 4. 車体前方
-
5. キャリッジ下シュラウドの後部をシャーシにに取り付けるステップ 112 キャリッジ下シュラウドキットオプションを取り外す (ページ 23) で取り外したフランジヘッドボルト5/16 x 7/8" 7本とワッシャ5/16" 7枚を使用する 図 180。
 6. ボルトとナットを1129 1582N・cm 2.02.6kg.m = 100 140in-lbにトルク締めする。

34

オプションのハンドスプレーキット、電動ホースリールキット、収納式ホースリールキットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

1	サイドポート付き 90° エルボ Toro P/N 131-3726
1	フランジ付きクランプとガスケット Toro P/N 127-9829
1	シャットオフバルブ Toro P/N 130-7321

マニホルドマウントにコントロールボックスを取り付ける

ハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキット

1. コントロールボックス用の取り付けプレートの穴を、散布バルブ用のマニホルドマウントの穴またはスロットに合わせる [図 181](#)。

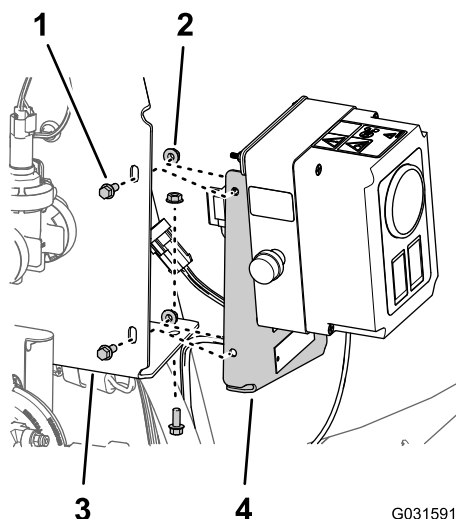


図 181

図は電動ホースリールキットハンドスプレースティックもほぼ同じ

1. フランジヘッドボルト 1/4 x 5/8"
2. 鋸歯付きフランジナット 1/4"
3. マニホルドマウントスプレーのバルブ
4. 取り付けプレートコントロールボックス

2. コントロールボックスをマニホルドマウントに取り付ける [図 181](#) ステップ 1 マニホルドマウントからコントロールボックスを外す (ページ 13) で取り外したフランジヘッドボルト 1/4 x 5/8" 3本と溝付きフランジナット 1/4" 3個を使用する。

3. ボルトとナットを 1017 1243N·cm 2.02.6kg.m = 90 110in·lb にトルク締めする。

マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 57kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、ホースリールを吊り上げる。
2. ホースリールのサポートチャンネルの穴を、散布バルブ用のマニホルドマウントの穴に合わせる [図 182](#)。

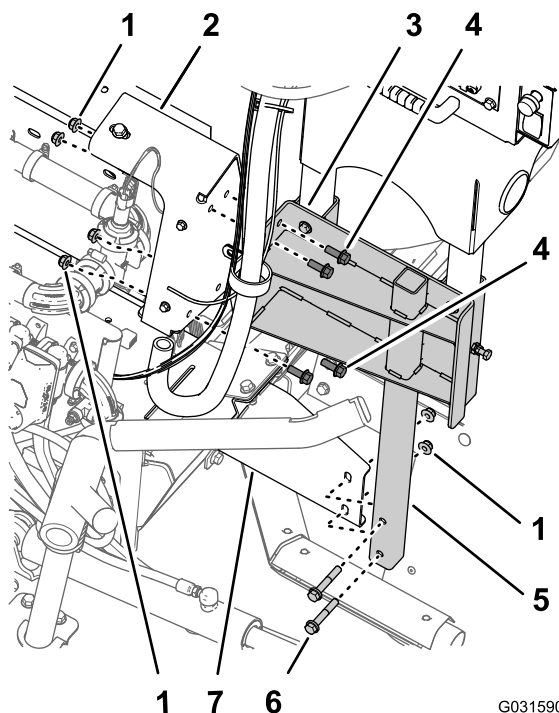


図 182

1. フランジロックナット 3/8"
2. マニホルドマウントスプレーのバルブ
3. サポートチャンネル収納式ホースリール
4. フランジヘッドボルト 3/8 x 1"
5. 下側チューブフレーム収納式ホースリール
6. フランジヘッドボルト 3/8 x 2 1/4"
7. 取り付けブラケット車両の右側フレームチャンネル

3. ホースリールの下部チューブフレームの穴を、車体の右フレームチャンネルにある取り付けブラケットの穴に合わせる [図 182](#)。
4. サポートチャンネルをマニホルドマウントに取り付ける [図 182](#) ステップ 3 マニホルドマウントから収納式ホースリールを外す (ページ 15) で取り外したフランジヘッドボルト 3/8 x 1" 4本とフランジロックナット 3/8" を使用する。
5. 下部チューブフレームを取り付け用ブラケットに組み付ける [図 182](#) ステップ 2 マニホルドマウントから収納式ホースリールを外す (ページ 15) で取り外し

たフランジヘッドボルト3/8 x 2-1/4"2本とフランジロックナット3/8"2個を使用する。

6. ボルトとナットを 37 45N・m 3.7 4.6kg.m = 27 33ft-lb にトルク締めする。

ホースとフィッティングの組み付けを行う

1. ノズルバルブ 10 番の右側端部のフランジについているキャップから、チューブカップラを外す [図 183](#)。

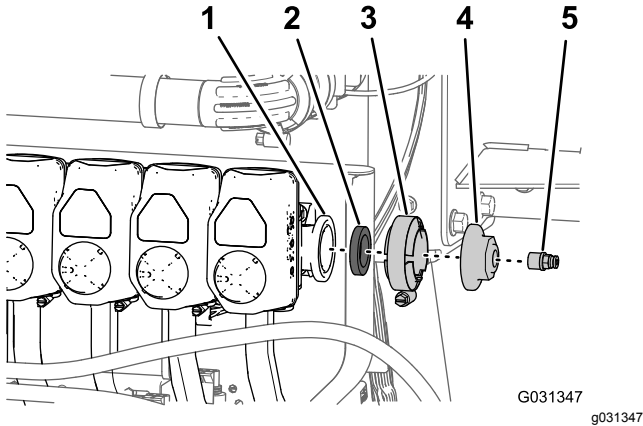


図 183

1. フランジノズルバルブ 10 番
2. ガasket
3. フランジクランプ
4. キャップ
5. チューブカップラ

2. ノズルバルブ 10 番から、フランジクランプ、ガasket、エンドキャップを外す [図 183](#)。

注 チューブコネクタ、フランジクランプ、ガasket は、このステップの後半で使用します。エンドキャップは廃棄して構いません。

3. T 字フィッティング [図 184](#) ステップ 3 [ホースとチューブを取り外す \(ページ 12\)](#) で外したもののねじ山部分に PTFE テープを巻く。

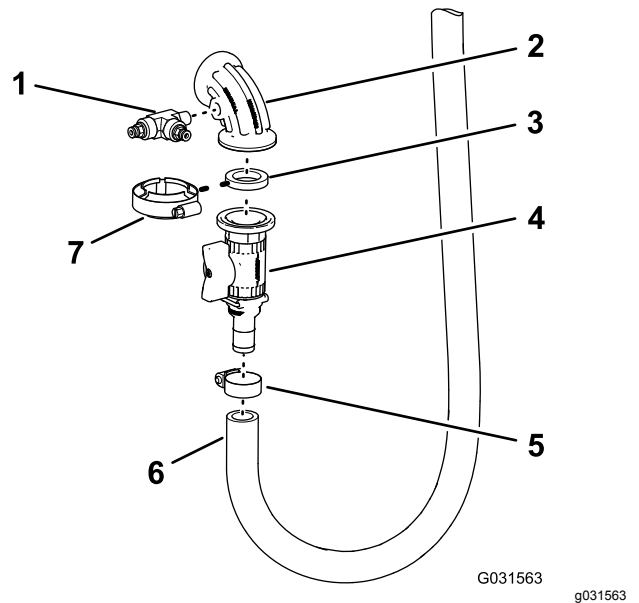


図 184

1. T 字フィッティングとチューブコネクタ
2. 90° エルボサイドポート付き
3. ガasket
4. 燃料バルブ
5. ホースクランプ
6. 入口 インレット ホース
7. フランジクランプ

4. T 字フィッティングを 90° エルボサイドポート付きに組み付ける [図 184](#) のように組み付けて手締めする。
5. フランジ付きクランプ使って、サイドポート付き 90° エルボ、ガasket、シャットオフバルブを仮組みする [図 184](#)。
6. シャットオフバルブのバーブ付きフィッティングを、インレットホースに組み付けてクランプ [図 184](#) これは [4 ホースとチューブを取り外す \(ページ 12\)](#) で外したもので固定する。

ホースと検知チューブを取り付ける

1. ホースリール用のガスケットと90°エルボを、ノズルバルブ 10 番のフランジに合わせる 図 185。

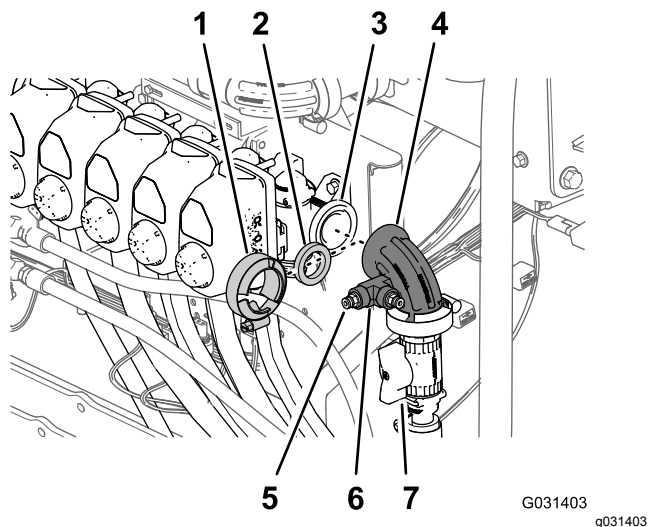


図 185

1. フランジクランプ
2. ガスケット
3. フランジノズルバルブ 10 番
4. 90°エルボ
5. チューブカップラ
6. T 字フィッティング
7. シャットオフバルブホースリール

2. フランジ付きクランプ使って、エルボとガスケットを取り付け、クランプを手締めする 図 185。
3. チューブカップラのねじ山部に PTFE テープを巻き、図 185 のようにカップラを T 字フィッティングに取り付ける。
4. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブの口を、チューブカップラに入れる。チューブがカップラに完全に座るまで深く挿入すること 図 186。

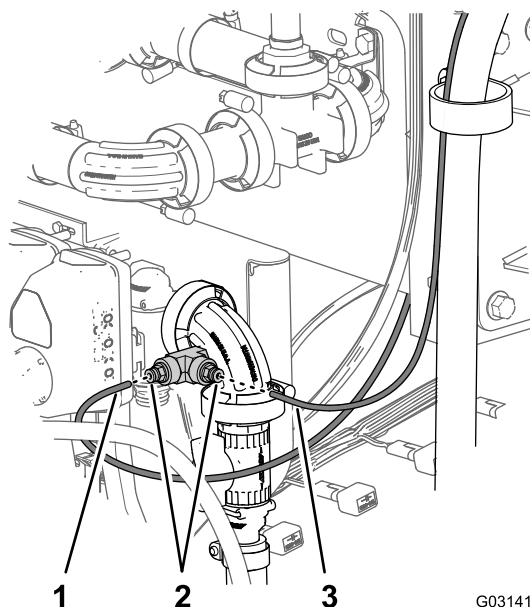


図 186

図は収納式ホースリールキット 電動ホースリールキットやハンドスプレースティックもほぼ同じ

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. チューブカップラ
3. 水圧検知チューブホースリールの水圧計用

5. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブの口を、チューブカップラに入れる。チューブがカップラに完全に座るまで深く挿入すること 図 186。

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットの接続を外す

ハンドスプレーキットや電動ホースリールのコントロールボックスで、コントロールボックスのハーネスの6ピンコネクタを、車両用の後メインハーネスの6ソケットコネクタから外す 図 187 と 図 188。

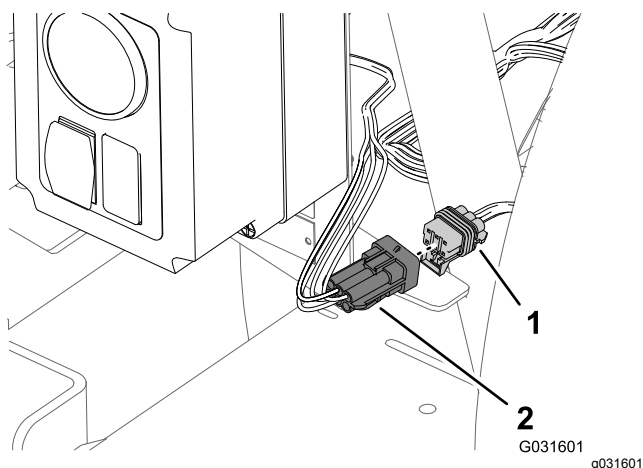


図 187

コントロールボックスハンドスプレー用

1. 6ソケットコネクタ車両の後メインハーネス)
2. 6ピンコネクタコントロールボックスのハーネス

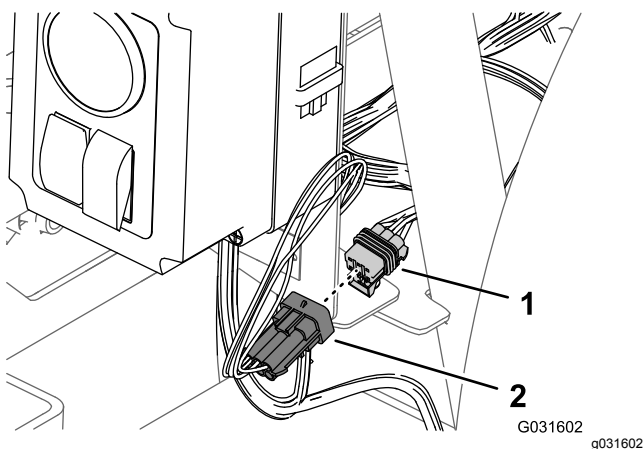


図 188

コントロールボックス電動ホースリールキット

1. 6ソケットコネクタ車両の後メインハーネス)
2. 6ピンコネクタコントロールボックスのハーネス

オプションの収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを接続する

1. 機体後部で、液剤タンクの後部にある収納式ホースリールキットのワイヤハーネスを探し出す 図 189。

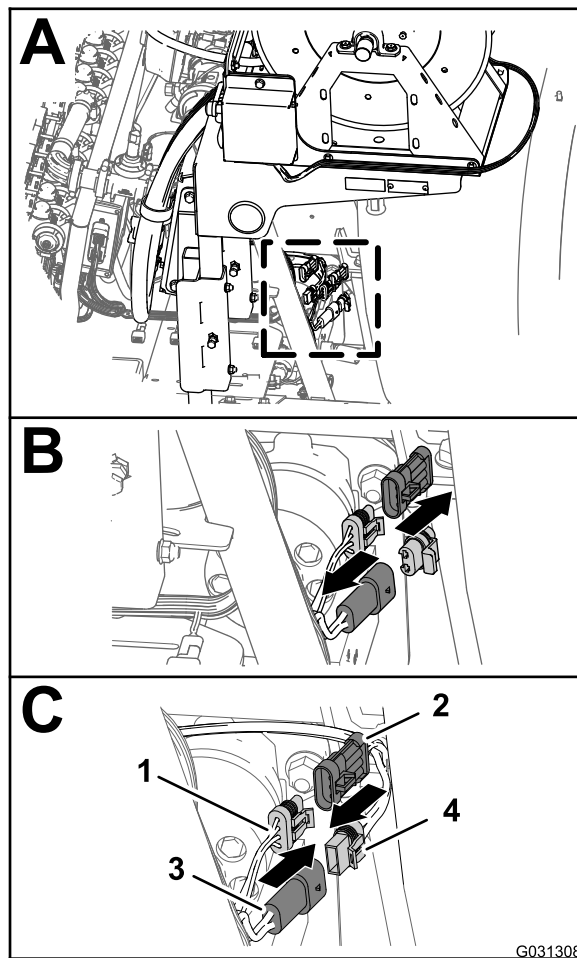


図 189

1. 3ソケットコネクタ後メインハーネス
2. 3ピンコネクタ電動ホースリールのハーネス
3. 2ソケットピン後メインハーネス
4. 2ソケットコネクタ電動ホースリールのハーネス

2. ホースリールの電源用の後メインハーネスの2ピンコネクタについているプラグを外す 図 189。
3. 電動ホースリール用ハーネスの2ソケットコネクタを、後メインハーネスの2ピンコネクタに接続する 図 189。
4. スプレー用ハーネスインターコネクタ用の後メインハーネスの3ソケットピンコネクタについているキャップを外す 図 189。
5. 電動ホースリール用ハーネスの3ピンコネクタを、後メインハーネスの3ピンソケットに接続する 図 189。

35

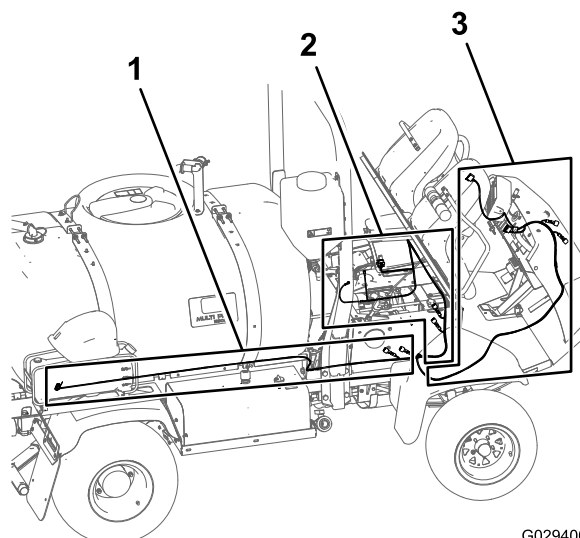
オプションのフォームマーカークットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

1	ワイヤハーネスオプションのフォームマーカークット130-8292
5	ケーブルタイオプションのフォームマーカークット130-8292
1	リレーオプションのフォームマーカークット130-8292
1	フランジヘッドボルト#10-24 x 1/2"フォームマーカークット130-8292
1	ロックナット#10-24オプションのフォームマーカークット130-8292
1	補助ヒューズブロックToro P/N 92-2641
1	ヒューズ15Aオプションのフォームマーカークット130-8292
4	フランジヘッドボルト6 x 12mmオプションのフォームマーカークット130-8292
1	取り付けブラケット泡制御スイッチオプションのフォームマーカークット130-8292)
1	3 ポジションパドルスイッチ泡制御スイッチオプションのフォームマーカークット130-8292
1	2 ポジションロッカースイッチコンプレッサ ON/OFFスイッチオプションのフォームマーカークット130-8292

ワイヤハーネスのコンプレッサ用の枝線を配設する

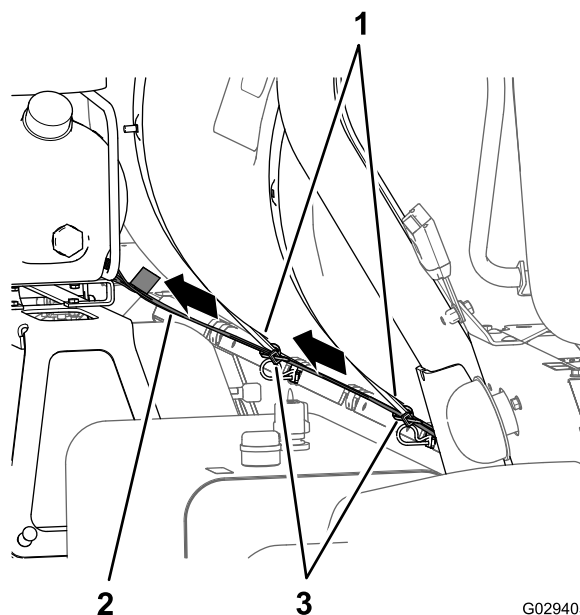
1. ワイヤハーネスのうち、コンプレッサ用の236cmの枝4ソケットコネクタがついているを探し出し、これをスプレーヤのタンクに沿って 図 190 と 図 191 に示すように車体後部へ導く。



G029400
g029400

図 190

1. 仕上げキット用ワイヤハーネスの 236cm の枝コンプレッサ用の枝
2. 仕上げキット用ワイヤハーネスの 197cm の枝エンジンルーム用の枝
3. 仕上げキット用ワイヤハーネスの 240cm の枝ダッシュパネル用の枝



G029405
g029405

図 191

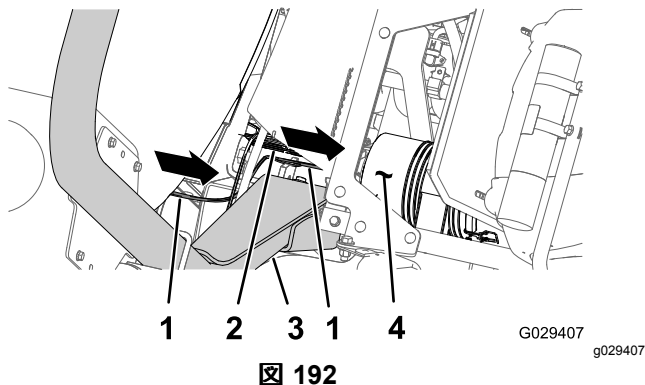
1. 236cmコンプレッサ用
2. スプレーヤの液剤タンクのベルト
3. ケーブルタイ

2. ワイヤハーネスの4ソケットコネクタを、コンプレッサの4ピンコネクタまで導き、これら2つのコネクタを相互に接続する。

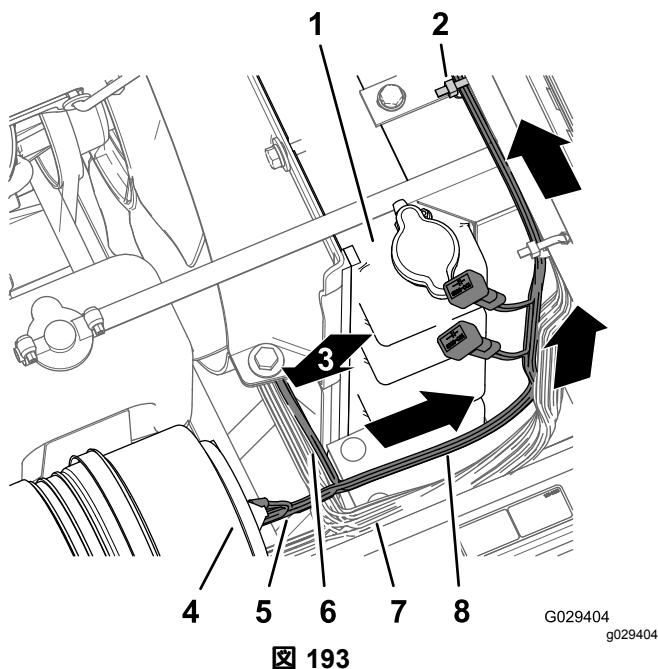
注 コンプレッサはフォームマーカークットのタンクの上にあります。

ワイヤハーネスのエンジンルーム用 枝線を配設する

1. 仕上げキットのハーネスを車両前方へ導くROPSの間を通し、液剤タンクの下の方部から、車両用のワイヤハーネスに沿って、エアクリーナの下を通してエンジンへ導く 図 192 と 図 193。



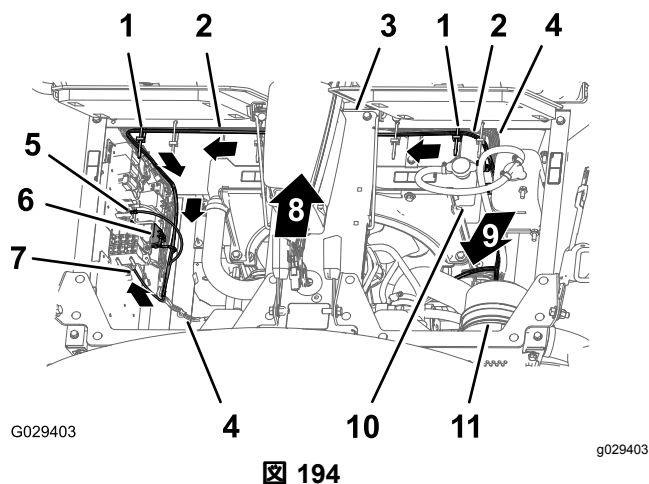
- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 236cmコンプレッサ用 | 3. ROPS |
| 2. 車両用ワイヤハーネス | 4. エアクリーナ エンジン |



- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. ラジエター | 5. 236cmコンプレッサ用 |
| 2. ケーブルタイ | 6. 240cmダッシュパネル用 |
| 3. 240cmダッシュパネル用 下へ延ばす | 7. 車両用ワイヤハーネス |
| 4. エアフィルタ エンジン | 8. 197cmエンジンルーム用 |

2. エンジンルーム用の 197cm の枝 リング端子、ソケット端子、5ソケットコネクタがついている を、ラジエターの右側に沿って上方へ導き、ラジエター上部に沿って中央コンソールのベース部の下まで導く 図 194。
3. エンジンルーム用の 197cm の枝リング端子、ソケット端子、5ソケットコネクタがついている を、

ラジエターの右側に沿って上方へ導き、ラジエター上部に沿って中央コンソールのベース部の下まで導く 図 194。



- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. ケーブルタイ | 7. ブレード形コネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス |
| 2. 197cmエンジンルーム用 | 8. 車体前方 |
| 3. 中央コンソールのベース部 | 9. 240cmダッシュパネル用 下へ延ばす |
| 4. 車両用ワイヤハーネス | 10. ラジエター |
| 5. リング端子 仕上げキット用のワイヤハーネス | 11. エアフィルタ |
| 6. 5ソケットコネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス | |

4. ケーブルタイを使って、仕上げキット用ワイヤハーネスを車両用ワイヤハーネスに 図 194 のように固定する。

ワイヤハーネスのダッシュパネル用の枝線を配設する

1. ダッシュパネル用の 240cm の枝線を、車両のワイヤハーネスとステアリングホースラジエーターの下側に沿って導くラジエーターサポートの下にあるRクランプを通し、走行速度制御コイルの所にあるRクランプを通す 図 195 と 図 196。

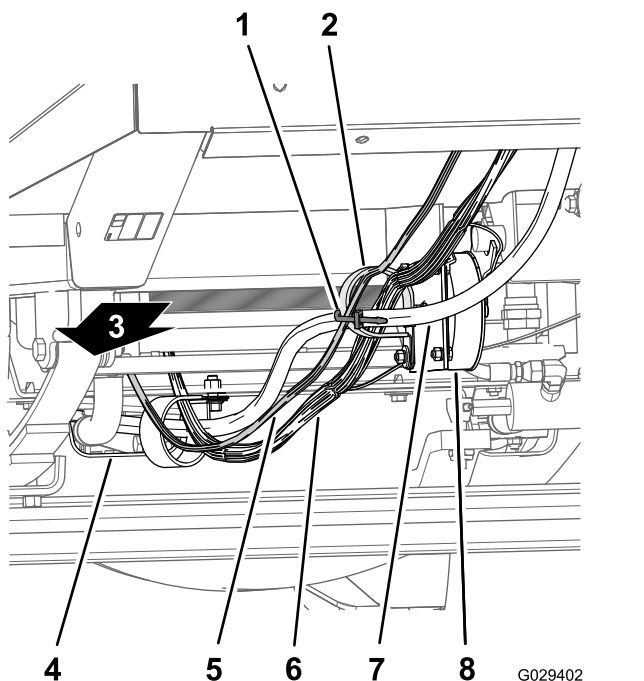


図 195

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. ケーブルタイ | 5. 240cmダッシュパネル用 |
| 2. R クランプ | 6. 車両用ワイヤハーネス |
| 3. 機体背面 | 7. ステアリングホース |
| 4. エンジン防熱シールド | 8. 走行速度制御用コイル |

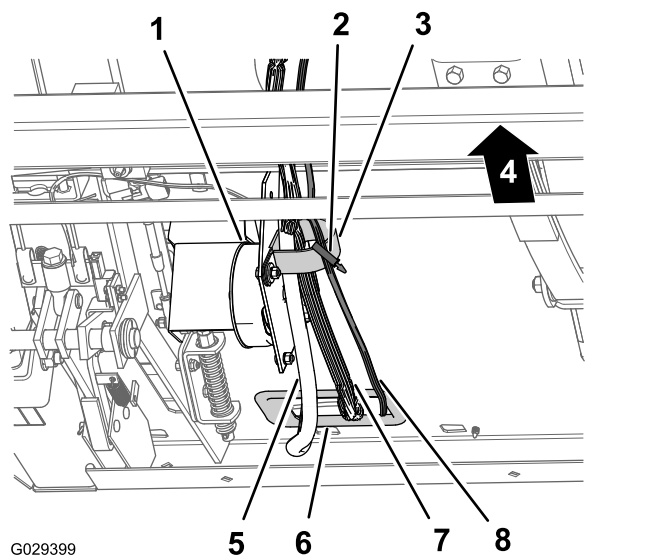


図 196

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 走行速度制御用コイル | 5. ステアリングホース |
| 2. ケーブルタイ | 6. ハトメ前方バルクヘッド |
| 3. R クランプ | 7. 車両用ワイヤハーネス |
| 4. 機体後方 | 8. 240cmダッシュパネル用 |

2. ダッシュパネル用の 240cm の枝線を、走行速度制御コイルの所にあるRクランプに固定する 図 195 と 図 196。
3. ダッシュパネル用の 240cm の枝線を、前方バルクヘッドの開口部にあるハトメを通して車両のケーブルホース用フックの内側まで導く 図 197。

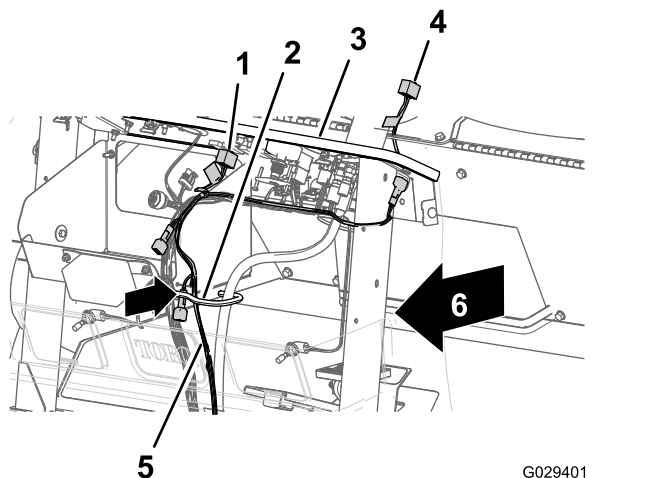


図 197

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 8口コネクタコンプレッサのスイッチ | 4. 8ソケットコネクタ仕上キットのワイヤハーネス |
| 2. ケーブルホース用フック | 5. 240cmダッシュパネル用 |
| 3. ダッシュパネル | 6. 8ソケットコネクタ泡制御スイッチ |

4. ダッシュパネル用の 240cm の枝線の8口コネクタを、ダッシュパネルを横断させてステアリングコラムの左側まで導く 図 198。

リレー

1. エンジンルーム用の 197cm の枝についている5ソケットコネクタを、リレーに合わせる 図 201。

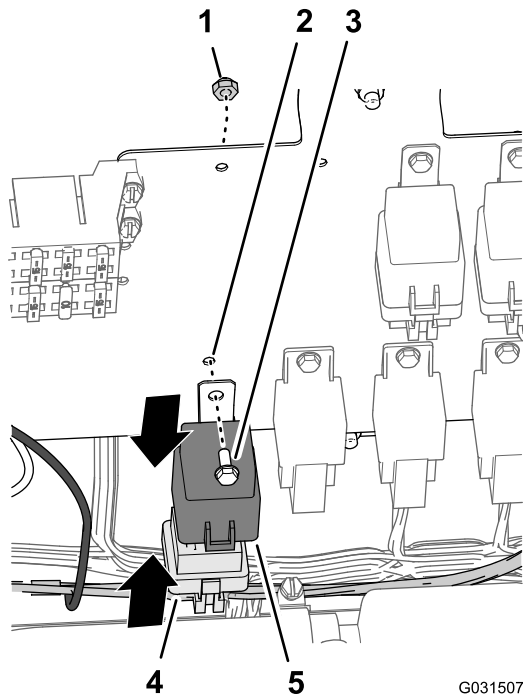


図 201

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. ロックナット (#10) | 4. リレー |
| 2. 穴配線パネル | 5. 5ソケットコネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス |
| 3. フランジヘッドボルト#10-24 x 1/2" | |

2. コネクタのソケットにリレーのピンを挿入する 図 201。

注 コネクタとリレーが相互ロックするまで完全に押し込むこと。

3. リレーの取り付けタブについている穴を、配線パネルの穴に合わせる 図 201。
4. パネルにリレーを固定する 図 201 フランジヘッドボルト#10 x 1/2"とロックナット#10を使用する。

アース線用ターミナルへ接続する

1. アース端子ブロックからねじを外す 図 202。

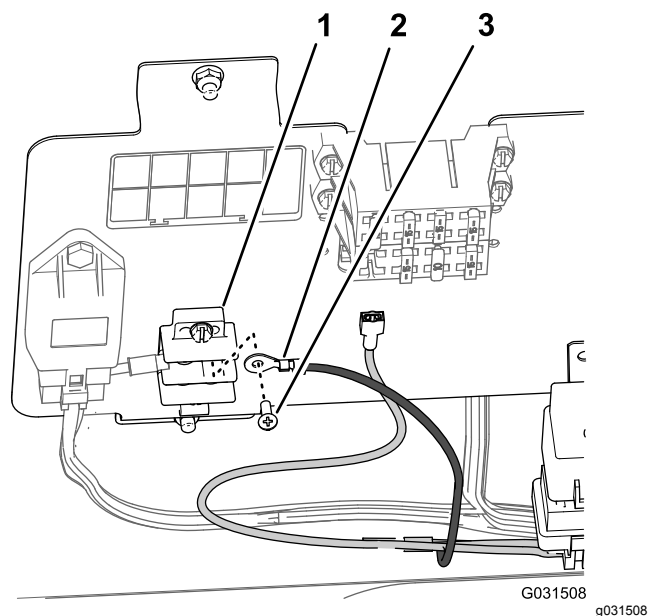


図 202

- | | |
|--------------|-------|
| 1. アース端子ブロック | 3. ねじ |
| 2. リング端子 アース | |

2. ステップ 1で外したねじを使用して、仕上げキットのワイヤハーネスについているリング端子を、アース端子ブロックに固定する 図 202。

負荷線用コネクタを接続する車両のヒューズブロック

注 車両用のヒューズブロックにブレード形コネクタが付いていない場合には、補助ヒューズブロックを取り付ける必要があります。

1. 車両用のヒューズブロックにブレード形コネクタが付いている車両の場合には、仕上げキット用ハーネスについているブレード形コネクタを車両のヒューズブロックのソケットに接続する [図 203](#)。

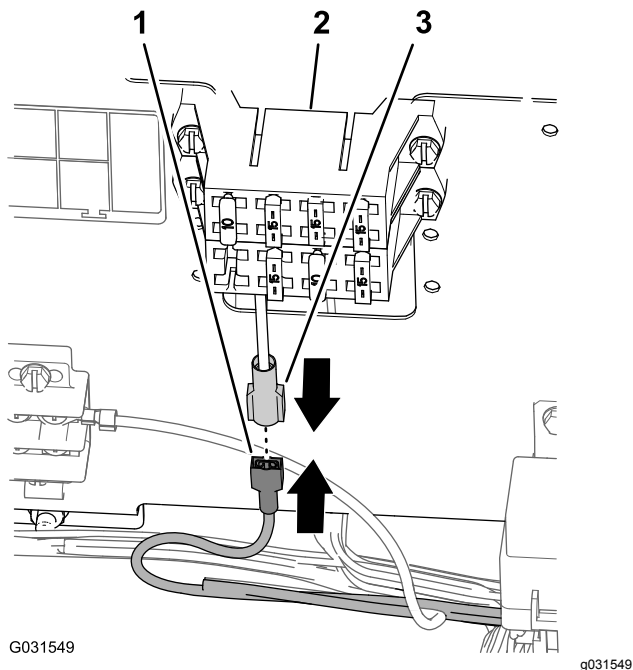


図 203

1. ブレード形コネクタ 仕上げキット用のワイヤハーネス
 2. ヒューズブロック車両
 3. ソケットコネクタ車両用ヒューズブロック
-
2. コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込むこと。

負荷線用コネクタを接続するオプション用補助ヒューズブロック

1. 仕上げキット用ハーネスについているブレード形コネクタを、追加で取り付けした補助ヒューズブロックのソケットに接続する [図 204](#)。

注 コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込んでください。

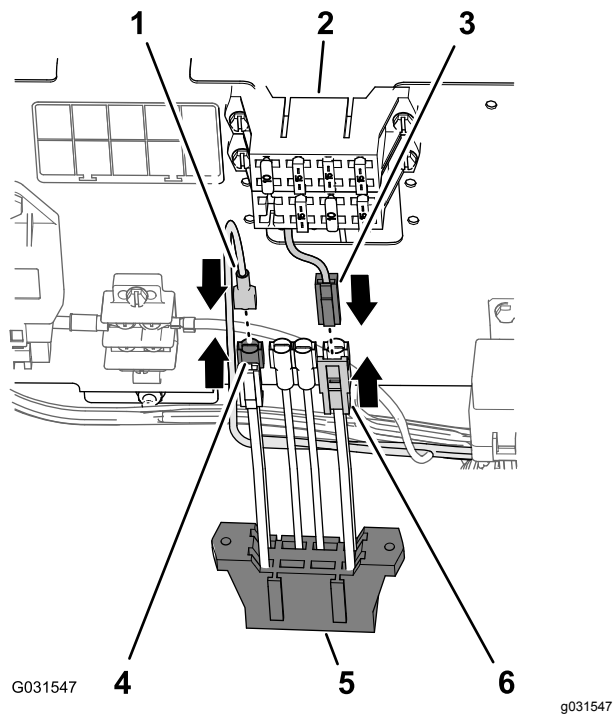


図 204

1. 1ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス
 2. ヒューズブロック車両
 3. 1ブレードコネクタ補助ヒューズブロック
 4. 1ピンコネクタ車両用ヒューズブロックの補助フィード線
 5. 補助ヒューズブロック
 6. 1ソケットコネクタ口が四角い補助ヒューズブロックのフィード線
-
2. 車両用ヒューズブロックの補助フィード線用の2ピンコネクタを、補助ヒューズブロックのフィード線用の2口コネクタに接続する [図 204](#)。
- 注** コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込むこと。
3. 補助ヒューズブロックのスロットを、車両のヒューズブロックの取り付けフランジに合わせる [図 205](#)。

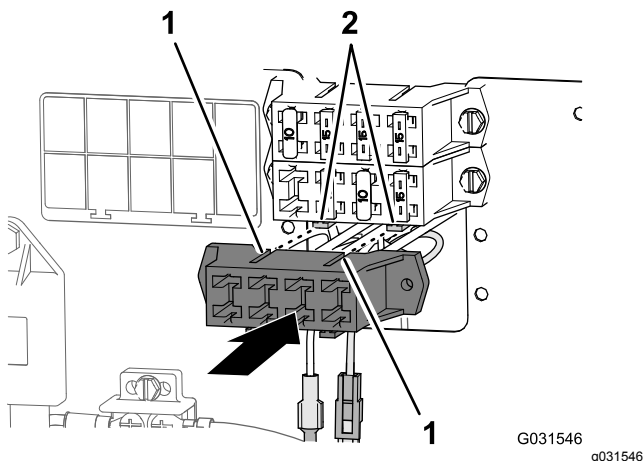


図 205

1. スロット補助ヒューズブロック
2. 取り付けフランジ車両のヒューズブロック

4. コネクタ同士が相互ロックするまで完全に押し込んでください。

ヒューズを取り付ける

- 車両用のヒューズブロックにブレード形コネクタが付いている車両の場合には、ヒューズブロックに15Aのヒューズを取り付ける図 206。

注 ヒューズはソケットの奥まで完全に差し込んでください。

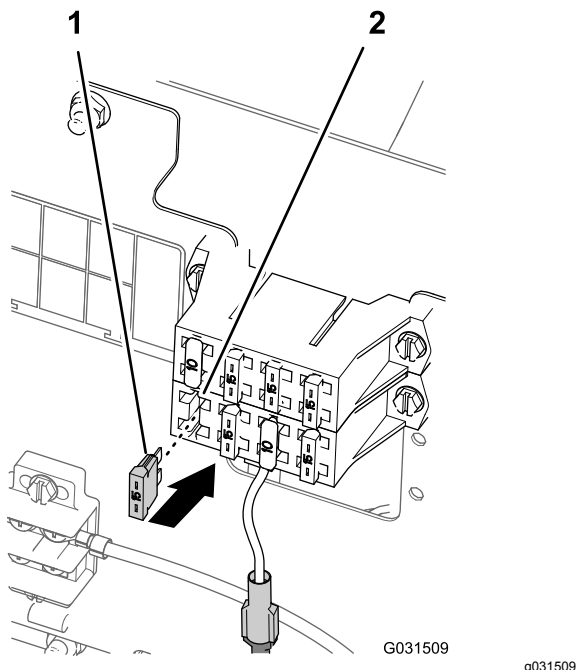


図 206

1. 15Aヒューズ
2. 車両用ヒューズブロック

- オプション用補助ヒューズブロックにブレード形コネクタが付いている車両の場合は、以下の作業を行う。

1. ステップ 1 負荷線用コネクタを接続する (ページ 88) で使用したブレード形コネクタのコードについているヒューズ用ソケットを探し出す。
2. 探し出したソケット補助ヒューズブロックに 15 A ヒューズを取り付ける図 207。

注 ヒューズはソケットの奥まで完全に差し込んでください。

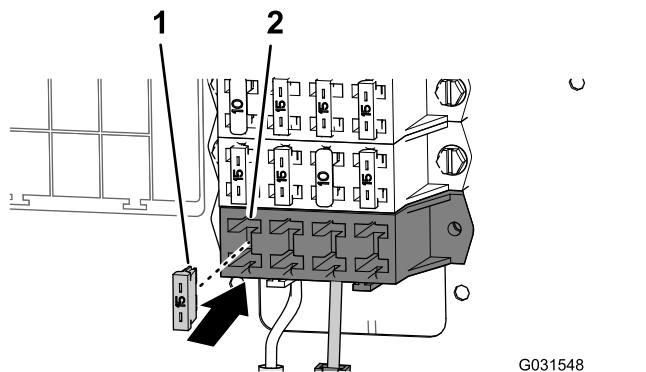


図 207

1. 15Aヒューズ
2. ヒューズのソケット補助ヒューズブロック

フォーム 泡 制御バルブを取り付ける

1. 泡制御スイッチ用の取り付けブラケットのスロットを、ステアリングコラムにある4本のねじ山付きインサートに合わせる図 208。

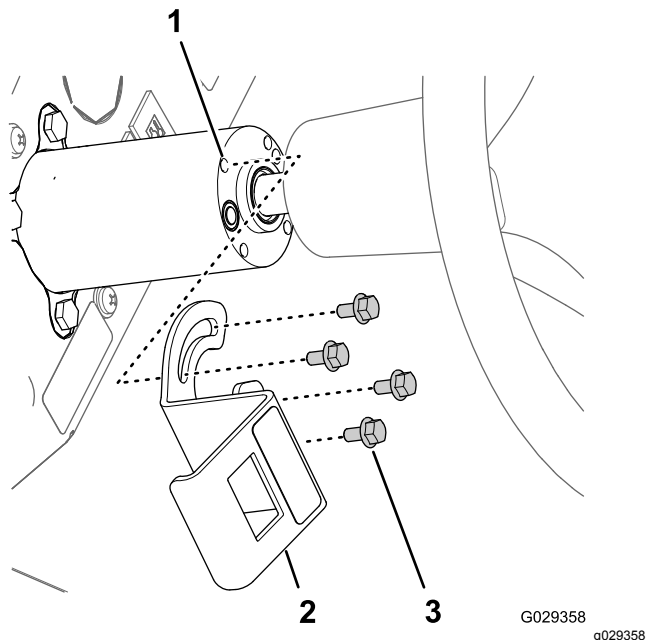


図 208

1. ねじ付きインサートステアリングコラム
2. 取り付けブラケット泡制御スイッチ
3. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm

2. ブラケットをステアリングコラムに組み付ける フランジヘッドボルト 6 x 12mm 4本を使用し、
9721198N·cm 1.01.2kg.m = 86106in-lb にトルク締めする。
3. ブラケットの開口部に 8口コネクタを通して、3
ポジション・パドルスイッチの裏側にあるピン 図 208 に接続する 泡制御 スイッチ。

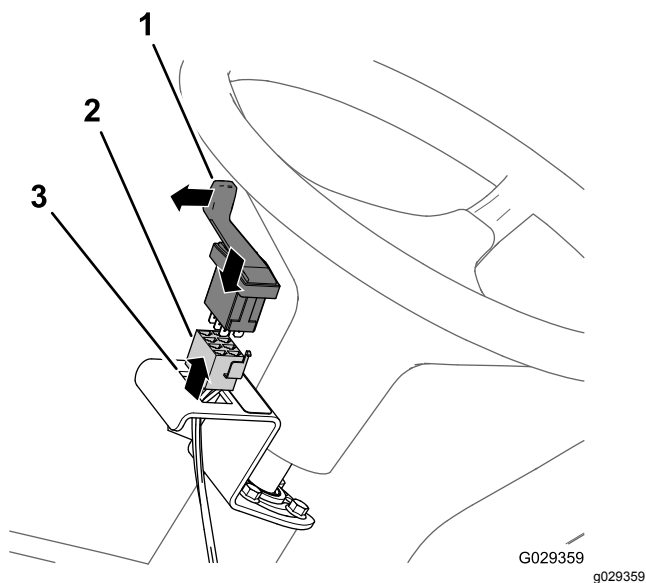


図 209

1. 3ポジション・パドルスイッチ 3. 開口部泡制御スイッチの取
り付けブラケット
2. 8ソケットコネクタ

4. ブラケットにスイッチを組み込む。ブラケットの開
口部にスイッチがパチンとはまるまで完全に押し
込むこと 図 209。

注 3ポジション・パドルスイッチ 泡制御 スイッチ の
パドルが外側を向くように取り付けてください。

コンプレッサのスイッチを取り付ける

1. ダッシュボードの右へ数えて5番目の打ち抜き
プラグを打ち抜いて外す 図 210。

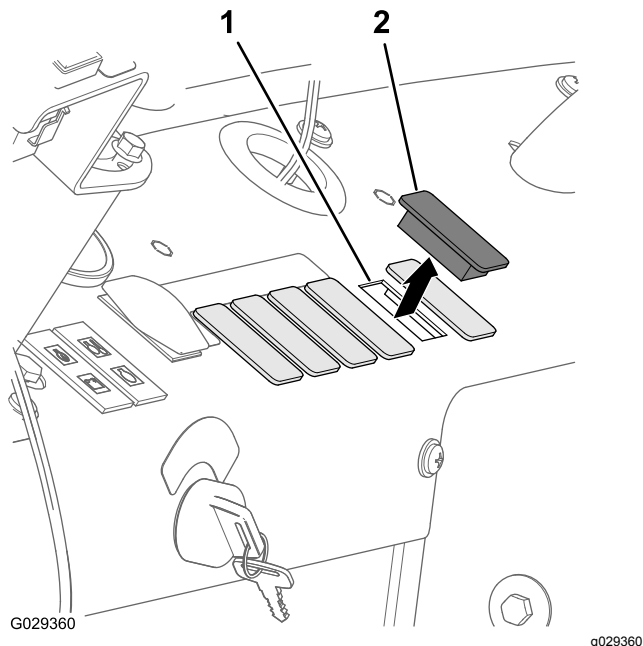


図 210

1. ダッシュボードの開口部右 2. プラグ
へ数えて5番目の打ち抜き
プラグ

2. ダッシュパネルの開口部に 8口コネクタを通して、
2ポジション・ロッカースイッチの裏側にあるピン 図 211 に接続するコンプレッサ ON/OFF スイッチ。

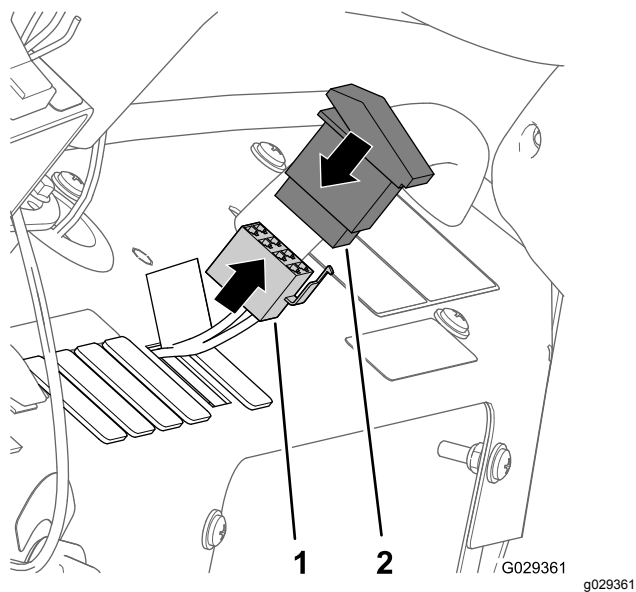


図 211

1. 8ソケットコネクタ
2. 2ポジション・ロッカースイ
チコンプレッサ ON/OFFス
イッチ

3. ダッシュパネルにスイッチを組み込む。パネルの開口部にスイッチがパチンとはまるまで完全に押し込むこと (図 210 と 図 211)。

フォームマーカのノズルのチューブの接続を行う

1. 左右のブームで、泡ノズルのチューブを車両の中心に向かって配設外し、ブームの支点近くにある R クランプに通す 図 212。

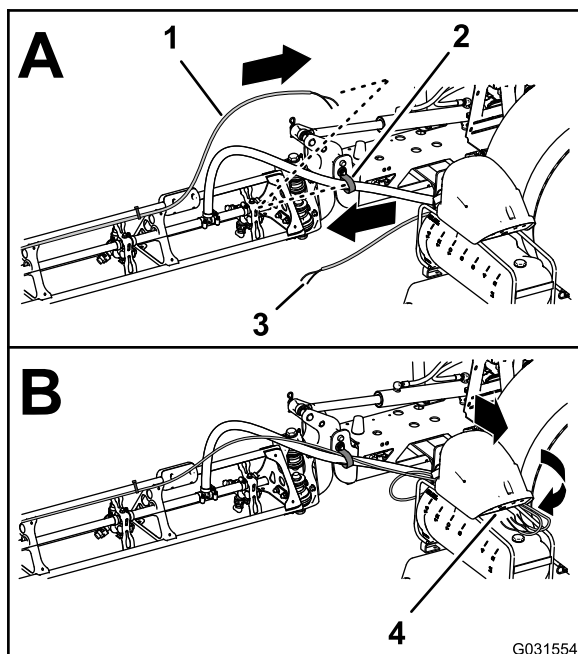


図 212

1. チューブフォームマーカのノズル用右ブーム
 2. R クランプ
 3. チューブフォームマーカのノズル用左ブーム
 4. 接続パネルフォームマーカのコンプレッサ
2. コンプレッサから見て内側を通るようにして、タンクに向かってチューブを前方に延ばす 図 212。
 3. ステップ 1 機体から液体チューブと空気チューブを取り外す (ページ 16) で取り付けしたチューブの取り付けを行う右側ブーム用の青色チューブを右側ブーム用給水部のコンプレッションフィッティングに取り付けてケーブルタイで固定する 図 213。

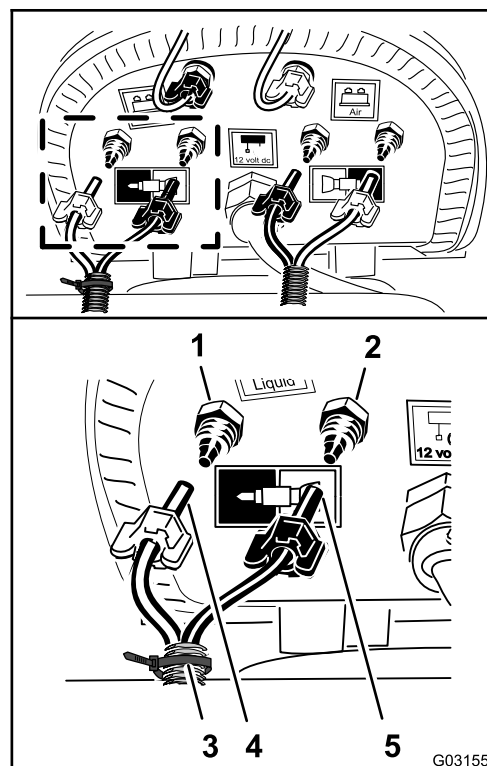


図 213

1. コンプレッションフィッティング—水 右ブーム—青チューブ
 2. コンプレッションフィッティング—空気 右ブーム—透明チューブ
 3. コンプレッションナット—空気 右ブーム—青チューブ
 4. ケーブルタイ
 5. コンプレッションナット—水 右ブーム—透明チューブ
4. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 213。
 5. 右側ブーム用の透明チューブを右側ブーム用エア供給部のコンプレッションフィッティングに取り付ける 図 213。
 6. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 213。
 7. マークの付いていないケーブルタイの付いていないチューブ束で、左側ブーム用の青色チューブを左側ブーム用給水部のコンプレッションフィッティングに取り付ける 図 214。

36

薬剤プレミックスキットオプションを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
2	リテーナToro P/N 131-0235
1	マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03
2	フランジロックナットステンレス製 1/4" Toro P/N 119-6897
1	圧力解放ホースアセンブリ 25 x 273 mm Toro P/N 131-9647
1	給液ホースアセンブリ 25 x 470 mm Toro P/N 131-9648
1	攪拌バイパスホースアセンブリ 25 x 305 mm Toro P/N 131-9649
1	バーブ付き 90° フィッティング 25 mm Toro P/N 131-3727
1	ドレンホース 25 x 1587 mm Toro P/N 117-7957)

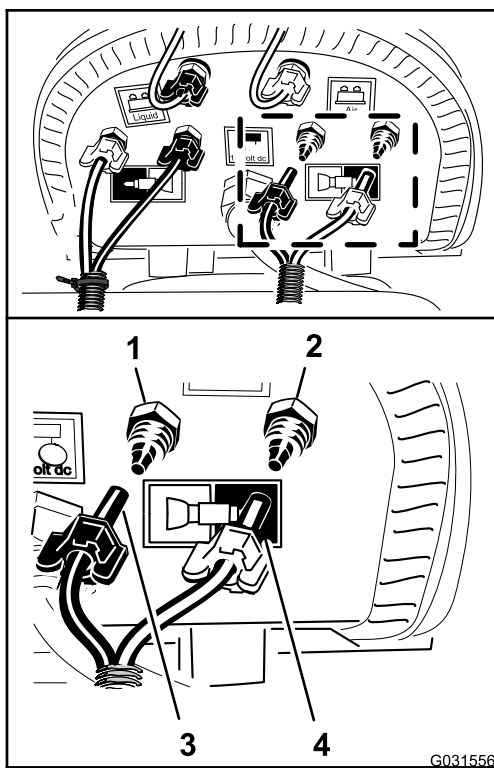


図 214

g031556

1. コンプレッションフィッティング—水左ブーム—青チューブ
 2. コンプレッションフィッティング—空気左ブーム—透明チューブ
 3. コンプレッションナット—左ブーム—青チューブ
 4. コンプレッションナット—左ブーム—透明チューブ
8. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 214。
 9. 左側ブーム用の透明チューブを左側ブーム用エア供給部のコンプレッションフィッティングに取り付ける 図 214。
 10. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 214。

圧力解放バルブの位置を変更する

1. 給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤのポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを外してT字フィッティングからストレートフィッティングを取り外す 図 215。

注 外したリテーナは、ステップ 2 給液ホースアセンブリを取り付ける (ページ 96) で使用します。

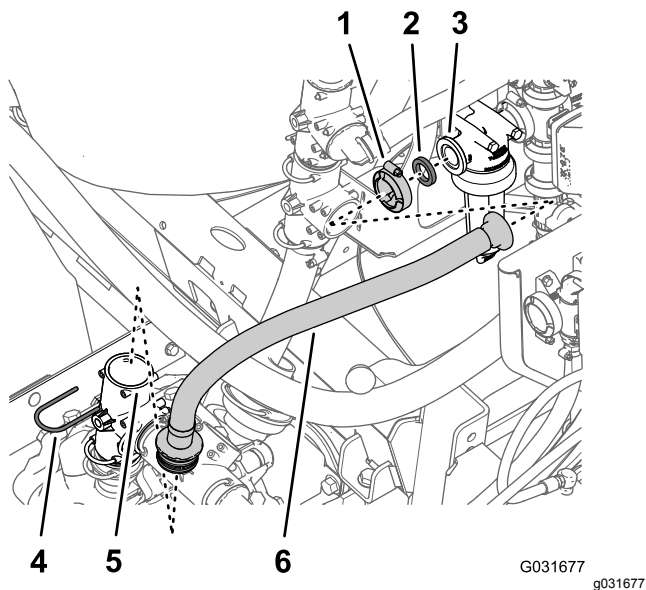


図 215

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. フランジクランプ | 4. リテーナ |
| 2. ガasket | 5. T字フィッティング液剤ポンプ |
| 3. フランジフィルタのヘッド | 6. 給液ホース |

2. 給液ホースとガスケットをフィルタヘッドのフランジに固定しているフランジクランプを外して、車体からホースを外す 図 215。
3. 圧力解放バルブをスプレーヤのポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを外してバルブを取り外す 図 216。

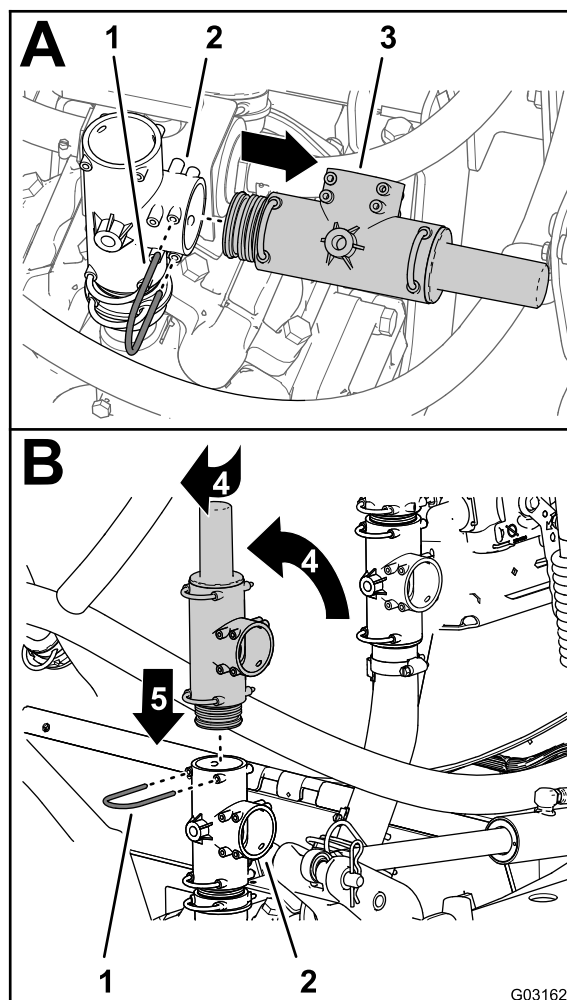


図 216

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. リテーナ | 4. 圧力解放バルブの向きを変更する |
| 2. 圧力解放バルブ | 5. 下 |
| 3. T字フィッティング | |

4. 図 216に示すように、圧力解放バルブを回して向きを変更する。

注 バルブの吐出口を後ろに向けてください。

5. 圧力解放バルブを、T字フィッティングの上部に取り付け、一番奥まで完全に押し込む 図 216。
6. ステップ 3 で取り外したリテーナを使って、圧力解放バルブをT字フィッティングに固定する。

攪拌バルブ用のバイパスホースを交換する

1. バイパスホースのバーブ付き90°フィッティングを上側T字フィッティングに固定しているリテーナを外してT字フィッティングから90°フィッティングを取り外す 図 217。

注 外したリテーナは、ステップ 5 で使用します。

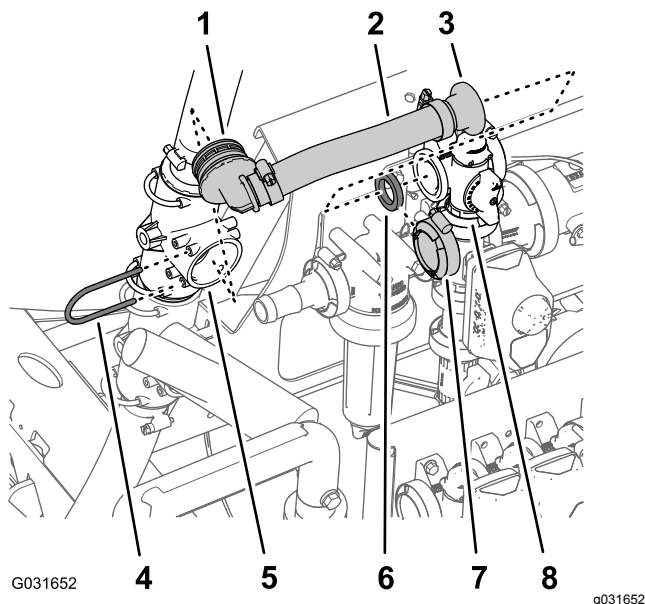


図 217

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 90°鋸歯フィッティング | 5. 上側字フィッティング |
| 2. バイパスホース | 6. ガasket |
| 3. フランジ付きストレートフィッティング | 7. フランジクランプ |
| 4. リテーナ | 8. フランジ攪拌バルブ |

2. フランジ付きストレートフィッティングとガスケットを攪拌バルブのフランジに固定しているフランジクランプを外して、車体からバイパスホースを外す 図 217。

注 外したフランジ付きクランプとガスケットは、ステップ 7 で使用しますが、90° フィッティング、バイパスホース、ストレートフランジフィッティングは廃棄して構いません。

3. 上側T字フィッティングを右まわりに 45°程度回転させる 図 218。

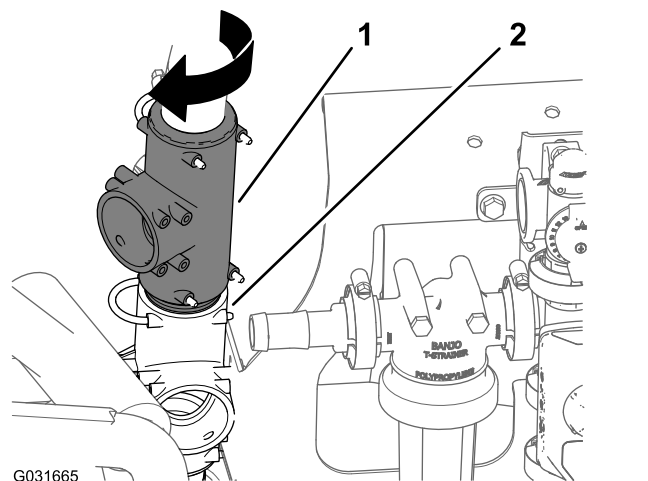


図 218

4. 新しい攪拌バイパスホースアセンブリ Toro P/N 131-9649 のバーブ付き90°フィッティングを、上側T字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる 図 219。

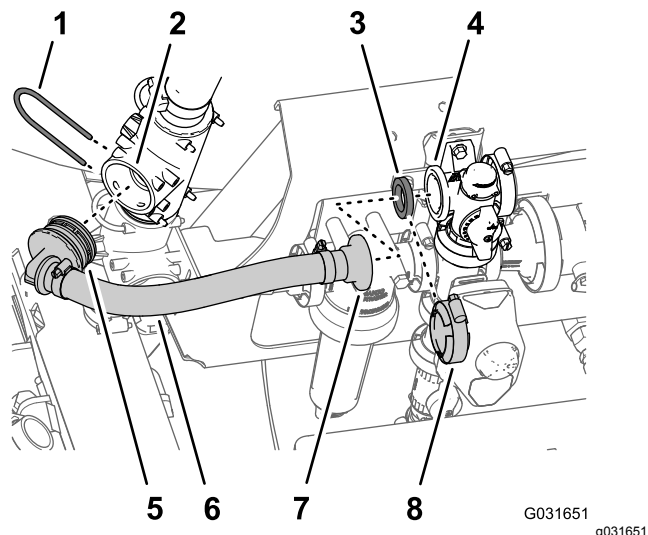


図 219

- | | |
|------------------|---|
| 1. リテーナ | 5. バーブ付き 90° フィッティング攪拌バイパスホースアセンブリ Toro P/N 131-9649 |
| 2. ポート上側字フィッティング | 6. ホース 25 x 305 mm, 攪拌バイパスホースアセンブリ Toro P/N 131-96499 |
| 3. ガasket | 7. フランジ付きストレートフィッティング攪拌バイパスホースアセンブリ Toro P/N 131-9649 |
| 4. フランジ攪拌バルブ | 8. フランジクランプ |

5. 90° フィッティングをT字フィッティングに固定する 図 219 ステップ 1 で外したリテーナを使用する。
6. 新しい攪拌バイパスホースアセンブリ Toro P/N 131-9649 のフランジ付きストレートフィッティングと

ガスケットを、バイパスバルブのフランジに合わせる 図 219。

7. ステップ 2 で取り外したフランジクランプを使って、フランジ付きストレートフィッティングとガスケットを固定する。

エダクタ用の液剤シャットオフバルブの取り付け準備を行う

1. バープ付き 90° フィルタToro P/N 131-3727を、液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324に対して 図 220のように整列させ、バープ付きフィッティングをバルブの奥まで完全に挿入する。

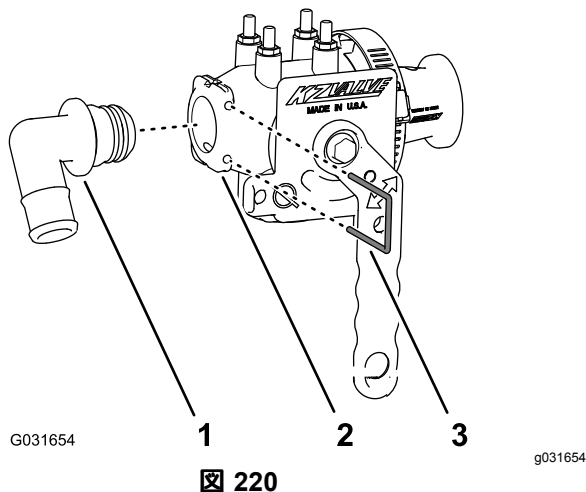


図 220

1. バープ付き 90° フィッティング 25 mm Toro P/N 131-3727
2. 液剤シャットオフバルブ Toro P/N 130-7324
3. リターナToro P/N 131-0235

2. バープ付き 90° フィッティングを、液剤シャットオフバルブに固定するリターナToro P/N 131-0235を使用する。
3. バープ付きストレートフィッティングとガスケットをフィルタヘッドのフランジに固定しているフランジクランプを外して、フィッティングを外す 図 221。

注 外したフランジクランプとガスケットは、ステップ5 エダクタ用の液剤シャットオフバルブを取り付ける (ページ 96) でシャットオフバルブの取り付けに使用しますが、バープ付きストレートフィッティングは廃棄して構いません。

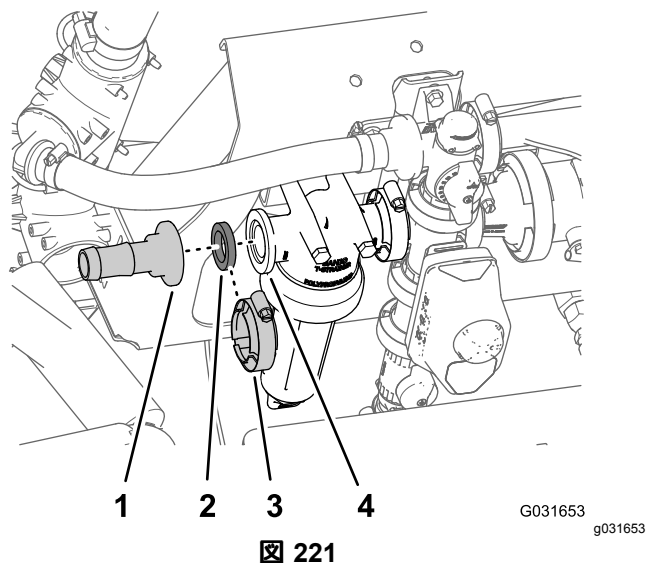


図 221

1. バープ付きストレートフィッティング
2. ガスケット
3. フランジクランプ
4. フランジフィルタのヘッド

4. フィルタヘッドをマニホルドのマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個を取り外す 図 222。

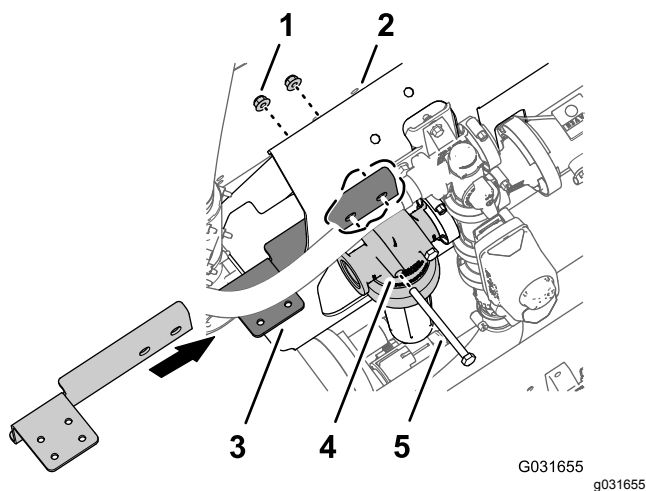


図 222

ボルト5/16 x 4"を図示していない

1. フランジロックナット5/16"
2. マニホルドマウント
3. マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03
4. フィルタのヘッド
5. ボルト5/16 x 4"

5. シャットオフバルブのマウントToro P/N 131-3725-03の長い方のフランジの穴を、マニホルドマウントの前側にある2本のボルト5/16 x 4"に合わせる 図 222。
6. マニホルドマウントにシャットオフバルブを取り付け、ステップ4 図 222で外したフランジロックナットで固定する。
7. ボルトとナットを19782542N・cm2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

エダクタ用の液剤シャットオフバルブを取り付ける

1. ガasketをフィルタヘッドのフランジに合わせる [図 223](#)。

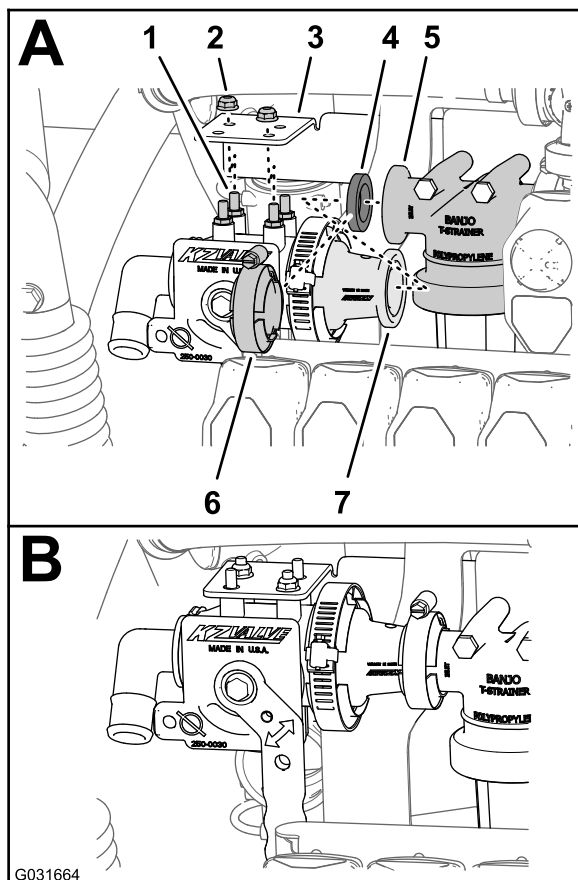


図 223

1. スタッド液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
 2. フランジロックナットステンレス製 1/4" Toro P/N 119-6897
 3. マウント液剤シャットオフバルブToro P/N 131-3725-03
 4. ガasket
 5. フランジフィルタのヘッド
 6. フランジクランプ
 7. フランジアダプタ液剤シャットオフバルブToro P/N 130-7324
2. 液剤シャットオフバルブ (Toro P/N 130-7324) のスタッドを、シャットオフバルブ用マウントToro P/N 131-3725-03の4つの穴に合わせ、バルブのフランジアダプタをフィルタヘッドとガasketの穴に合わせる [図 223](#)。
 3. 液剤シャットオフバルブを用マウントに組み付ける [図 223](#)のように、対角線上の2本のスタッドに対して2個のフランジロックナットToro P/N 119-6897を使用する。
 4. フランジロックナット1/4"を、1070 1243 N·cm 1.01.3 kg.m = 90 110 in-lbにトルク締めする。
 5. シャットオフバルブのフランジアダプタを、フィルタヘッドのフランジに固定する [図 223](#) エダクタ用

の液剤シャットオフバルブの取り付け準備を行う (ページ 95)で外したクランプを使用する。

圧力解放ホースアセンブリを取り付ける

1. 圧力解放ホースアセンブリToro P/N 131-9647の90°フィッティングを、圧力解放バルブの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる [図 224](#)。

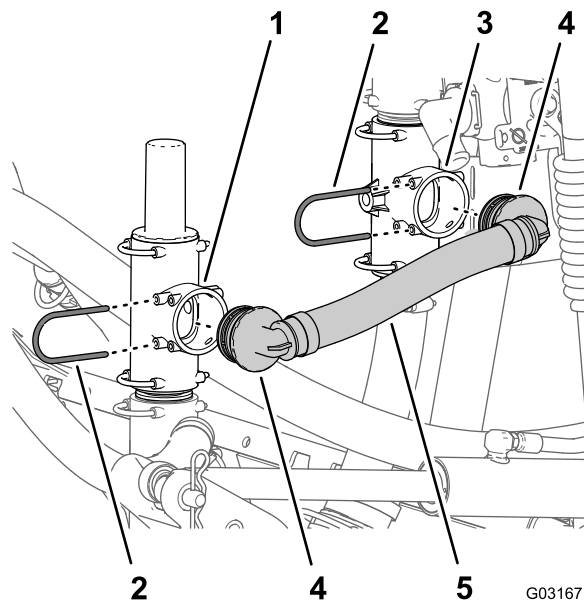


図 224

1. 圧力解放バルブ
 2. リテーナ
 3. 下側T字フィッティング
 4. バープ付き 90° フィッティング圧力解放ホースアセンブリToro P/N 131-9647
 5. 圧力解放ホースToro P/N 131-9647
2. 90° フィッティングを圧力解放バルブに固定する [図 224](#) ステップ1 マニホールドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)で外したリテーナを使用する。
 3. 圧力解放ホースアセンブリToro P/N 131-9647の90°フィッティングを、下側のT字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる [図 224](#)。
 4. 90° フィッティングを上側T字フィッティングに固定する [図 224](#) ステップ2 マニホールドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79)で外したリテーナを使用する。

給液ホースアセンブリを取り付ける

1. 給液ホースアセンブリToro P/N 131-9648の90°フィッティングを、液剤ポンプのT字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる [図 225](#)。

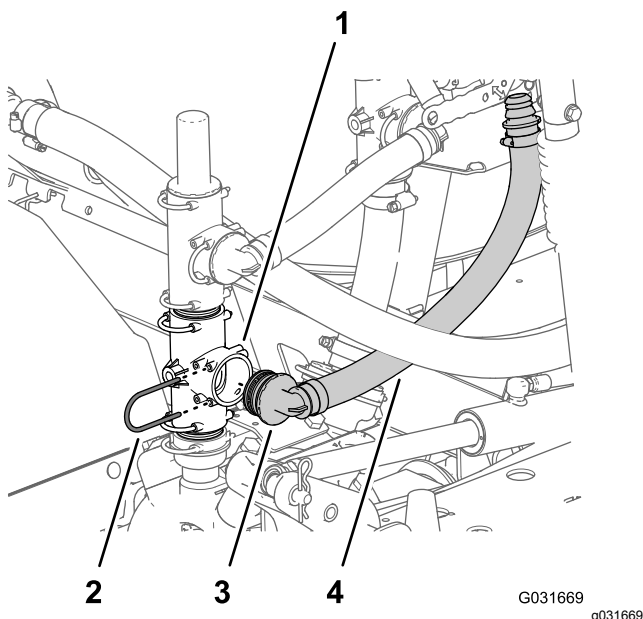


図 225

1. T字フィッティング液剤ポンプ
2. リテーナToro P/N 131-0235
3. バープ付き 90° フィッティング 給液ホースアセンブリ Toro P/N 131-9648
4. 給液ホースアセンブリ Toro P/N 131-9648

2. 90° フィッティングをポンプのT字フィッティングに固定する 図 225 ステップ1 圧力解放バルブの位置を変更する (ページ 92) で外したリテーナを使用する。
3. 圧力側ホースアセンブリToro P/N 131-9648の90°フィッティングを、液剤ポンプのT字フィッティングの空いているポートに整列させて90°フィッティングをT字フィッティングの奥まで完全に入れる 図 226。

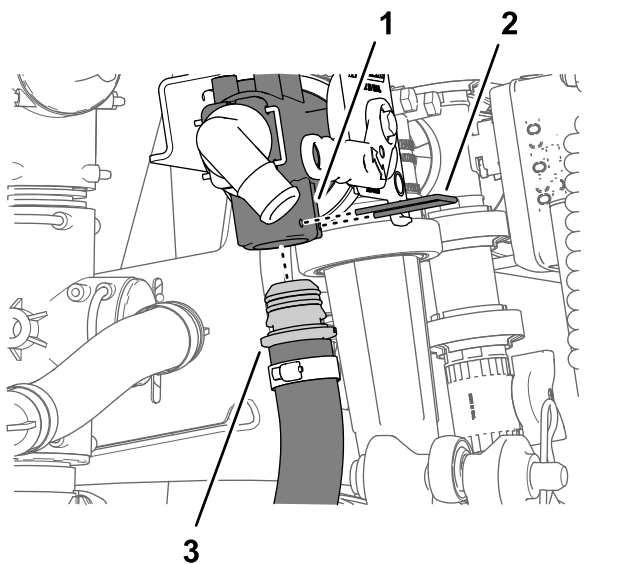


図 226

1. 液剤シャットオフバルブ Toro P/N 130-7324
2. リテーナToro P/N 131-0235
3. 給液ホースアセンブリToro P/N 131-9648

4. 圧力側ホースアセンブリToro P/N 131-9648のバープ付きストレートフィッティングを、液剤シャットオフバルブ底部ポートに整列させて、ストレートフィッティングをバルブの奥まで完全に入れる 図 226。
5. バープ付き ストレートフィッティングを液剤シャットオフバルブに固定する 図 224 リテーナToro P/N 131-0235を使用する。

エダクタの給水ホースを接続する

1. エダクタの給水ホースの端部を、液剤シャットオフバルブのバープ付き90°フィッティングに整列させフィッティングにホースを接続する 図 227。

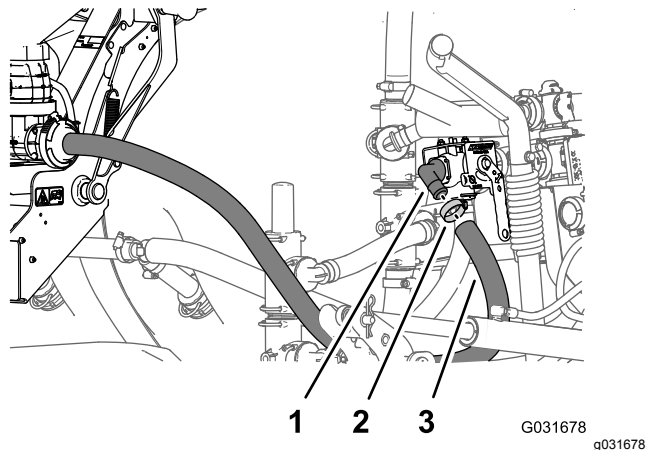


図 227

1. バープ付き 90° フィッティング 液剤シャットオフバルブ Toro P/N 130-7324
2. ホースクランプ
3. エダクタの給水ホース

2. ホースをT字フィッティングに固定するステップ7 マニホルドマウントに収納式ホースリールを取り付ける (ページ 79) で外したクランプを使用する。

37

EU適合キットオプションを取り付ける

必要なパーツはありません。

マニホルドマウントに取り付け穴を開ける

1. マニホルドマウントの左上エッジ部から右方向に 381mm を測って鉛筆でマーキングする 図 228。

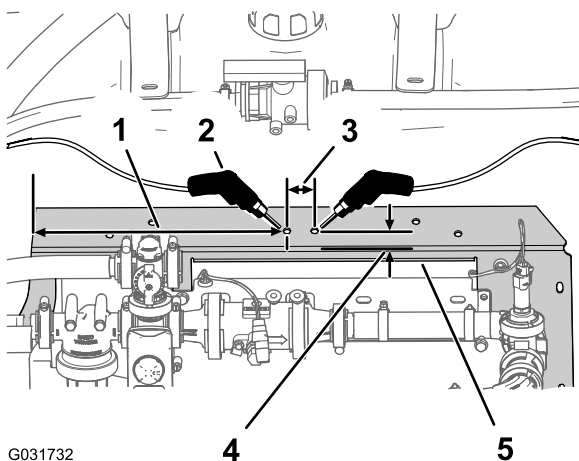


図 228

1. 381mm の位置に鉛筆でマーキングする。
 2. 直径 8mm の穴
 3. 32mm の位置に鉛筆でマーキングする。
 4. 19mm の位置に鉛筆でマーキングする。
 5. マニホルドマウント
-
2. マニホルドマウントの後部エッジ部から前方向に 19mm を測って鉛筆でマーキングする 図 228。
 3. ステップ 1 と 2 で作成した 2 つのマークの交点の水平面にポンチを打つ。
 4. ポンチマークから右に 32mm を測って鉛筆でマーキングする 図 228。
 5. マニホルドマウントの後部エッジ部から前方向に 19mm を測って鉛筆でマーキングする 図 228。
 6. ステップ 4 と 5 で作成した 2 つのマークの交点の水平面にポンチを打つ。
 7. 各ポンチマークに、ドリルで直径 8mm の穴を開ける 図 228。

ボールバルブとブラケットを取り付ける

1. ステップ 49 EU 適合キットオプションを外す (ページ 21) で取り外したボールバルブ用ブラケットの穴を、マニホルドマウントに取り付け穴を開ける (ページ 97) で開けたマニホルド上の穴に 図 229 のように合わせる。

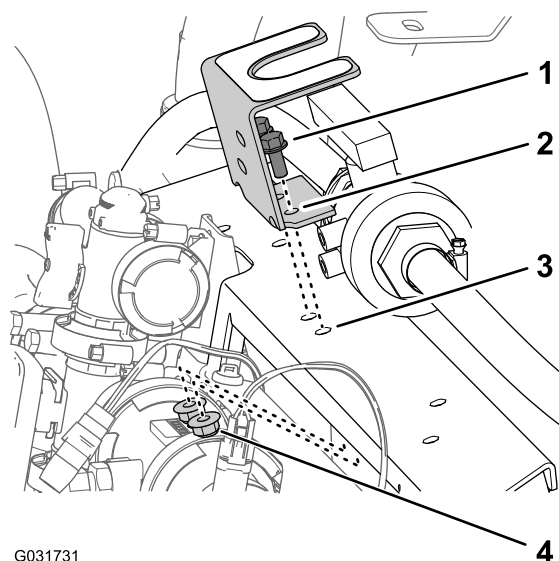


図 229

1. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. マニホルドマウント
4. フランジロックナット 5/16"

2. マニホルドマウントにブラケットを取り付ける 図 229 ステップ 49 EU 適合キットオプションを外す (ページ 21) で取り外したフランジヘッドボルト 5/16 x 3/4" 2 本とフランジロックナット 5/16" を使用する。
3. ボルトとナットを 19782542N・m 2.02.6kg・m = 175225in-lb にトルク締めする。
4. ボールバルブのねじ穴付きボスを、取り付けブラケットの 2 つの穴に合わせる 図 230。

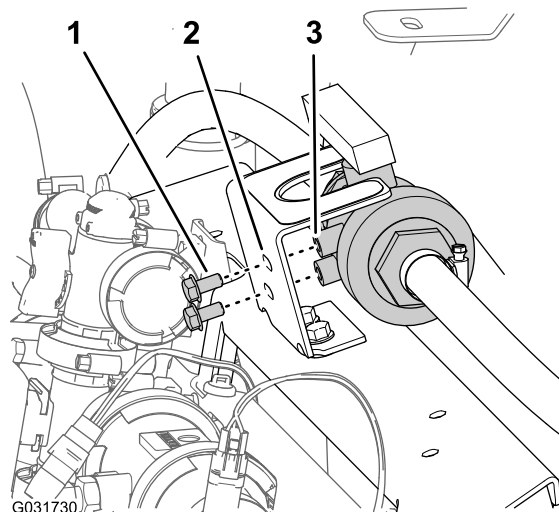


図 230

1. フランジヘッドボルト 5/16 x 5/8"
2. 取り付けブラケットボールバルブ
3. ねじ溝付きボスボールバルブ

5. バルブをブラケットに組み付ける 図 230 ステップ 39 EU 適合キットオプションを外す (ページ

21)で外したフランジヘッドボルト5/16 x 5/8"2本を使用する。

38

オプションのブームカバーキットの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621
22	ポップリベット Toro P/N 114439
4	サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03
4	クリップナット Toro P/N 94-2413
16	フランジヘッドボルト 3/8 x 1-1/4" Toro P/N 110-5050
16	フランジロックナット 3/8" Toro P/N 104-8301
2	カバーストラップ Toro P/N 120-0629
4	フランジヘッドボルト 5/16 x 1-1/4" Toro P/N 323-36

センターブームカバー11ノズルにカバーエクステンションを取り付ける

1. 補強プレート1列とゴム製カバーを11ノズル用センターブームのカバーに固定している11本のポップリベット 図 231 ステップ 210 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22) で外しておいたカバーについているリベットを、直径 5mm のドリルビットを使って取り外す。

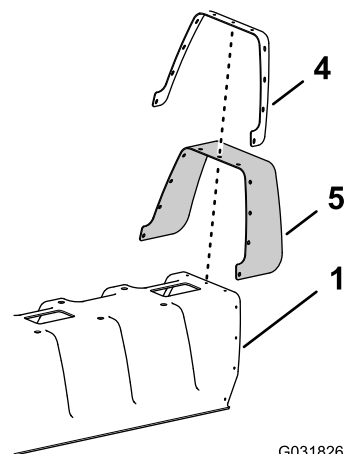
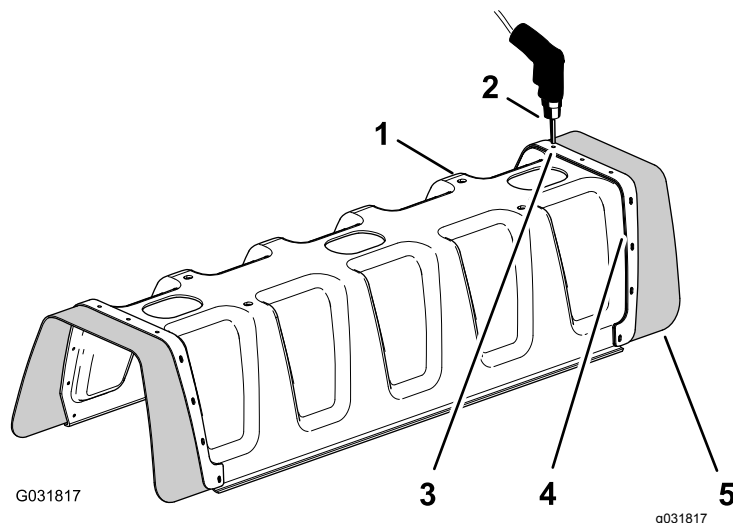


図 231

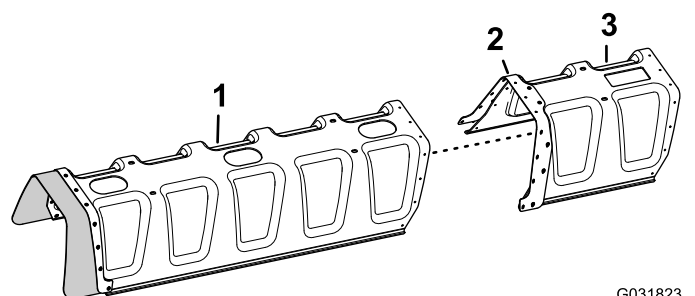
1. 11 ノズルブーム用カバー 4. 補強板1列穴
2. ドリルと 直径 5mm のビット 5. ゴムカバー
3. リベット 3/16 x 1/2"

2. 11 ノズルブーム用カバーから、補強版、ワッシャ 3/16" 11枚、ゴム製カバーを取り外す 図 231。

注 外した補強版、ワッシャ、ゴム製カバーは、ステップ 5 と 6 で使用します。

3. カバーエクステンションに取り付けられている補強プレート2列穴の穴に、11 ノズルブーム用カバーの穴を合わせる 図 232。

注 ワッシャ3/16"は、カバーエクステンションの内面に当たるように取り付けてください。

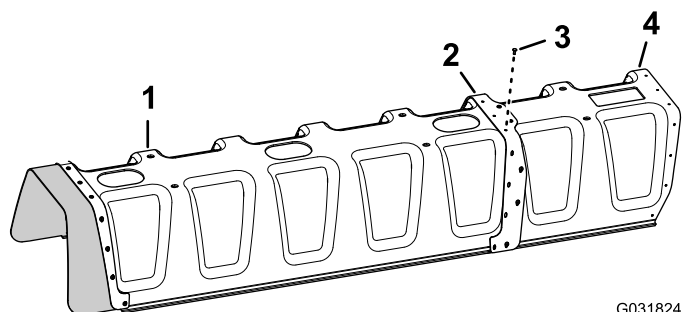


G031823
g031823

図 232

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板2列穴
3. カバーエクステンション

4. ポップリベット11本Toro P/N 114439を使って、カバーエクステンションを11 ノズルブーム用カバーに固定する。

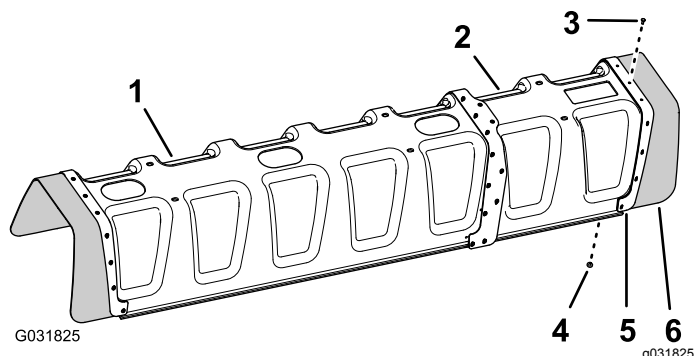


G031824
g031824

図 233

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板2列穴
3. ポップリベット Toro P/N 114439
4. カバーエクステンション

5. ステップ2で取り外したゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 234。



G031825

g031825

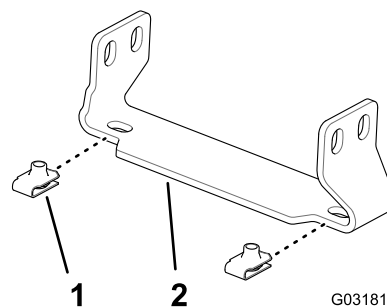
図 234

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. カバーエクステンション
3. ポップリベット Toro P/N 114439
4. ワッシャ3/16"
5. 補強板1列穴
6. ゴムカバー

6. 補強版とゴムカバーを、カバーエクステンションに固定するポップリベットToro P/N 11443911本と、ステップ5で外したワッシャ3/16"11枚を使用する。

センターブーム用カバーのサポートブラケットを取り付ける

1. ステップ610 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ22)で外したクリップナット4個を、センターカバーToro P/N 131-3703-03用のサポートブラケット2個に、図 235のように取り付ける。



G031819

g031819

図 235

1. クリップナットToro P/N 94-2413
2. サポートブラケットセンターブーム用カバーToro P/N 13-3703-03

2. 図 235 のように、センターカバーToro P/N 131-3703-03用のサポートブラケット残り2個に、クリップナットToro P/N 94-24134個を取り付ける。
3. センターブームで、トラスフレームの垂直面にある一番右側の1組の穴25mm 間隔で開いている穴を探し出す図 236。

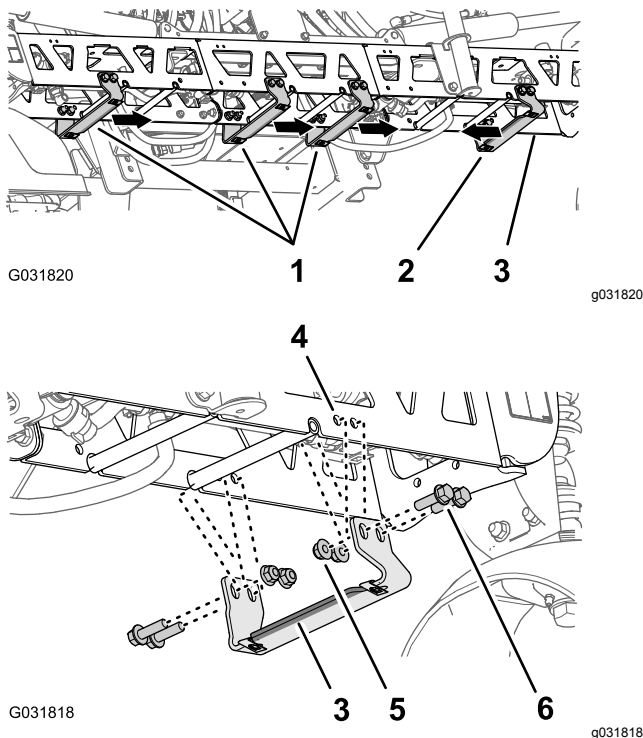


図 236

図では、幅広のフランジ付きのサポートブラケットが左側

1. サポートブラケットToro P/N 131-3703-03 (広いフランジが右側)
 2. サポートブラケットToro P/N 131-3703-03 (広いフランジが右側)
 3. トラスフレームセンターブーム)
 4. 穴トラスフレーム
 5. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "Toro P/N 104-8301
 6. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{4}$ "Toro P/N 110-5050
-
4. サポートブラケットToro P/N 131-3703-03の穴を、センターブームの穴ステップ 3 で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが左側になるように合わせることを図 236を参照。
 5. サポートブラケットをトラスフレームに固定する図 236フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{4}$ "、Toro P/N 110-50504本、フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "、Toro P/N 104-83014個を使用する。
 6. トラスフレームの垂直面にあるもう 1 組の穴 25mm 間隔で開いている穴を探し出す図 236。
 7. 3個のサポートブラケットToro P/N 131-3703-03の穴を、センターブームの穴ステップ 6 で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが右側になるように合わせることを図 236。
 8. サポートブラケットをトラスフレームに固定する図 236フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{4}$ "、Toro P/N 110-505012本、フランジロックナット $\frac{3}{8}$ "、Toro P/N 104-83014個を使用する。
 9. ボルトとナットを $3745\text{N}\cdot\text{m}$ $3.74.6\text{kg}\cdot\text{m}$ = $2733\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

センターブーム用カバーを取り付ける

1. センターブームカバーの穴を、サポートブラケットにある取り付け用の穴に合わせる図 237。

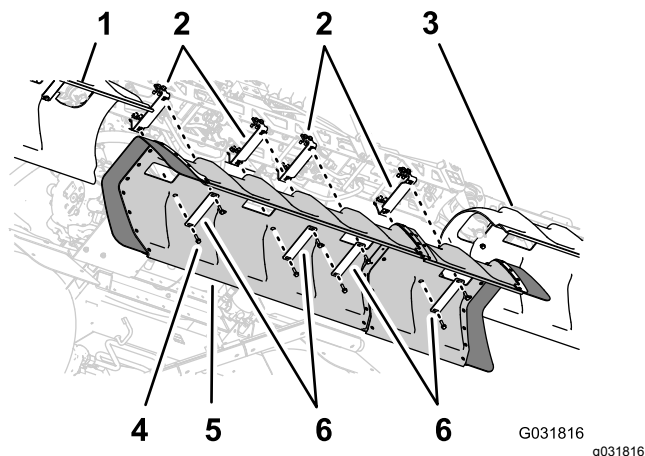


図 237

1. 左側ブームカバー
2. サポートブラケット
3. 右側ブームカバー
4. フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $1\frac{1}{4}$ "
5. 中央ブームカバー
6. カバーストラップ

2. ステップ 110 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22)で取り外した2本のカバーストラップの穴を、ゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる図 237。
3. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付けるステップ 110 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 22)で取り外したフランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $1\frac{1}{4}$ "4本を使用する。
4. 2本のカバーストラップToro P/N 120-0629の穴を、カバーにある残り4つの穴とサポートブラケットにある残り4つの穴に合わせる図 237。
5. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付ける図 237フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ x $1\frac{1}{4}$ "、Toro P/N 323-364本を使用する。
6. ボルト本を $19782542\text{N}\cdot\text{cm}$ $3.13.8\text{kg}\cdot\text{m}$ = $175225\text{in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

39

オプションのタンクすすぎキットの接続を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. すすぎポンプのハーネスの6ピンコネクタを、後メインハーネスの6ソケットコネクタに接続する [図 238](#)。

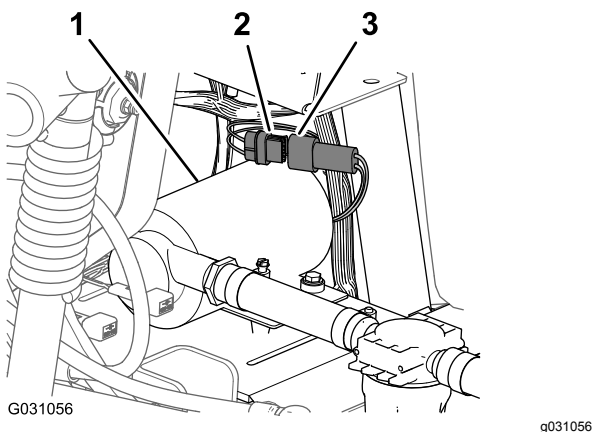


図 238

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後メインハーネス
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

2. すすぎポンプのカバーを、すすぎポンプ用サドルプレートに合わせる [図 239](#)。

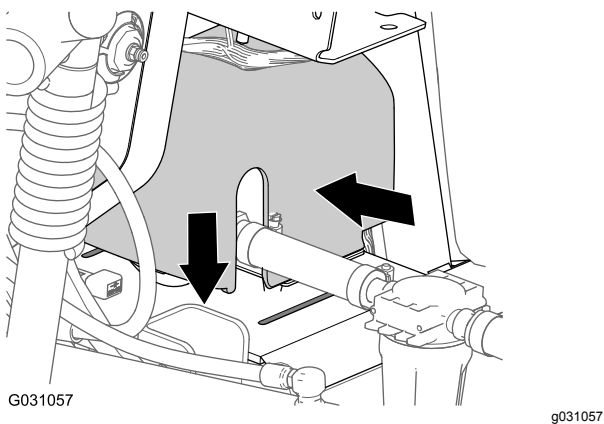


図 239

3. すすぎポンプのカバーを両側から同時に押して、カバーについているタブをサドルプレートに合わせる [図 239](#)。

4. スロットにタブを差し込み、カバーを両側から押していた力をゆるめる [図 239](#)。

40

オルタネータを交換する

この作業に必要なパーツ

1	ベルト張りブラケット
1	オルタネータ60A
1	ナット (10mm)
1	オルタネータのアダプタ用ハーネス

オルタネータ40Aを外す

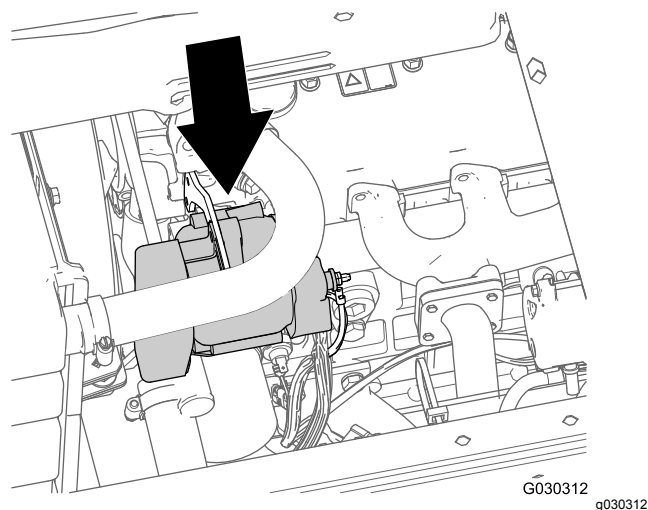


図 240

1. エンジンルームの左側で、プラス端子についているバッテリーケーブルのリング端子を固定しているナット6mmを外す [図 241](#)。

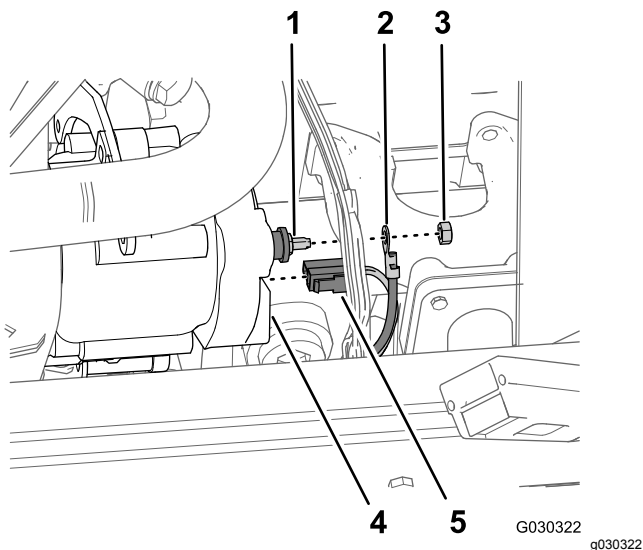


図 241

1. オルタネータのプラス端子
2. リング端子
3. ナット6 mm
4. オルタネータ
5. 2ソケットコネクタ

2. オルタネータの後部で、オルタネータの2ブレードコネクタから、エンジン用ハーネスの2ソケットコネクタを外す 図 241。
3. オルタネータとベルトテンションブラケットから、オルタネータのロックボルトを外す 図 242。

注 オルタネータのロックボルトは **オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)** で使用します。

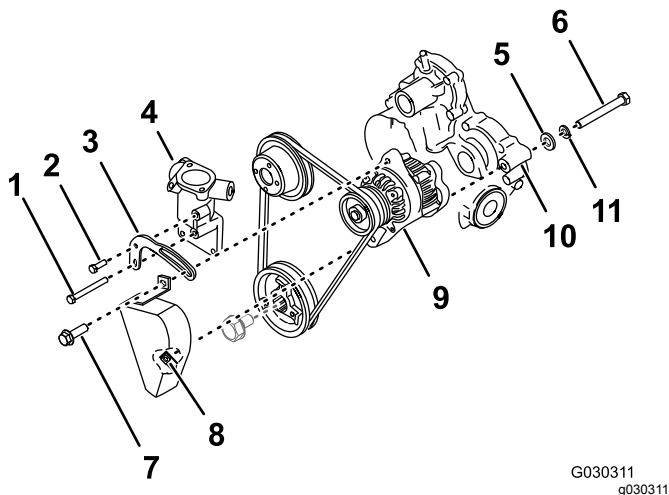


図 242

1. テンションブラケットのボルト (長い方)
2. テンションブラケットのボルト (短い方)
3. ベルトテンションブラケット (古い方)
4. サーモスタットハウジング
5. 平ワッシャ
6. ピボットボルト
7. オルタネータのロックボルト
8. ウェルドナットベルトカバー
9. オルタネータ40A
10. ギアケース
11. ロックワッシャ

4. サーモスタットのハウジングとベルトテンションブラケットから、短い方のテンションブラケットボルトを外す 図 242。

注 はずした短い方のボルトは **オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)** で使用します。

5. シリンダヘッド、サーモスタットのハウジング、ベルトテンションブラケットから、長い方のテンションブラケットボルトを外してテンションブラケットを取り外す 図 242。

注 長い方のボルトは **オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)** で使用します。外した古いブラケットは廃棄して構いません。

6. オルタネータの後部で、ピボットボルトを完全にゆるめて車体からベルトカバーを取り外す 図 242。

注 ベルトカバーは廃棄する。

7. オルタネータを支えておいて、オルタネータとエンジンのギアケースから、ピボットボルト、ロックワッシャ、平ワッシャを外す 図 242。

注 ピボットボルト、ロックワッシャ、平ワッシャは **オルタネータ60Aを取り付ける (ページ 103)** の取り付けに使用します。外した40Aオルタネータはリサイクルセンターに持ち込むなど適切な方法で処分してください。

8. オルタネータのプーリからベルトを取り外し、オルタネータを車体から外す。

オルタネータ60Aを取り付ける

1. 新しいベルトテンションブラケットの穴を、サーモスタットハウジングの穴にあわせる 図 243。

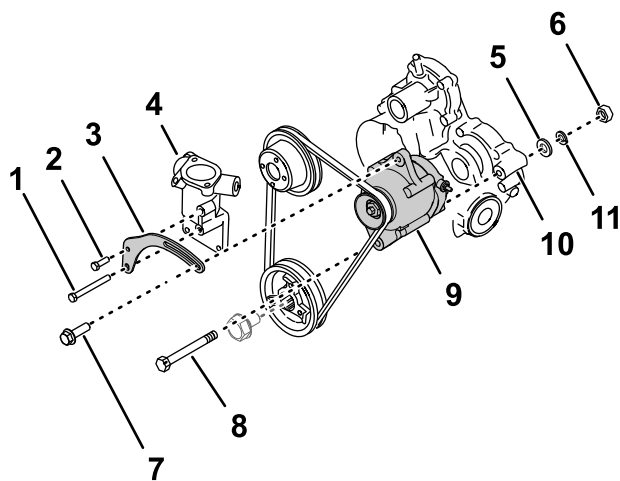


図 243

g307757

1. テンションブラケットのボルト長い方
2. テンションブラケットのボルト短い方
3. 新しいベルトテンションブラケット
4. サーモスタットハウジング
5. 平ワッシャ
6. ナット 10 mm
7. オルタネータのロックボルト長い方
8. ピボットボルト
9. オルタネータ60A
10. ギアケース
11. ロックワッシャ

2. ベルトテンションブラケットをサーモスタットハウジングとシリンダヘッドに組み付ける短い方のボルトを上穴に、長い方のボルトを下穴に使用する図 243。

3. 各ボルトを $39.544\text{N}\cdot\text{m}$ $4.04.6\text{kg}\cdot\text{m} = 2933\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

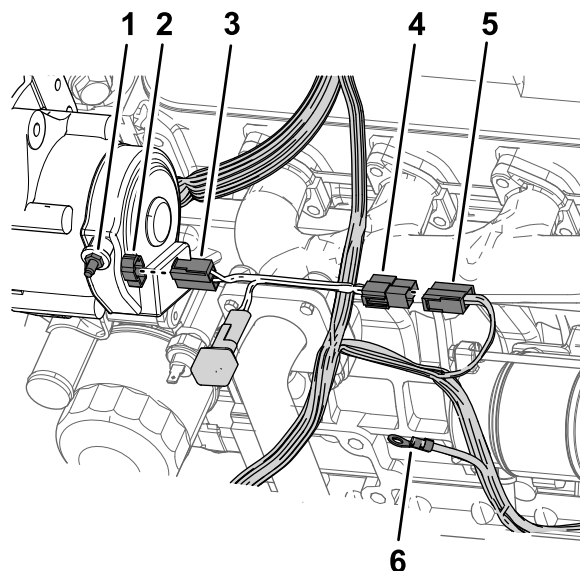
4. オルタネータ60Aの下穴をエンジンのギアケースの穴に合わせ、オルタネータのプーリにベルトを掛ける図 243。

注 オルタネータの下穴にはねじ溝はついていません。

5. オルタネータを、ギアケースに取り付けるステップ 7 オルタネータ40Aを外す (ページ 102) で取り外したピボットボルト、ロックワッシャ、平ワッシャを使用する。
6. ピボットボルトにナット 10 mmを仮止めする図 243。
7. ベルトテンションブラケットのスロットとオルタネータのねじ穴にオルタネータロックボルトを通す図 243。
8. プーリとプーリとの中間部を 40N 約 4.5kg の力で押した時に、10mm 程度のたわみ出るようにオルタネータの位置を調整する図 243。
9. オルタネータロックボルト、ピボットボルト、ナット 10 mmを $64-71\text{ N}\cdot\text{m}$ $6.5-7.3\text{ kg}\cdot\text{m} = 47-53\text{ ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

オルタネータアダプタハーネスを取り付ける

1. オルタネータアダプタ用ハーネスのソケットコネクタを、オルタネータ60Aのコネクタのピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかりと押し込んで確実にロックさせること図 244。



g289490

図 244

1. オルタネータのポスト
2. ピンコネクタ60Aオルタネータ
3. ソケットコネクタオルタネータアダプタのハーネス
4. ブレードコネクタオルタネータアダプタのハーネス
5. 2ソケットピンコネクタ車両のワイヤハーネス
6. リング端子車両のワイヤハーネス

2. オルタネータアダプタ用ハーネスの ブレードコネクタを、車両用ワイヤハーネスのソケットコネクタステップ 2 オルタネータ40Aを外す (ページ 102) で取り外したものに接続する。コネクタ同士をしっかりと押し込んで確実にロックさせること図 244。
3. 車両のワイヤハーネスのリング端子をオルタネータのポストに取り付け、ステップ 1 オルタネータ40Aを外す (ページ 102) で外したナット 6 mmで固定する。

41

ジオリンクスプレーシステム仕 上げキットの最終作業を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 座席を押さえていたロッドを外して座席をもとに戻す。
2. バッテリーのプラス赤ケーブルをバッテリーの端子に、マイナス黒ケーブルをバッテリーの-端子に取り付け、ボルトと蝶ナットで固定する **図 3 バッテリーの接続を外す (ページ 7)** の説明を参照。
3. 両方の端子に絶縁ゴムカバーを取り付ける **図 3 バッテリーの接続を外す (ページ 7)** の説明を参照。
4. バッテリーカバーを取り付け、ストラップで固定する **図 2 バッテリーの接続を外す (ページ 7)** の説明を参照。

運転操作

安全第一

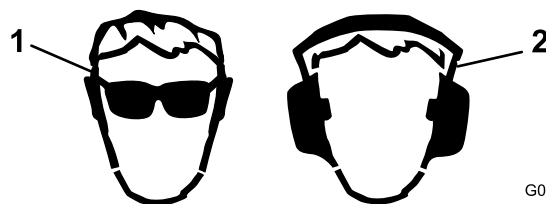
このマニュアルに記載されている安全上の注意やステッカーの記号や表示内容を良く読んでください。オペレータや周囲の人を事故から守る重要な情報が掲載されています。

▲ 注意

この機械を長時間使用しつづけると聴覚に障害を起こす可能性がある。

運転に際しては聴覚保護具を使用すること。

目、耳、足、頭などの保護具を使用すること。



G009027

g009027

図 245

1. 保護メガネ等着用のこと。
2. 聴覚保護具を使用してください。

シャットオフバルブの使い方 オプションのハンドスプレーキット、電動 ホースリールキット、収納式ホー ルリールキット

1. 平らな場所に駐車し、ブームを OFF にし、エンジンを停止させて駐車ブレーキを掛ける。

▲ 警告

車両を運転しながらハンドスプレーヤを操作するのは非常に危険であり、負傷事故や死亡事故につながる恐れがある。

運転中はハンドスプレーヤを操作しないこと。

2. ハンドスプレーとホースリールキットでは以下の作業を行う
 - ハンドスプレーキット車体右側で、スプレーガン用のトリガーロックがロックされていることを確認するの通常液剤散布モードからハンドスプレーモードへの切り替えハンドスプレーキットを参照。
 - 電動ホースリールと収納式電動ホースリール車体後部で、スプレーガン用のトリガーロックがロックされていることを確認するの通常液剤散布モードからハンドスプレーモードへの

切り替え電動ホースリールまたは収納式電動ホースリールを参照。

3. シャットオフバルブについている緑色のハンドルを左に90°回転させてOPEN位置にセットする  246。

注 ホースリールについているハンスプレースティックへの給液を停止するには、シャットオフバルブについている緑色のハンドルを右に90°回転させてCLOSED位置にセットする  246。

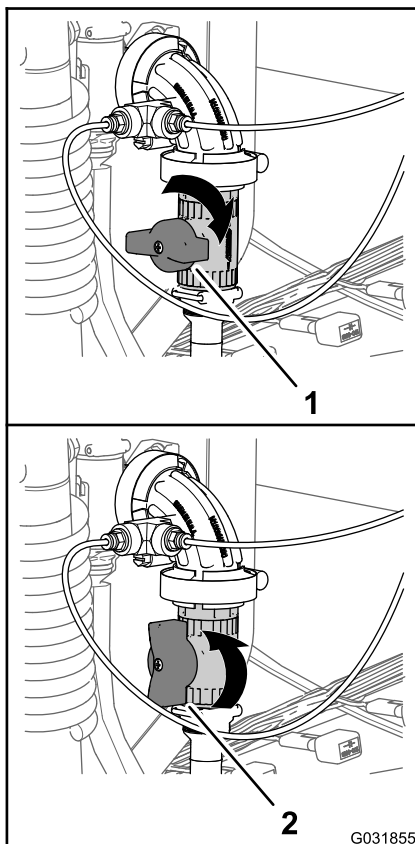


図 246

1. 閉じたclosed位置
2. 開いたopen位置

4. マスターブームスイッチを ON にセットする。
5. エンジンを希望する回転数にセットし、ニュートラルエンジン速度ロックを ON にする。
6. 手動で、液剤散布圧力を希望する圧力にセットするジオリンク高精度散布システムの付属品の USB メモリの中に入っている「ホースリールやエダクタを使用する場合の手動による圧力設定への変更」を参照。

注 手散布モードでは、150 psi 10.5 kg/cm²以上の設定にしないでください。

制御装置の使用方法

オプションのフォームマーカークット

- コンプレッサ ON/OFF スイッチこれでフォームマーカのコンプレッサを作動させるスイッチです。

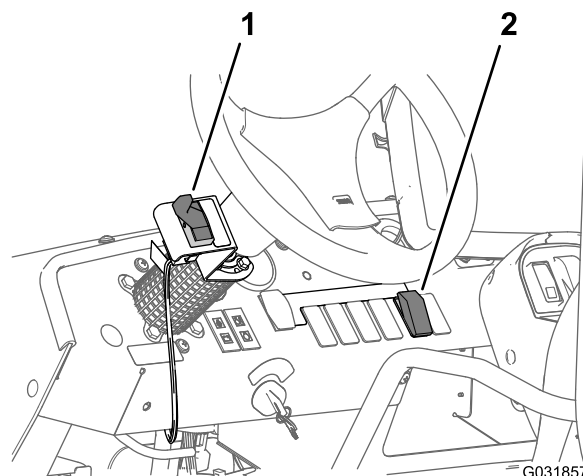


図 247

1. コンプレッサの ON/OFF ス
2. 泡コントロール スイッチ

- フォーム泡コントロール スイッチブームの左右どちらから泡を落とすかを選択するスイッチです。
 - パドルを下げると左ブームから泡を落とします。
 - パドルを中央位置にすると左右両方のブームから泡を落とします。
 - パドルを上げると右ブームから泡を落とします。

液剤シャットオフバルブの使い方

オプションの薬剤プレミックスキット

ここで説明する操作手順は、以下の準備ができていることを前提としておりますスプレーヤのエンジンが作動しており、ポンプが作動していて希望する水圧を発生させており、スロットルが中間位置にセットされている。

注 エダクタの始動前に、エダクタのホッパーバルブとホッパーリンス用ボールバルブを閉じておいてください。

1. エダクタを使用位置に降ろす薬剤プレミックスキットの **取り付け要領書**の「エダクタの昇降操作」を参照。
2. ふたを開けて、内部に異物流れを妨げる可能性のあるものや薬剤を汚染する可能性のあるものがないか調べる薬剤プレミックスキットの **取り付け要領書**の「エダクタを使う」を参照。
3. ふたを閉じて右に回してロックする薬剤プレミックスキットの **取り付け要領書**の「エダクタを使う」を参照。

4. エダクタの給水シャットオフバルブを左に回して OPEN 位置まで開く図 248。

注 エダクタへの給水を停止するには、シャットオフバルブのハンドルを右に90°回転させてCLOSED位置にセットする図 248。

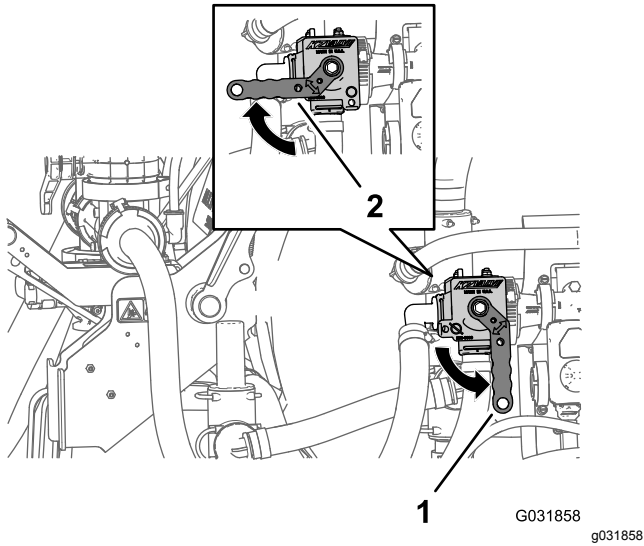


図 248

1. 開open位置給水シャットオフバルブ 2. 閉open位置給水シャットオフバルブ

-
5. ホッパーの底部についているホッパーバルブ赤いハンドルを開ける薬剤プレミックスキットの取り付け要領書の「エダクタを使う」を参照。
6. ふたのロックを解除してふたをゆっくり左に回して開く薬剤プレミックスキットの取り付け要領書の「エダクタを使う」を参照。
7. ホッパーに資材を入れる薬剤プレミックスキットの取り付け要領書の「エダクタを使う」を参照。



Count on it.